THE TAIWAN JIHO

臺灣時報

38

七月號

内容目録記入済

EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU ... AUG 2 1928 ... RAILWAY CO.

財團法人東亞經濟調査局印

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石黒英彦　石坂莊作　生駒高常　伊藤兼吉　池田季苗　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　豐田勝藏　富田松彦　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧

太田吾一　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大越大藏　小野時雄　簡朗山　片山三郎　醫學博士 楊吉臣　高木友枝　高橋親吉　田村武七　田村藤四郎　田丸直之　高山仰　武田英一　津久井誠一郎　鼓包美

津田毅一　妻木栗造　永山止米郎　永田儀三郎　中村秀太郎　中田秀造　宇賀四郎　宇野庄吉　草鹿砥祐吉　醫學博士 倉岡彦助　久米孝藏　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　增永吉次郎　藤野幹　小松吉久　辜顯榮　古賀三千人　黄欣　吳汝祥　黄春帆　後藤和佐二　枝德二　遠藤所六　鄭神寶　後宮信太郎　近江時五郎

赤司初太郎　赤石定藏　坂本素魯哉　佐々木紀綱　齋藤玄壽郎　佐藤續　櫟瀬軍之佐　皿谷廣次　蔡蓮舫　齋藤透　佐藤得太郎　木村久太郎　木村泰治　許廷光　木下信　三好德三郎　三浦碌一郎　水越幸一　三好一八　三澤糾　白勢黎吉　島田茂　徐杰夫　平山寅次郎　久宗董　本山文平　鈴木重臣

編纂委員

猪股松之助　岩滿重　一戸二郎　色部米作　服部武彦　原口竹次郎

本間善庫　本田忠男　大澤清高　大竹勇　渡邊廣　和田一次　和田博　鎌田正威　川村直岡　横光吉規　竹屋春光　角田廣次　中瀬拙夫　中田榮次郎

內田隆　能澤外茂吉　野口敏治　深川繁治　小林光政　淺野安吉　赤堀鐵吉　坂口主税　酒井雪介　木原圓次　白井泉藏　樋口要司　須田一二三

常務員

伊藤憐之助

編輯係　土井卓三　鈴木重男

昭和三年七月十三日印刷（毎月一回十五日發行）
昭和三年七月十五日發行（定價一部郵税共金三十五錢）（廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府內　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府內第八九番

編輯兼發行人　臺北市東門町一五八番地　伊藤憐之助

印刷者　臺北市榮町二丁目十二番地　加藤豐吉

印刷所　臺北市京町一丁目四十三番地　小塚本店印刷工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Japanese BP.
Library of
Congress
068098 1952

臺灣總督府編纂

臺灣法令輯覽

十五年版

定價 二十四圓
送料 七十錢

臺灣總督府編纂

同上追錄

内容 昭和二年十一月一日現在

昭和二年版

定價 七圓五十錢
送料 三十錢

本會發行の圖書は全部出張所に取揃へあり御注文等を乞ふ。御送金は振替口座を御利用願ひ度し。

臺北市御成町五丁目六番地

帝國地方行政學會臺灣出張所

電話四一六番
振替臺灣三九四一番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

A35 01

臺灣時報 昭和三年七月號 目次

口繪 新總督川村竹治氏

時言

久邇宮殿下の御盛德……上山前總督……一

告別の辭……上山前總督……四

特報

陸軍特命檢閲使久邇大將宮邦彥王殿下御來臺……五

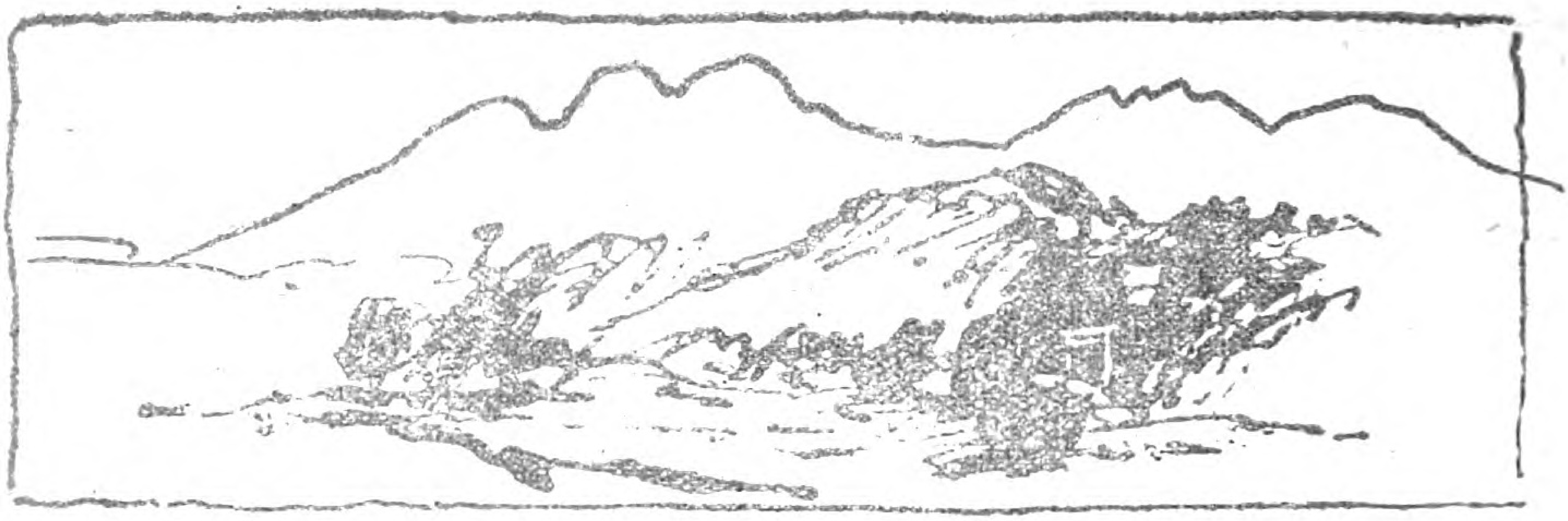
時報

始政記念日、臺中不祥事件、上山總督辭任、敎育課長會議、臺灣低資貸出手續規定、臺灣專賣取締規則改正、臺灣正米市場開場、精白糖の協定條件、本期製糖總決算、來期糖の協定、荷役合同、蓬萊米混保廢止、臺東廳下蕃人國語普及調、本島農業統計、烏山嶺隧道貫通……一〇

講演

米國に於ける繁榮の精神的基礎……原口竹次郎……二三

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



I19 B103

說苑

臺俗百話 蓬萊物語（五）……西岡塘翠……三四

大武に登る（四、完）……青木繁……四六

調査研究

臺灣蔬菜園藝講話（五）……臺北帝國大學附屬農林專門部教授 片澤立……五六

島情

臺灣貿易統計……總督府稅關……九一

臺灣金融統計……財務局金融課……九六

文苑 漢詩 俳句……一〇九

臺灣日誌 人事消息 任命……

支那及南洋情報……總督官房調査課……一一六

支那及南洋其他重要記事索引……總督官房調査課……一一八

最新刊

臺灣總督府内務局編纂

臺灣地方制度法規輯覽 昭和三年版

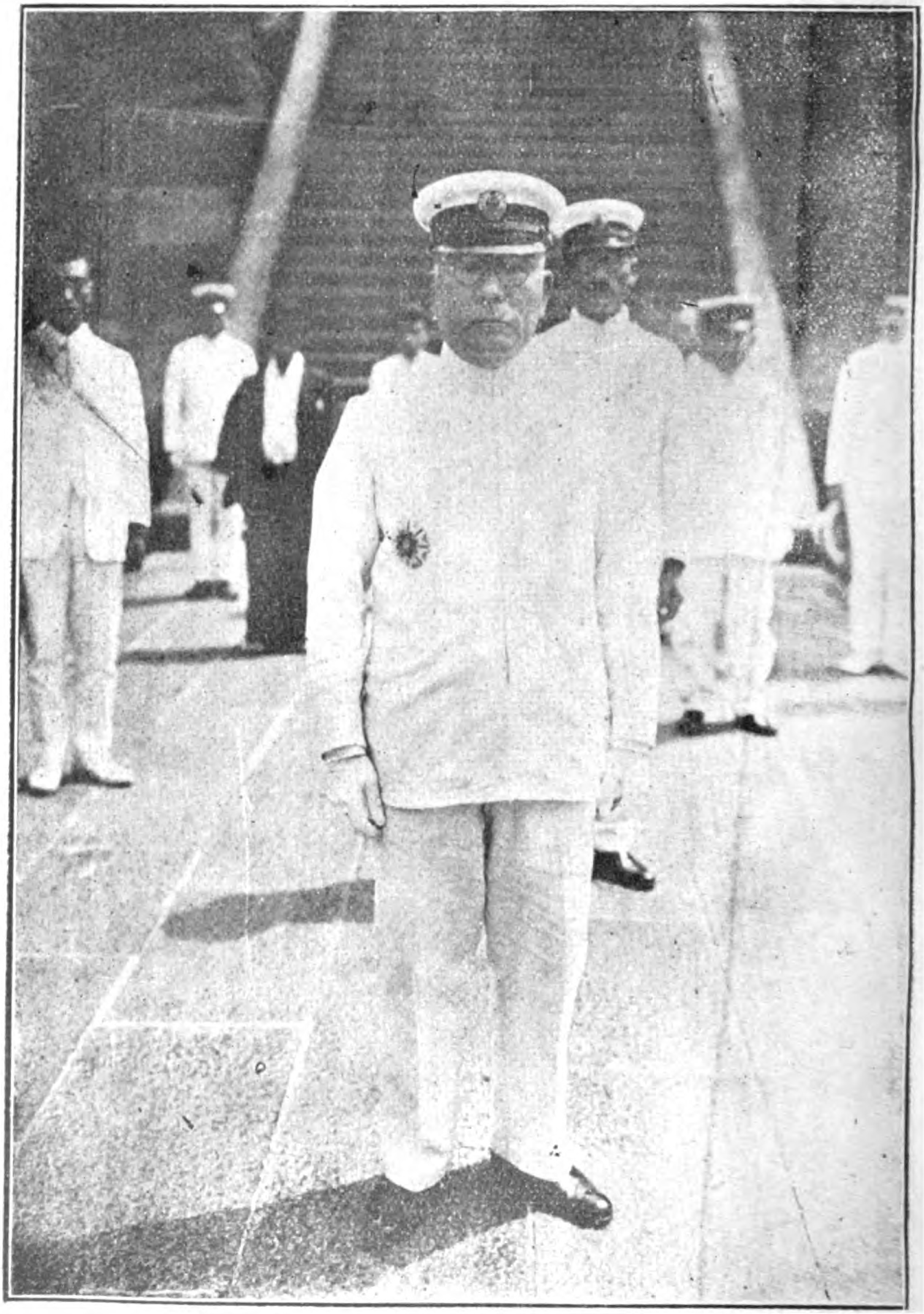
定價 上製金一圓七十錢（送料共）
並製金一圓六十錢（送料共）

臺灣總督官房調查課編

臺灣在籍漢民族鄉貫別調查

（菊版種族分布圖付）定價金壹圓（送料共）

發行所 臺灣總督府内
臺灣時報發行所



新總督川村竹治氏

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

七 月 號

久邇宮殿下の御盛德

上山前總督謹話

久邇大將宮殿下には特命檢閲使の大任を帶び給ひ本島に御成遊ばされてから四十日に垂んとする間寧日なく御職務に御精勵遊ばされた事は申すも畏き次第である。殊に此の間の氣候は甚だ不順で北部は陰濕梅雨の季節と同じきに反し南部は炎熱已に三伏の盛夏に等しいので風土に御馴れ遊ばされぬ殿下の御健康に御障り無きやと心私かに御案じ申上てゐたが北は基隆から南は屏東西は澎湖の果まで長途の御旅行を續けさせられ而も其御日程は頗る切詰められたもので御起床より御就寢まで殆んど御休息の御暇のなかつた日が多かつたに拘はらず別に御苦痛の色だに見えさせ給はず終始尊顏御麗はしくあらせられた

事は何とも恐懼の極みであり又感激措く能はざる所である。

尚御劇務の餘暇は阿里山角板山等に御成あり親しく森林作業や蕃地の實況等を御視察遊ばされた事は洵に有り難い次第で就中在郷軍人竝學校教練の御視閲を賜はり優渥なる令旨を下し給ふたことは本島の爲永久に記念すべき光榮である。又去る三十日御賜茶の席上に於て賜はつた御言葉は唯其の席上の者のみに對する御思召ではなく島民一般に對する御慈み深き御言葉で只管感激に堪へないのである。

此の時殿下には大正九年の秋本島を御視察遊ばされた當時の事を御回顧遊ばされ今日の狀況と比較して其の面目を一新したるに驚歎したりと仰せられ是れ全く內地人本島人の一致協力の結晶にして將來一般の向上を望むと御述べ遊ばされた。島民たる者深く之を心肝に銘し粉骨碎身皇室の御仁慈に獻替せねばならぬ。之が卽ち國家に忠なる所以で又身宗の幸福を招來する根本である。此の機會に於て御滯臺中私の直接拜し奉つた御動靜の一端を陳て島內官民諸氏と共に御盛德を仰ぎたい。

殿下は最も公私の別を重んぜさせられ御職務に付ては極めて嚴格であらせられ御檢閱中夙夜御精勵あらせられたことは勿論その他種々の機會に於てこの御態度を拜した。然るに御職務以外に於ては頗る平易であらせられ御言葉も頗る御鄭寧で却つて恐れ入るばかりであつた。殿下の萬事に附けての御態度は恐ながら高貴の典型とも申上ぐべきで唯々恐縮感激の外はない。兎角に苦がい顏をしたり苦情や我儘を言ひ勝ちの吾々は自から省みて深く恥ぢ入る次第である。殿下が御滯在中常に民苦を思はせたまふたことはその時々新聞紙上に現はれた通りで難有き極みでこの御心には側近に扈從したものゝ一入感佩した所である。御旅行中御疲勞にも拘はらせられず今夕は誰明夕は彼れと扈從者に一二人宛順繰に御陪食の光榮を賜ふた。言ふ迄もなく御慰勞の思召に外ならぬので私はこの行屆かせられたる御心遣に唯々

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

感泣した。この機會に於ける御下問は各種の方面に亘つて肯綮に中らせられたるは申すまでもなく吾々の言上に何時も御快く御耳を傾けさせられしかも陪食者の固くなつて肩を凝らさぬやう極めて平易なる御態度であらせられた。

御滯在中私の喜びに堪へざる事の一つは四回も草山温泉に成らせられた事である。前にも言つた如くこの度の御任務は重大にして其の御日程は甚だ御多忙であらせられそれに氣候不順の季節であつたので或は御尊體に御障りを生せずやと深く懸念して御少閑の機會毎に私から草山御成を御願申上げた。殿下には何となく御遠慮の御樣子があらせられたが結局懇願を御採用あらせられた。長き御忙はしき御滯臺中御機嫌の益々御麗はしくあらせられたことは歡喜に堪へぬ。

殿下は漢詩俳句美術その他各般の御趣味に富ませ給ひ官邸でも草山でもその他の御泊所に於ても御閑暇の折には御獨りで靜かに書冊に親しませたまふのを拜した。書畫その他美術品も少々選擇して台覽に供したが御鑑識の深くあらせらるゝに恐入つた。臺灣府誌その他臺灣に關する古文獻數十種が御泊所のホールの書棚に陳列してあつたのが御眼に留つて見たいとの御思召があり私が一々取出して台覽に供した。殿下には特に御興味を感ぜられ約二時間に亘つて精細に閲覽遊ばされた。かく御趣味の豐富であらせらるゝ爲めに御多忙にあらせられた長日の御滯臺中の御旅情も私の御心配申上げた程には索莫であらせられなかつたやに拜察する。

今や御滯りもなく大任を果させ給ひ御機嫌麗はしく御離臺遊ばされた事は島民一同の衷心より欽喜し感激し奉る所であり而して優渥なる令旨と御慈しみ深き御盛徳とは一同の肝に銘じて必ずや鴻恩に酬ひ奉らんことを期する次第である。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

告別の辭

上山前總督

不肖曩に大命を拜して總督の重任に就き一視同仁の聖旨を奉戴して與に本臺灣の統治に日夜心神を盡し來つたのであるが微力不德加ふるに在任の日も深からずして未だ聖恩の萬一にも酬ひ奉ること能はず又島民各位の期待にも副ふことを得ざりしは洵に慚愧に堪へざる次第である。然るに今般久邇宮殿下御渡臺に當り測らずも臺中に於て不祥事件の突發を見るに至り闕外の重職を荷ふ總督として御警衞不行屆の罪萬死も尙免ざるを痛感し恐懼謹愼直に骸骨を乞ひ奉り今日玆に御聽許の恩命に浴するに至つたのである。南門の鎖鑰たる我臺灣が帝國の一部を構成するに至つてより玆に三十餘年深く皇化の恩澤に浴し着々として渾然たる融合の境地に進みつゝあることは慶賀に堪へざる所で今回の不祥事件の犯人も本島出身にあらず身を挺して之を取押へたる警察官が本島出身者なりしこと等は恐懼に堪へざる中にも幾分心を慰むるに足る事柄であつた。不肖は臺灣島民が將來益々皇室の御繁榮と王土の開化に貢獻すべきことを確信して疑はない。不肖は玆に更めて在任中多大の御懇情と熱誠なる御後援とを惜まれざりし島內官民各位に對し衷心感謝の意を表する。願くは將來益々我臺灣の向上發達の爲に奮鬪努力せられんことを。不肖今此の任を去ると雖も我臺灣を愛するの念慮は愈々深く前途益々多端なるべき我臺灣の爲めに餘生のあらん限り微力を捧ぐる覺悟である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特報

陸軍特命檢閱使
久邇大將宮邦彥王殿下御來臺

〔五月二十三日〕 御召船は午前七時大將旗を檣頭高く揭げて馬公入港。殿下は汽艇白山丸にて八時五十分御上陸、在鄉軍人分會の覲閱を終らせられ、非公式に司令官々邸に御入りになり賜謁場にて荒木司令官、木藤大隊長等の賜謁式あり終つて三浦分會長以下に謁を賜ひ、午前九時同邸御發松島記念館に入らせられ、別館から四圍の風光を御覽遊ばされ陳列の澎湖特產品の臺覽もありいと御滿足の態に拜された。午後七時になるや豫ねて計畫中の蛸取りの漁火は炎々として天を焦し馬公灣一帶に輝き漁火水に映して其の光景、壯絕、美觀言ふべからず、宮殿下にはこの光景をいと御興深く御覽遊ばされた。

〔五月二十四日〕 午前九時司令部御著。直ちに計理室に於て荒城司令官の狀況報告あり、書類の御查閱を終へさせられ、ついで同司令官統裁の下に將校全員に對し圖上戰術あり、構內御巡視を終へて將校下士

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全員の擊劍の御査閲あり、かくて午後零時三十分同所御發御泊所御歸還。再び同五十五分御泊所發同二時憲兵分隊御著。田原同分隊長の狀況報告を御聽取各種御檢閲を順調に終へさせられ同三時同所御發白山丸に御乘船四時通霄御著、神木榕樹等を御興味深く御覽あり同四時過同所御發、五時馬公棧橋御著御泊所に入らせられた。

〔五月二十五日〕 午前八時重砲兵大隊御著。大隊長の統裁の下に閲兵竝に軍裝檢査あり、終つて大隊本部前において記念御手植ありて大隊長の狀況報告を聽取あらせられ書類の査閲あり續いて營內巡視次で第二中隊長の精神訓話竝に試問を聞召され、十時三十分から零時迄大隊長統裁官となつて將校全部の圖上戰術あり、午後一時から全將校に對して兵器に關する諮問及び擊劍ありて檢閲を終らせられ、二時十分衞戍病院著同所の檢閲を終へられ直に第二棧橋から陸軍白山丸で馬公要港內を航行約三十分にして鷄母塢陸軍棧橋御著鷄母塢砲臺巡視を詳細に遊ばされ、午後五時御泊所に御歸著遊ばされた。因に檢閲使各隨員は去る二十三日以來各自實地又は書類の査閲を行ひ、二十五日午後六時半からは大山砲臺において は牧野要塞參謀の下士官全員に對する試問及び木藤大隊長統裁官となり第二中隊の海岸砲中隊敎練の査閲を行ひ九時無事終了した。

〔五月二十六日〕 御泊所玄關において記念撮影を遊ばされ九時三十分發クルーベ中將碑に御立寄になり、馬公小學校において小公學校聯合體操をしばし御覽あらせられ、それより陸軍墓地御著、一々各塚に向はせられ脫帽の禮を賜り墓碑に草花を捧げられ、直に海軍水源地に向はせられ、十時二十分十時五

十分御泊所に御著遊ばされた。午後二時から澎湖廳會　室に於て增永廳長以下及び陸海軍將校三十八名に御茶を賜り、二時四十分御泊所御歸還、午後七時御發七時五分白山丸にて御召船御移乘、斯くて八時開城丸は大將旗を檣頭高く飜へし港外へ其の影を消した。

〔五月二十七日〕　午前五時十五分御召船開城丸は靜かに波を蹴つて高雄入港、六時御上陸、自動車に召され御休所壽山館に入らせられ、七時四十五分高雄驛御著臺北に向はせられ、午後四時四十五分臺北御著御泊所官邸へ入らせられた。

〔五月二十八日〕　二十八九兩日臺北州海山郡に於ける步兵第一聯隊及び山砲隊聯合演習御檢閲の筈であつた殿下には、二十八日は御都合に依り御取止めとなつた。尙ほ聯合演習は細木守備隊司令官の統監の下に東西兩軍に別れ東軍(實員軍)は長山步兵第一聯隊長司令し西軍(假設敵)は楢溝中佐之れを指揮して二十八日夜を挾んで兩日に亘り海山郡下に於て演習したが東軍は本日午前八時臺北練兵場を發し行動を始めたが兩軍に與へられたる演習想定は次の如くである。

臺中方面より來れる西軍(假設軍)は二十八日午前十一時半桃園著。東軍(臺北步兵聯隊及び山砲隊を以てする實員)は平地進出の目的を以て基隆方面より臺北を經て縱貫道路を敵の一部を驅逐しつゝ前進しつゝある。東軍第一支隊の主力は二十八日午前五時新竹州方面より前進し來れる敵の主力と新路坑附近で遭遇目下攻擊準備中である。尙敵は近く後屬部隊を有するものゝ如く淡水河方面から鶯歌庄西方に進出して師團主力の作戰を容易ならしむべき任務を有す。東軍の左側支隊は二十八日臺北土城山峽路を前進

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し同日午後山峽附近淡水河右岸に達し諸偵察の結果東軍長山支隊長は山峽西方約二キロ米の渡舟場附近より同下流約一キロ米の合流點附近に於て午後五時より渡河を決行するに決した。彼我兩軍は新路坑附近で鶯路坑の敵と對峙し鶯歌北方高地に在るもの丶如し。

〔五月二十九日〕 午前五時五十分鶯歌驛に御下車尖山々麓に向はせられ、六時廿五分演習御實視場たる桃園高臺裾の百三十高地御著、天幕張りの御實視場に入らせられ、まさに火蓋を切らんとする拂曉戰より昨夜の夜間に迄溯つた演習の狀況を細木統裁官より御聽取になり鳶山の古戰場を前に眺めさせ給ひつ丶御觀戰あらせられ、七時十分演習中止となり、御休憩所尖山公學校にならせられ學校長以下に謁を給ひ午前九時より同校々庭に行はれた細木統裁官の演習講話を聞こし召され、九時卅五分鶯歌御著、十時八時御歸北御泊所に御歸還。午後一時卅分御泊所御發士林御經由午後二時七分草山貴賓館に成らせられた。

〔五月三十日〕 二十九日御微行にて草山に御成遊ばされた久邇宮殿下には午後一時御泊所御歸還。三時から御賜茶の儀に臨ませられた。總督は午後六時半から官邸内において殿下に御晩餐を奉呈、散會午後八時。尙ほ殿下の島内各御成先きに於ける御動靜は總て活動フィルムに收めてあつたが同夜殿下の台覽に供した。因に同フィルムは記念として殿下に献上することになつた。

〔五月三十一日〕 月餘に渡る特命檢閲を終らせ給ひし宮殿下には午前十一時御泊所たる總督官邸に田中軍司令官及び佐藤參謀長を召され、約三十分間に渡つて、御檢閲遊ばされたる本島陸軍の軍情を御講評遊ばされ、田中軍司令官に對して優渥なる御訓示を給つた。終つて宮殿下には軍司令官官邸に於ける午餐

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會に臨ませられ一時半御退出になり、午後六時半から總督官邸に於いて總督府側文官二十五名軍部武官二十二名に對し御賜餐の儀があつた。

〔六月一日〕 午前七時四十五分自動車に召され御泊所を御出發。雨中堵列の奉送者に一々擧手の御會釋を遊ばされ、臺北驛御著。驛禮砲の響きの裡に基隆に向はせられた。九時驛前棧橋より御召艇艀に御搭乘細雨けぶる中を扶桑丸に御乘船遊ばさるれば、サルンにて上山總督以下御前に伺候し、夫々御名殘の挨拶を申上げ、殿下には御機嫌殊に麗はしく何くれと御言葉あり一同感激恐懼して退船した。やがて扶桑丸は午前九時廿分、碇泊中の大小汽船十數隻一齊に汽笛をならして各船員の登舷禮裡に奉送申上げた。

時報

始政記念日

六月十七日の始政記念日には臺灣神社の記念祝賀祭典を始め全島各官衙學校何れも記念祝賀式を擧行し又各官廳及都市に於ては祝賀會を開催した。

臺中不詳事件

特命檢閲使久邇宮邦彦王殿下には五月十二日臺中市へ御成あり、第三大隊の御檢閲を終へさせられ同十四日臺北に向はせらるべく午前九時五十分御泊所を御發遊ばされたが、御召自動車が同市大正町一丁目州立圖書館前に差懸りたる際、奉送堵列中の公學校兒童の後方一般拜觀者中に在つた一兇漢は突如御召自動車に向つて走り出で、畏多くも短刀を以て殿下に危害を加へ奉らんとしたるも及ばず、此のとき御陪乘の御附武官は身を以つて殿下を御庇ひ申上げ、同時に運轉手臺に在つた警衛員は急遽車外側に進出して之を抑止せんとする所あり、其の瞬間自動車の進行に伴ひ間隔を生じたので犯人は短刀を殿下に投げ附けたが、御身邊に觸れずして運轉手の左背部に中り微傷を負はしめた。犯人は直に逃走を企てたるも堵列奉送中の公學校訓導巡査に逮捕せられた。右犯人は取調の結果今日(六月十四日)迄に判明した所に依れば朝鮮出身趙明河當廿四年にして昨年十一月七日來臺、臺中市に到り宮城縣人明河豊雄と稱し茶舖富貴園に店員として住込み實直に働きたるも、其後增給等も行はれず收入少く事全く豫期に反し、失望落膽の極厭世自殺を決意するに至り、其用具として短刀を購入し自殺を決行せんとしたが機を得ず、偶々五月十四日殿下臺中御出發に際し自殺を遂げるに先ち、畏多くも殿下に危害を加へ奉らんとの逆心を起すに至つたるものゝ如く、本件決行前、豫め犯人は兼ねて所持せる鹽酸モルヒネを嚥下し逮捕の後嘔吐したるも一時意識不鮮明に陷つた事實がある。右の如く目下の所犯人は計畫的考慮手段に出でたものに非ず他に連累者なく

全く偶然なる發意に依つて斯かる不逞行爲を爲したるものと思料せらる。右行爲は刑法第七十五條に該當するものとして七月七日公判に附せらるゝことゝなつた。

上山前總督謹話

久邇大將宮殿下が特命檢閲使として臺灣軍御檢閲の途次臺中市に於て不祥事を惹起せるは眞に恐懼に堪へぬ次第である。唯不幸中の幸とも申すべきは殿下の御身に何等の御障りあらせられず御機嫌麗はしく御豫定通り御職務を御果し遊ばされ御歸京あらせられたことである。斯くの如き事件に關聯し益々殿下の御德の程を拜し奉り實に感激に堪へませぬ。承る所に依れば事件の突發した時殿下には極めて御冷靜な態度にあらせられ毫も平常とお變りあらせられずその後沿道の軍隊、學校生徒、一般奉迎送者に對しても一々御會釋を賜はり停車場に御著きあり停車場にては御微笑をさへ含ませられ給うて居られた。奉迎者も何等事件發生を知らず後に至り事の次第を聞き殿下の當時の御態度を思ひ合はせ感激の念に打れないものはなかつた。臺北驛に著かせられた時は臺北市民は停車場に深き沈痛の色もて殿下を御迎へ申せしに殿下には御機嫌麗はしくいつもと御變りなき重厚の態度にて一々會釋を賜はりたるより一同ホツト胸撫で下ろした樣な次第であつた。臺北御歸還後も事件に就ては何等心に懸けさせられて居る樣に拜せられぬ御心の宏大なるに恐懼して居る樣な次第であつた。殊に難有く思つたことは臺中市民代表が余を訪問し臺中市民は臺中に於て斯くの如き不祥事件を發生せることは全く恐懼措く所を知らず自發的に歌舞音曲を停止し活動寫眞の營業すら一日休んで謹愼の意を表したことである。尚茶舖富貴園主人は謹愼の極店舖を閉ぢたのみならず子供の通學も止めさせる旨申出でたので此旨殿下に言上せるに殿下には夫程迄にしては氣の毒である歌舞音曲も遠慮するに及ばぬ茶店も店を開き平常通り營業せよとの有難き御諚を拜せる事で其旨市民に傳へたるに市民は今更の如く感激に打たれた。尚事件發生後に於ても御職務上の御行動は勿論例へば角板山、草山等への御成りも御豫定通り變更あらせられず總て御豫定通り御成りあらせられたことは民情其他總ての點から見て總督府としては誠に有難く存じて居る次第である。本日豫審終結し玆に事件の内容を發表さるゝに當り謹んで恐懼の意を表し殿下御盛德の一端を述べる次第であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上山總督辭任

上山總督は今回の不祥事件に深く責任を感じ、自發的に辭表を呈出中であつたが、之に對し田中首相は引留めず意に委すことゝなり、後任を川村竹治氏と決定して閣僚の諒解を求め六月十六日赤坂離宮に於て親任式を左の如く行はせられた。

従四位勳三等　川村竹治

任臺灣總督

臺灣總督　上山滿之進

依願免本官

教育課長會議

全島教育課長並に廳庶務課長事務打合會は五月二十四日午前十時から督府文教局長室で開催、後藤總務長官の訓示後石黑文教局長の挨拶あり直ちに協議に入つた。協議事項左の通り。

聽取事項

一、昭和四年度に於ける國庫教育費豫算要求に關する件

一、昭和三四年度に於ける各州廳の重なる施設計畫に關する件

一、昭和二年度開催せられたる各種會議に於ける文教局主管事務に關する訓示及注意事項其の他諸通牒に就き之が實施状況に關する件

打合事項

一、學事視察指導旅費豫算に關する件

一、體育奬勵費を州費に計上し體育協會支部を援助し積極的に指導發進を圖る件

一、御大典記念事業に關する件

一、小公學校教員の需給關係に關する件

一、方面委員費補助に關する件

一、昭和三年度全島方面委員大會を來る八月臺中に於いて開催する件

一、青年團指導者講習會講師招聘に關する件

一、御大典を記念すべき社寺、社會事業及社會教育關係事業に關する件

一、國語演習會に關する件

一、學事講習會に關する件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

注意事項

一、夏季休業中の教育諸施設の件
一、臺灣教員檢定に關する件
一、私立學校提出書類の進達に關する件
一、視學の學事視察報告に關する件
一、書房義塾の取締に關する件
一、學事集會に關する件
一、學校教育の內容充實に關する件
一、教科書拂下方に關する件
一、阿里山林間學校の利用方に關する件
一、委託生の就職に關する件
一、學齡兒童調べに關する件
一、學事統計報告期限勵行に關する件
一、體育奬勵を目的とせる諸團體の統一に關する件
一、臺灣地方待遇職員令に關する件
一、教育會費納付方に關する件
一、教育會會員入退會に關する件
一、美術展覽會に關する件

尙二十五、六日も續行した。

臺灣低資貸出手續規定

第六回臺灣低利資金貸出として本年第二回目の二百萬圓融資あること既報の如くであるが其の貸出手續に關する規定は左の如くである。

第一條　本資金は臺灣に於ける公共團體及產業組合の事業に對し供給するものとす。

第二條　本資金の貸出は左の順序に依る。

一、事業費　二、舊債償還

第三條　本資金は成るべく多數の者に融通の便を得しむるを目的とし同一團體に對する貸付は特別の事情あるものゝ外二十萬圓以內とす。

第四條　貸付は定期年賦の二種とし左の規定に依るものとす。

一、定期貸五箇年以內
但し利息は年二回拂込とし元金は成るべく數回に分割償還せしむること

二、年賦貸二十箇年以內（內五箇年以內の元金据置期間を設くることを得）

第五條　貸付利息は年六分とす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第六條　各事業主體に對する本資金の割當に付ては豫め大藏省預金部に合議し其の承認を受くるものとす。

第七條　前條に依り各事業主體に對する割當額確定したるときは日本勸業銀行と其の供給方法其の他必要なる事項と協議決定の上供給決定報告書を大藏省に提出するものとす。

第八條　本資金の供給決定通知を受けたる事業主體は通知を受けたる日より三箇月間に直接日本勸業銀行に對し資金借入の手續を爲すべし若し前項の期間内に借入の手續を開始せざるときは供給決定は其の效力を失ふ、但し特別の事由に依り臺灣總督の認可を受けたるときは此の限に非ず。

第九條　日本勸業銀行借入申込者の業務及財產の必要ありと認めたるときは事由を具し直に臺灣總督府に申出づべし。

臺灣總督府前項の申出を受けたるときは大藏省預金部と合議の上適宜の處置を爲すべし。

第十條　日本勸業銀行本資金の貸付を爲したるときは其の貸付先貸付金の用途貸付金額償還期限及貸付年月日を一月毎に區別して毎月一回之を取纏め大藏省及臺灣總督府に報告すべし。

本資金の償還なりたるとき前項に同じ。

第十一條　債務者は隨時大藏省若は臺灣總督府の實地調査を受け又は命ずる報告書を提出すべし。

第十二條　債務者は本借入金を受領し支拂を爲すに至る迄の間成るべく之を郵便貯金に預入れ又は日本勸業銀行に預入るべし。

第十三條　債務者本借入資金を供給決定當時の目的外に使用し又は借入後六月以上使用せざるときは之を返還せしむるものとす。

臺灣專賣取締規則改正

現行臺灣專賣取締規則は明治三十八年施行今日迄前後六回に亘つて改正を加へたものであるが尚幾多不備の點あるを認め今回總督府では一大改革を加へ六月二日の府報を以て公布し七月一日より實施することになつた。而して此改正規則は煙草耕作規定より賣捌人、小賣人に至るまで頗る廣汎なる範圍に亘り現行法に根本的に改革が行はれたもので其の要點を擧ぐれば、

從來煙草耕作申請許可は地方廳に於て行つて居たものを今回は其の權限を擴張し專賣局長に移管され同時に又從

來地方廳にて取扱つて居た煙草賣捌人及小賣人の選定許可も專賣局長直接之を取扱ふ事になつた。之に依つて從來事務執行上多大の不便を感じて居た煙草賣捌規則其の額賣渡代金の納附延納代金の擔保擔保引替買戻し等の事務に關する實際的支障は除去され完く販賣制度の確立を見たので今後は賣捌人小賣人の監督上の萬全を期する事になつた。

臺灣正米市場開場

臺灣正米市場は六月五日午前十時半から初立會を行ふた。立會場は永樂町移出同業組合の二階を充て組合員たる移出商、仲立業者を始め組合員外の米業者殊に中壢、新竹、桃園、板橋地方の籾摺業者の參觀者を合せて三十餘名、劈頭中山常務理事の挨拶があつて取引に移つたが、朝來降雨冷氣の爲北部蓬萊米の作柄案じと出廻薄の爲め、期近の六月二十日限は高氣配で、先づ瑞泰から十四圓七十錢の賣聲を擧げたが之に對する買聲は方協豐の十四圓四十錢で三十錢の開きがあるので出合はず姑らくして和豐が十四圓五十錢賣を叫び結局此の値で二車出來たのを皮切りに中限十四圓二十五錢で二車、先限十四圓で二車、十四圓〇五錢で三口六車合計十二車一千三百二十袋の商內出來した。何分大阪定期が朝來殆ど釘附保合であつたから正米市場の人氣も大體變化なく期米前場止のは入るを待つて十一時半頃目出度初立會を終つた。

臺灣正米市場（五日）

一期蓬萊米

賣方	買方	數量	出來值
◇六月二十日限			
和豐	瑞泰	二車	一四・五〇
◇同七月五日限			
瑞泰	和豐	二車	一四・二五
◇同七月二十日限			
市川	三井	二車	一四・〇〇
方協豐	瑞泰	二車	一四・〇五
市川	三井	二車	一四・〇五
和豐	三井	二車	一四・〇五

精白糖の協定條件

五月二十五日調印を了した精糖及耕地白糖協定の條件左の通り。

一、協定期間は昭和三年五月二十五日より同年十二月末迄

二、協定割當額以上製成したるものは違約金として一擔金參圓徵收のこと。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、各社は毎月の溶解高を所轄官廳の證明を附し其の都度聯合會に提出すること。

四、耕地白糖は協定成立後臺灣に於て生産したるものは昭和三年十二月三十一日以内に於て倉出せざること。

五、輸移出向品を內地向品に振替へたる時は內地向品とすること。

六、各社は協定の主旨を尊重し朝鮮より自社又は他人名義を以て移入又は逆移入をせざること。

七、右に違反したる場合は內地供給數量より其の數量を差引くこと。

八、本協定に基き各社間に於ては常に協定の趣旨を以て市價の協調を保つこと。

尚協定數量は精糖三百三十萬擔、耕地白糖百十五萬擔合計四百四十五萬擔にして之を各社別にすれば左の通り。

（單位擔）

	精糖	耕地白糖
大日本	九九六、六〇〇	一〇〇、〇〇〇
臺灣	六〇〇、六〇〇	三二〇、〇〇〇
明治	七七八、八〇〇	二三〇、〇〇〇
鹽水港	四七一、九〇〇	五〇〇、〇〇〇
大正	三五六、四〇〇	—
新高	九五、七〇〇	—
計	三、三〇〇、〇〇〇	一、一五〇、〇〇〇

本期製糖總決算

六月十六日總督府特產課から發表された新式製糖工場の昭和二三年期實績は

◆二、三年期（今期）

原料	八、五六〇、一六〇、一二〇斤
產糖	九、五二七、六九三擔二三斤
步留	一一、一三%

◆一、二年期　前期

原料	六、四八九、六五九、三一〇斤
產糖	六、七一〇、一八四擔三七斤
步留	一〇、三四%

卽ち前期に比し原料に於て二十億七千五十萬八十斤、產糖高に於て二百八十一萬七千五百八擔六十六斤を增加し步留では七厘九毛の增加率で用糖高步留共に臺灣糖業創始以來の最高、記錄を作つた。右の外原料糖に依る產糖高十九萬二千四百三十七擔當來期持越年製品一千九百六十八擔ある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

原料壓搾高（千斤以下切捨）

会社	今期	前期
臺灣	一、九七四、三六六千斤	一、五六一、〇八〇千斤
新興	一〇一、三五四	九〇、二五〇
明治	一、七四六、二〇七	八四四、九四七
大日本	一、六二一、一七五	六九四、一一七
鹽水港	一、〇八八、四七二	九〇四、三四六
新高	六三九、〇一五	五六二、七二一
帝國	一、〇三二、四一二	八四五、六一〇
昭和	二二四、六九三（臺南）	一三五、六一八
臺東	二七、二〇七	四七、九六一
新竹	三八、三八三	二六、〇〇八
沙鹿	六六、八七三	四三、〇三一
東洋	—	八一一、六三七
恒春	—	一二、三二七
計	八、五六〇、一六〇	六、四八九、六五九

尚產糖高と步留を示せば

会社	今期產糖	同步留
臺灣	二、三七七、七八九擔	一二、〇四
新興	一〇〇、五二〇	九、九〇
明治	一、八七九、六六四	一〇、七六
大日本	一、七九五、八九七	一一、〇七
鹽水港	一、二〇八、九四五	一一、一〇
新高	六七〇、四一九	一〇、四九
帝國	一、一四六、二七一	一二、一〇
昭和	二一二、六四三	九、四六
臺東	三〇、〇四九	一一、〇五
新竹	四〇、四三七	一〇、五四
沙鹿	六五、〇五七	九、七九
計	九、五二七、六九三	一一、一三

來期糖の協定

來年度糖の協定は加入會社の供給總數量を一千二百六十萬擔とし、之が種類別割當額を二種糖四、七〇〇、〇〇〇擔、一種一、〇〇〇、〇〇〇擔、耕地白糖一、六〇〇、〇〇〇擔、原料糖五、〇三〇、〇〇〇擔、とすることに六月十六日の細目協定委員會にて決定した。右協定は從來のものと異なり、單に臺灣產糖のみに止まらず、今迄除外してあつた北海道甜菜工場（明糖と北糖）朝鮮甜菜工場（日糖）南洋サイパン島工場（南洋興發）沖繩（臺南製糖）大東島（日糖）の產糖をも入れ、全日本を包含したる大がかりのものであつて、右の內臺灣產糖と其他の產糖の割合は未だ發表されてゐないが、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右一千二百六十萬擔は日本全土の消費に對する供給高であつて、それ以上の產糖は棚上又は輸出に振向けることになつてゐる。

六月十四日の協議會にて決定した來期需給調節協定の大綱左の通り

一、本協定の加盟會社は糖業聯合會々員ならびに大正製糖南洋興發、北海道製糖とす

二、內地、臺灣、朝鮮、沖繩、大東島、北海道、樺太、南洋廳管內を協定區域とす

三、加盟會社の前項地域內に於ける砂糖供給量（赤糖、白下糖、黑糖を除く）を一千二百六十萬擔とす

四、前項供給數量以上の產糖は棚上又は輸出となす

五、協定地域內に供給する精糖、耕地白糖その他の原料としては別に定むる方法により加盟各社の原料糖を使用する事但し第三項の數量以下に減產したる場合はその減產したる數量に限り外糖を使用すること

六、原料糖の賣買値段は爪哇中双を標準とす

七、協定期間は昭和四年一月一日より同年十二月末日迄とす

但し甜菜糖および臺灣島內消費に關しては別に之を定む

尙ほ糖種別割當數量の各社割當、原料糖義務使用數量及同賣買數量其他の細目は今後の委員會で案を作成し決定することゝなるべく右決定迄には尙幾多の曲折は免れないであらうが此の大規模なる協定によつて從來最も難問題とされて居た朝鮮關係が圓滿解決し所謂協定なるものが單に聯合會のみに止まらず製糖業者全體の力ある協調と共に有意義にして依賴に足るものであることを一般から希望されてゐる。

荷役合同

六月十三日官廳側と民間當業者會合の席上に於て木下總長より總督府が巨萬の資金を投じ南北兩港の岸壁の改善、鐵筋コンクリートの三階建上屋倉庫が出來上り更に四軒も出來上る。又高雄も時勢に順應して改善する事となつてゐる。然るに港灣の設備は出來てゐるも海陸運送の統一を缺いてゐる。結果徒らに競爭を事としその設備が役所の設備の港灣に順じなく、有力な機關の運用が出來ない。然るに臺灣荷役運輸の現勢を見るに輸移出入貨物は逐年遞增しゐる。今日內外に信用ある實力を發揮し港灣關係の諸機關を打つて一丸と爲し完全なる新會社に對し有料で貸下げると云ふ事は產業發達改善及び各荷主の爲めに最も荷役を迅速にし最も有

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

力にして信頼ある荷役會社を設立して充分なる機能を發揮し得る會社に特權を付與し當局が監督權を持つて充分監督したい。而して新會社の限定範圍は本船浮船揚卸しを限度として陸上運送業者に支障のない範圍である。尤も新會社にして利益のみを目的とし荷主に對し不利不便なる際は何時でも特權を取消す場合がある。而してその合同の範圍は現在高雄基隆に於て直接海陸荷役、倉庫業に從事してゐる者をその範圍として合同せしめ鐵道運輸等陸上のものは包含してない。要するに南北兩港に於ける岸壁の全體に亘る起重機、倉庫の使用權を與へ岸壁を通過するものは全部新會社の使用特權となる。但し石炭は除外例である。尙ほ新會社の創立は役所側は中心とならず民間關係の人々に於て設立する事とし若し萬一新會社にして荷役上の關係で甘く行かぬ場合は適當なる考慮の下に役所に於て之を實行する場合もある。又今回の合同に際し關係會社が特別の理由なくして不當にして且つ不穩なる行動に出ずるものに對しては深甚なる考慮を拂ふと云ふが如き說明あつたに對し總長指名により五名の實行委員を指名したが同合同問題は本島産業に重大關係を有し多數の關係會社もあるので假に臺灣倉庫の如きは當然解體する事となるであらうがいよ／＼開始した以上本島荷役運輸の改善を運用し當局の意のある所を帶し目的達成に向ふであらう

蓬萊米　混保廢止

基隆に於ける移出米の混合保管が蓬萊米の聲價發揚を妨げ事故發生の場合に於ける責任の歸屬を不分明ならしめ、諸種の紛擾續出に依つて本島米の取引を惡化する弊害は識者の夙に認むる所で之が保管方法を改善することは蓬萊米の增産と共に益々急務視せられ殊に六月一日より正米市場を再開することゝなつた以上、その受渡整備を期する爲めにも混合保管を箇別保管に改むることはその必須なる前提條件として高唱せらるゝ所であつたが、臺灣倉庫會社に於ては周圍の形勢と輿論に鑑み、愈々意を決して六月十五日以降基隆港に到著する臺灣米の混合保管を廢止し、箇別保管を實施することゝなつた。即ち同社の臺灣米保管改正要項左の如し

一、六月十五日以降到著する臺灣米は混合保管を廢し個別保管となす、但し滿庫の場合は一時寄託を謝絕することあるべし

二、荷捌期間は到著の日より一週間とす

三、荷捌期間經過後は規定保管料(火災保險附)を申受くる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

事、但保管料は貨物引受主より申受く
四、當社は天災地變其他の不可抗力及氣候の變遷防疫蟲鼠害、貨物の性質に基きたる變敗等より生せる損害は賠償の責に任せす

臺東廳下蕃人國語普及調

臺東廳下の蕃人で現在蕃童教育所或は官公立公學校其他各種講習所に於ける在學者は、アミ族男千百七十五名、女千百二十八名、パイワン族男六百七十七名、女五百十八名、ブヌン族男百六名、女三十八名、ヤミ族男十名、女五名、計三千六百五十七名、卒業者修了者半途退學者、アミ族男六千三百二十四名、女三千二百五十三名、パイワン族男千九百九十八名、女七百八十四名、ブヌン族男七十三名、女十六名、計一萬二千四百四十八名、未教育者、アミ族男百八十二名、女百十三名、パイワン族男八百二十一名、女五百六十二名、ブヌン族男二百三十四名、女百二十六名、計二千三十八名で、此の内最も良く母國人と變らない程度に國語を解するもの在學者、男百七十七名、女百二十五名、卒業者修了者其他の男四百九十名、女百六十九名、未教育者男二十一名、女九名、計男六百八十八名、女三百三名、充分に國語で話し得る者在學者、男九百四名、女七百四十四名、卒業者修了者其他の男二千五百七十五名、女二千八百七十九名、未教育者男三百三十一名、女百六十九名、男三千八百十名、女千百二十一名、相當日用語を解する者在學者男八百八十七名、女八百十七名、卒業者修了者其他の男五千三百三十名、女二千八百七十九名、未教育者男八百八十五名、女六百二十三名、計男七千百二名、女四千三百十九名、總計一萬八千百四十三名の蕃人は國語の普及に依つて何れも相當に國語を解するに至つた。

本島農業統計　農家戸數

總督府當局の調査に依れば昭和二年末現在における本島農家戸數は三十九萬八千九百三戸農業人口二百四十萬一千八百十六人に達してゐるが其内譯を各州廳別に示せば左の通りである

州廳名	戸數	人口
臺北	四五、七六三	三一四、五五九
新竹	五二、四五八	三七四、四〇八
臺中	九〇、九一四	五五六、七二三
臺南	一二二、三六六	六七四、七九九
高雄	六五、〇六九	三六一、四五八
臺東	四、七九六	三四、四五七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

花蓮港	七、一九三	四〇、五七三
澎湖	八、三四四	四四、八三九
計	三九八、九〇三	二、四〇一、八一六

而してこれを前年に比すれば農家戸數に於て三千八十五戸（七厘八毛）農業人口に於て二萬四千七百六十九人（一分四毛）の何れも增加を示してゐる。尙ほ昭和二年末全島の總戸數七十七萬三千百九十五戸に對し農家戸數は五十二パーセントを占め、前年のそれより一パーセントの增加を示し、農業の益々優勢なる歩みをなしつゝあるを見ると共に、更に其の內容に就て觀察すれば、前年より三千八十五戸の增加を來せしは、自作農に於て二千二百九十六戸增、自作兼小作農において二千七百九十戸を增加したるによるもので、小作農は却つて千九百二十戸を減少してゐる。卽ち此の大勢は近年本島農業の健全なる進み方をなしつゝあることを一層明かに裏書するものといはねばならぬ。

田畑面積

本島における農業の進歩發達と水利及び開墾事業等の普及に伴ひ田畑の增加は著しいものである昭和二年末現在の田面積は兩期作田二十八萬八千八百六十二甲四分九厘、單期作田中の第一期作一萬五千百六十一甲七分八厘、第二期作田九萬五千百二十六甲七分六厘、計三十九萬九千百五十一甲三厘、畑は四十二萬二千三百二十二甲三分一厘、合計八十二萬一千四百七十三甲三分四厘にのぼつてゐるが田畑面積を各州廳別に示せば

州廳名	田	畑
臺北	五五、五九八、七八甲	三五、二八三、四三甲
新竹	八〇、四八三、〇〇	五九、八五九、七八
臺中	九六、二八六、一一	六三、九一〇、五八
臺南	九〇、三九三、八七	一七〇、一三八、九九
高雄	六三、八五〇、三五	六三、七〇六、八六
臺東	五、〇〇三、七七	九、一四五、四一
花蓮港	七、五三五、一五	一二、五一六、〇四
澎湖	—	七、七六〇、二二
計	三九九、一五一、〇三	四二二、三二二、三一

尙ほ右田畑面積を昭和元年に比すれば、田五千二百七甲六分九厘、畑千七百十九甲九分六厘、合計六千九百二十七甲六分五厘の增加である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

烏山嶺隧道貫通

嘉南大圳の烏山嶺隧道の堀鑿工事は、百八十萬圓を以て大倉組にて請負ひ大正十年より著手中で、爾來約七箇年を要したが、愈々六月十七日午後六時半を以てこの導坑が貫通した。烏山嶺隧道は曾文溪の水を官佃溪に引く設備で、之に依て導水し同溪畔にダムを築造し、其の間四里に灌水して嘉南大圳組合の灌漑用に供するもので、同大圳工事の重要部を爲すもので、尚ほダムの築造竣功までには尚ほ一箇年を要するとのことであるが、同工事中或は瓦斯が噴出したり或は石油が湧き或は粉砂その他の故障多々あり、之が爲め五十餘名の死傷をも生じたほどの難工事で、一時は其の前途を全く悲觀されたこともあつたが、大倉組にて幾多犧牲を拂うて大努力を爲した結果今回導孔の貫通を見たものである。全長實に一萬二百六十尺、臺灣に於ける最も長い隧道である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國に於ける繁榮の精神的基礎（上）

原口竹次郎

英國の著述家にエリス・バーカーといふ人がある。この人は最近或方面から聞くと、生れは獨逸のケルンといふところで、兩親ともユダヤ人ださうで、元ハッバーといふ獨逸流の名前を、英吉利に歸化して後、英吉利によくあるバーカーといふ名前に改めたといふことである。此人には、種々の著述がある。中その重なるものに、獨逸帝國成立の基礎、近代獨逸の起原發達、沒落及其將來、大英國の政治、陸海軍、産業、財政、社會問題より考察したる大英國、これは英吉利の現狀を觀察して、しつかりやらなければ獨逸に亡される危險あり、といふことを書いた書物であつて、歐洲戰爭前に出たが餘程反響のあつた書物である。英國の癌卽社會主義に就て、健康維持法等著述の外、英吉利の自由貿易主義に反對せる立場からした澤山の著述がある。ナインテイーンス・センチユリー・エンド・アフターなどいふ雜誌にも澤山の論文を載せてゐる。世

界產業に關する統計での權威者として相當認められてゐる。ナインティーンス・センチュリー・エンド・アフター誌に載つてゐた「石炭鐵及世界の支配」といふ書物は調查課で飜譯出版したことがある。氏は常に世界の產業に興味をもち研究してゐるが、特に北米合衆國の產業問題に就ては色々自分の研究を發表してゐる。最近 America's Secret「米國强盛の秘密」といふ四百頁位の書物を出した。

最近に於ける米國の物質的繁榮は、世界に於ける大なる問題であつて、諸君も既に其大體を御承知のことであると思ふが、今試みにエリス・バーカーの書物にのつてゐる米國の富の生產に關する統計を御覽にいれませう。

米國重要生產品の產額の世界の產額に對する割合%

金	20	電力	55
小麥	25	アルミニウム	60
鐵道(哩)	35	銅	60
鐵及鋼	40	棉花	66
鉛	40	石油	70
煙草	40	オイルセール	(註1)
銀	40	ゴム製品	70
木材	45	電話	70
亞鉛	50	玉蜀黍	75
皮革	50	自動車	85
燕麥	50	ミシン	85
石炭	52	農業用機械器具	85
		活動寫眞フイルム	(註2)

註(1) 主としてコロラド、ユータ、ワイオミング、ネバダ、キヤリフオーニアに產し、コロラド、ユータ兩州のセールだけでも二七〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇樽の油を產出し得ると言はれてゐる。一樽は八斗八升である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(2) 米國製フイルムの世界の産額に對する割合はパーカーの書にないが吾々が見るフイルムの大部分は米國品であることは、既に人の知る所である。

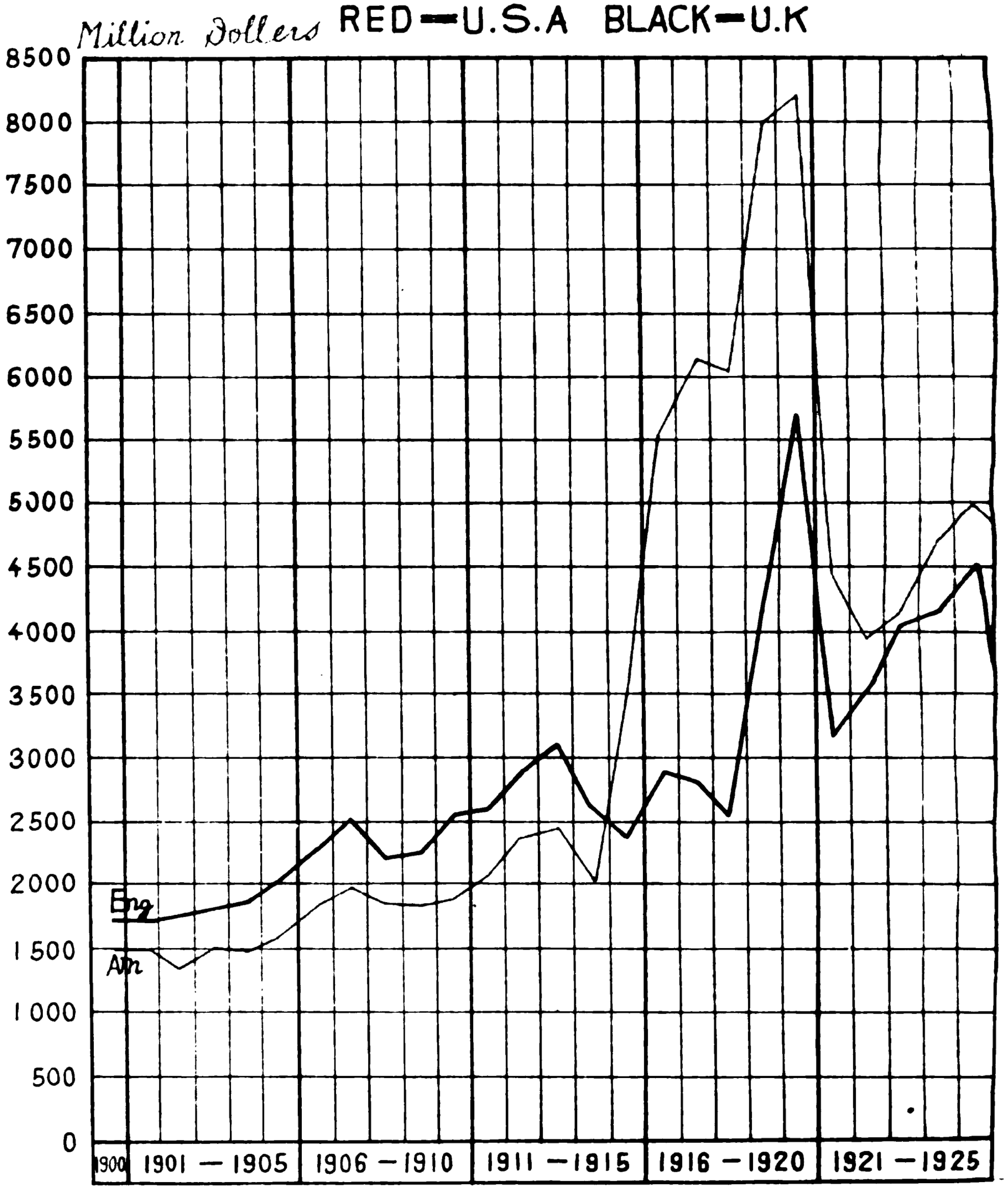
右は千九百二十五年即ち我大正十四年に於けるアメリカの重要生産品の總額の世界の總産額に對する割合を書いたものであつて、勿論この外にも、種々生産品はあるけれども、最も重なるものだけを擧げたのである。この表によると、世界に於ける金の總産額の約二割を米國は産出してゐる。小麥は二割五分、鐵道は哩數で三割五分、鐵と鋼四割、鉛四割、煙草四割、銀四割、木材四割五分、亞鉛五割、皮革五割、燕麥五割、石炭五割二分、火力に水力に依る電力五割五分、アルミニウム六割、銅六割、棉花六割六分、石油七割、自動車のタイヤ其他ゴム製品七割、電話七割、玉蜀黍七割五分、自動車とミシンと農業用機械とが八割五分である。ニウヨーク邊のアパートメントは無論のこと洒落た學生の寄宿でも、各部屋に一つ宛電話がついてゐる。邃に田舍の農家等にも、有線無線の電話がつけてあつて、大小の事變、殊に天氣豫報などは報告せられてゐる。兎に角世界に於ける電話の數の七割はアメリカにある。ニウヨークにあるテレフォンの數だけでも英吉利全體のものよりは多いのである。又この頃向ふから還つて來た人の話をきくと、ロスアンゼルスでは、自動車の數が住民三人に一臺の割合である。自動車で行くより歩く方が早いといふ。交點にゆくと交通整理巡査やなどに止められるので自動車は動くものでなく停るものだといふ位になつてゐるさうである。次はミシンですが、吾々が世界を歩いて見て、これ程行亘つてゐる文明の利器はないと思ひます。南洋の未開國ですら、津々浦々は勿論、どんな山間僻地にも、シンガーミシンはあります。かういふ風で、今世紀の初頃までは、英吉利が世界に於ける最も大なる工業國であつたけれども、最近に於てはアメリカが遥に英吉利を凌いでゐるのである。別に掲ぐる表は、千九百年から千九百二十五年(大正十四年)までの英米兩國の輸出貿易を比較したので、(單位百萬弗)私が米國の商務省の昨年の統計からとつたのである。

此の圖表で見ますと、今世紀の初頃は、英吉利の方が輸出貿易に於てアメリカを凌いでゐたが、歐洲戰爭の前後からアメリカの輸出額が多くなつて、今日と雖も英吉利より多くなつてゐる。十九世紀の半ばごろ、英吉利にリチヤード・コブデン（1804—1865）といふ政治家がゐました。其の人は英吉利は現に世界の工場であるのみならず、末代まで世界の工場として遺るであらうEngland is and will always remain, the workshop of the worldと言ひまして、是は有名な話となつてゐるが、然し、それは唯單にこの十九世紀のみにとゞまつて、今日では遙にアメリカが英吉利を凌駕してゐるのである。英吉利は、勿論今日でも相當な工業國であり、工業品を澤山出してゐるが、元々天產物が割合に乏しく、鐵石炭以外の原料はアメリカ其の他から仰いでゐる、といふ有樣で、輸出貿易も成程大きいが輸入は更に大きく、貿易外の收入によつて辛うじて辻褄を合せてゐるのである。兎に角アメリカが、今日世界のウォークショプである。

いま假りに、アメリカの輸出貿易品が、どれ位の勢力をもつて世界市場に殺到してゐるかを觀るために、臺北の實例に就て、申上げると、總督府の近くに、東京電氣株式會社がある。是は、日本の法律に依て出來てゐる株式會社で、名前だけ見ると、如何にも東京當りの資本家が集まつて作つた會社のやうに見ゆるが、純アメリカ系の電氣會社で、小賣は一切行はず、專ら臺灣の電氣事業を獨占せる臺灣電力會社を對手とし有名なマズダ・ランプ其の他のものを供給してゐるのである。次は本町の角にある寫眞機械の店ですが、此處に賣つてゐるコダック其の他高價な寫眞機械器具は、アメリカの製品であることはいふまでもないと思ひます。それから、榮町の通りに行きますと蓄音器の店がありますが、一基で低いのが三百圓高いのが千圓といふ優良品はアメリカのヴイクターといふ會社で造つたものである。江里口商店にゆくと、種々の計算機が澤山列べてある。一臺で千圓以上もするものがある。また英文のタイプライターは日本では出來ない。最近總督府の調査課で使用するつもりで居りますパワース式分類機は一臺八千圓、それに附屬してゐる檢査器穿孔器は皆アメリ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

MERCHANDISE EXPORTS
1900 — 1925
RED—U.S.A BLACK—U.K



From Commerce Statistics of the Bureau of Domestic & Foreign Commerce

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

カ品で、一揃ひで一萬二千圓からする。役所造りでも能率本位で仕事をして行くには、どうしても是等の米國製品を使用して行かなければならないのは遺憾なことです。次は、矢張り本町通りにある先程お話したシンガー・ミシンですが、家庭に無くてならぬ此の器械は全部アメリカの製品である。巴自動車柴田商會などで取次してゐる自動車ですが、最近内地は無論のこと、臺灣に於ても自動車の需要は激增しまして、昨年度内地を經て臺灣に移入された自動車は九十八萬圓に上つてゐる。近頃は一日平均三臺の新しい自動車が臺灣で賣れてゐるのである。ファイヤー・エンヂン、之れも無論アメリカの製品である。次は活動寫眞のフヰルム、これも殆どアメリカの品である。事務所に使ふ鋼製の机、本立、整理箱などが臺灣にも大分這入つて來てゐますが、之れは三菱製等少數のものを除きアメリカの製品である。丈夫で氣持よくできてゐる。それから、近藤商會、石黑商會などで賣つてゐるチーズ、バター、其の他の食料品、これも多くはアメリカ品で、アメリカ製の食品を賣る是等の店が立派に成立つてゐる。御承知のコーンビーフなど十四オンス入りの上等の牛肉だが、何でも五六十錢で買へる。其の安いこと到底國產の肉は比較にならぬ。但し水牛の肉などは別だ。肉屋から神戶肉をとつて、一度鋤燒でもすると七、八圓かゝるでせう。其れを高い運賃と關稅とを拂つて來たアメリカのもので濟すと、五、六十錢で濟せるといふものです。

かやうに、金の儲かる高級品は殆どアメリカの製品である。西洋の諺に There is always a room at the top といふのがありますが、不景氣の世の中でも人間に必要なる最高級品を作れば、安ければ勿論のこと、高くても、相當賣れる。アメリカは、右の原理を如實に應用してゐる。ケチなものを作るから、競爭品が多く賣れないのである。アメリカ商務省の內外貿易局長ジュリアス、クライン氏の書いたものゝ中に、「濠洲と新西蘭とは、米國の製造品が、多々益々彼等の需要を充すと考へてゐる。是等の國々に對する自動車、自動貨車、レディオ其の他の電氣機械、置時計、懷中時計、ピアノ、計算機、

タイプライター、其の他の金屬製品、護謨製品、及び其の他の輸出品は、數量の増加は眞に驚くべく、同時に輸入國たる是等の新興國が實に驚くべき速度を以て進歩せることを證明してゐる」とある。兎に角アメリカは、大量生産の方法によつて、よい物を安く造る、而もそれが世界人類の必要に適合した、萬人向きのものを造つてゐるため、殆んど洪水の如く到るところに氾濫して他國品を壓倒してゐるのである。

上述の如くにして、アメリカの富は、最近非常な勢ひをもつて増加しつゝある。今米國の國富を、世界に於ける重なる二、三の國々の其れに比較して見やう。日本では、日本銀行調査局で、不完全な國富の調査を二、三回やつたことがある。然し、稍々組織的に初め國富の調査をしたのは、國勢院でこれは大正八年である。是等を根據として日米兩國の國富を比較して見ると、アメリカの國富は千八百五十年一億三千六百萬弗であつたものが、千九百年には八百八十五億一千七百萬弗になり、更に最近の調査表たる千九百二十二年（大正十一年）には三千二百八億四百萬弗の巨額に達してゐるのである。一體國富の計算法は、各國まち／＼であるばかりでなく、株式會社の資産負債表と同じく評價の標準が一定してゐない。殊に日本の國富の計算は對外的に強く見せ掛けることを眼目としてゐるかの如き觀がないではない。今若し日本人の國富の計算をアメリカの役人にさせたならば、桁が違つて來る、桁が下つて來ることゝ思ふが、試みに國勢院の數字を擧けて見ると、大正十一年のアメリカの國富六千四百億圓に對し、日本は僅に八百六十億圓にしか達してゐないのである。

アメリカの國富が、最近いかに増加しつゝあるかを、もつと判り易い例によつて示すと、昨年の八月四日のニウョーク・タイムス紙に、米國内外貿易局の局長が發表したものによると、アメリカの多くの旅行者——是等の旅行者は、臺灣にも數回來たことがあるが——が、大正十五年にアメリカ以外の國で費消した金額は六億五千萬弗、假りに一弗を二圓とし

て計算しても十三億萬、日本政府の一年の豫算に匹敵してゐるのである。その內二億五千萬弗は佛蘭西一國に於て費消したさうである。これに對して日本はどうであるかといへば、横濱正金銀行頭取の兒玉氏が、右比較表の始め發表した、日本人が外國で使つた金高を擧げると、三千五百萬圓となつてゐる。この中には、旅行者ばかりでなく、向ふにある日本人商店銀行に働いてゐる人のつかつた金まで含まれてゐるから、所謂トウーリストがつかつた金は、其の一小部分に過ぎないのであると思ふ。が、一切合切加へても三千五百萬圓しか達せない。

アメリカの富豪の金の持振りを說明するために、よく引合に出されるヘンリー、フォードに就て見ますと、フォードは、千八百六十三年にミシガン州のデトロイトといふ都市の郊外に生れ、親は百姓であつて餘り有福でなかつた。學校といつても、極く不完全な小學校の敎育を受けたに過ぎない。十五歲のときにデトロイの街に出て、或小いさな機械工場に働いてゐたが、間もなくそこを罷めてエディスン電氣會社に奉職した。その間に自動車製造の計畫を立てたといふことである。千八百九十二年算へ年三十歲のときに、初めて最初の自動車を造つた。それから四年を經て知人を說き、公稱資本十萬弗の自動車會社を創立した。フォードは、アメリカの製造工業家の中でも代表的で、といふのは、氏は商賣に成功するには世の中のためになるものを造らなければならぬ、自分が金儲けて樂をしやうといふことを先に考へてはならぬ、人の爲め世の爲めといふことを先づ第一に考へねばならぬ、自動車にしても成るべく、多くの人々のためになる物を造ることが大切である、そのためには最も安くて丈夫なものをつくる必要がある、而して自動車はよく走りさへすればよいといふものではない、スピードの早いものよりは、遲くても安全に旅行できる實用的のものを造ることが必要だと感じてゐたのである。最初作つた會社は、其後解散し、千九百三年(明治三十六年)今のフォード自動車會社を創立したが、之れについて色々の障碍がをこつた。それは、ニウヨークの北方ロチエスターといふ町にセルデンといふ人があつて、一種のガソリン・モーター

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を發明し米國政府から特許を得てをつた。その人が中心になり、アメリカの自動車會社が一協會を作り、セルデンの發動機を使用することを申合せ、許可なくして此發動機を使用するものは、特許權侵害の廉で訴へることにした。然るに、セルデンの特許は當時ブランケット・パテントと言はれた位で、多少類似の品物を作つたものは、悉くそれに引掛るといふのであつた。フォードの發動機はセルデン機を眞似たものだといふので、フォードを訴へたが、三年に亘る永い爭ひの結果フォードの勝訴となつた。其後異常に發展して、千九百十四年、即ち歐洲戰爭開始の年には、有名な利益分配の制度を設け、會社の從事員を待遇する特例を開いた。一年中に儲けた金を使用人に分配するといふ制度である。今日フォードの自動車會社に働いたものは、どんな新參者でも、一日六弗以上を得てゐるのである。千九百十四年歐洲戰爭が始まり、フォードは平和論者の一人であつたゝめ、歐洲の戰爭をどうかしてやめさせたいと云ふ希望から、にあらざれば國賊であると言はんばかりに、アメリカ全土が騒いでゐたにも拘はらず、百萬弗を平和基金として寄附し、千九百十四年の十二月自ら船を仕立てゝ歐羅巴に渡り、交戰國の主權者政治家を一堂に會して戰爭をやめさせる協議を開きたいと目論見だのであるが、歐羅巴では誰れも相手になつて呉れず、折角の平和運動も見事失敗し、間もなく諾威のリスチヤナからアメリカに還つて來たのである。アメリカ人の多數は始めから戰爭に參加するのを希望してをつた中に、フォードが小數の一味と共に戰爭參加に反對するので、一般からは非常に批難せられ、殊に市俄古のトリビユーンといふ新聞からは、毎日の如く攻擊を受け、遂に無政府主義者と呼ばるゝに至つたので、遂に同紙を對手どり、訴訟を提起し三四年間法廷で爭つたのである。其の間アメリカは戰爭に參加したが、フ氏は自分の工場を驅逐艦製造のために提供したのである。右の訴訟沙汰は、二、三年の後フ氏の勝訴となり、損害賠償として六仙、即ち邦貨の僅か十二錢を市俄古トリビユーンから得たといふ滑稽なことがあつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

兎に角、私が亞米利加にゐた時分否歐洲戰爭の前後までは、大したものではなかつたが、歐洲戰爭前後からめき〳〵發展し、一昨年の自動車製造高は百四十四萬八千臺に上つた。假りに日曜祭日を除き、一年三百日作業するものとすると、自動車の出來高が一日四千八百二十六臺、これを一日八時間勞働するものとして之れを割れば、一時間の出來高が六百臺、一分間に十臺できたことになる。一昨々年に於けるフォード自動車會社利益金が一億一千五百七萬八千三百八十三弗、それを假りに五歩の利廻りとして計算すれば、フォードの財産は、二十三億弗卽ち四十六億圓に相當する譯である。而してこのフォード・モーター・カンパニーは、フォードと、夫人と、氏の一人息子エドセルの三人の親子水入らずの會社である。千九百十三年に共に事業を經營してゐたものは、別にないではなかつたが次第に手を引き、現在では前述の如く親子三人の經營になつてしまつたのである。關係者の一人たるゼームス・カウゼンスは、千九百六年中九百弗出資したのであつたが、彼は是れは對し三千九百五十萬弗の利益を得たといふことである。

産業界の好況につれ、フォードばかりでなく、實業界のヂャイアントがアメリカに澤山出來た。試みに去年三月二十七日のニウヨーク・タイムスに載つてゐたアメリカの十大會社の利益表を見ると、一九二六年ユー・エス・スチールは、一億一千七百萬弗、サウザーン・パシフイク鐵道會社は三千六百萬弗、ペンシルベニア鐵道は六千二百萬弗、アメリカン・テレフォン會社は一億七百萬圓、ニウヨーク・セントラル鐵道、は四千九百萬弗、ニウ・ジャージー・スタンダード石油は一億一千百萬弗、ユニオン・パシフイク鐵道は三千八百萬弗、サンタ・フェ鐵道は四千六百萬弗・ゼネラル・モータースは一億八千萬弗、フォード自動車は一億萬弗の利益を擧げてゐることになつてゐる。今是等會社の資産其の他の狀態を一瞥すると左の通りである。單位弗。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會社名	資産	社債券株券の時價	物的財産	全收入又は賣上高	純益金	株主數	創立年	長期借入金
1. U. S. Steel Corporation……………	2,446,000,000	1,779,000,000	1,692,000,000	928,000,000	117,000,000	150,000	1901	351,000,000
2. Southern Pacific Railroad ………………	2,147,000,000	1,565,000,000	1,341,000,000	297,000,000	36,000,000	57,000	1884	765,000,000
3. Pennsylvania Railroad ………………	1,819,000,000	1,184,000,000	1,010,000,000	710,000,000	62,000,000	140,000	1846	403,000,000
4. American Tel. and Tel. Co…………	1,646,000,000	2,066,000,000	197,000,000	180,000,000	107,000,000	362,000	1885	388,000,000
5. N. Y. Central Railroad ………………	1,449,000,000	1,251,000,000	1,020,000,000	399,000,000	49,000,000	64,000	1914	701,000,000
6. Standard Oil of N. J. ………………	1,369,000,000	1,072,000,000	520,000,000	1,123,000,000	111,000,000	80,000	1882	None
7. Union Pacific Railroad ………………	1,140,000,000	869,000,000	819,000,000	205,000,000	38,000,000	51,000	1897	415,000,000
8. Atch., Top. & Santa Fe R. R………	1,071,000,000	792,000,000	945,000,000	259,000,000	46,000,000	63,000	1895	276,000,000
9. General Motors Corporation……………	915,000,000	1,521,000,000	400,000,000	1,000,000,000	180,000,000	51,000	1908	None
10. Ford Motor Company………………	800,000,000	1,000,000,000	300,000,000	751,000,000	100,000,000	3	1903	None

ゼネラル・モーターース・コーポレーションの後半期に於ける收益は、まだ發表されて居らぬから不明であるが、昨年の上半期に於ける同會社の純益は一億二千五百萬弗であつて、恰も臺灣總督府の豫算の二倍以上のものが一會社に於ける半期の儲けとなつてゐるのである。この會社のため、流石のフォードも餘程壓迫されてゐるやうである。フォードなどどうい

ふ風に仕事をしてゐるかといふに、出來得る限り多くの機械力と、アメリカで有名な科學的工場管理法をば極點まで行つてゐるのである。前にお話したエリス・バーカー氏の著書に依て見ると、總ての仕事が極端にシムプリファイせられてゐて、デトロイの工場に於ける從業員は、工場内で足をすら運ぶことを要せないやうになつてゐる。高雄の東洋製罐工場を御覽になつた人は直ちに御了解のことゝ思ひますが、總て職工の取扱ふ材料は、機械の力で職工の手元に運ばれてゆへといふやり方である。アメリカの新式の工場が、どんなものであるかを見やうと思へば、高雄の製罐工場を御覽になれば大體御了解が出來ることゝ思ふ。兎に角作業を單純化してある爲めに、二十萬人の四割卽八萬人の職工は、僅に一日稽古すれば仕事ができる。そして皆六弗以上の給料を貰つてゐる。又二十萬人の三割六萬人は一月から七月間の練習により、また六パーセントは一週間乃至二週間、一割四分が一箇月から一箇年、その一分の二千人だけが一箇年から六箇年間の經驗を要するといふことである。この數字に見ても、如何に仕事がシムプリファイせられてゐるかゞ判る。フォードは自分が書いた「今日と明日」といふ書物の中に、直接間接自分の工場で働いてゐる使用人の數が六十萬人(千九百二十一年前後の調査)ある。假に一人に家族五人ありとすれば三千萬人のものがフォード自動車會社によつてさゝえられてゐる。これだけの家族を一箇所で衣食させてゆくとすれば、商店や銀行や運送屋其の他のものがゐるから、ニウーヨークの街よりもつと大きな街が、フォード自動車會社のためのみにできると自慢して述べてゐる。

以上說明したところによつて、米國繁榮の一班は知られると思ふ。然らば何故に米國は斯る異常の繁榮を來したか、ニウヨークに、經濟狀態を調査する Bureau of Economic Research といふ私立の調査局がある。米國商務大臣のフーバーは、そこに賴んで、米國の繁榮は實に驚くべきものであつて、景氣不景氣循環の原則に悖つてゐるらしく見えるから、之が原因を硏究するために四十萬弗を出して調査して貰ふことになつたのである。それほど米國は榮えてゆきつゝあるが、米國は友國ではあるが、當面の競爭相手であるから、吾々は其の原因を探究せねばならぬ。以下私は、今日何故に米國が現在の繁榮を來したかに就て主として精神的の方面から述べやうと思ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺俗百話 蓬萊物語（五）

西岡塘翠

七 信仰と臺灣人

世界何處でも人が生活をして居る所には、神や佛の奉祀されない所がなく、國に宗教がある如く、人にそれ〴〵神や佛が祀られて信仰が捧げられる。世の中には然し、我は無宗教だとか我は無信仰だとか云つて、信ずる神もなければ佛もないと云ふ人があるが、それも思想の一時的變動で、結局は信仰と云ふまでもなくとも、死後は佛とか神とかになつて靈魂が齊修されるもの、而も人の信仰と云ふのは輕重厚薄こそあれ、必らずあるもので、文明人は文明人として、野蠻人は野蠻人として、それ〴〵その信仰振と云はふか、その形式こそは無論一樣でなく千差萬別だが、神や佛に對する信仰があるもので、敢て、苦しい時の神だのみ、と云つた體のものばかりぢやない。神や佛の加護で安心立命を願ふたり、我身我一家の平穩息災を望んだり、その他我身我家、更に大にしては我國に幸あれと祈るのが人情で、恁うした意味から信仰は、一つにはやさしい、美しい人情が窺知される。狹い日本でもその地方〴〵、その家でも一々信奉する神佛も違ふし、また人々に依つても然りであるから、廣く世界の上を見渡せば、全く種々樣々である。從つてこれに依つてもその地方鄉土に特色が示されて、一地方色を表現する。されば民族の差別も亦たこの方面に色彩を異にするもの多く、またこの方面の事即ち宗教とか信仰とか云ふものが、その地方鄉土に於ける風俗慣習に對して多

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大の關係があり、これに支配され影響されて風俗慣習が生まれたことは、古今東西その例が多く、この方面に考察研究上には、密接關係があり必須連絡すべきことである。この意味に於て臺灣人の信仰、臺灣の宗教の考察研究は社會政策その他以外に重要なことである。今更に云ふを要しないことだが、臺灣人は支那民族であるから、臺灣に於けるこの方面の事實、宗教や信仰と云つたことは、一つに支那のそれと殆んど同一であることは、明白なことで、我大和民族の內地人とは全く異つた珍しいものであり、臺灣人を理解する一方法としても、縱令支那民族だから臺灣人の宗教や信仰は支那と同一だとばかりに、支那のそれをのみ考究すべきでない。臺灣は既に帝國の領土、臺灣人は帝國新附の民である以上、臺灣と云ふ鄕土の表現する一地方色として考察するの要が大にある。

支那民族である臺灣人なので、無論宗教や信仰が支那のそれと同一、從つて臺灣人のこの方面の考察には勢ひ支那のそれを說明せねばならない。由來支那の宗教は儒教、道教、佛教、齋教、基督教等でその他にも幾多の宗教があり、彼等支那民族は恁うした宗教の奉ずる神や佛を信仰して居る。然し彼等とて、儒教を奉祀信仰する者でも、佛教に歸依信仰する人でも、それと同時に道教を奉じ信仰して居ると云ふ狀勢である。臺灣人とてこの例に洩れず儒教を信ずる人、佛教を奉ずる人でも道教の神を奉祀信仰して居る。これは單に支那人や臺灣人のみでない。例は我大和民族にもある。卽ち佛教徒にして稻荷を信仰するし、又た金比羅大權現や淸正公などを信仰する人が尠ない事實で、畢竟するに支那人なり臺灣人なりが佛教徒たり儒教徒たり一方道教を奉ずるものと同一であつて、自己並びに自家その他親戚緣者に對して、幸福安穩を得るとか、災難から救はれたとか云つた、自利的本位から割り出して功驗ありとした神佛を奉信するし、これを願ひそれを達しやうとして信仰するに在つて、恁うした事實は我大和民族にも見られ、臺灣人にも支那人にも見られるが、殊に道教の勢力と云はうか、道教の神は功驗著しきものありとして、臺灣人は支那人以上これを奉祀信仰する。その著しい事實は、下層階級の無學の徒や無智の連中に試みに信仰する神佛を質問すると、その多くは道教と云ふのでも察せらるゝので、この事實は、細民調査や國勢調査の場合宗教を調査すると屢々實見する事實である。最も恁うした徒輩は信仰と云つても極めて、薄弱なものがあるが、臺灣人の風俗慣習として、その家に行き、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

何やらの神像が祭壇に置かれて居るのを見、それを訊ねると、多くその神像は道教の神であることが判明する。かくの如く道教を信ずることの多いのは、道教なるものが臺灣人の心情上に入り易いからでもあらう。と云ふのは支那民族は世界的に知られた迷信の民である。從つて臺灣人にも迷信が多くよく正體の怪しげな神像を奉安して跪拜信仰するのは甚だ屢次これを見受けることで、恁うした關係から迷信的色彩の濃厚な道教は、恁うした民族の心に入り易く、また一方には舊慣墨守の弊多い臺灣人のことゝて傳承的にも信仰して今日に及んで居るのである。儒教は所謂大聖孔子の教義で仁義禮智信五常の道を說かれたもので、學者先生と云つた智識階級の人々には甚しく奉信されたが、時代の經過と共にそれも糊口的のものと化し、精神的不安の救濟が甚しく、覺束なく信仰を維持繼續することが困難になつた。さりとて他方佛教は元來印度の宗教で、精神的不安の救濟が出來る。何と云つても外來教、支那人の心に喰ひ入り、奉信する人も然り多きを難しとするの狀勢であつた。この際に各宗教を雜統綜合して、支那的科學及儒家的思想をも加味し、天然崇拜や靈魂崇拜や巫術仙術の類を以て傳道したから、迷信に支配されること多き支那民族、殊に智識的に低級の人々には、これに依つて精神的不安が救濟され得るとされて奉信するものが多くなつた。臺灣人は由來福建廣東兩省地方からの來住者農民が多いので、文化の程度も支那のそれの如くでなく、況してや地理的關係もあつて、一般に低い方であつたから、恁うした者には巫術とか仙術とか云つた類で、精神的不安が救濟される道教を信ずるに至つたのも當然らしい。而も彼等臺灣人祖先の奉信は、舊慣墨守の弊の一つとして、その子孫たる臺灣人の間に傳承的に行はれて、勢力を維持するのだとも云ひ得やう。天然崇拜とか靈魂崇拜とか、さては巫術仙術の類は、觀察の方法如何に依つては、迷信とも見られるので、道教に迷信的色彩が濃厚なる所以もこれに存する。加之、この信仰に於て臺灣人を支配する道教の道士と云ふ佛教の僧侶と云つた人物が、巫術を行ふて屢々社會的に害毒を流して居る、これは道教を奉信する臺灣人は、迷信とは思はず奉信するので、道士の言を信じて、その術中に陷りて飛んだ事實が出現する。而も道士たるや甚だ怪しい徒輩で、多くは宗教家としての充分素養を積んで居ないから、その說く所も怪しいばかりか、彼等多く巫術を用ひて精神の不安を救濟するとし、疾病を治療し、運勢を卜する等を主とするから、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

その結果たるや寒心に堪へないものが多い。更に大きくすれば島内の治安を亂した例の土匪事件にも、道士の言が隨所に用ひられてあると云ふ事實さへあるし、精神的不安の救濟手段としては、主として巫術を行ふか、その多くは實に怪しげな、噴飯に値する態のものが多く、これが噴飯するに堪えぬ愚劣さでは濟まされず、大に反對に害毒を流すから始末にならぬ。而も信仰する人々は難有しとばかりに毫も疑はずして、その惡結果を見ると、これは自己の信仰が淺薄の故だとするし、又た靈驗あれば嬉しさの餘りに、その功德を唱へて吹聽するから一層始末がつかず、文化向上した今日に於ても、依然として道教の奉信者は可なり多大で、勢力も多いのである。從つて恁うした工合に人心に喰ひ入つて居るので臺灣人の所謂年中行事として世に知られた行事中に道教の神を奉祭すること可なり多いなどは、臺灣人の信仰の一面を語るものであると云つても差支あるまい。

民族の生存する所宗教あり信仰ありと云ふから、臺灣人に信仰があつて臺灣に宗教があるのは敢て不思議がないが、臺灣人は同じ支那民族でも支那人のそれとは多少ならず信仰と云ふことに對し、風俗慣習から異つた點が尠くない。支那人でも然うだが臺灣人の信仰は、最初祖靈天然の崇拜であつたし祭政一致であつたことは、支那の歷史で明かである通り、臺灣でも官民各々その樣式で行つたもので、天神地祇山川社稷人鬼の類が信仰の對象であつたが、時勢の變遷で祭祀の意義が漸く變化し喪失した結果、典禮儀式化してしまひ、更に天師道の漲浸は迷信を社會化して、天然靈魂崇拜は何時しか消災長生を目的として信仰禮拜するやうになり、而も儒教も道教もこれと同一に取扱ふやうになつて、全く本來の宗教に對する思想は喪失し終つたのである。殊に教義頗る雜駁信仰的對象も多種多樣、而も儒教や佛教にも屬しない神佛を以て自家のものとしたのが尠くない始末に、臺灣人は恁うした關係事情にあるのに加へて、農民が多かつたので、いろ〳〵その信仰が一種妙な、怪しい色彩を出現してしまつたのである。從つて信仰の對象でも儒教道教さては佛教でも混合し、例へば同一人鬼でこの三教が三教ともそれ〴〵三樣に祭祀する、對象として居ると云ふ、甚だ奇怪極まることが認められる。卽ち儒教の神れる關羽帝は、道教では翊漢天尊と云つて祀るし、佛教では蓋天古佛とさへ云はれて信仰されて居る。而も道教の如き儒教の二教を雜樣混同した一種の劃的宗教を形成して居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るので猶更に臺灣人の信仰が混亂して、不可思議極まるものにされるのである。殊に古來道教は下層社會の人々を對手として發達したもので、低級趣味を滿たし劣智者の直覺的了解を得るやうに仕込まれ、高尙な理想的研究とは沒交涉なので一層自然物を神化して人的像を作成して神にしてしまふと云ふのだから、臺灣人がこれを信仰することの多大なのも無理からぬやうに考へられる。その他臺灣人の信仰としてそれは迷信に類するものではあるが、榕樹や莿桐や茄苳と云つた植物の大樹、樹齡の長く幹枝の大なるものを神として居る。これは、我大和民族の間にもあることであるが、恁うした類のことは殊に臺灣人間に多く見られる。それと同樣に動物崇拜もある。猫とか蛇とかの類で、殊に蛇には蛇聖爺の名があるし、廟に行くと牛頭爺とか馬頭爺とかの像があるのもこれである。而して臺灣人は呪符を非常に喜ぶ風がある。これ卽ち呪物崇拜の類である。恁う云つた工合に臺灣人の信仰は、考察すると甚だ心細いもので、從つて臺灣人の信仰と云ふものは要するに神佛混同、御利益が多いものを信仰するのであるから、畢竟自己本位から打算しての信仰、と云ふを得るので、決して今日論究さるゝ信仰、精神思想方面からの信仰でなく、苦しい時の神だのみに終るのである。されば一度靈驗著しいと云ふ噂さがあれば、臺灣人はその神佛が如何なるものかはなどと論ずることもなく、唯だ難有い神さま、御利益のある佛樣とのみ云つて信仰するので、これは我大和民族の間には稻荷さんを信仰する類であるがそれが、一層甚しいのである。それ故神や佛の盛衰が自然に行はれる、と云ふもの、考へると神や佛も油斷が出來ないと云ひたくなる。而も臺灣の神廟寺廟は何れもこの風潮を脫しないし、恁うした信徒が多いので、我大和民族のそれの如き神社佛閣に對する感念は極めて尠いと云ひ得る。ところで殊に臺灣で珍しいと思ふのは廟と云ふ神佛を奉祀する建物は、隨所に可なり多く建立されてあるが、その神廟なり寺廟に行くと、神廟にして神像以外に佛像が合祀されてあるし、寺廟に行くと同樣に佛像の以外に神像が合祀されて居る。而してこの廟の主像は何れも建立の目的たる神佛がそれで、他は屬であるとは云へ、決してその威力とか靈驗に差別がなく、屬祀されても主祀されるのと同樣と云はれ、信徒は神廟佛廟とを問はず信仰する神像佛像に禮拜して祈願するのであるが一寸異つて居るこの風俗なぞは支那人も然りだが、臺灣人には殊に著しい。それで面白いのは下界にある神佛何れもが、天上神と云ふ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

玉皇上帝の支配を受けるもので、八百萬の神や千の佛も、皆玉皇上帝の統轄の下に在る。それ故舊曆の十二月二十四日には、是等の神佛は天上して玉皇上帝に謁し、翌年一月四日に下界に降ると云ふ傳說的な迷信が行はれて居るから人々はこの昇天には送神の式を行ひ、降下の時は迎神の式を行ふばかり、神廟でも佛廟でもこの昇天から降下までは廟の門扉を鎖して不在と云つて居る。我大和民族間に。神無月と云つて十月の別名とあるが、これは神が出雲大社に行かれて神社に不在だと云はれるからの名であるが、臺灣の玉皇上帝の親謁を受ける爲めの不在とよく似て居る。而して數多い臺灣の神佛、臺灣人から信仰さるゝ神佛は、彼等の鄕貫卽ち祖先の出生地は、福建廣東の兩省地方であるが、されども福建人廣東人で祭祀信仰する神佛を異にして居る。卽ち鄕貫別でこれを區別し得らるゝことになる。例を云ふと、漳州人は開漳聖王、泉州の同安縣人は保正太帝、同州安溪縣人は保儀大夫とか淸水祖師と云つた工合で異なり、又た閩族卽ち廣東人は三山國王を祭祀するなど一寸面白く、彼等の心理が窺知される。尤も臺灣へ移住せし以來二百有餘年、可なりの長月日を經過して居るので、縱令分類機鬪は見るにしても、各族各縣人の接觸が漸次繁くなり、その間に融通も出來、廣東人の祭祀する神、三山國王を閩族たる福建人が祀るものが尠くないと云ふことである。斯う考へると臺灣人の信仰は、全く一種のもので、これを風俗上から觀察しても面白味を感ずるのである。敢て難しく宗敎的考察などと云はずとも、臺灣に多き廟、それに連つて神佛像信仰、と云つたものが最も容易に視られ考察されるからで、この考究は確に一つの好個の資料であると云ひ得るのである。

八　海の女神媽祖

可なり迷信的色彩が濃厚とは云ひながら、臺灣人が神佛を信仰して禮拜し、縱令自己本位の平安息災、招福吉果を主とすると云ひながら祈願祈禱することは、我等大和民族の眼から見ると、驚くほど盛んで而も女と云はず男も、老人と云はず若い人々も皆これである。從つて神や佛のことは大切にする。これは一つの美しい人の心の發露とも見られる。されば臺灣各地に所在の神廟や寺廟、その廟に奉祀する神や佛の祭典は彼等は心から老も若もお祭を行ふて賑ひを呈する。而も臺灣人が信仰奉祀する神や佛とは、實に夥しいものであるから、その數多い神や佛の祭がこの一つ一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つに依つて行はれるため、大小の祭事が各地に行はれ、一日として祭事の行はれない日が殆んどなく、臺灣全島何處でも必ず行はれ、時に一日二三箇所多い時に十を算することが珍しくない。それ故臺灣人は年中お祭を行ふて居る、臺灣人の稼ぎ働いて得た所得の大部分は、神佛の祭事に使用されると云はれ、臺灣人はお祭好きの人だとさへ云はれる。これも無理からぬことで、我等大和民族の內地人には一寸想像が出來ぬ位である。加之その各地所在の廟で行はれる祭事は、その祭る神や佛とその土地に依つて必ずしも同一でないから、そこに面白い風俗があらはれると云ふものである。これは何處も同じことながら、御利益があり靈驗顯著なりとして信仰の厚い神や佛は、その奉安する廟は立派で、その祭事も盛大であるし、また地方人は然うした神や佛を已の地方にも奉安する結果、各地に同じ神や佛の廟が出來て居る。例へばかの媽祖廟の如きがその一つである。然しその各地に奉安される廟でも、地方〳〵の狀勢や本家分家と云つた格からが、種々の事情で繁昌の度が異つて居る。これは時勢と人の力で如何とも出來ないことである。それで數多い神や佛が中でも、媽祖と云ふ神、女神ながらその信仰は實に夥しいもので、その信仰徒たる善男善女が、その臺灣第一の媽祖廟と稱せらるゝ、臺南州は北港郡の北港街に在る、朝天宮なる廟に參詣する者が年に七八十萬人の多きに下らないと云ふことで、その繁昌振はなか〳〵大したものであつて、媽祖廟は女神ながら、臺灣の神を代表して居ると云ひ得るほどの豪勢であり、又た媽祖廟なるものは全島各地にもその地方人に依つて相當立派な廟宇が建設され、舊曆三月二十三日なる祭日には、各地とも盛な祭事が行はれる。殊に北港の朝天宮は、全島に冠たる廟だけに、一層信仰も厚く祭事が盛に行はれる。

臺灣全島四百萬の島人から、夥しく厚い信仰を捧げられて居る媽祖なる女神は、一つに天上聖母と云はれ、媽祖なる名は俗姓である。而してその廟を天后宮と稱するのを普通となつて居る。本尊は宋の時代、刺史の役を務めた、福建省は莆田縣湄州林愿と云ふ人の女で、名を默娘と云つた。幼にして頴悟、八歲の時に書を讀み、香を焚いて神佛を禮拜した。無論父や母その他に敎へられたのでなく自發的の行爲であつたと云はれる。十三歲で道典秘法を修得したと云つては、屢々人の難を救ふたさうだが、殊に水難を救助したことが多いと云はれ、女にして而も可弱い少女の身で、然うした善行を行ふたのは既に凡人でなく神が乘り移つた

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ので、神が假に少女に姿を代へてこの世に現はれたものとして、郷人から畏敬尊重されたが、果せるかな康熙四年歳二十八歳で、妾はこれから天に上り、神となり諸人の急難を救ふと云つて、白日昇天して遂に言の如く神となつた。而してその後は屢々諸人遭難の場合殊に水難に會した時などは、その姿を現はしてこれを救濟して顯應があり、いよ／＼諸人の畏敬を得信仰さるゝに至つた。先づ水難救助の女神で、我が内地で云ふなら金比羅大權現か水天宮、お竹大日如來とも云ふところに、於て女ながらとは云はぬが、不思議な女神である。從つて信仰する人々、第一に航海業者戎克船に乘組んだ船組衆、さては漁船の漁夫、海を越えて商賣に往來する商人から、海を航する旅の人と云つたもので、藝娼妓の如き浮乘稼業や水商賣の人々には信仰が然う多くない。最もこの媽祖は水難救助が主だが、その後、航海安全の守護神のみでなく、凡そ他の捍災禦難即ち水旱疫疾寇亂等に至るまで、これが保祐されるとあつて、前記諸人以外にも一般人が信仰を捧げるから、なか／＼の繁昌である。而して水難救助や海上守護神で、船頭漁師や水に緣ある人々の信仰が厚いからか、この神を奉祀する廟は、兎角海濱や河畔の地が多く選ばれて建立されてある。今日に於ても媽祖廟の所在が然うした一種の地理的關係を保つて居るが、多くの廟中には除外例も見るが、それで廟の由來を尋ねると、建立された當時はこの廟の近くに河があつたとか云つた例が多い。最も本山の福州でも、また南方支那地方でもこの媽祖廟は多く海濱河畔の地に建立されて居る。而してこの神は福建省の出生とあつて、福建人の多い臺灣では殊の外信仰が厚く、立派な廟宇が多く建立されてある。それで媽祖廟の本山は何と云つても福建省莆田縣湄州である。然るに同じ福建省でも湄州以外に、同安縣にも本山格の廟宇がある。これは我内地の本願寺に東西あると同樣なもので、臺灣人でも同安縣出身系統の者は同安の本山にある媽祖神を信仰する。而して彼はこの二つを區別して、湄州媽と同安媽とにして然く稱へて居る。全島に冠たる北港の朝天宮も、臺南の媽祖も湄州媽であつて、何と云つても女神の出生地が湄州だけに湄州媽の方が勢力がある。但靈驗の件は双方信仰者がそれ／＼可然難有味を云ふから、何れとも云ひ難いから、茲では軍扇は何れとも揚げかねる。

媽祖の傳說は種々昔から云はれるが、媽祖神には然う文書に記されてある。支那本土の港濱、殊に臺灣の市邑到る所の地に、航海安全の守護神として祭祀せらるゝ一神があ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。天妃即ち媽祖がこれで、吳榮光の「吾學錄」には「祭於福建福州府莆田縣湄州及江蘇、清口、惠濟祠並濱海各縣」とある。この神の本體や由來は果して如何なるものかと云ふと、趙翼と云ふ人の「陵餘雜考」に天妃の一篇があつてなか〳〵詳記してあるがそれに依ると、天妃たる媽祖は、宋時代の林氏の女で、死後海上を往來し、屢々航海の難を祐けて、靈異があつたとありて神と崇められたと云ふ說もあり、又一說には蔡姓の人で、水難に遭ひ、海に投じて死んだが、それで水難の恐しさに神化して水難救助に靈異を示したとある。何れにしても正傳と云ふものがないし、これも傳說だから是非が云へないが、傳說としては、現に今日行はれて居る、前者の說がそれとして敢てこれを彼是云ふこともあるまいから、現に行れて居る傳說を以て媽祖の傳記的由來としたい。それで兎に角水上守護神と云はれ信仰されて居る媽祖のことゝて、林氏の女が幼にして穎悟異彩を放つた善行でもあつたのを、偶々その當時傳はつた神仙傳の俗說と巧に何人か配合して、一つの崇祀の形式を作つて神としてしまつたものだと思ふ。然し起原は宋の末葉に在つたらしいのは疑ふ餘地がなく、これが應驗の歷史的事實は、かの陵餘叢考に「臺灣の往來、神跡最も著し」と附記して殊に臺灣に於て媽祖の崇祀の盛んなる所以を述べて居るが一寸理屈がつく。即ちこれは一つに臺灣本土と支那殊に南支地方の地理的自然關係の致す所で、支那と臺灣とは所謂臺灣海峽なる一水道があり、この水道は赤道海流の一分流が流れ、危險なる回旋風即ち季節風の進路となつて居るから、自然臺灣海峽は風波荒く、古來難航の場所とされたものである。けれども支那と臺灣との交通は如何してもこの恐しい臺灣海峽を往復せねばならないので、風波の荒い難航場所、而も戎克船が多い船舶だから、水難が屢々起つて慘害が頻繁で、さなきだに臺灣人の心を脅かした。水路が難所で而も造船術も航海術も甚だ幼稚な時代だから、甚しい恐怖と危惧が臺灣人は勿論支那人の心を支配したのも當然な事であらう。それに迷信の強く深い支那民族だから、航海の安全、海上の守護を心から願ひ望んだのも無理がない、その際媽祖の傳說が普流したから、それに信仰が集まるのも自然の理で、臺灣の港灣の地たる市邑に到る所、これが奉祀の廟を建てたのも偶然でなく、よく「閩人在母家之稱」と云ふのも、由來を聞くと然うかと思はれる。

媽祖に對する臺灣人の信仰關係は、考察するとそれと頷かれるが、一層信仰を深からしめたのは、これを公祀の一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つとし、宋末以來元、明、清の各朝で「封號」の典があつたからで、媽祖は一名天上聖母と云はるゝ一方天妃と云はれるのもこれが故である。而して今宋末以來封號に關する沿革を見ると、なか〳〵多くの機會に典せられたもので、宋の時代には宣和五年以來のことで、五六回もこの典があつた。天妃と云ふことになつたのは、元の時代で至元中に「護國國庇民廣濟福惠明著天妃」とあるのが最初で、その後も度々あつた。明の時代には洪武五年に「孝順純正孚濟感應聖妃」とあつて、天上聖母と云ふことになつた。清の時代では康熙十九年に「護國庇民妙靈昭應宏仁普濟天妃」に封ぜられ、二十三年には「天后」となつた。それで媽祖廟が天后宮と稱するとも云はれる。而して清朝からの封號は非常に長いもので「護國庇民妙靈昭應宏仁普濟福祐群生誠感孚順神參順垂慈篤祜天后」である。而してこの神は餘程當時の人の信仰があるほど靈驗顯著であつたものか廟祠を官府が建立したこともある。殊に臺灣人がその靈驗著大なるの例證として傳へられ、更にその爲め一層信仰を深くしたと云ふ傳説は、康熙二十二年清軍を帥して鄭軍を討つた施琅將軍が、軍を臺灣海峽に進めたが順風平波で首尾よく澎湖に入つたのも媽祖の神祐だとし、又た戰勝した後、澎湖の媽祖廟に奉安の媽祖像が、自然に汗に濡れて居たとかで、戰捷もその神靈の態うした加護だと云はれ、施琅將軍も戰勝後この靈驗を奏上し「清加封天妃」の疏を奉つたばかりか、事清帝の上聞に達し特に禮部中雅虎を澎湖に派し、媽祖の像を祭られ、越へて二十三年天后の加封があり、而も施琅將軍自ら臺灣府今の臺南の舊寧靖王の故居址に就き廟を改建して旨を奉じて鳳山舊城内に建廟した。次で雍正四年に、神昭海表の勅額を賜つた。今に媽祖廟内に何れの廟にでも、この「神昭海表」四文字の額があるのはこれに基因して居る。

而も明末臺灣人移住と共に建立され臺南の媽祖廟以外は多く清朝時代のものである。而して有名な北港の媽祖廟も清朝の時代で康熙二十三年の建立である。北港はその當時海近い小村で、閩人が有志で小祠を建立したが發端で、その後乾隆三十八年には一港灣として出入船舶多く、漸次に信仰する者多くなり、特に今日の如き信仰の厚きを捧げらるゝに至つたのは同治年中戴萬生の叛亂騷擾の際に、襲來を受けた嘉義の地方は媽祖の神靈に祈願して神意を得て大に奮戰、賊を退却せしめたが、その時賊は敵に向ふと不思議にも必らず黑旗の飜へつて、神姿がこれ等の敵を加勢するのを見たので、怖れずに戰ふことが出來なくなつたと云つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だと傳へられ、いよ／＼神の靈驗に信頼するやうになり、一層信仰するやうになつたし、同地方の旱魃にも飢饉にも、この神を祈願して救けられた話があつて、いやが上にも信仰するし、遂に捍災禦難即ち水旱疫疾寇亂等に至るまで、祈らばその際は神祐ありと信ぜられるに至つて、今の盛因を致して居る。ところで可笑しいのは傳説に因つても、林氏の女默娘が妾は神となつて諸人の水難を救濟すると云つて昇天したと云はれるから、正に神であるのだが、臺灣人中にはこれを佛とするものがあり、媽祖佛などと佛にして稱へるものがある。由來臺灣人は一般に屢々神佛混合して居るし、廟にも併祀することが、珍しくないがまたその稱呼も混稱する風があるからであらう。而も昔から官に於ても神として稱呼もすれば、また佛として稱呼もし、かの咸豐年間、署澎水陸總兵の官恒裕か、臺南の媽祖廟に奉納した前殿中央の扁額には「眞々活佛」の四字があるがその一例で、恁うした風で、官に於ても媽祖は佛なりとの觀念を持つて居るし、時には媽祖廟が僧侶で守られて居る所も尠くないから恁うした佛の稱呼が、一般庶民の間に行はれるのも當然のことだが、甚だ奇異な感なきを得ない。兎に角神にしろ、佛にしろ、媽祖は女人が昇天、恁うも靈驗著しきものを示すのだから不思議である。況んや神佛混合の風あるにしても、同じ信仰する人々が、やれ佛だ神だと云つて、その信ずる觀念で、媽祖に對するから面白い。尤も多くは媽祖を神として居ることは爭はれないから、玆では神として置き、媽祖の女神と稱呼して置く。

　媽祖も神佛の一つである以上祭事が年々行はれる。況んや全島民から多大深厚の信仰を捧げられて居る神だから、その祭事も盛んなものである。殊に北港の媽祖廟は全島に冠たる名廟なので、御利益も非常なものと信ぜられてゐるから、その祭日三月二十三日は、それは／＼大した賑かな盛大な祭祀が行はれる。而も臺灣を代表する祭典として、北臺灣の臺北に於ける城隍祭と匹敵され、南北の二大祭事と古來稱せられて居る。何しろ年に七八十萬の參詣人がある位だから、祭事の當日は遠近から參詣する善男善女は夥しい。この爲め北港に通ずる鐵道では、殊に進香鐵道の名の下で、恁うした參詣人の旅客の便を計つて大繁昌は驚くばかりである。而して廟では各地の媽祖廟と同様に祭事が嚴粛に行はれ、その土地の人々は他の地方人とこれも同様行列、藝閣なぞの催物賑かで參廟禮拜する。殊に北港の媽祖廟は今でも臺灣第一の格式があると云はれ、廟には正神

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の外に副神と云ふのが二神あつて、何れも神像が奉安され、副神は他地方の勸誘に應じて、神像がその地方に出張するさうで、その副神には上下の別があり、勸誘出張もその神像如何で費用が大分異なるさうな。恁うして出張の神像は駐輿の名の下にその地方に約束された日だけ駐まるので、これはその地方民が何か祈願する事件の發生した際に多い。それから分離と云ふのは、所謂神社の分社と云ふ格で、名廟の稱する廟の神に沐浴齋戒燒香燒金した地方信者が、分香の旨の上書を神前で讀み上げ告げて、その香灰と云ふ緣意の灰を少許布片に包み貰ひ受けて、歸來新たに神像の體中に入れ開眼する。これは他の神佛でも行はれるが、信仰の深厚な媽祖が殊に多い。香灰と云ふのは線香の灰で、それを布片に包み歸り頭や胸なぞの患部に置くと邪氣を拂つて平癒もするし、不病の人も恁うして頭や胸に置くと驅邪招福すると云はれ、何しろ北港の媽祖廟の如きはこの收入が年に數萬圓の巨額に上ると云はれ、これが亦た代表的のものになつて居る。而して媽祖は臺灣中の神佛の首位と云はれ、その低い格の神や佛はその祭日には參詣する。神佛が參詣は進香と云ひ、それ〴〵行列儀式が型の如く行はれる。但し今では一般人の參拜も進香と云ふが、それは後代何時とはなしに轉用されたものである。恁くして、媽祖は臺灣全島の人々の深厚な信仰を受けて居るばかりか、その廟の所在地には古來盜難その他の惡事が一切行はれず、祭時は勿論その他でも喧嘩爭論等がない。これは忽ちに神罰があるからだと傳へられ信じて居るのも面白い。而して恁うした珍しい土地風俗を見る外、また一つ不思議なのは此の土地に恁く多數人の參詣があるに拘らず、一軒の旅人宿がないことである。これは媽祖廟の附近には香燭を賣る店が多く、而もその店の奥には幾何の寢臺が用意されて居る。それで遠方からの參詣人は、此地に一泊するが、それは香燭を買ふと云ふので無料でその店で宿泊せしめて呉れる。而して食料は彼等參詣人が神前に供へものを、禮拜後貰ひ受けてそれを頂くのだから世話がない、それでこれを香仔客と云ふ。線香屋さんの意だが、線香屋さんの宿屋も妙な風俗ではないか。而も彼等は媽祖神の御蔭で、線香蠟燭を賣つて生活するから、神詣の信者には恁うした宿泊を計らうのが義務であるとして居るから、好意大に努めるしこれを彼是云うたり、宿泊人を歡待しないと神罰が忽ち及ぶと云はれ信ずるから決して厭な顏をせない。そして宿泊人も神妙に靜粛に一夜を明かして歸ると云ふことで、長い滯在は許さないから面白いと思ふ。要するに媽祖は臺灣の神佛中でも研究すると興がある神さまである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大武に登る（四）

青木繁

◆大武の山頂へ

昭和三年正月元日と、斯う書くと、北大武山の絶頂を極めた當時の困苦が有の儘に蘇生つて來る。三角臺上に立つた時の自分達自身の當時の姿やその時の感激的光景が目の前を往來する。

◆露營地出發

「夜は明けたらしい、起きようじやないか」誰ともなく呼ぶ聲に、一齊に起きたてる。テントの外に立つと、いとも穏かな心持が、原生林の明け方と焚火にうずくまつてゐる蕃人を見据える。昨日の疲れも人間的名聞も、怨みも意地も、けろりと吹つ飛んで了つてゐる。そして一切の過去を思ふ心が消えてしまふ。だが、そのおだやかな心持も、ほんの一瞬であつて、頂上を思ふの心で、胸は躍つてゐる。

正面には屏東から高雄へかけての平野が展開し、屏東街は眼下に、そして屏東——高雄の鐵路は縦に棒を立てた樣、下淡水溪が之に直角に交叉して、壽山は朧に包まれてゐるが、遙に指摘し得られる。

七時にはもう食事もすんだ。例の大木の根方に集まつて、一杯の飯、一腕の汁に元旦が味はれた。焚火の煙に目をそばたゝきながら、立ち乍にして、殊に溪底がかなり深く遠いので顔も洗はずに。云ひ代ゆると、目が醒める、脚絆わらじ、食事と云ふ順序だ。山は簡單に事足りる。

食事が濟むと、テントの取り片付け荷造り、毛布の梱包各自のルックサックの整理に忙しい。と、一人の蕃人が私の側に始終立つてゐる。ルックサック以外の私物の一包をだまつて持つてゆく。何分多勢なので、こちらは見覺えぬが、蕃人は人と荷物をちやんと覺えてゐて、自分の受持ちの荷物に絶體の責任を感じてゐるらしい。

思ひ出の多い除夜の露營地を後に一行出發したのは七時十分、氣温十一度。

踏み出す一歩に急斜面が始まる。直徑六尺位の大木の紅檜、樺、石楠、椎、樫などの針濶混交林が天日闇く連なる。道を歩くのではない。歩き易いところを拾つて歩くのだ。

氣温の低いのにもう汗が滲々だ。勿論大武の姿を仰ぐわけにゆかないが、八時四十分の地點からは、樹間に屏東平野

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

旗後半島、高雄方面が判然と展望された。
　九時の地點崖の横腹に、大木の長さ十間ほどの獨木橋が自然ながらに架せられてある。どうしたはずみか、私は手にしてゐた帽子を橋の上から落して了つた。これを拾ひに行つてゐては時間がかゝる。人に迷惑をかけるが、と思ひながら、崖に立ちかゝつてゐる。これも大木に、ピツケルを打ち込みては足場を作りながら降りて拾つてくる。深山は樹木が苔に蔽はれ、濕氣も多いので、足の辷ること甚しい。僅か帽子拾ひにも非常な疲勞を感ずるのである。

◆欅の純林

　尚も欝蒼たる樹林を縫ふて行くと、水涸れた溪に出る。こゝはもう臺灣欅の純林と云つていゝ林相で、なほ高嶺五葉、みやま赤松等の大樹も混生し、欅の如き直徑二尺乃至六尺が普通で、下木としては、殊に新高女竹が多くなつて來た。ひさかきも多いのが神前を思はせたりする。つゝぢは幹が太く伸長もいゝ生育ぶりである。
　水無き石ころ多き溪の兩岸に、欝蒼と繁生してゐるこれ等の林相と地相のなす景觀を今ふり返つて、かうべんを走らせながら、冥目してゐると、當時のまゝの光景が大木の欅の根に腰かけてこの風光を凝視してゐる一行の姿が、浮いて來る。無心の境地に導かれてしまふことである。
　標高二千三百七十三米の地點。此の邊は、今登りつゝある大武から出た尾根の西斜面で、南の方角に歩くので、屏東平野から東港方面が、晴天に惠まれてゐるのを絶えず右方に瞥看することが出來た。云ふまでも無く樹間に隱見するのだ。
　間もなく一旦溪に下つては登つて十時の地點では、琉球嶼が判然と指摘された。
　道を左上りにとつて行くと、十時二十分には、尾根の稜線に出る。此の附近紅檜は著しく數を減じて、大木の欅の純林となる。見ると、曾つて焚火された跡。

◆道標に逆つて

　一行が、二班に別れて、先頭班はこゝから、大武山頂の直下の大斷崖を横ぎつて、山頂の南方鞍部に出で、十一時には頂上したのだが、後れた自分たちの班は、先頭班に心配をかけて濟まなかつた次第、が、後になつて見ると、道を迷ふて、山頂の北稜線に出で、南大武山頂まで、圖上二里半を縱走し得たのをよろこんだことである。苦痛が多か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つただけに。

「焚火の跡だな、右に行つたらしいな」と先頭に

「こゝは又すばらしい景色ですね、休みませう」と相槌。

「この崖は渡れないぞ。危險だ、然し、先頭班はこゝを通つたらしい。どうも――」と云つて誰かが戻つて來る。

自分たちの一行六人には、本島人警手が一人しか案内が附いてゐない。大聲で呼ぶけれど反響が無い。先頭班の行衛は、この大斷崖を渡つて、向ふ側の樺の密林に入つてゐるらしいけれど、「どうしやう」と云ふ不安が、大斷崖にぶつゝかつたのだ。殊に道標が立つてゐる、蕃人の立てた道標だろう。ステツキ大の枯木を二本、左の方に交叉さして立てゝある。「こちらを通るな」と云ふ意味なのだ。

「やつぱり大斷崖を渡らね」ばならぬと考へなければならなかつた。けれども、此處はもう標高二千六百五十三米だ、あと六百五十米位で頂上だ、やつぱり左の道、通行禁止を喰つてゐる方向に歩くのが安全な――と云ふのが一同の意見であつた。殊に左の方は斜面も緩で、それに樹林である、山頂の北稜線に出で、山頂するのは安全に相違ない。問題は、先頭班に心配をかけることであつた。

然し、かう二途に別れたことが、無かつたら後に出會した時の歡喜を味ふことも出來なかつたであらう。

◆竹籔の中の晝食

續く樺林の中、道なき新高女竹の籔を潜つたりハツと思はせられる崖を横ぎつたり、荊莿の擴つた石崩解地をよぢたり、それに傾斜は急峻、足を辷らせ、手に傷を負ふたりして、一筋に稜線の方向へと登つたことである。けれど、互に後れまいとする努力、頂上への思ひの強い爲めに、勇氣を出さねばならぬと思ひこそすれ、こゝで閉口たれる何人もない。互に勵まし、勵まされ、連絡をとりながら、進んだことである。

十一時半の地點は、人の丈を沒する新高女竹の密生地であつた。標高二千八百十三米。

「晝飯にしやうじやないか、腹も減つたね、」と籔の中で聲がする。

「やらう」と相槌。

「先頭班心配してゐるでせうね、もう頂上してゐるだらうが――」

「南と北から山頂へ競爭をやるやうなものだが、先方だつて隨分傾斜が急だから難儀をしてゐるだらう。もうこち

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らだつて稜線に間もなからう。ぼつ／＼出發しますか。風が出た樣ですね少し曇つた樣でもありますなあ――」

私は思ふたことであるが、かう疲れてゐて、それに無警備の時にどこからとも無く蕃人が襲ふて來たらどうしやう。ピッケルで一人位は斃せるだらうか、よしんばこちらも、殺されたとして又そんなことがないにしても、腹痛かなんぞ急病でも起つたらどうしやう、大武の頂上を極むることなくして。それに他の一行がどんなに困る事か……など〻考へてゐると、何だか俄に心が淋しくなつてしまふ。

◙稜線に出る

こ〻を出發したのが十一時四十五分。雲行きが次第に早くなつて、行先きが案ぜらる〻。一行勇を鼓して、樹の根をつかみ岩を抱き、辷ること幾回、女竹は密生してゐる、胸突きの難所の連續。と、突然の大聲「稜線だ、頂上は近いぞ」、時は十二時六分、標高二千八百七十三米の地點である。

その時、皆の心はどんなに喜悦に躍つたであらう。これ迄の難行も云はゞ稜線を探し出すにあつた。稜線に出さへすれば、頂上は近いであらう、先頭班と會するのも近いだらう、と、さう思ひつめたことであつたのだ。

ところが、これは又ほんとに言葉通りの稜線だ馬背だ。幅は僅かに二間位、兩側は急傾斜時には二三尺の幅しかないところもある。女竹は四五寸の丈けしかない。臺灣びやしんが地を這ふてゐる。つ〻ぢも、石楠も岩の蔭に身を縮めて地に伏してゐる。栂の純林、それは稜線の樹木の特長――梢殺木――樹幹の元は直徑一二尺もあるが丈けは低い。東西兩面から自由に吹き卷くる強風に、樹草は思ふ通り伸ぶることが出來ない。樹草の生活の苦鬪の情景が涙をさへ催さしめる。それは丁度、苦鬪そのものに一生を通ず人間そのま〻の姿だ。のび／＼したところはないけれど氣骨稜々たるものがある。艱難汝を玉にするのだ。稜線――標高一萬尺に近い――の樹草の姿態の妙趣に氣を奪はれる前に、吾人は、その姿態に滲む苦鬪の生活、艱難に耐ゆる偉大な努力と、伸びんとする樹草の向上心の熾烈さに驚異の心眼を開いて、その無言に語るものを聞かなければならない。

◙年　輪

その稜線の栂を一本伐り倒して見たとする。その直徑の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

割合に、何と驚くべく年輪の數の多い事であるか。谷間に伸び〳〵とあるものでは、半徑一尺について年輪の數が百あるものとすれば、稜線のそれは、二百、三百、それ以上もあらう。一年に一個の年輪、年輪と年輪の幅の大小は、その樹木の立つてゐる土地自然の適不適、云ひ換ふれば、天惠の豐かさの程度を示してゐるわけである。一箇の年輪、それはとりもなほさず、春夏秋冬の歡喜と忍耐の表現である。年輪の數は、つまりその樹が、その土地に種子から芽を萠いて以來の歡喜と忍耐の集積なんである。

年輪の物語るものを心耳に銘する事を忘れてはいけない

◉新高の遠望

私は、あまりに脚下の思ひにふけつてゐた。稜線に立つてパノラマに展開されてゐる雄大な自然そのものに接してゐると、今の今まで續けて來た苦鬪、艱苦も完全に忘られてしまふ。苦鬪、艱苦を感じてゐた神經のあらゆるものが、歡喜に躍動する心波に姿を沒してしまふのであらう。

中央山脈は遠く〳〵北方へと脚下から連つてゐる。さうして、その遙かの彼方に突兀として新高の雄姿が、はてしもなき天空に向つて立つてゐる。東西兩平野は、思はせぶりに、間もなく白雲に姿を消してしまつた。樂しみの一つにしてゐた兩面の平野を見下すことが、僅かの時間の不足で出來なかつたのを殘念に思ふけれど、白雲の脚下に捲き起りては浮動し、時々、山々を島に見せる所謂雲海の美が展開せられるのは、造物主の一行に贈つた風景の、意匠の一つだらう。

が、今は、風景をゆつくりと眺めるだけの時間にも、心身の疲勞にもゆとりがない。殊に西面から、檜の樹冠を越えて吹きつけ、吹きあがる烈風は、極度の濃霧をさへ伴ふてゐるので、前後の連絡を確保しながら、足場危しき稜線を――稜線は、單に頂上へ斜面を登る如くではない、恰も段階をなしてゐるのである――よぢ登るのであるから、心身に寸分の隙間がない急がしさである。それに、首から掛けた手帖にも、歩きながら書きつけて置きたい事もあるので、忙しい事である。

◉稜線を山頂へ

稜線へ出てホツトしたのは十二時六分、そして第一の段階をよぢ登つたところで十二時十分、そこは殆ど直角に近い崖で、僅かに、樹の根や石を攫みながら、足場にしなが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

らよぢ登るのである。標高二千九百二十三米、四分を歩く間に五十米突から登る勘定である。急坂であることが首肯さるゝであらう。かくて第二段階零時二十分、標高二千九百七十三米、第三段階同四十分、三千〇二十三米。

その頃、西部は霧が薄れて、樹海を越えて、屏東方面の平野が見られた。下淡水溪の鐵橋も、飛行場も完全に見ることが出來た。風は勿論激烈。が、東部平野は依然白雲にかくれてついぞ姿を見せなかつたが、脚下の檜の純林は、かなり密で、普通直徑二三尺、例の檜らしい白い幹の肌を林立さして、それに霧が濃く薄くかゝつて、何とも云ひ得ない森林美、霧の美だ。時折り雲間をもれる柔らかな、ほかされた光線が、太い線狀に、その森林内にさして、景趣に一段の美を添へ、風景を生動さした。そこを歩く時の氣持ち、夢想の境地と云ふのだらう。

◎三角臺

もう頂上は近いだらう、標高から推して見て。さう思ひながら、新高女竹の密生が續く中を、檜の林の中を、一心に歩いてゐる。と――何とうれしかつたことに、「頂上だ、三角臺だ、先頭班がゐるぞ」、聲がある。後續隊の私たち七人が、三角臺に著いたのは、正に午後一時。氣溫九度。標高三千〇七十三米。

そこは、十坪あまり、僅に三角臺が建てられてある廣さが均されて、新高頂上と同じ樣な、ばら〱になつた粘岩である。西側は見るも恐ろしい絕壁が、風化の手に委ねられ東側は、緩な傾斜に、新高女竹が密生して檜の純林だが跡である。南北は起伏の連なりに女竹が地を被ふてゐる。

一行こゝに著いて、何と安堵の胸を撫でたことであらう、苦鬪なしに眞の喜悅は味ひ得られない。一行が苦鬪に苦鬪を重ね、今漸く絕頂に立つことを得て、如何に喜悅にみたされたかは云ふに及ばぬ次第である。

一代の文豪大町桂月は「………この苦境を經たるものにして、始めて共に旅行を談ずるに足る。否、共に人生を談ずるに足る。すべて樂しと思ひしことは、後になりて、苦の種になること多し。苦の樂にならずとも、樂の種にはならず。之に反して、苦しと思ひしことは、必ず樂の種となる………」と云つたが、蓋し名言である。

先頭班の大部隊と吾等との連絡を保つ爲めに、三角臺に殘つて居られた大橋氏によつて知れたことは、先頭班は、十一時に既にこゝに到著したのであつたが、さすがの勇者

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たちも、贄の大斷崖の横ぎりには膽を拔かれたと云ふことであつた。それに隨分の急坂——と云ふよりは直角に近い絕壁をよぢ登つたことであるから、其苦鬪の程度は、吾等とあまり大差はなかつたであらう。

却說、標高である、五萬分一蕃地圖によると、一萬〇六百六十五尺となつてゐるが、前にも記した樣に携行のバロメーターは三千〇七十三米（一萬〇百四十一尺）を示してゐた。

新高山頂では、登山者によつて建てられた標柱が林立して、如何にも登山の盛んになつたことを示してゐるが、さすが大武の三角臺には標柱は少ない。臺の側に、書き立ての「臺灣山岳會登山記念昭和三年正月元旦」が、墨痕りんりと光つて立つてゐる。生駒團長執筆のものだ。その外に、大正十三年三月十二日屏東高雄の有志十數名が頂上を極めた時の標柱、大石技師、伊藤技師等の標柱が立つてゐる。尙中曾根氏著、「臺灣アルプス」によると、第一回登山は、團體としては、海軍測量隊が明治四十二、三年頃登り、大正六年頃當時阿緱廳長を團長とする一行四十餘名の登山、それと大正十三年前記の登山であるらしい。特に附記して置きたいのは、此の最後の登山に於ては、當時殖產局古川由雄氏、現高雄州の河津利生氏が加つてゐて、「大武山の林相並森林植物」なるものをのこしてある。これの內容については、後に述べることゝして。

◆先頭班と會す

四方拜、君が代、臺灣山岳會萬歲——を、いともおごそかに、行ひ、絕叫した時の氣持、それは嚴肅そのものであり、感激の頂點に立つてゐる。

その頃、東部方面は依然白雲に掩はれてゐたが、西と南は晴れてゐた。頂上に居ること三十分、一時三十分名殘りを惜しみつゝこゝを發つ、栂林の中、女竹の密生した凹凸のある稜線を、ひたすら南へと步む。と——

零時五十分の地點、そこは鞍部になつてゐて、先頭班と蕃人が焚火を圍んで「君たちどうした。無事であつてくれたな、心配してゐたよ。まあよかつた」と云つた風な目つきをして、吾等を迎へてくれる。一行の顏の無言の微笑が全身を流れてゐたことであらう。迎へる者も迎へらるゝ者も、胸に安堵が躍つたことであつたらう。目が光つてゐたであらう、泣に。

◆行路難

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

北大武山頂と南大武山頂とは　圖上距離約二里、そして、今夜の宿泊豫定地たる大鞍部は、その略中間に位置してゐる。鞍部標高二千四百米で、頂上からは約八百三十米を降るわけ。この稜線も起伏と東西兩面の斷崖の連なりで、殊に西面は見るも恐ろしい直下の崖である。東西は樹林があつて、傾斜も概ね緩である故、歩くのは此の方面、吾等後續隊は、頂上を一時半に發つて、ひたすらに鞍部へと歩いたが、そこへ著いたのは五時四十分で、圖上一里に四時間を費したことを見ても、如何に此の行が難澁であつたかを知るであらう。先頭班の達足者でさへ、四時半に着いた位、恐らく四里半を歩いたことであらう。

話は戻る。

◉雨の樹蔭

吾等後續班が、頂上から下りて、先頭班に會して、やれ〳〵と焚火を圍みながら談笑する間もあらず、先頭班は出發を始める。云ふまでもなく道を歩くわけではないけれど、それでも女竹の中に細道らしくついてゐる。所々に水溜りもある、鹿の通ふ路と、その飲み水なのである。その細路を辿り、起伏に從つて歩くことは並大抵ではない。

三時の地點、標高二千九百米、そこは、今思ふても恐ろしい親不知だ。危險な崖を下らなければならぬのであつた。疎立してゐる栂の枝や幹に手を掛け、岩の頭、崖の間隙を足場にしながらで、手足のどこかに、はずみを失つたら、それこそ、東に落ちても、西に辷つても最早生命は無なしと云ふ、稜線の幅は數尺、二尺位のところさへ歩かねばならなかつた。

ちようどその頃、霧は深くなる。前後の連絡が常に絶えさう。三時半には栂の林立した廣場に出る。

二抱も三抱もある栂が、思ひのまゝに枝冠を擴け、下は新高へびのほらず、女竹がぎつしりと生へてゐたが、鹿の多い故であらう、細路が縱横についてゐる。が、丈高き女竹原は、霧にぬれて、ともすれば道を失ひさうである。その上困らせられるのは、自然に倒れた大木であつた。そこで正しく一人が道を失つて東側の斜面をかなり下つて引き返した。サイレンと聲が霧の中に鳴る。深くなつたと思ふと時々霽れる霧に、一行顏を見合せて連絡を確實にしつゝ進む。と――

四時頃から小雨になつてしまつた。標高二千七百米の地點は樹林は鬱蒼と地を被ふてゐた、それに雨と來てゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

樹間を縫ふ氣持ち、その時の氣持ちは、只もう、焦燥と不安の充滿なのだ。

申し合せた樣に、樹の根、ぼこ〴〵と朽ちた倒木に腰を卸し、或は立ちながらに休憩すること數次。

先頭班の柴折り、打ち込んだ樹幹の刀の痕を探りながら、なほも樹蔭を下りに下る。

電光形

「どこまで樹林を歩くのだらう、」小雨はやんでも、霧はれても、鬱蒼たる密林の中、殊に夕闇が刻々とせまつてくる。起伏に足場は危しく、樹枝の錯綜、足の疲れ、身體の重さ、それに步度は速い、が步くと云ふよりは、ひきずられてゐるのだ、露營地と云ふものに、先頭班に。殊に感じたのは、樹木の幹と云はず枝も土地そのものが、千古の厚き苔に包まれてゐることであつた。ふんはりとみた苔を著てゐることであつた。東西兩面から年中吹きつける多濕な風の爲めと、森林の存立そのものゝ爲めであらう。此の苔を著た森林帶は、なほも、南大武絕頂まで續いてゐるが、恐らくこれは臺灣全島から見ても、特異的景觀であらう。

此の附近の稜線は、東部に緩傾斜してゐるが、西部は大斷崖なのであるから、云はば、一行は直角三角形の頂點を步く樣なもので、時々その斷崖を覗いては、ハッとさせられたものであつた。

露營の焚火

「なんぼなんでも、もう」鞍部だらう急坂を下りかける樣になつたかと、思ふと電光形に步くこと數十分、もう全く暮れてしまつて、殊に森の中、「露營地だ、火が見える」に勇氣を囘復して、鞍部に著き、先頭班から「萬歲〳〵」を浴びせられたのは、正に五時四十分であつた。

こゝには、露營の大きな焚火が數箇所にあがつてゐて、先頭班の人々の顏を照してゐた。そして空が見えないまで茂つた樹林と夜の冷氣がヅク〳〵と迫つてゐて、ピラミット形なテントが三箇所、段々に張られて、露營の氣分が描き出されてあつた。

「水が無いのです、飯が焚けないけれど仕方がない。クワルスから來る筈の番人も來てゐません。今晩はこれで寢るより外方法はありませんね。そして明朝水源を探査さして、方針を定めるんだね、ともかく」焚火に集まる月

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と目がそんなことを話し合つてゐる。

さて——今朝入れてあつた水筒の水は、頂上までに多くの人は飲んでしまつた、でなくても、鞍部には充分水があらうと考へるのは當然であるから、途中飲んだ事に不思議はない。ところが、「水がない」と云ふと俄に喉が水を要求しだす。

空になつてゐるのを知りつゝも、栓をとつた水筒を口に當て、一滴の水に潤を感じたのは、獨り私だけではなかつたであらう。ドロツプ、キヤラメルを食ふと尚更に喉は渇く。

「福は寢てまて」朝になつたらどうにかならうが、やつぱり夜、人跡稀なる深林の中、不安がひし／＼と身に感ぜられたことであつた。

先頭班によつて營まれたテントに、感謝しつゝ休眠をとりかけても中々眠れない。執着な手は空の水筒を幾度も逆にして口に當てしめるのであつた。

烈風は頭上を、ゴウ／＼と唸つて、雨が降り出したらどうなる——そんな不安も襲つてくる。テントの中のランターンの火が、色々なことを思はせる夜。

「星が出たぞ、明日は天氣だ」そんな話し聲がテントの外からもれて來たのは、よほど更けた頃であつたらう。そして時々、焚火に投げ込む枯木を折る音も蕃人の方から聞えて來るのが、何だか心淋しいかつた。

だが、都會の人間的あらゆるものからは全く縛を解かれた自分と云ふものが、ハツキリと原生林のテントの中に見出されたことであつた。そして、名利に對する慾望が、心身と共にスヤ／＼と眠つてゐる自分を、シンとした蕃界の深山に見出し得たことであつた。

◆桂月の言葉

昭和三年正月元日のかうした夜を、一行に加はることによつて經驗し得たことを、どんなに私は幸福に感じてゐることであるか。だが、だが、一體何の爲めにこんな艱苦を敢えて自ら求むるのであらうか——桂月の云つた言葉を借りるまでもないが……身體を練り、精神を練り、膽力を養ひ、忍耐力を養ひ、趣味を養はんとする……のであらう。……そして……男子にして志あるもの、難行苦行の旅行を爲して、辛苦と闘へ、不自由と闘へ、風雨と闘へ飢餓と闘へ、男性的意氣地、おのづから其の間に涵養せられむ。（桂月百話）

——一九二八、五——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣 蔬菜園藝講話（五）

臺北帝國大學附屬農林專門部　教授　芹澤　立

第二章　薯蕷

別名　山芋・長薯・自然薯・山藥・田薯（臺灣名）

英名　Chinese Yam.

學名　**Dioscovea sp.**

科名　薯蕷科

第一節　由來・性狀・用途

由　來　薯蕷は、日本、支那乃至熱帶亞細亞の原産であつて、現にわが國及び東洋各地の山野に、多くの自生種が見られる。また古來之れを掘取つて食用に供し、且つ可なりに古くから栽培、需要されてをつた。併し歐米には、餘りその栽培あるを聞かぬ。

性狀・用途　薯蕷は多年生草木にして、その蔓葉は毎年枯死するが、薯は年々次第に肥大生長する。蔓は左り卷きをなし、紫綠色、滑澤にして、長さ十數尺に伸び、葉は心臟形を呈して互生し、その表面暗綠色にして光澤を帶ぶ。花は雌雄株を異にし、葉腋より小形の白花を簇生するが、結實すること少なく、その果實には三枚の翼を有する。またその葉腋には黑褐色の零餘子(むかご)を生じ、之れによつて繁殖するを得、また食用にも供せらる。

薯は、外皮褐色又は稀に紫紅色を呈し、質粗糙にして、その周圍に細根を生じ、また品種によりて、細長のもの、塊狀のもの等種々その形狀を異にする。併し多くは肉白色を呈し、澱粉に富み、粘氣強くして、生のまゝ磨りて**とろろ**（薯蕷汁）を製し、之れを煮熟すれば粉質となる。その主成分は粘液素(ミューシン)Mucin——唾液・蝸牛の粘液の如き動物性粘液——にして、嚥下せらるれば人體內にて蛋白質と糖分とに變じ、頗る滋養分に富む。また古來藥效ありとして、これに山藥(さんやく)なる別名が附せられてゐる。

因に、鶩卵を混じた**とろろ**は、往々にして中毒を起し、恐ろしくも人命の幾つもを奪つた實例が、先年本島々都にあつた。その原因に關しては、當時種々の說が紙上を賑はしたが、首肯するに足る說の發表を見なかつた。

一方鶩卵は、**とろろ**に混ぜすとも、單獨に中毒を起すの事實があるのであるから、**とろろ**に鶩卵を混ぜしことが、中毒を起すに至つた唯一の原因であると斷定することも、また薯蕷にその罪を負はせることも、共に早計ではなからうか、否寧ろ原因は一に鶩卵にあるのではなからうか、何れにせよその原因は、今のところ、全く不明裡に置かれてあるのであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。

望むらくは、速にその原因の奈邊にあるかを闡明し、以てこの美味にして滋養に富む蔬菜より、不安の念を一掃せらるべく、營家の徹底的研究を積まれんことを。

第二節　品　種

薯蕷には、品種の數甚だ多く、その形狀・性質によつて、之れを長薯類・佛掌薯類・大薯・何首烏薯等の四種類に分たれる。

第一款　長薯類

1. 自然薯（じねんじやう）　一名、野山薬・山薯

學名　**Dioscorea japonica**, Thunb.

わが内地至る所の山野に、多くその自生を見、秋冬の候之れを掘採つて市井に鬻ぎ、且つよく各家の食膳を賑はしてゐる。

蔓は他の植物に纒繞し、冬季に至れば枯れ、春季再び芽を出だし、薯は年々その肥大生長を續け行く。斯して普通四、五年生のものを採收せらる。

葉は長心臟形を呈し、基部の彎入深く、また花は雌雄異株にして、よく結實し、且つ多くの零餘子を生ずる。

薯は外皮暗褐色を呈し、その大きさは、普通直徑一、二寸、長さ四、五尺許りとなる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

よく山野の高燥なる開き土地に生育するが故に、薯は屈曲するもの多く、その外觀概して不良である。が、併し肉色純白、質よく緊り、粘氣頗る強きを以て、**とろろ**となしてその品質最も卓越し、その美味を一般に賞讃されてゐる。

また本島には、自然薯に似たる**基隆山薯** **Dioscovea japonica**, Thunb. **var. Kelungensis**, Prain. et Burk. なる一種が、その各地の山野に自生してゐる。同種は、葉薄く、基部の彎入緩にして腎臟形を呈し、先端尖り、薯は形稍ゝ大である。また薯は粘力強く、**とろろ**に供して美味である。

2. 長薯

一名、家山藥・本薯。

學名 **Dioscovea Batatas**, Dcne. **f. typica**, Makino.

長薯は、自然薯の改良種であつて、その性狀よく之れに酷似せるも、葉は對生し、またその基部の彎入淺くして、略ゝ腎臟形を呈する。薯は肉よく緊り、粘力・彈力共に強く、**とろろ**用として貴ばる。

通常栽植後二、三箇年間以上畑地に放置し、以て充分に生長せしめた上で、食膳に供せらる。その大なるものは、直徑約二寸長さ四、五尺餘に及ぶ。

本種は、埼玉縣北足立郡大砂土村上呂を本場となし、その品質他地方産のものに優り、東京市場にて歡迎せらる。

3. 一年薯

一名、駱駝薯・江戸薯。

學名 **Dioscovea Batatas**, Dcne. **f. Rakuda**, Makino.

長薯を改良して、更に早生種となしたもので、一年間に能く完全なる發育を遂げ、以てその大きさは、直徑約二、三寸、長さ三尺位となる。

その性狀は、よく長薯に類似してをるが、雌雄同株にして、結實することなく、また肉質極めて粗糙で、水分に富み、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

粘氣甚だ弱きが爲めに、**とろろ**用に適せず、主ら調理用に供せられる。

また本種は、栽培容易にして、青森縣二戸郡一戸町附近をその本場とする。

4. 德利薯

本種は、一年薯から更に淘汰されたもので、長野縣松本市附近に多く産し、生長迅速にして、薯・零餘子共に、一年間で充分に肥大して收め得らる。

その性狀は、殆んど一年薯に異ならぬが、薯は棍棒狀を呈し、上部細く下端太くして、質緊らず、**とろろ**に適せず、寧ろ一般の調理用に適する。

第二款　佛掌薯類

佛掌薯類には、その形狀に、掌狀のものと塊狀のものとあり、ともにその質緻密、粘氣強くして、**とろろ**用として賞味せられ、且つその栽培何れも難からず。

一、掌狀種

1. 佛掌薯　一名、手薯・拳薯・姫草薢。

學名　**Dioscorea Batatas**, Dcne. **f. Tsukune**, Makino.

本種は、薯扁たく、先端廣く、且つ褶襞多くして、恰も掌を握つた如き形狀を呈する。されば斯かる名を得たのである。

またその肉白く、粘力強く、品質優良にして、よく**とろろ**に適する。

2. 銀杏薯　一名、扇子薯・鴨脚薯。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本種は、埼玉縣大里郡明戸村の特產で、薯は外皮黃褐色を呈し、形よく銀杏の葉に似て甚だ扁たく、凹凸少なく、肉稍々長くして、その大なるものは、長さ一尺五寸位となるが、厚さは一寸內外に過ぎず、また下端は廣がりて、その幅六、七寸に及ぶ。

肉は、稍々黃色味を帶び、質稍々粗にして、水分多く、且つ少しく澁味ありて、品質稍々劣る。

二　塊狀種

1. 伊勢薯　一名、伊賀薯・大黑薯・巾着薯。

伊賀薯は、三重縣多氣郡津田村・佐奈村・相可村地方の原產にして、また現時各地に廣く栽培されてゐる。

薯は不正圓塊狀を呈し、外皮淡褐色、平滑にして、肉色純白、質緻密、水分少なく、粘氣最も強くして、之れを磨れば雪白色を呈し、空氣に觸れても褐色とならず、その品質優良にして、**とろろ**・菓子用として賞味せらる。

また本種は、雌株のみであるが、結實することなく、且つ零餘子をも生ぜざるを、その特徵となすのである。

2. 大和薯　一名、宇智薯。

奈良縣宇智郡宇智村の原產にして、その性狀はよく前者に類似せるも、薯は更に圓く、且つ凹凸少なく、外皮暗褐色を呈し、厚くして稍々粗糙である。また肉は、その色更に純白、水分少なく、粘力極めて強くして、**とろろ**に好適し、且つ菓子用に供せらる。唯々稍々灰汁が強過ぎる。

3. 卵薯　一名、ライシャ薯。

學名　**Dioscovea persimilis,** Prain. et Burk.

本種は、主ら高雄州下の蕃地に栽培せられ、また沖繩地方にも之れを產する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

薯は、その形・大きさ共によく馬鈴薯に似、外皮淡紫赤色、肉純白、質緻密にして、粘氣強く、とろろになしてその美味を賞せられ、また之れを空氣中に曝すとも、褐色に變ぜぬ。

第三款　大薯

一名、紅嶼薯・軍配薯蕷。

學名 Dioscovea alata, L.

大薯は、本島・沖繩・鹿兒島縣の大島、その他太平洋の諸島等に、廣く之れを產してゐる。

莖は四角形を呈し、翼辨を有し、また薯は甚だ偉大にして、五、六貫匁に達するものも珍らしくない。その肉色には、紅・白の二種あり、共に粘氣乏しきが故に、主に煮食・酢漬等に供せらる。

第四款　何首烏薯

一名、黃獨・辨慶薯・丸葉薯蕷・せんぶ。

學名 Dioscovea bulvifera, L.

薯は、形扁圓、外皮暗褐色、表皮粗糙、之れに粗硬なる鬚根を密生し、その肉色淡黃にして、苦味を含む。また零餘子は甚だ肥大で、直徑は一寸位あり、形丸くして、帶赤褐色を呈する。莖・零餘子共に多く藥用に供せられるが、地方によつては食用になしてゐる。

本種は本島北部、特に烏來地方にその自生を見る。

また本島各地に、夫々野生種あり、蕃人等は之れを山野にあさり、掘りて食用に供してゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右の中、本島内で栽培の價値あるは、土地の狀況によりて一概にはいひ兼ねるが、大體に於て、長薯・佛掌薯・伊勢薯・大和薯等となして差支なからう。

第三節　氣候・土質

氣　候　薯蕷は强健にして、よく各地の風土に堪ふるけれども、就中氣候溫和にして、適濕あるを要し、暴風と旱魃とは、共に之れが忌むところである。

土　質　さして土壤を選ばぬが、常に適度の濕氣を含み、また概して砂質壤土若しくは粘質粘土にして、表土深く、且つ有機に富む土壤に於て、良品を産する。併し根の長短によりて、多少その好みを異にする。

短根の種類は、常に適度の水濕を保ちて、乾燥の害を受くることなく、而かも水の停滯する恐れなきを要し、また稍々緊れる土質の地に栽培すれば、薯形の小なるは免がれぬが、よく緊りて、粘氣强き優良品を得らる。

また長根の種類も、適度の濕氣を要することは、他種と異ならぬが、併し根が土中に深く穿入するので、多濕の地を選ぶの要を認めぬのみならず、寧ろ排水良き高燥地にして、且つ稍々輕き土質を、最適となすのである。

第四節　栽培法

一、繁殖法

普通は薯の一部を切りて、種薯となされてゐるが、一時に多くの繁殖をなさんとせば、零餘子(むかご)を播きて、之れを養成せねばならぬ。

1. 零餘子による繁殖法

秋季零餘子を採收し、粒形のよく揃へるものを選びて、之れを直に播種するか、又は一時乾砂中に貯へ置き、翌早春に至りて播付けを行ふのである。何れにせよ叮嚀に深耕して、幅三、四尺、長さ適宜の平床を設け、之れに一尺位の距離に作條を切り、また基肥として腐熟堆肥を充分に施し、次いで零餘子を約三寸の株間に點播し、その上に一寸位の厚さに覆土し、更に藁類を被ふて乾燥を防ぐ。如斯に播種すれば、坪當り一升二、三合の零餘子を要する。

發芽して、蔓が三寸位に伸びた頃に、人糞尿・米糠の如きものを追肥として施し、また除草・中耕・培土を行ひ、且つ支柱を立てゝ、蔓を纏はしめ、更に一回追肥を與へて薯の發育を計る。また乾燥の虞あらば敷藁を覆ふ。

長薯の如きものは、一箇年にして薯よく數寸乃至一尺位の長さに伸ぶるが故に、秋末に至りて掘り起し、一時乾砂の中、又は木灰を混じて貯藏し置き、翌春之れを種薯に供する。

斯くして養成せしものは、反當二、三十貫匁の種薯で足る。

2. 種薯による繁殖法

普通に收穫した長薯の類は、その頭部のみ若くは全薯を約三寸の長さに切取り、また塊狀のもの——特に伊勢薯は、零餘子を生ぜぬから、主ら本法に據らねばならぬ。——は、之れを數片に切りて、その一片を約二、三十匁となし、切口に木灰を塗りて栽植に供するのである。併しその種薯量は略ゝ前者に倍し、少なくとも反當五、六十貫匁を必要とする。

如斯になしたものは、栽植後その切口より往々腐敗するの虞あり、また種薯の部分によりて、薯の發育に差違を生ずるを免がれぬ。されば出來得れば、小形の種薯を切斷することなしに、用ゆるの勝れるに如くはないのである。

二、栽植

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本畑は、春二、三月頃栽植すべき品種の根の長さに應じて深耕し、更に耕耘して石礫類を去り、土塊を砕き、以て土地を膨軟ならしめ、次いで二尺五寸乃三尺位の距離に植溝を設け、基肥を施して少しく土を覆ひ、一尺乃至一尺五寸の株間に、種薯を一箇宛點植し、また薯の長きものは横伏せとなし、二、三寸の厚さに覆土を行ふ。若し土地の乾燥するが如き虞あらば、更に籾殻又は藁類を覆ふて、適度の濕氣を保たしめる。また若し整地不充分にして土塊あらば、岐根を生じ易き傾向がある。

薯蕷は一般に連作を忌むものであるから、少なくとも二箇年間位は、之れを休栽せねばならぬ。否らざれば薯の發育遲々たるを免がれぬ。併し二、三年間生長を續くる品種にして、之れを放置する場合には、さしてその害を認めず。次第にその肥大生長を續けゆく。

二、施肥・管理

薯蕷は有機質肥料を好み、また窒素・燐酸の效能の大なることを一般に認められてゐる。されば之れが肥料としては、多く堆肥・米糠・油粕・草木灰等が愛用せらる。

今、その反當肥量の大體の標準を、左に述べる。

薯蕷の反當施肥量

肥料名	總量	基肥	追肥		含有三成分		
			第一回	第二回	窒素	燐酸	加里
堆肥	三〇〇貫	三〇〇貫	—	—	一・七四〇貫匁	〇・九〇〇貫匁	一・五〇〇貫匁

落花生油糟	一〇	—	一〇	—	〇・四五四	〇・一三七	〇・一五〇
米糠	二五	一五	—	一〇	〇・五二〇	〇・九四五	〇・三五〇
草木灰	一〇	一〇	—	—	—	〇・三九〇	一・一七〇
人糞尿	二〇〇	一	一〇〇	一〇〇	一・一四〇	〇・二六〇	〇・五四〇
計					三・八五四	二・六三三	三・七一〇

栽植後約三週間位にして發芽を始め、且つ一株から多くの芽を發生するを普通とする。それ等の芽の中、生育良好なるもの一本のみを殘して、他のものは悉く之れを掻き去らねばならぬ。否らざれば多くの小薯を生じて、大薯を産することは困難である。

また蔓が一尺位に伸びた頃、適宜の支柱を立てゝ之れに纒はしめる。支柱は屋根形に竹を立つるか、又は畦の兩側に太竹を立て、之に四、五段の縄を張るを一般とする。その後若し枝蔓を發生せば、之を除き、また立蔓も、その生育が旺盛に過ぐれば、薯を害するの虞あるが故に、適宜摘芯を行ふを良しとする。

之と相前後して、追肥として二回程適宜稀薄なる人糞尿及び落花生油粕・米糠を施して、その發育を助け、且つ除草・中耕・培土等を行ふのであるが、その生育が進みし後は、嚴に中耕を避け、單に除草丈けに止めねばならぬ。これ薯蕷の鬚根は太くして數少なく、且つ地表に淺く蔓延するが故に、中耕によりて之れを切斷すれば、その勢力をして衰へしめ、以てその後の薯の發育を、阻害すること尠なからざるが爲めである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

また薯蕷は乾燥を忌むものであるから、旱魃の際には、その根邊に敷藁を敷くか、若しくは時々灌水せねばならぬ。

第五節　收穫・貯藏

薯蕷は十一、二月頃に至れば、その蔓葉が枯死するを以て、先づその蔓を刈除き、次いで畦の一方より叮嚀に採收を始めるのである。又は蔓葉の黄枯後より、春季發芽前迄の間に於て、必要に應じて、順々に掘採りても差支ない。

之れが收穫に當りては、短根種はさまでゞないが、長根種は特に細心の注意を拂ひて、薯に微傷だも負はしめぬやう、叮嚀に掘採らねばならぬ。若し之れを多少でも傷くれば、商品としての價値と、貯藏力とを大に減ずるを免がれぬ。

その收量は、品種と栽培法とによりて異なるが、平均大約四、五百貫匁内外を得らる。

また之れを貯藏するには、幾分か濕氣を含める砂中に埋めて置けば、翌春三、四月頃迄、貯藏に堪へる。

第六節　病蟲害

薯蕷には病蟲害の種類少なく、且つさしてその被害も多くないが、時折認めらるゝもの二、三を左に擧げる。

第一款　病害

薯蕷の病害には、大體薯蕷炭疽病・薯蕷斑點病・薯蕷褐斑病の三種なり、共に夏秋の候に於て、葉を侵し、特に霖雨の際に多くその發病を見、何れも同一方法にて防除し得られるから、先づそれ等の病原菌・病徴を述べ、次いで一括して之れが防除法を講ずることゝする。

1. 薯蕷炭疽病　一名、薯蕷葉枯病

病原菌 Cylindrospovium Dioscovea, Miyabe et Ito.

病徵 葉面に、黄色又は黄白色の斑點を生じ、その斑點の形は種であるが、葉脈に界せられたる多角形を呈し、漸次擴大して互に融合する。またその斑點は後に暗褐色に變じて穴を生じ、若しくは葉面全部が褐色に枯る。

2. 薯蕷斑點病（やまのいもはんてんべう）

病原菌 Cercospovina Dioscoveae, Ell. et Martin.

病徵 葉面に多角形の斑點を生じ、斑點は漸次擴大し、黄褐色を帶びて枯れ、その面に毛茸を生ずる。

3. 薯蕷褐斑病（やまのいもかつはんべう）

病原菌 Phyllosticta Dioscovea, Cke.

病徵 葉面に、圓形又は多角形の茶褐色の斑點を生じ、その周圍に暗色の輪廓あり、後ち斑點擴大し互に融合して、その中央部が灰色に變じ、また黒色の小斑點を散生する。

防除法 (右三種共通)

(1) 發病の虞あらば、二週間隔て位に、三斗式石灰ボルドウ液を撒布するが良い。

(2) 發生甚だしき病葉は、之れを摘採つて燒却せねばならぬ。

(3) 連作を避けねばならぬ。

(4) 陰地・濕地を避け、且つ燐酸、加里肥料を、適宜多施するが良い。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第二款 害蟲

薯蕷の害蟲としては、**ヤマイモメクラガメ**と**ナガコガネ**との二種が、時折見受けられるが、さして認むべき被害を呈せぬ。

1. ヤマイモメクラガメ

學名 不明

加害生態 成蟲・幼蟲。

形態 黑褐色の椿象(くさがめ)にして、その體長は一分餘に過ぎぬ。

被害部 葉。

加害狀態 成蟲・幼蟲共・葉裏に群集し口吻を以て汁液を吸收して葉を枯死せしめ、時に可なりに慘害を呈する。

防除法 その成蟲・幼蟲共・除蟲菊石鹼合劑・除蟲菊加用石油乳劑等の撒布によりて之れを驅除するが良い。

2. ナガコガネ

學名 **Adoretus sinicus**, Burm.

加害生態 成蟲。

形態 成蟲は灰褐色の金龜子(こがねむし)にして、その體長は三分內外である。

被害部 葉。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

加害狀態　その成蟲は、主ら夜間出でゝ、葉を稍ゝ網狀に食害する。

防除法　(1)　葉上に、砒酸鉛二十匁を水一斗に溶かした液を、撒布して置くが良い。

(2)　敏捷に飛立ち得ぬ夜間又は早朝に、之れを捕殺するが良い。

第三章　荳・薯

別名　葛薯・番葛・地瓜・刈薯(臺灣名)

英名　Yam-bean.

學名　**Pachyrhizus angulatus,** Rich. (=**P. bulbosus,** Britt.)

科名　荳科

第一節　由來・性狀・用途

由來　荳薯は熱帶亞細亞の原產であるらしく、また現今交趾支那・馬來半島・墨西哥・臺灣等の熱帶の各地に亘りて、廣く栽培されてゐる。

性狀・用途　一年生の蔓性植物にして、その形質よく葛に酷似し、蔓は細くして五、六尺に伸び、よく分岐し、右旋性を有する。蔓葉とも、その表面に毛茸を密生し、葉は複葉にして三小葉より成り、各小葉は稍ゝ丸味ある長三角を呈する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

花は藤紫色にして、一花梗上に二花を着け、莢は細長く扁たく、その長さ三、四寸位あり、内に十粒内外の種子を藏する。薯の美味なるに似ず種子は有毒である。

薯は扁圓形又は星の玉形を呈し、外皮帶黃白色にして厚く、且つ容易に剝離し、また肉は色純白、齒切れよく、一種の味あり、澱粉・糖分の含量多く、滋養分に富み、臺灣料理には、必要缺くべからざる重要蔬菜の一となされてゐる。

第二節　栽培法

一、氣候・土質

豆薯は溫暖なる氣候を好み、且つ排水良き砂質壤土の如き輕き土質に良品を產し、また肥沃地と多濕地とは之れが厭むところである。

二、栽培法

之れを栽培するには、春三、四月頃畑地を充分に深耕・整地し、條間を二尺五寸乃至三尺、株間を七、八寸位となして一箇所に三、四粒宛摘播を行ふのである。斯くせば反當約三升の種子を要する。

播種後二週間前後にして發芽を始むるを以て、漸次間引をなし、最後に一株一本立となすのである。また蔓が伸びて一尺位になつた頃、長さ五、六尺許りの支柱を與へ、若し蔓が餘りに伸び過ぎる慮あらば、その先端を摘芯し、また花蕾を生ぜば、直に之れを摘除して、薯の發育を助ける。

その生育中に、一、二回程中耕・培土をなし、且つ隨時除草を行ふ。

肥料としては、餘り濃厚なるものを好まぬ。さればその基肥として、反當堆肥三百貫匁、過燐酸石灰五貫匁、草木灰十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

貫匁、人糞尿百貫匁許りを用ひ、またその追肥として、人糞尿を百貫匁位宛三回程與ふれば充分である。

第三節　收穫・貯藏・採種法

薯は、下種後七、八箇月にして充分に肥大する。卽ち、十二月乃至一月頃を收穫の適期となし、反當平均四、五百貫匁内外の收量を得らる。

荳薯は收穫後何等手段を講ずることなしに、よく三、四月頃まで、之れを貯藏し得らる。

また採種せんとせば、過ぐる九、十月頃の開花結實せし際に、熟度の一樣なるものを採種して乾燥し、貯へ置きて翌年の種子に供するのである。

第四節　病蟲害

荳薯には、さして恐るべき病蟲害を見受けぬが、時折吾人の眼に入るものとしては、荳薯銹病と**タイワンマルカメムシ**とである。

1. **荳薯銹病**（くゎいもさびべう）

病原菌　**Phakopsona Pachyrhizi**, Syd.

被害部　葉。

病徵　初め葉裏に黃褐色粉狀の胞子堆を生じ、次いで漸次蔓延し、遂には葉を乾枯落下せしめる。

發病時期　北部にては七月下旬以降。

防除法　(1) 肥料の配合に注意し、以て植物をして、健全に發育せしめねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(2) 被害菜は集めて燒却するが良い。
(3) 輪作を勵行せねばならぬ。

2. タイワンマルガメムシ

學名 **Coptosoma cribrarium,** Fabr.

加害生態 成蟲・幼蟲。

形態 圓形の椿象にして、體は黄綠色の地に、黒褐色の點刻を散在し、その體長は一分四厘許りである。

被害部 莖・葉柄・葉脈。

加害狀態 成蟲・幼蟲共に、その口吻を莖・葉柄・葉脈等の組織内に挿込んで、汁液を吸收して害する。

その防除法は、害蟲の部の**ヤマイモメクラガメ**に準ずる。(第一編 根菜類終)

第二編 莖菜類

目次

一、塊莖類——一、馬鈴薯——二、里芋——三、球莖甘藍——四、菊芋——五、甘露兒。
二、鱗莖類——一、葱——二、韮葱——三、分葱——四、韮——五、薤——六、葫——七、百合——八、雜類。

蔬菜類中で、地下莖又は地上莖がよく發達し、之れを對象として栽培するものを、總稱して莖菜類といひ、更にその形態によりて、塊莖類と鱗莖類とに分たれる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一類　塊莖類

第一章　馬鈴薯

別名　瓜哇薯・二度薯・五升薯・八升薯・陽芋・弘法薯・御助薯・和蘭薯・濠洲薯・南京薯・香芋。

英名　Potato, or Irish Potato.

學名　**Solanum tuberosum, L.**

科名　茄科

第一節　由來・性狀・用途

由來　馬鈴薯の原產地については、諸學者がそれ〴〵説を異にしてゐるが、大體に於て、「馬鈴薯は、南米智利及び白露の高原地方に、その源を發したものである。」といふ説が、一般に信じられてゐる。

またその栽培起原は、明瞭に之れを知るをえぬが、亞米利加發見當時既に、その地方の土人等によつて栽培されてをつたといふ。

その後一五五〇年頃、西班牙の僧侶が南米エクアドルより之を自國に齎らしたるを、歐洲に渡來せし抑々の始めとなし、漸次歐洲各地に廣まつたのである。特に英國愛蘭に於ては、之が研究・繁殖・奬勵に深く力を盡されたので、最も優良品を產するに至つた。さればその一名を愛蘭馬鈴薯といはれる程に、弘くその名を知られてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

馬鈴薯はその後、歐洲より東漸して印度に入り、次で爪哇・スマトラ地方に傳はり、更に今より三百三十餘年前、卽ちわが慶長三年(二二五八年)に、和蘭船によつて爪哇のジャカトラ Jacatra——バタビヤ Batavia の舊名——より、始めて長崎——當時の唯一の開港場——に輸入された。之を甘藷の渡來に比すれば、約三十年の古き歷史を有してゐるが、その渡來の當初に於ては、その風味一般世人の嗜好に適せず——歐州でも略ゝ同じ徑路を經たのである。——して、一種の愛玩用として栽培さるゝに過ぎなかつたが、天和・天明の大饑饉以來、漸次栽培需要せらるゝに至つたものであるといふ。

特に甲州の代官中井清太夫氏は、天明の饑饉後に於て、また飛彈の代官幸田善太夫氏は寶曆年間に於て、共に之が奬勵に尠なからず力を盡された。それ故に、それ等の地方に於ては、清太夫薯・善太夫薯の別名すら、附せられてゐる。

降て明治七、八年頃、舊開拓使が、その優良品種を米國より輸入して以來、漸次その栽培面積と需要とを增加した。

性狀　馬鈴薯は多年生草木であるが、每年その莖葉枯れ、薯によりて越年する。また內地に於ては、主ら一年草として栽培され、本島では二年草として栽培せらる。

莖は高さ一、二尺位、葉は羽狀複葉をなして互生し、葉腋に枝を生ずる。また莖の頂端より聚繖花序を抽出し、白・淡紫又は黃色の五乃至七瓣花を開き、圓形又は扁圓形の果實を結び、內に微細なる種子を藏する。

また地下の側枝の先端に、養分を蓄積して薯を形成する。薯は品種によつて、その形狀・色澤を異にし、その先端に多くの眼——一箇の眼の中に、多くは三箇以上の芽を存する。——を有し、その主成分は澱粉及び糖分にして、また特有の香味を帶ぶ。併し、薯の發芽に際しては、幼芽の附近にソラニン Solanin $C_{43}H_{75}NO_{15}$ なる毒素を多量に成生し、往々にして家畜を死に至らしめることがある。されば發芽を催せる薯は、かたく人畜の食用に供するを嚴禁せねばならぬ。

用途　馬鈴薯は蔬菜用たるの外、米麥の代用品として之を常食物に充つるを得、また菓子・味噌・醬油を製し、澱粉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

酒精の原料に供せられ、加之海外に輸出せらるゝの量も、年と共に増加の傾向を示し、而もその栽培上、氣候・土質の制限を受くること比較的に少なくして、北は樺太より、南は本島に至るまで、廣く之を栽培することが出來、且つその栽培容易であり、且つ生育期間短く、收量亦尠なからざるが故に、近年著るしくその栽培面積を增加し、以て重要蔬菜の一たるの位置を占むるに至つた。

第二節　品　種

從來本島内で栽培されてをつた品種は、主ら長崎赤の一種であつた。同種は性質强健、從て栽培容易であるが、如何にもその品質劣れるが爲めに、世の人の之を忌むもの漸く多く、今やアーリー・ローズ、スノー・フレーク及びその他の優良品種によりて、置き換へらるゝの機運に向つて來た。

1. アーリー・ローズ Early Rose.　一名、二度藷・薄赤・夏藷。

本種は早生の米國種で、ブレッシー氏 Bresee が、ジャックソン・ホワイト種 Jackson White より改良したものであつて、明治七、八年頃に、我が内地に輸入されたものである。その品質優良、且つ栽培容易なるが爲めに、現今各地に亘り、廣く栽培されてゐる。

藷は大さ中位、外皮滑かで、淡紅色を呈し、長楕圓形にして扁たく、眼は稍〻深く、その數稍〻多く、また芽は淡紅色を呈する。肉は淡黃色、質緻密にして粉狀を呈し、水分多からず、澱粉量は稍〻少ないが、甘味に富みその味佳良にして煮食その他一般調理に好適である。唯〻疫病に對する抵抗力の弱きを、その缺點とせらる。

因に、ジャックソン・ホワイト種は、北米產の早生種で、藷大にして不正楕圓形を呈し、その斷面圓く、眼深く、外皮白色で滑か、肉また白く、豐產にして、之が栽培上さして土質を選ばぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

2. アメリカン・ウンダー American Wonder. 一名、亞米利加大白。稍々晩生の米國種で、薯は大にして、長楕圓形を呈し、その斷面丸く、眼深からず、その數稍々少なく、芽は淡紫色を帶ぶ。また外皮暗黄色、肉黄白色、その質粗、澱粉の含量少なく、味佳良にして、疫病に稍々強く、收量に富む。

3. ルーラル・ニューヨーカー Rural New Yoker. 一名、長白。

本種は稍々晩生の米國種で、薯は形大にして、長楕圓形をなし、眼は稍々淺く數多く、芽は淡紫色を含む。また外皮は粗糙であるが厚からず、その色暗黄である。肉は淡黄白を呈し、質緻密にして緊り、水分少なく、味佳良、收量多く、而も澱粉量に富み、その性強健である。

4. アーリー・ビューティー・オブ・ヘブロン Early Beauty of Hebron

米國では、蔬菜用・澱粉用・飼料用として有名な早生種である。

薯は、大にして、楕圓形をなし、その斷面扁たく、眼深からず、數亦少なく、芽赤く、外皮滑かで、暗黄赤色を呈する。肉は色淡黄、質粉狀にして緊らず、水分少なく、味佳良、その性強健で、よく疫病に耐え、わが内地では可なりに廣く栽培されてゐる。

5. スノー・フレーク Snow Flake. 一名、雪片(ゆきがた)。

本種は、米國に於て、アーリー・ローズと他の品種との雜種によつて得たる、稍々晩生の優良種である。

薯は形小さく、長卵形にして扁たく、眼は淺いが、數多く、その芽白色を呈する。外皮暗黄色にして、粗糙であるが厚からず、肉黄白色、質緻密で稍々緊り、粉質を帶び、また粘力あり、その味甚だ佳良にして、澱粉に富み、收量も尠なくない。

6. バーバンクス・シードリング Burbank's Seedling.

北米の育種家故ルーサー・バーバンク Luther Burbank が、實生によつて作出した優良種である。

薯は小形にして丸く、眼は深く、その數多からず、芽白く、外皮は暗黄色を呈して薄く、且つ滑かである。肉は淡黄色で、粒密・水分共に中位、澱粉の含量多く、甘味強く、從てその食味佳良、病害少なく、收量中位である。

7. グリーン・マウンテン・シカゴ・マーゲット Green Mountain Cicago Market.

薯は楕圓形をなし、形小にして扁たく、眼深からず、數少なく、その芽は淡紅色を含む。また外皮滑かにして、暗黄色を呈する。肉は色純白、質粒糙・柔軟にして、水分少なく、澱粉多く、甘味に富み、その品質優良にして。病害に強き晩生種であるが、多くの收量を望むことは出來ぬ。

8. ダコタ Dacota.

薯は大にして、短楕圓形を呈し扁たく、眼淺く、數多からず、芽は白色を帯ぶ。外皮淡紅色で、粗糙にして薄く、また肉は淡黄白色、質緻密にして緊り、水分少なく、澱粉の含量多く、品質中位、收量多く、晩生にして、病害によく耐へる。

9. マイアッツ・アッシュリーフド・キドニー Myatt's Ashleaved Kidney.

薯は長腎臓形にして、極めて小さく、眼は淺く、數少なく芽白を帯ぶ。外皮は稍〻緻密にして、滑かで鮮黄褐色を呈する。また肉は、柔軟・淡黄白色にして、水分・澱粉共に少なく、甘味強くして、頗る美味なるが爲めに、調理用として喜ばれる。

10. 知多早生 一名、早生白。

本種はよく病害に耐えるが收量少なき早生種である。

本種は、愛知縣下に於て、アーリー・ローズから選出されたものだといはれ、同縣下特に知多郡内に、多く栽培されてゐる。

藷は、形よくアーリー・ローズに似て、長楕圓形を呈し、大にして扁たく、その皮肉共に淡黄白色、水分多く、また可なりに美味で、相當の收量がある。

11. 長崎赤　一名、**金時**（神奈川）。

本種は、明治初年頃より長崎市附近に栽培されてゐた中生種であるが、その昔、和蘭船によつて齎らされたものであらう。

藷は形中位で圓く、眼は大にして甚だ深く、その數稍ゝ多く、またその外皮は滑かで、鮮紅色を呈する。肉は淡黄色にして緊り、水分多く、甘味に乏しく、その外觀・食味共に劣る。併しその性强健で、病害に對する抵抗力强く、豐產にして、且つよく貯藏に堪える等の優點があり、加之本島の風土に適するので、從來可なりに栽培されてをつた。

第三節　氣候・土質

氣　候　馬鈴薯、は現今世界の各地に亘り、分布の範圍極めて廣きものであるが、その原產地より推して知らるゝが如くその性よく冷涼なる氣候を好む。されば之れが營利的大栽培を行はんとせば、溫帶の北部地方が最適とせらる。而かもわが內地に於てすら、夏季の高溫季を避けて、春秋の二季に栽培されてゐる。若し之れを敢て本島の如き暖地に栽培すれば、その莖葉はよく繁茂するが、彼の恐るべき疫病に罹り易く、從つて多くの收量を望むことは困難である。斯かる地方では、氣候の冷涼な秋冬の候か、又は高原地方に栽培するの方策に出でねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

土質 馬鈴薯は土質を選ぶこと少なくして、よく生育するが、地味の適否は、その收量・品質に、著るしき差違を來すを免がれぬ。即ち、耕土深く、高燥輕鬆にして、且つ肥沃なる砂質土又は壤土に好適し、斯かる土地に栽培すれば、その風味優良にして、よく貯藏に堪へ、而かも多くの收量を産する。

反之、粘重滋潤なる土地に栽培すれば、病害に罹り易く、形狀・外觀・品質共に不良、且つ收量少なく、水分に富み、澱粉の含量亦少なく、加之貯藏に耐へ得ぬものであるから、かゝる土地は、之れが栽培を避くるを得策とする。從つて水田の裏作として、馬鈴薯を栽培する場合には、特に排水に注意せねばならぬ。

馬鈴薯の疫病は、高溫と過濕とが、共にその近因をなし、殊に有機質に富む粘重土では、その害特に甚だしきものがある。

第四節 栽培法

一、種薯

本島では疫病の關係で、夏季の栽培は全然望なく、また春季收穫せしものを秋季迄貯藏すれば、薯は著しく萎縮し、且つ半途にして發芽を始むべく、之れが安全なる貯藏法は未だ見出されてをらぬ。されぱその種薯を、年々に内地の本場より、取寄せねばならぬのである。

併し本島内でも、數千尺の蕃地に於て、之れが種繼（たねつぎ）の目的で栽培をなさば、年々内地より、その種薯を取寄するの手數を省き得るであらう。

種薯は、品種固有の性狀を具へ、病蟲の被害なく、外傷の痕を認めず、且つ乾燥に失せず、また發芽を催してをらず、

成るべく新鮮なる薯を選ばねばならぬのである。

種薯の大小については、大なるものを用ふる程、收量を増すものであることは、各地に於ける多くの試驗の結果に徴して、明かなるところであるが、從て多くの種薯を要しては不經濟である。されば十匁乃至二十匁内外の中薯を用ふるを得策とする。

また種薯は、全形の儘のものを栽植するよりも、大なるものを縱に二つ割となし、また小薯でも、その上端又は下端の一部を切去つて植へる方が、一般に發芽すること早く、且つその收量を多からしめる。但し、薯の切口には、直に煤又は木灰を塗抹し、その部の乾燥するを待つて栽植を行ふべきである。

その反當種薯量は、薯の大小によつて差違あるが、大約三、四十貫匁を以て、標準とされてゐる。

二、栽　植

本島では、十月乃至十一月、特に十一月を、その栽植の適期となすが、氣候冷涼なる高地にありては、三、四月頃に栽植しても差支ない。

本畑は豫め充分に深耕・砂耙をなし、乾燥地に於ては平畦で宜しく、また排水不良の低濕地では、是非共高畦を設けねばならぬ。次で普通二尺隔てに、稍ゝ深き植溝を掘りて、之に基肥を施し、少しく土を覆ひ、その溝の中に、株間を一尺内外となして一箇宛配置し、その上は輕土ならば約二寸五分、重土ならば一寸五分位の厚さに、覆土するのである。若しその覆土が厚過ぐれば、發育不良にして、薯の著生少なく、また淺きに失すれば、薯は苦味を帶びて、その外觀を損するの虞あるを免がれぬ。

また馬鈴薯・茄子・蕃茄等の茄科の作物は、土壤傳染による共通の病害たる、彼の青枯病・疫病を有し、連作によりて慘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

害を呈することが尠ない。されば畑地にありては、二、三箇年乃至四、五箇年間位、之を休栽せねばならぬ。然るに水田の裏作にありては、灌漑水の爲めにその病原菌は、死滅するを以て、よく連作に耐る。

三、施肥・中耕・培土

馬鈴薯は好んで窒素を吸收し、亞で加里を要し、燐酸はその效稍〻少なきやうである。また草木灰の適量を施さば、病害豫防に有效である。

之が反當施肥量は、大體に於て左表に準ずるが良い。

馬鈴薯の反當施肥量

肥料名	總量	基肥	追肥 第一回	追肥 第一回	含有三成 窒素	含有三成 燐酸	含有三成 加里
堆肥	三〇〇貫匁	三〇〇貫匁	—	—	一·七四〇貫匁	〇·九〇〇貫匁	一·五〇〇貫匁
大豆粕	七	七	—	—	〇·四四九	〇·〇九二	〇·一三〇
過燐酸石灰	六	六	—	—	—	一·一四〇	—
草木灰	八	八	—	—	—	〇·三二二	〇·九三六
人糞尿	二五〇	五〇	一〇〇貫匁	一〇〇貫匁	一·七四五	〇·三二五	〇·六七五
計					三·九三四	二·七六九	三·二四一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

追肥の期節は、その生育に著るしき關係を有する。即ち、栽培後十數日を經、薯が發芽し始めて、將に芽を地上に出さんとする時に、第一回の追肥を施し、次で除草・中耕をなして、その一側より薄く四、五分位の程度に培土を行ふのである。更に一箇月位を經て、第二回の追肥を施し、同時にその兩側より、根元に深く土を寄せ附ける。

中耕と培土とは、馬鈴薯の栽培上、最も肝要なる作業で、之によりて土壤を膨軟になし、薯の發芽を促し、また疫病の薯に傳染するを豫防し、且つ薯が地表に露はれて綠變するを防げる。併しこの作業にして、晩きに失すれば、莖葉を損じ、また薯の發育を阻害するの虞があるのである。

四、除蘖・摘芯・摘花・藥劑撒布

薯から發芽せし莖が、數寸に伸長した頃、若し一株より多くの芽を發生せば、除蘖――芽搔き――を行つて、强健なるもの二本のみを殘し、他は悉く之を搔去らねばならぬ。若し之を怠らば、枝葉密生に過ぎて軟弱となり、肥大なる薯を生産すること困難である。その後十日許りを經れば、再びその根際より、多くの芽を生ずるものであるから、更に今一度之を搔去るが良い。

また花蕾を生ぜば、直に之を摘除し、以てその全勢力を、薯の成生に向はしめねばならぬ。尙ほ、若し莖葉の繁茂著るしき場合には、摘芯を行ひて、之が勢力の抑制を計るを良しとする。

その生育中、疫病發生の有無に不拘、二、三回程二斗五升式石灰ボルドウ液を二、三週間隔てに撒布し、以てその豫防に努めねばならぬ。否らざれば、その被害の爲めに、收穫を見る能はざることすら、決して尠なくないのである。

第五節　收穫・貯藏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、收　穫

栽植後三、四箇月を經れば、その莖葉は五、六分通り枯色を呈するから、之が收穫を始め得る。即ち、二、三月頃を收穫の適期となすのである。若し不幸その適期を逸することあらば、外觀と品質とを損ずべく、また未熟なるものを掘採らば、その收量少なきのみならず、外皮柔軟にしてよく傷を受け、從て腐敗を招き易き不利が伴ふのである。

之を收穫するには、雨天・曇天の日を避けて、土地の乾燥せる快晴の日を選び、粘質地ならばその一側より鍬で掘起しまた輕鬆土ならばポテトー・フックの類で掘採りを行ふのである。

薯は一反歩につき、大約五、六百貫匁の收量を產する。

內地の都會附近で、輕鬆土に栽培された場合には、市價の具合によつては、その適當な收穫期を待たずして、早期に「探り掘り」と稱して株元に手を挿入し、手探りで、適度の大さに發育した薯のみを探り採ることもある。

この「探り掘り」をなした後は、株を傷けぬやうに、舊の如くに土を覆ふて置かねばならぬ。

「探り掘り」は、一種の間引法であるから、叮嚀に之を行はゞ、殘つた薯は、その發育却て良好である。從て收量を增加するの結果となるのである。

二、貯　藏

薯を貯ふるには、收穫の際に無傷にして形狀よく揃へるものを選び、一兩日間陽光で乾かした後、冷涼・乾燥な、而も餘り空氣の流通せぬ暗所を選び、之を貯藏すべきものであるが、本島の氣候は高溫・多濕なるが爲めに、之を貯藏しても、病害・萎縮・發芽等の原因で失敗に歸し、殆どその望みなきが故に、收穫後は速かに之を金錢に代ふるの得策なるに如かず。併し收穫後二、三箇月位は、その儘で貯藏して置ける。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

また馬鈴薯を、永く日光に當てゝるれば、次第に綠色を帶び、發芽を催し、有毒素たるソラニンを成生するものであるから、先づ之が貯藏法に注意し、且つかゝる薯は、絶對に之を食膳に上せてはいかぬ。

本島中、氣候冷涼なる高地に於ては、夏季でもよく馬鈴薯を栽培することが出來、之を行ふて種組をなさば、態々每年內地から種薯を取寄せるの煩も、また貯藏の失敗をも招かずに濟み、且つ公・私經濟上からも、是非共之を奬むべきであるのである。

第六節　病蟲害

第一款　病害

馬鈴薯の主要病害としては、左記四種類であるが、それ等の中、被害最も劇甚にして一般に恐れらるゝは、馬鈴薯疫病と馬鈴薯夏疫病との二種である。

1.　馬鈴薯疫病（ばれいしよえきびやう）

病原菌　**Phytophthova infestans,** (Mont.) de Bary.

被害部　莖・葉・薯等。

病徵　葉を侵さるれば、初め青白色の腐つた如き病斑を現はし、次で白色の黴を生じ、軈ては汚褐色に變じ、遂には腐敗するに至る。若し天候陰濕ならば、その莖葉は一週間許りで、殆ど腐敗し盡して、收穫皆無となることすら尠なくないのである。

また薯が侵さるれば、その外面稍〻凹陷し、內部變色し、爲めに食用に堪へ得ざるに至る。

發病時期　北部では一月乃至三月頃に、多くその發病を見る、また往々貯藏中に、甚だしき被害を呈する。

防除法

(1) 種薯は、原則として無病地より選ばねばならぬ。

但し何等かの事情にて、敢て發病地より種薯を採らんとせば、豫め昇汞の〇・五%液、又はフォルマリンの二%液中に、約二時間程浸漬消毒したる後、陽乾して用ひねばならぬ。

(2) 生育中は、發病の有無に拘らず、その莖葉上に、二、三回程三斗式石灰ボルドウ液を撒布せねばならぬ。

(3) その莖葉に發病を見たならば、速にその根邊に三、四寸許り覆土して、薯に傳染するを防がねばならぬ。

(4) 薯の收穫は、是非共晴天の日に行ふべく、また貯藏せんとする場合には、疑はしきものは力めて之を除去し、且つ日光に曝して、過剰の水分を發散せしめた上で、貯へねばならぬ。

2. 馬鈴薯夏疫病（ばれいしよなつえきべう）

病原菌　**Alternaria Solani,** (E. et M.) Soraner.

被害部　主に葉を侵す。

病徴　葉上に、灰褐色又は赤褐色不正形の同心圓の乾燥した病斑を生ずる。またこの病斑を多數發生すれば、葉は遂には黄枯するに至る。

發病時期　本島北部では一月乃至三月頃。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

防除法　生育中は發病の有無に拘らず、二、三回程石灰ボルドウ液を撒布して、之が防除に力めねばならぬ。

3. 馬鈴薯青枯病

病原菌　**Bacillus solanacearum**, Smith.

被害部　薯・根。

病徵　株の外觀が、恰も水分を絶つた如くに、初めは芯葉のみが萎凋して下垂するが、軈て下葉に及び、一週間許りで腐敗枯死するに至るものである。その病莖を切斷すれば、切口より黃白色の液が滲出するを見る。

發病時期　多くは、株の餘り大きくならぬ中に發病する。

防除法　(1) 病株は發見次第、速に之を掘採つて燒却し、その跡地には生石灰又は木灰を混じて消毒せねばならぬ。

(2) 本病は茄科作物に共通の病害であるから、同科以外の作物と輪作せねばならぬ。

(3) 種薯は罹病地より採るを避け、且つ畑地の排水を可良ならしめねばならぬ。

4. 馬鈴薯瘡痂病

一名、馬鈴薯痂皮病。

病原菌　**Oospora scabies**, Thaxter.

被害部　薯。

病徵　植物の未だ幼稚な時代に、薯を侵して、その表皮に不規則で、粗糙な褐色の疣、又は凹斑を現は

し、その部にコルク質の組織をつくる。

その被害は、多くは表皮のみに限られるが、また薯の内部にも侵入することがある。

發病時期　北部では一、二月頃。

防除法　(1) 種薯は無病健全なものを選び、且つフォルマリン液に約二時間許り浸漬消毒した後に栽植するが良い。

(2) 輪作を勵行し、且つ畑地の排水を可良ならしめねばならぬ。

第二款　害蟲

馬鈴薯の害蟲としては、莖葉の養液を吸收するものに、**ペルシャアブラムシ**あり、また莖・葉・薯を咬食するものに、**タイワンオホコホロギ**、**タイワンキドクガ**・**メンガタスズメ**及び**タイワンテントウムシダマシ**の變種等が、その主要なるものである。

1. **ペルシャアブラムシ**　蘿蔔の部參照。

2. **タイワンオホコホロギ**　甘藷の部參照。

3. **タイワンキドクガ**

學名　Porthesia taiwana, Shiraki.

加害生態 幼蟲。

形　　態 幼蟲は橙黃色の蛅蟖で、その各節には、有毒なる束狀の短刺毛塊を、數個づゝ具へ、體長は一寸內外である。

被 害 部 葉。

加害狀態 幼蟲は葉を、その葉緣より不規則に咬食する。

防 除 法 (1) 幼時群棲せるものは、その着葉と共に、之を驅除するが良い。

(2) 魚籐液・除蟲菊石鹼合劑又はその他の毒劑の撒布によつて、容易に驅除せらる。また驅除の際等には、手を直接その毒毛に觸れぬやう、注意せねばならぬ。

4. メンガタスズメ

學　　名 Acherontia styx, West.

加害生態 幼蟲。

形　　態 體は黃色又は黑褐色にして、背面に細點が密布されてゐる。また體側に七條の斜帶あり、その體長は三寸に及ぶ。

被 害 部 葉。

加害狀態 幼蟲は葉緣より不規則に咬食する。また時に、中脈のみを殘して、他を全部喰盡すことがある。

防 除 法 幼蟲は發見次第、之を捕殺せねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

5. タイワンテントウムシダマシの變種

學名 Epilachna indica, Muls.

加害生態 幼蟲・成蟲。

形態 幼蟲は黄色を呈し、多數の刺毛を有するが、毛に毒なく、體長は三分に達し、またその成蟲は黄褐色で、半球形を呈し、十二個の黒點あり、體長は二分五厘許りである。

被害部 葉。

加害狀態 幼蟲・成蟲共に、葉の片面の表皮のみを殘して、その葉肉を鋸齒狀に食害する。

防除法 (1) 魚藤液・除蟲菊木灰合劑・砒酸鉛液等の撒布によりて、その幼蟲・成蟲共に驅除せらる。

(2) 幼蟲・成蟲共に、之を捕殺せねばならぬ。

(未完)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

臺灣貿易統計（昭和三年五月）

臺灣總督府稅關

◈貿易額比較

（其ノ一）

外國貿易	三年五月	二年五月	三年累計	二年累計	増減（•）
輸出	三、〇二〇、八〇〇円	三、五七四、七三〇円	一三、四四一、六二五円	一五、五二二、四一一円	•二、〇八〇、七八六円
輸入	五、一五六、九八三	六、五一五、六〇五	二四、五五四、八四〇	三二、五二二、六〇二	•七、九六七、七六二
計	八、一七七、七八三	一〇、〇九〇、三三五	三七、九九六、四六五	四八、〇四五、〇一三	•一〇、〇四八、五四八
輸出（入）超過	（入）二、一三六、一八三	（入）二、九四〇、八七五	（入）一一、一一三、二一五	（入）一七、〇〇〇、一九一	—

（其ノ二）

內地貿易	三年五月	二年五月	三年累計	二年累計	増減（•）
移出	一八、二五九、〇三六円	二二、九二九、九三四円	一二九、一三五、一一八円	一二〇、〇三七、四〇三円	九、〇九七、七一五円
移入	一一、一八二、二七四	九、二九三、七九六	五二、八七二、二八六	四六、〇六一、五五五	六、八一〇、七三一
計	二九、四四一、三一〇	三二、二二三、七三〇	一八二、〇〇七、四〇四	一六六、〇九八、九五八	一五、九〇八、四四六
移出（入）超過	七、〇七六、七六二	一三、六三六、一三八	七六、二六二、八三二	七三、九七五、八四八	—

◈輸出

品目		五月 數量	五月 價額	三年累計 數量	三年累計 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	增減(·) 數量	增減(·) 價額
包種茶	斤	一、〇三九、九六四	七八七、九三三円	二、四四七、一二五	一、八四六、三三八円	二、三四七、七〇九	一、七四七、〇三八円	九九、四一六	九九、三〇〇円
石炭	噸	三一、一一〇	三四八、五五七	一六六、三六〇	一、七九三、九〇二	二五九、八五〇	二、八六四、一三一	·九三、四九〇	·一、〇七〇、二二九
烏龍茶	斤	五〇	六六	七〇	六九八	八三、五〇五	四七、二〇〇	·八三、四三五	·四六、五〇二
鹹魚及乾魚	同	九五二、二五〇	一九一、七四八	二、五九四、〇一六	四八四、八七二	一五、〇七六、〇〇九	一、五三七、六五九	·一二、四八一、九九三	·一、〇五二、七八七
綿織物	碼	一、三〇五、五九七	二七一、九四〇	七、六四四、三四二	一、七三三、九七八	五、三一二、三八六	一、〇八五、一六八	二、三三一、九五六	六四八、八一〇
砂糖	斤	六〇九、七八四	六九、三〇一	二、七四六、五五一	一、〇九四、八二一	三、三二二、四五五	一、七一一、三〇〇	·五七五、九〇四	·六一六、四七九
錫	同	一〇六、五〇五	四三、五一二	六六二、三一三	三六七、七三三	一、七三八、八六八	六九八、五〇四	·一、〇七六、五五五	·三三〇、七七一
樟腦	同	二五九、〇〇〇	二七七、七〇八	一、三六一、二〇〇	一、三五四、四〇四	五三三、三〇〇	六八五、一一八	八二七、九〇〇	六六九、二八六
酒精	升	七七九、七一五	三二一、七〇九	三、五八一、二〇五	九六〇、五二〇	二、九六三、七六〇	九四〇、〇六九	六一七、四四五	二〇、四五一
セメント	斤	六三五、五五八	一、一八一	一八、三四八、八四九	三四五、八三〇	二八、一二五、七一三	五五二、九四九	·九、七七六、八六四	·二〇七、一一九
絹及絹綿織物	碼	二一四、三九〇	一六〇、七〇〇	四九三、一六六	三五六、六一五	四六八、六六三	二七八、二七三	二四、五〇三	七八、三四二
貝柱	斤	四九、八六〇	五五、八〇九	八三、一〇〇	九五、二〇〇	一一四、三三八	一四三、六八一	·三一、二三八	·四八、四八一
苧麻	同	一三九、一六九	五〇、九二四	四一〇、三九五	一四三、六七一	五五〇、一三〇	一九三、二七五	·一三九、七三五	·四九、六〇四
燐寸	哥	四〇〇、〇四八	二六、〇五三	二五七、〇四六	一六七、九五四	二二〇、八一七	一四五、一四九	三六、二二九	二二、八〇五
糖蜜	斤	三、五〇二、五一四	三七、七六六	一二、三三〇、六九〇	一四一、三六四	一三、五四六、四二九	一九五、四六三	·一、二一五、七三九	·五四、〇九九
其他諸品		—	四九六、〇〇四	—	二、六五三、八四五	—	二、六九七、五五五	—	·四三、七一〇
計		—	三、〇三〇、八〇〇	—	一三、四四一、六三五	—	一五、五二二、四二一	—	·二、〇八〇、七八六

◈輸入

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品目		五月 數量	五月 價額	三年累計 數量	三年累計 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
米	斤	一九、七九五、八八八	一、四三九、〇七九円	一二七、三四八、〇七一	一一、八八九、六七五円	一四二、九二四、〇四七	二一、〇九九、〇〇六円	●一五、五七五、九七六	●九、二〇九、三三一円
大豆油糟	同	七、八〇五、二四〇	三六四、六五六	一四五、一三一、五七五	五、八三三、四〇九	一三九、九三〇、〇六二	五、五一〇、〇三五	五、二〇一、五一三	三二三、三七四
硫酸アンモニウム	同	三九三、七三二	二九、五〇七	四三、三九二、四二一	三、三三八、五六四	三三、〇七四、八六八	二、六一五、九七三	一〇、三一七、五五三	七二二、五九一
砂糖	同	四、八四六、〇四八	四八四、六一〇	一二、六六〇、五〇四	一、二五一、七四九	二九、九五九、四九七	二、七九四、二一〇	●一七、二九八、九九三	●一、五四二、四六一
木材	立方尺	三八五、一五〇	二五五、三五一	一、九五一、一一四	一、三二二、九〇五	一、八二八、〇〇八	一、二三九、二八四	一二三、一〇六	八三、六二一
大豆	斤	六、九一七、二二五	四二四、三五二	二四、〇四六、五一四	一、四三九、三八〇	一五、八五一、九九六	九一七、三二八	八、一九四、五一八	五二二、〇五二
ガンニー袋	箇	二四六、〇〇〇	一八、五七〇	二、二八八、九〇三	一、一六八、一四四	一、六一九、六八九	八〇三、八五三	六六九、二一四	三六四、二九一
燈油	ガロン	二九四、二一〇	一四二、一二九	一、〇七九、八六七	四九七、九八〇	一、五一七、八一九	六七八、四四一	●四三七、九五二	●一八〇、四六一
麪	斤	八三〇、四四〇	三一、八三三	一四、三四一、三九四	五二六、九三七	一四、〇三八、二〇一	五二九、三五〇	三〇三、一九三	●二、四一三
小麥	同	八〇三、三三三	五四、九四七	六、七九二、四一六	四五五、七六三	九、七四一、七五三	六六七、〇七四	●二、九四九、三三七	●二一一、三一一
葉煙草	同	三四六、〇一九	二一七、九四一	四〇八、八三五	二五八、七八八	一、六四三、〇五八	六二一、六七五	●一、二三四、二二三	●三六二、八八七
阿片	同	一八、一四四	三四〇、二〇〇	一八、一四四	三四〇、二〇〇	一二、五〇〇	二一七、〇〇〇	五、六四四	一二三、二〇〇
鐵	同	一、三五九、六三六	一三三、八一八	三、九〇四、八三一	三三六、四一三	二、五四三、六三五	二一七、五五八	一、三六一、一九六	一一八、八五五
包蓆	枚	一六七、九七〇	一三、一〇五	二、七三一、〇五〇	二四八、二四七	二、一九一、一四〇	二六六、六四八	五三九、九一〇	●一八、四〇一
原油及重油	ガロン	一一三、九二九	二一、六四三	三、四七一、四五二	四五四、〇一八	八〇六、三三一	一六二、一八八	二、六六五、一二一	二九一、八三〇
石炭	噸	三、四〇〇	五一、〇〇〇	七、七一〇	一三五、五二〇	五、八三九	八三、五三一	一、八七一	五一、九八九
巻煙紙	斤	六四、五三六	一六、五三九	六三四、三六一	一五四、五三三	八六九、一二〇	二〇一、〇三五	●二三四、七五九	●四六、五〇二
綿絲	同	—	—	一〇五、九二四	四六、六〇〇	二三八、四三一	九七、八五三	●一三二、五〇七	●五一、二五三
綿織物	方碼	三九、九九七	二二、〇一六	四〇九、八三三	二四二、四六八	三三八、四〇四	二三五、八八四	七一、四二九	六、五八四
毛織物	同	一〇、五九三	二二、六五三	五八、七八五	六九、三一二	一二九、七六九	一五一、九〇七	●七〇、九八四	●八二、五九五
錫	斤	一九、六一七	二九、七一三	八三、三九〇	一二六、七五二	六七、二九五	一二〇、七四二	一六、〇九五	六、〇一〇
揮發油	ガロン	三八、七七七	二三、七五三	一三一、七九六	九八、一三六	七五、九四二	六八、一九七	四六、八五四	二九、九三九
苧麻布	方碼	一〇四、六九七	三四、〇七八	七四一、三一五	一七二、一三三	五一五、三六六	一二四、四三四	二二五、九四九	四七、六九九

綠豆	斤	六八九、八〇五	四九、六五九	一、四七九、五一二	一〇三、三〇〇	一、四六六、五九六	九四、〇九七	一二、九一六	九、二〇三
陶磁器		—	三五、一四七	—	一一八、三三二	—	八六、三四一	—	三一、九九一
唐紙	斤	一七、〇三一	一一、九四二	八五六、二〇四	七三、七八三	八二三、四一六	七〇、三八六	三二、七八八	三、三九七
胡麻子	同	二、六五〇	四三四	七八八、九八二	一一四、二五九	三五九、八六二	六二、八三九	四二九、一二〇	五一、四二〇
豆素麵	同	二三、八五六	六、四九二	一一五、五八六	三一、二二九	二二三、九七八	六二、七一六	●一〇八、三九二	●三一、四一七
黃麻	同	三三七、七五六	四六、七二一	一、九二五、三九三	二七二、九三八	七一、九六一	八、四四七	一、八五三、四三二	二六四、四九一
鹹魚	同	八三、四〇〇	五、四二一	三、四六〇、三二四	二三三、〇九四	一、二六九、三一三	九二、九七四	二、一九一、〇一一	一三九、一二〇
其他諸品		—	七四〇、六八四	—	三、二四三、二二九	—	二、六五二、五九七	—	五九〇、六三二
計		—	五、一五六、九八三	—	二四、五五四、八四〇	—	三二、五二二、六〇三	—	●七、九六七、七六三

◎移出

品目		五月		三年累計		二年累計		增減(●)	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
砂糖	斤	一〇九、八六四、五九〇	一三、三九三、六二四円	八〇二、八一九、八二〇	一〇一、二〇七、〇五一円	六二三、一〇八、三六六	八五、五九九、〇二四円	一七九、七一一、五四四	一五、六〇八、〇二七円
米	同	一〇、二二八、一五〇	一、〇二八、九二五	二九、七〇三、七二〇	一三、三七六、三九九	一八九、三三四、一一九	一九、四一七、八〇八	●一五九、五三〇、三九九	●六、〇四一、四〇九
芭蕉實	同	二三、四三〇、〇四〇	一、五八二、八〇五	五九、五七一、四〇〇	三、六四六、一〇八	六一、八四八、五四〇	三、六六〇、一二九	●二、二七七、一四〇	●一四、〇二一
酒精	升	七六四、二〇〇	三七〇、二八七	三、一二六、五五〇	一、五五〇、九八一	三、〇四〇、八一〇	一、五九八、三〇六	八五、七四〇	●四七、三二五
鳳梨鑵詰	打	二三、五二一	七〇〇、〇九五	一二八、四八一	三九九、九九七	二七六、二七二	一、〇六八、五六〇	●一四七、七九一	●六六八、五六三
木材	立方尺	九二、四八四	二〇八、五三五	三四九、三八四	八三三、八四一	五六八、八九四	一、二二九、六七一	●二一九、五一〇	●三九五、八三〇
切乾藷	斤	六、九一七、三四〇	二四三、九九八	一三、四五二、六八〇	四七二、七三五	一〇、〇九三、四八〇	四二九、〇八六	三、三五九、二〇〇	四三、六四九
樟腦油	同	四七六、一七〇	一五〇、八二九	二、二八三、三四二	六九三、五二五	二、二六九、三一四	八六〇、五二六	一四、〇二八	●一六七、〇〇一
鰹節	同	二〇六、七三九	三一一、五五〇	三〇五、二二七	二二七、九九七	一六九、二一九	一五五、二六七	一三六、〇〇八	七二、七三〇
鑛	同	九、八五九、五三一	一五九、三三三	四六、三一四、九九五	七六九、一五二	四一、〇七〇、九二一	五六九、四一八	五、二四四、〇七四	一九九、七三四
石炭	噸	八、二〇七	九六、一一七	三五、七六二	三九二、五八五	五三、八四六	五三一、〇〇〇	●一八、〇八四	●一三八、四一五

品目		五月 數量	五月 價額	三年累計 數量	三年累計 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	增減(・) 數量	增減(・) 價額
鮮魚介	斤	四二三、二六四	八五、〇七六	二、九二七、一五五	九〇二、七〇七	二、七一五、二四五	八〇六、二六六	二一一、九一〇	九六、四四一
模造パナマ帽子	箇	二五六、二〇〇	二三七、五〇〇	一、一二五、〇二〇	五六七、八〇〇	八九五、〇二〇	四一二、〇七〇	二三〇、〇〇〇	一五五、七三〇
樟腦	斤	八一、二〇一	一〇五、一七一	五二五、五六六	六三七、四二二	二五二、四一四	三八三、七〇二	二七三、一五二	二五三、七二〇
食鹽	同	九〇〇	三七	三七、〇一八、六四〇	三五〇、八五八	三一、九九九、六七〇	二八七、四六〇	五、〇一八、九七〇	六三、三九八
其他諸品		—	五一五、一六四	—	三、一〇五、九七〇	—	三、〇二九、一二〇	—	七六、八五〇
計		—	一八、二五九、〇三六	—	三九、一三五、一一八	—	三〇、〇三七、四〇三	—	九、〇九七、七一五

◆移入

品目		五月 數量	五月 價額	三年累計 數量	三年累計 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	增減(・) 數量	增減(・) 價額
綿及絹織物		—	一、四九二、三六一円	—	六、二五三、一一三円	—	五、七〇二、〇一四円	—	五五一、〇九九円
鐵	斤	九、三一三、二二八	八五二、二〇四	四〇、八〇八、三三一	三、八六四、三〇一	二九、四九一、〇三九	二、九三七、四七六	一一、三一七、一八二	九二六、八二五
鹹乾魚	同	一、五三五、一五九	二七九、五四一	一四、二八〇、三三八	二、〇〇四、三九三	二一、三八七、九五二	二、八三八、八二一	・七、一〇七、六一四	・八三四、四二八
肥料	同	四、五一三、八五八	一六三、三四七	四九、五九九、〇四一	二、〇五〇、〇八二	三一、九一四、二七五	一、三六五、七六〇	一七、六八四、七六六	六八四、三二二
木材	立方尺	三三二、五一六	三七三、九三〇	一、七二七、三八〇	一、八四一、一四五	一、一七〇、六九三	一、三六三、五四〇	五五六、六八七	四七七、六〇五
鐵製品		—	三三八、九七四	—	一、三五一、〇六一	—	一、二六四、八八七	—	八六、一七四
紙		—	三〇四、二〇五	—	一、三五八、二九三	—	一、二二六、六三九	—	一三一、六五四
小麥粉	斤	二、三二三、八〇二	二六二、八二三	三、六四六、四三四	一、四二二、七三五	二、六九一、二九二	一、三四六、〇一九	九五五、一四二	七六、七一六
麥酒	打	八二、一六四	四〇七、八二〇	三一九、三一二	一、五九八、一〇一	二五三、五三八	一、二八七、四〇二	六五、七七四	三一〇、六九九
紙卷煙草	千箇	八七、二〇〇	二〇三、五三七	四〇七、六〇〇	九四八、六七三	三二一、二〇〇	七四三、九四四	八六、四〇〇	二〇四、七二九
錫	斤	一二七、二一〇	五四、八八九	一、六三五、八六七	七〇九、六三九	一、九六一、〇九九	八一五、七八八	・三二五、二三二	・一〇六、一四九
各種ノ罐詰		—	一四六、七六三	—	七三五、九六二	—	八三一、九七八	—	・九六、〇一六
メリヤス肌衣		—	六九、六四六	—	一九七、八〇九	—	二五五、〇一四	—	・五七、二〇五
絲類		—	一五三、五五八	—	六七五、〇四六	—	六七一、九〇九	—	三、一三七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

清酒	打	一七,八四二	一七四,一四〇	七〇,三九三	六七五,六八四	六五,五六九	六〇〇,〇九四	四,八二四	七五,五九〇
自轉車同部分品及附屬品		—	三三五,七一六	—	八五六,九〇三	—	六〇九,六七七	—	二四七,二二六
ガンニー袋	箇	二〇六,三〇〇	八三一,八九二	一,〇三三,〇七〇	三六四,三〇二	七七一,五五〇	三一七,二五七	二六一,五二〇	四七,〇四五
燐寸	哥	二四九,五九七	一八八,〇八六	九五三,五九四	六九二,七七五	六一四,三〇一	四四五,九一三	三三九,二九三	二四六,八六二
蔘	石	三五一	五,二六一	五,〇六九	九二,六〇二	七,〇八五	一四二,九六八	•二,〇一六	•五〇,三六六
毛織物		—	八,五〇〇	—	四一四,三三八	—	二七五,〇七七	—	一三九,二六一
コンデンスドミルク	打	三三,八〇八	一三一,四九八	一二九,五一六	五九八,六四三	七八,九六五	四三八,四〇七	四〇,五五一	一六〇,二三六
陶磁物		—	一三三,八八六	—	五二三,二八一	—	三三五,三五四	—	一八七,九二七
菓子類		—	八三,〇一九	—	四三二,〇三一	—	四〇一,八九二	—	三〇,一三九
自動車同部分品及附屬品		—	一四八,三五九	—	五〇五,四八八	—	三〇四,五一〇	—	二〇〇,九七八
砂糖	斤	六一三,六〇〇	九九,六五〇	一,六四五,三四八	三九三,七二六	九二三,六九七	三二三,一七八	七二一,六五一	七〇,五四八
石鹸		—	九三,五六二	—	五〇一,二四五	—	三三四,四五七	—	一六六,七八八
醬油	石	一,〇一八	五七,八〇一	五,四一九	三一五,三五二	五,〇一七	二九五,二二三	四〇二	二〇,一二九
セメント	斤	八,七三五,〇五三	一六七,二八三	二五,二三五,一三七	四五三,五〇一	一六,五八〇,二四〇	三二七,二六五	八,六五四,八九七	一二六,二三六
燈油及輕油	ガロン	一三一,九三〇	五八,三一〇	五九二,八三三	二九四,六九三	六一三,六四五	二九五,六四三	•二〇,八一二	•九五〇
米	石	七五四	二六,四五一	一八,四五九	三三一,四〇〇	九,二〇二	三〇一,〇〇四	九,二五七	三〇,三九六
其他諸品		—	四,四三八,二六三	—	二〇,五三七,〇七〇	—	一七,七八二,三六六	—	二,七五四,七〇四
計		—	二二,一八二,二七四	—	五二,八七二,二八六	—	四六,〇六一,五五五	—	六,八一〇,七三一

◆港別貿易額(其ノ一)

港別	輸出	輸入	計	三年累計	二年累計	增減(•)
基隆	円 一,八二〇,八六六	円 二,八二六,一六一	円 四,六四七,〇二七	円 一八,二六八,九五〇	円 二八,一九七,二五四	円 •九,八二八,三〇四
臺北	七九六,〇一九	一二四,五三八	九二〇,五五七	三,二八三,五七一	三,〇一五,三三一	二六八,二四〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

	移出	移入	計	三年累計	二年累計	増減(•)
淡水	六五、七〇四	三〇五、〇二八	三七〇、七三二	一、七〇一、三九九	一、六五三、八四〇	四七、五五九
安平	九七八	七四、三三〇	七五、三〇八	六五六、三九九	八五〇、八三九	•一九四、四四〇
高雄	二八一、八〇八	一、七七二、二八六	二、〇五四、〇九四	一三、四六三、〇五七	一三、七五四、五三一	•二九一、四七四
其他諸港	五五、四三五	六四、六四〇	一二〇、〇七五	五二三、〇八九	五七三、三一八	•五〇、二二九
計	三、〇三〇、八〇〇	五、一四六、九八三	八、一七七、七八三	三七、九九六、四六五	四八、〇四五、〇一三	•一〇、〇四八、五四八

(其ノ二)

港別	移出	移入	計	三年累計	二年累計	増減(•)
基隆	五、三七〇、一八八円	七、七〇三、五七〇円	一三、〇七三、七五八円	七三、八六八、六七八円	七一、七九三、九二〇円	二、〇七四、七五八円
臺北	—	—	—	—	—	—
淡水	—	一八〇	一八〇	二五、三五四	三、〇〇〇	二二、三五四
安平	三、一七二	九六〇、四九二	九六三、六六四	四、五五五、〇八〇	四、八三二、五六四	•二七七、四八四
高雄	一二、七七一、一〇三	一二、四五三、〇六四	二五、二二四、一六七	一〇三、一一五、五三三	八八、七六六、六六七	一四、三四八、八六六
其他諸港	一一四、五七三	六四、九六八	一七九、五四一	四四二、七六〇	六四二、八〇八	•二〇〇、〇四八
計	一八、二五九、〇三六	二一、一八二、二七四	三九、四四一、三一〇	一八二、〇〇七、四〇四	一六六、〇九八、九五八	一五、九〇八、四四六

◈收入額

收入額	輸入税	製茶税	織物消費税	砂糖消費税	噸税	其他諸收入	計
五月	六六五、三七八円	二五、三二四円	七、七二〇円	三、六二三円	四、〇五六円	五、一二八円	七一一、二二八円
三年累計	一、八九七、二三〇	六〇、四〇二	三〇、八二一	二七二、八八八	二七、四三七	二二、一二五	二、三一〇、九〇三
二年累計	二、〇五〇、一五六	五九、八三五	三四、八八六	二四四、八八一	三一、五九三	一九、三七八	二、四四〇、七二九
増減(•)	•一五二、九二六	五六七	•四、〇六五	二八、〇〇七	•四、一五六	二、七四七	•一二九、八二六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金融統計

◈島內各銀行內外爲替取組高表

（昭和三年三月中）（單位圓）

（其ノ一）

摘要	收入 島內 口數	收入 島內 金額	收入 內地 口數	收入 內地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額
送金爲替	二八、二五〇	三一、五七二、九一五	一三、二〇〇	一三、五七二、七〇一	六五六	三四三、一八七
割引手形	七、六三四	四、二九九、八二一	二、〇三五	一、五一七、五四〇	—	—
荷付爲替手形	一、五一九	一、一五八、四八〇	一、九一九	三、一二一、二二二	一三四	一、〇二四、六七七
買入外國爲替	—	—	—	—	八二	六七九、八〇三
利付爲替手形	—	—	—	—	—	—
代金取立	三、八九七	五、〇五五、六〇五	二、五九八	三、五三八、五九三	三三	一一一、二六一
計	四一、三〇〇	四二、〇八六、八二一	一九、七五二	二一、七五〇、〇五六	九〇五	二、一五八、九二八
前月	四六、一四八	四二、八七〇、〇五七	一五、五四六	二二、四四八、九九七	七三四	一、八〇六、四四七
前年同月	四九、四七五	三八、一〇四、〇一六	一九、二八七	二五、七六一、九二九	八四六	一、七二〇、三〇四
本月迄累計	一五四、三六四	一二六、三三一、九二八	五二、三三八	五九、五九六、〇〇三	二、五七二	七、二四七、二八二
前年同月迄累計	一四二、四三二	一一七、五四〇、五一三	四九、九二八	六五、五四八、九〇二	二、四七一	五、六一九、九三九

（其ノ二）

摘要	支出 島内 口數	支出 島内 金額	支出 内地 口數	支出 内地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收出(△)超過 島内	收出(△)超過 内地	收出(△)超過 外國
送金爲替	二八,九五〇	三〇,三五九,一五八	一,八二一	八,三〇八,六九四	四八四	六四六,一一三	一,三三三,七五七	五,三六四,〇〇七	△三〇三,九二六
割引手形	七,八二九	四,一四九,二五〇	四八	一三八,四五一	二二	一七一,二五八	一五〇,五六一	一,三七九,〇八九	△一七一,二五八
荷付爲替手形	一,五九〇	一,一三九,三七一	七六	九,〇五七,九三三	—	—	△七〇,八九一	△五,九三六,七三一	一,〇三四,六七
買入外國爲替	—	—	—	—	—	—	—	—	六七九,八〇三
利付爲替手形	—	—	—	—	三四	一〇〇,八五七	—	—	△一〇〇,八五七
代金取立	一三,七八八	四,五五〇,四二六	二四一	三六四,一三七	二一	二九,六六九	五〇五,一八九	三,三七四,四五六	八一,五九三
計	五二,一五七	四〇,一八八,一九五	二,八二〇	一七,七六九,三三九	五六〇	九四七,八九七	一,八九八,六二六	三,九八〇,八二一	一,三二一,〇三一
前月	四五,七六八	四三,〇四七,五八〇	二,六五八	一八,七三二,八六九	五〇五	一,〇二四,八八六	△一七七,五三三	二,七一七,一七八	七八一,五六一
前年同月	四四,九七〇	三七,五六五,六四七	三,二一三	三五,三〇三,〇三七	五九四	一,一〇九,八九二	五三八,三六九	五五八,九〇二	六一〇,四二三
本月迄累計	一四三,五七七	一三三,一七七,一六八	六,二六七	五九,二〇七,四八一	一,六七八	二,七五一,九四五	三,一五四,七七〇	四,三八八,五三三	四,四九五,三三七
前年同月迄累計	三九,九六七	一二三,九六〇,〇四一	二,一四一	七二,七九二,八〇五	二,一九一	三,八二七,七九六	四,五八〇,九八二	△七,二四三,九〇三	一,七九二,一四三

◇重要物產別銀行放資額累計

品名別	昭和三年四月迄累計	前年同月迄累計	增減(△減)
砂糖	二五,二六六,五五〇円	六六,八二八,五九六円	四七,〇四七,九五四円
米	三九,六六七,六二七	三〇,三二八,七一五	九,三三八,九一二
茶	一,六三七,〇〇三	一,六五三,〇九二	△一六,〇八九
樟腦	—	一,〇六八,四二三	△一,〇六八,四二三
金塊	一,八三九,〇九八円	八七九,八〇〇円	九五九,二九八円
酒精	九三三,二四六	六三五,八〇三	二九七,四四三
石炭	九,九一七,五三五	六,七四二,〇九八	三,一七五,四三七
合計	一六九,三五一,〇四八	一〇九,五一四,五一六	五九,七三六,五三二

◆重要物産別銀行放資残高

重要物産	昭和三年四月末	前月末	増減(△減)
砂糖	六五、〇三八、一二〇円	六五、六三七、〇四一円	△五九八、九二一円
米	一六、三四三、五一五	一六、七八二、一八四	△四三八、六六九
茶	八〇三、三〇五	九三七、二一九	△一三三、九一四
樟脳	二一一、二四四	二一一、二四四	—

品名別	昭和三年四月末	前月末	増減(△減)
金塊	七一八、八七六円	七〇二、九〇九円	一五、九六七円
酒精	四三三、三三〇	三五九、五九三	七三、七三七
石炭	八、〇九八、五八一	八、二四九、一八九	△一五〇、六〇八
合計	九一、七一六、八七一	九二、八六九、二七九	△一、一五二、四〇八

◆重要物産別銀行放資残高

重要物産	昭和三年四月末	前月末	増減(△減)
砂糖	六〇、〇五四、四九〇円	六五、〇三八、一二〇円	△四、九八三、六三〇円
米	一四、九九三、九八四	一六、三四三、五一五	△一、三四九、五三一
茶	一、二四一、〇二四	八〇三、三〇五	四三七、七一九
樟脳	二一一、二四四	二一一、二四四	—

重要物産	昭和三年四月末	前月末	増減(△減)
金塊	七三二、六四三円	七一八、八七六円	一三、七六七円
酒精	四五八、六一九	四三三、三三〇	二五、二八九
石炭	八、二七九、八〇四	八、〇九八、五八一	△一八一、二二三
合計	八六、〇六一、八〇八	九一、七一六、八七一	△五、六五五、〇六三

◆重要物産別銀行放資額累計

重要物産	昭和三年五月迄累計	前年同月迄累計	増減(△減)
砂糖	一三〇、九五七、三七三円	一〇三、六九四、四六〇円	二七、二六二、九一三円
米	四七、八五五、八三二	四七、一七七、〇九一	六七八、七四一
茶	二、六八四、一六四	二、六二〇、三一一	六三、八五三
樟脳	—	一、〇六六、四三三	一、〇六六、四三三

重要物産	昭和三年五月迄累計	前年同月迄累計	増減(△減)
金塊	二、五七二、七四一円	一、五九八、六〇〇円	九七四、一四一円
酒精	一、〇三四、六六九	一、二四八、五三六	二一三、八六七
石炭	三二、九三一、一八五	二六、二五〇、〇六五	六、六八一、一二〇
合計	一九七、三九七、九八四	一六九、〇三〇、四八五	二八、三六七、四九九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆島内各銀行預金残高

種類別	昭和三年四月末	前月末	増△減
	千円	千円	千円
公金預金	八八五	九八五	△一〇〇
當座預金	一五,一〇六	一三,九六五	一,一四一
特別當座預金	四三,八〇一	四一,一七二	二,六二九
通知預金	二,七六七	二,七二八	三九
定期預金	二三,六九八	二五,二五六	△一,五五八
別段預金	四,〇九八	四,〇五六	四二
預金手形	一,二二二	一,一九七	二五
日本銀行預金	一〇,一八六	一一,五八七	△一,四〇一
貯蓄預金	六,一六六	六,一六一	五
合計	一〇七,九二九	一〇七,一〇七	八二二

◆島内各銀行貸出金残高

種類別	昭和三年四月末	前月末	増△減
	千円	千円	千円
證書貸付	一五,六二七	一五,一四八	四七九
手形貸付	四一,〇〇五	四〇,二九五	七一〇
當座貸越	三,六〇八	三,五九四	一四
割引手形	一〇三,六八九	一〇五,九四五	△二,二五六
荷付爲替手形	二〇,三二五	一九,一七四	一,一五一
利付爲替手形	一二〇	一七〇	△五〇
買入外國爲替	二九〇	三一四	△二四
勸業銀行貸付	四九,五六〇	四九,三七〇	一九〇
貯蓄銀行貸付	一,四三九	一,八五五	△四一六
合計	二三五,六五三	二三五,八六五	△二一二

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆臺北物價指數表（昭和三年四月中）

品目	本月	前月	前年同月
白米	(一) 二〇五・六六	二一〇・四八	二四二・五〇
玄米	(十) 一五一・七五	一四八・二四	一七五・四三
清酒	三二一・四二	三二一・四二	三二一・四二
麥酒	一七二・〇〇	一七二・〇〇	一七二・〇〇
紅酒	三三三・三三	三三三・三三	三三三・三三
澤庵漬	(十) 二三二・二一	二二四・八一	二二四・八一
小麥粉	(十) 一六二・二四	一六一・二九	一六五・四〇
砂糖	(一) 一三五・五二	一三七・〇一	一三九・五四
鰹節	(一) 二二八・四四	二三〇・八七	二〇三・六〇
味噌	一一八・四六	一一八・四六	一三八・四六
醬油	一五四・九一	一五四・九一	一七六・二八
鷄卵	(一) 一七七・二四	一八八・五七	二二一・四二
落花生油	一五一・二八	一五一・二八	一三五・八九
鹽	一四〇・九一	一四〇・九一	一四〇・九一
煙草	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇
烏龍茶	一〇三・三四	一〇三・三四	一一七・一六
包種茶	一五六・一六	一五六・一六	一四四・四五
白木綿	一三〇・九五	一三〇・九五	一三七・三〇

品目	本月	前月	前年同月
綿布	一一六・〇六	一一六・〇六	一二六・九七
洋紙	一六〇・八六	一六〇・八六	一六九・五六
日本紙	(一) 二五三・五九	二六二・三五	二五八・六八
杉板	一六六・六六	一六六・六六	一六六・六六
杉材	一六二・五〇	一六二・五〇	一七五・〇〇
洋鐵	(十) 一五〇・一一	一四二・〇三	一七一・九三
鉛	一一五・六二	一一五・六二	一五〇・〇〇
銅	一三二・六五	一三二・六五	一三八・五七
煉瓦	二一三・八二	二一三・八二	一九二・二七
日本瓦	一〇六・二五	一〇六・二五	一〇〇・〇〇
板硝子	(一) 一〇六・二五	一一二・五〇	一一二・五〇
セメント	(十) 一六九・二一	一六四・七一	一八五・二九
燐寸	二二二・二四	二二二・二四	二二二・二四
石油	一四五・三三	一四五・三三	一四二・九五
石炭	二二六・〇八	二二六・〇八	二二二・四二
木炭	二三三・三三	二三三・三二	二五二・六六
薪	二二四・二八	二二四・二八	二五七・一四
平均	(一) 一七四・二九	一七四・八九	一八一・二八

備考　本表は大正三年七月戰前の物價を一〇〇として計算せり(十)印は騰貴(一)印は低下を示す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆臺北物價平均指數五箇年對照表

月次	昭和三年	二年	昭和元年大正十五年	十四年	十三年
一月	一七六・二四	一八三・〇八	一九〇・七九	二〇三・二三	一九一・八一
二月	一七五・四一	一八五・三五	一九〇・九五	二〇三・二〇	一九一・九四
三月	一七四・八九	一八二・六八	一八八・三一	二〇〇・六〇	一九一・三三
四月	一七四・二九	一八一・二六	一八八・二五	二〇〇・三二	一九一・三九
五月	—	一八一・四八	一八六・〇三	一九二・五〇	一九四・一六
六月	—	一八二・〇八	一八五・二〇	一九二・八七	一九二・七六
七月	—	一八一・二八	一八五・二一	一八五・二〇	一九一・六一
八月	—	一七九・七七	一八四・六六	一九五・二七	一九三・九二
九月	—	一八〇・三六	一八三・三五	一九五・六三	一九八・三〇
十月	—	一八〇・〇〇	一八二・五四	一九二・二八	二〇二・四一
十一月	—	一七六・三五	一八一・五七	一九三・一六	二〇五・〇三
十二月	—	一七七・〇八	一八〇・〇七	一八九・七四	二〇三・二三

◆各年月ヲ一〇〇トシタル本月平均指數

基準年月	三年三月	二年四月	十五年四月	十四年四月	十三年四月
本月平均	九九・六五	九六・一四	九二・三八	八七・〇〇	九〇・九七

◈臺北物價指數表（昭和三年五月中）

品目		本月	前月	前年同月
白米	（一）	二〇五・〇九	二〇五・六六	二四七・三六
玄米	（十）	一六〇・五三	一五一・七五	一七七・一九
清酒		三二一・四二	三二一・四二	三二一・四二
麥酒		一七二・〇〇	一七二・〇〇	一七二・〇〇
紅酒		三三三・三三	三三三・三三	三三三・三三
澤庵漬		二二二・二二	二二二・二二	二二二・二二
小麥粉	（一）	一五八・八七	一六二・二四	一六五・二二
砂糖		一三五・五二	一三五・五二	一三九・一〇
鰹節	（一）	二〇五・六一	二一八・四四	二〇三・六〇
味噌		一一八・四六	一一八・四六	一三八・四六
醬油		一五四・九一	一五四・九一	一七六・三八
鴨卵		一七七・一四	一七七・一四	二二一・四二
落花生油	（一）	一四六・一五	一五一・三八	一三五・八九
鹽		一四〇・九一	一四〇・九一	一四〇・九一
煙草		一八〇・〇〇	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇
烏龍茶	（十）	一一六・六二	一〇三・三四	一一三・五七
包種茶	（一）	一五一・五三	一五六・一六	一三三・六七
白木綿		一三〇・九五	一三〇・九五	一三八・八八

品目		本月	前月	前年同月
綿布	（十）	二二一・三九	二一六・〇六	二一九・五八
洋紙		一六〇・八六	一六〇・八六	一六九・五六
日本紙		二五三・五九	二五三・五九	二五八・六八
杉板		一六六・六六	一六六・六六	一六六・六六
杉材		一六二・五〇	一六二・五〇	一七五・〇〇
洋鐵		一五〇・一一	一五〇・一一	一七一・九三
鉛	（一）	一一三・五〇	一一五・六二	一五〇・〇〇
銅	（一）	一一八・三六	一二三・六五	一三八・五七
煉瓦		二一三・八二	二一三・八二	一九二・三七
內地瓦		一〇六・二五	一〇六・二五	一〇〇・〇〇
板硝子		一〇六・二五	一〇六・二五	一一三・五〇
セメント	（十）	一七七・九四	一六九・一二	一八五・二九
燐寸		二一二・三四	二一二・三四	二一二・三四
石油	（十）	一五二・〇四	一四五・二三	一四八・八六
石炭		二一六・〇八	二一六・〇八	二一三・四六
木炭		二三三・三三	二三三・三三	二五二・六六
薪		二一四・二八	二一四・二八	二五七・一四
平均	（一）	一七四・二七	一七四・二九	一八一・四八

備考　本表は大正三年七月戰前の物價を一〇〇として算出せり（十）印は騰貴（一）印は低落を示す

◆臺北物價平均指數五箇年對照表

月次	昭和三年	二年	昭和元年 大正十五年	十四年	十三年
一月	一七六・三四	一八三・〇八	一九〇・七九	二〇三・三三	一九一・八一
二月	一七五・四一	一八六・三五	一九〇・九五	二〇三・三〇	一九一・九四
三月	一七四・八九	一八二・六六	一八八・三一	二〇〇・六〇	一九一・三三
四月	一七四・二九	一八一・二八	一八八・二五	二〇〇・三三	一九一・三九
五月	一七四・二七	一八一・四八	一八六・〇三	一九三・五〇	一九四・二六
六月	―	一八二・〇八	一八五・二〇	一九二・八七	一九二・七六
七月	―	一八一・三六	一八五・一二	一八五・一〇	一九一・六一
八月	―	一七九・七七	一八四・六六	一九五・三七	一九三・九二
九月	―	一八〇・三六	一八三・三五	一九五・六三	一九八・三〇
十月	―	一八〇・〇〇	一八二・五四	一九二・三八	二〇二・四一
十一月	―	一七八・三五	一八一・五七	一九三・一六	二〇五・〇三
十二月	―	一七七・〇八	一八〇・〇七	一八九・七四	二〇三・三三

◆各年月ヲ一〇〇トシタル本月平均指數

基準年月	本月平均
三年四月	九九・九八
二年五月	九六・〇二
大正十五年	九三・六七
十四年五月	九〇・五二
十三年五月	八九・七五

◆手形交換高表（昭和三年五月分）

手形交換所所在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	五、三九〇枚	一、四九八、六三五円	四三九、九〇六円	二七八円
臺北	二三、七三六	一三、〇八七、三七七	四、八一九、六八三	五五〇
臺中	二、三五八	三、四三四、七一七	一、七一八、六〇六	一、四五六
臺南	一三、一二七	三、五三九、七二二	一、一一六、四六五	二六九
高雄	五、六八五枚	二、四九三、九一九円	一、〇二〇、九二九円	四四〇円
計	五〇、二九六	二四、〇五四、三四九	九、一一五、五九九	四七八
前月	四七、五一八	二〇、〇八八、五三二	七、〇三三、八一七	四二四
前年同月	四八、三〇八	二八、八〇七、六四九	一四、三二九、二六四	五九六

◆市街地信用組合事業一覧表（昭和三年四月末日現在）

（其ノ一）

州廳別＼種別	組合數	組合員數	出資口數	資産：未拂込出資金	貸付金	土地建物什器	有價證券	預ケ金	假拂金	手形割引	其他	現金	計
				円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
臺北	九	六,四六四	四六,四六九	六三,二七〇	五,五四〇,七五四	一四四,九二八	八八四,五五二	一,五一九,〇三二	一二,七六六	一六一,七六八	一二五,〇一一	二八,六三五	八,四八〇,六四九
新竹	二	一,二六三	一〇,三二六	三,四〇六	一,〇〇三,〇四八	三〇,三一〇	五〇	三九五,一一九	五四〇	—	一二〇	一〇,一六一	一,四四二,七五五
臺中	二	一,一九八	四,八三〇	三二,一五五	七九〇,三三四	二一,一〇一	二六,三二六	三三三,九〇六	九〇一	—	—	二二,五〇二	一,一九六,三二二
臺南	六	三,五七一	二七,〇四六	一三〇,一三七	二,五三〇,四二二	七三,一九七	一五四,四八一	七三六,二〇五	六,九四五	五一三,五九二	六,八五八	二五,三一六	四,一六七,一六八
高雄	一	三七〇	二,四三六	四一〇	三四九,一二六	二八,〇三二	一四,五六一	六九,三二一	—	—	—	二,二四九	四六三,七二二
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九二	四,〇八四	—	二七八,一八六	四,一六一	二,四一五	一六,七八三	一,四四九	四〇,九〇八	—	二,一七七	三四六,〇八〇
合計	二一	一三,〇五八	九五,一九一	一九九,三七九	一〇,四九一,八八二	三〇一,七三二	一,〇八二,三八七	三,〇七〇,三七一	二二,五七二	七一六,二三九	一三一,九九〇	九〇,〇四三	一六,〇九六,五八七
前月末合計	二一	一二,八九六	九三,八八二	一八九,八一三	一〇,三五二,二六四	二九二,〇一四	一,一六九,五〇九	二,九七八,九二七	二〇,九六六	七一九,五四一	一三一,〇二三	五六,九九三	一五,九〇二,〇四四
△は減	—	一六二	一,三〇九	九,五六五	一三九,六一七	九,七一六	△八七,一二二	九一,四四四	一,六〇五△	三,三二二△	三三	三三,〇五〇	一九四,五四二

（其ノ二）

州廳別＼種別	負債：出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
臺北	一,四九八,五五〇	五,八七〇,二九四	六一五,一九二	一九六,九三〇	一〇,六六八	二五三,三七二	九二,七三二	五九,〇九一	一九五,三〇八	八,四八〇,六四九
新竹	二〇七,二八五	九七五,八一六	一三二,九一七	九〇,〇八二	一,六七四	—	二,九六九	一	三三,〇〇九	一,四四二,七五五

臺中	二四一、五〇〇	六九一、三三六	一三三、五一六	七三、六一四	三、〇八五	—	一〇、七六二	一三、六五二	二九、七三三	一九六、二二二
臺南	八九四、一四〇	二、七三四、一一〇	二七七、七二八	六五、二三五	五、七九七	三三、二七二	四、七七九	三八、九九三	二四〇、二一	四、一六七、一六六
高雄	六〇、九〇〇	三八六、一〇三	二三四	—	—	一〇、〇〇〇	—	—	六、四七三	四六三、七二一
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	八一、六八〇	一七三、八一五	五三、二三〇	一九、六四一	—	一三、〇〇〇	九八九	一九〇	五、五四四	三四六、〇八〇
合計	二、九八四、〇五五	一〇、八三〇、四七六	一、三二一、八〇八	四四五、六三四	二一、一九六	七九、六四四	二八、七七三	二一、九二七	三八三、〇六九	一六、〇九六、五八七
前月末合計	二、九六四、七三五	一〇、七二二、八一四	一、三二一、六三四	四四六、八六三	二三、八二八	八六、二五六	二七、九〇九	二五、二四七	三〇三、七五六	一五、九〇二、〇四四
△は減	一九、三二〇	一〇八、六六一	一七四	△一、二二八	△二、六三二	△六、六一二	八六四	△三、三一九	七九、三一三	一九四、五四三

（其ノ三）

種別／州廳別	貯金內譯 組合員貯金	貯金內譯 第一條第三項貯金	貯金內譯 第一條第四項貯金	貯金內譯 計	貸付金利率 最高	貸付金利率 普通	貸付金利率 最低	貯金利率 最高	貯金利率 普通	貯金利率 最低	借入金利率 最高	借入金利率 普通	借入金利率 最低	預ケ金利率 最高	預ケ金利率 普通	預ケ金利率 最低	手形割引步合 最高	手形割引步合 普通	手形割引步合 最低
臺北	二、〇〇八、二二六円	二、〇七二、六〇五円	一、七八九、五六三円	五、八七〇、三九四円	二七厘	二四厘	一五厘	一八厘	一五厘	六厘	二六厘	二三厘	一八厘	二〇厘	一三厘	五厘	二四厘	二四厘	二一厘
新竹	三六九、八八八	四三八、一六〇	一六七、七六七	九七五、八一六	二五	二三	一九	二〇	一五	八	—	—	—	一六	一三	六	—	—	—
臺中	一四九、一四一	四六四、七二六	七七、四六七	六九一、三三六	二五	二〇	一八	一二	一三	七	—	—	—	一六	一二	六	—	—	—
臺南	一、三一五、五八八	一、〇三七、一五〇	三八一、三七〇	二、七三四、一一〇	四二	二五	一八	一五	一六	一〇	一三	一三	一三	一九	一三	六	二四	二三	二〇
高雄	二三八、三四五	八七、七一五	六〇、〇四二	三八六、一〇三	四二	四二	二〇	一二	一六	一六	一九	一九	一九	一六	一三	六	—	—	—
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	六四、九五二	五七、八七三	四九、九九〇	一七三、八一五	三六	三六	二三	一二	一六	一六	二四	二四	二四	一五	一三	一二	三六	三六	三六
合計	四、一四六、〇四三	四、一五八、三三一	二、五三六、二〇一	一〇、八三〇、四七六	四二	二五	一五	二〇	一六	六	二六	二三	一八	二〇	一三	五	三六	二四	二〇
前月末合計	四、一三〇、二九五	四、一〇五、九三三	二、四八五、五八五	一〇、七二二、八一四	四二	二五	一五	二〇	一六	六	二六	二三	一八	二一	一三	五	三六	二四	二二
△は減	一五、七四八	五二、三九七	四〇、六一五	一〇八、六六一	△一	—	—	—	—	—	—	—	—	△一	—	—	—	—	△二

◆種類別島內各銀行預金殘高

種類別	昭和三年五月末	前月末	增△減
	千円	千円	千円
公金預金	—	—	—
當座預金	一四,一三〇	一五,一〇六	△九七六
特別當座預金	四四,九三六	四四,六八六	二五〇
通知預金	三,七〇〇	二,七〇七	九九三
定期預金	三三,六〇六	三三,六九八	△九二
別段預金	四,〇二〇	四,〇九八	△七八
預金手形	一,二四一	一,二二二	一九
日本銀行預金	九,六五七	一〇,一八六	△五二九
貯蓄預金	六,六七六	六,六六四	一二
合計	一〇八,〇六六	一〇八,四〇七	△三四一

◆種類別島內各銀行貸出金殘高

種類別	昭和三年五月末	前月末	增△減
	千円	千円	千円
證書貸付	一五,九七四	一五,六二七	三四七
手形貸付	四一,一五〇	四一,〇〇五	一四六
當座貸越	三,四九六	三,六〇八	△一一二
割引手形	一〇二,三三九	一〇三,六八九	△一,三五〇
荷付爲替手形	一五,〇四九	二〇,三二五	△五,二七六
利付爲替手形	四七	一二〇	△七三
買入外國爲替	六二九	二九〇	三三九
勸業銀行貸付	四九,八九六	四九,五六〇	三三六
貯蓄銀行貸付	一,六六二	一,四二九	二三三
合計	二三〇,二五二	二三五,六五三	△五,四〇一

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漢詩

濟南有事我邦出兵感而有作

西川萱南

群雄奔競久連兵。禍及吾邦愴衆情。不學文王成一怒。皇師渡海濟南行。

次韻答篁邨詩伯

臨池三昧匹參禪。物外逍遙別有天。生値清時何僥倖。布衣醉筆帶祥烟。

敬呈大書家萱南西川先生

劉篁邨

默坐似參枯寂禪。誰知酒膽大於天。醉來揮走龍蛇筆。滿紙騰飛萬丈烟。

萬華三仙樓洗塵宴席上率成

鷹取岳陽

昨從東海憶諸君。共欲登樓壓酒軍。得意話來天上事。龍山寺畔亂風雲。

同席上贈岳陽仙史

猪口鳳菴

東海飛行鑄偉詞。料知合在摘星時。最欽硬語盤空好。莫是三生韓退之。馭鵬已倦騎鯤囘。東海盡頭南海開。夫子元來號仙史。百年祗合往蓬萊。

同席上次韻

三仙樓上笑迎君。好作詩城作酒軍。酣醉淋漓興飛處。四筵驚看筆生雲。

同　題

魏潤菴

騎鵬去訪玉宸君。白首空中將一軍。下界短長群山競。詩人襟袖只閒雲。

同席上贈岳陽仙史

尾崎古邨

今夕相逢笑口開。憐君天上獨飛囘。祗愁雲氣侵肌冷。先勸塵寰酒一杯。

同次岳陽仙史原韻

伊藤壺溪

人海茫々最美君。飛行詞氣壓千軍。放眸睥睨乾坤小。衝破虛空萬疊雲。上極三清見聖君。便教太史領詩軍。高吟飛下蓬萊島。抗手群仙禮白雲。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

孕江選

夏野道牛車に掛けて幌まろし　瓦全城
朝夕の水に親しみ金魚飼ふ　同
縁日の人分け行くや金魚玉　同
蚊帳外にいつまでも讀む蚊遣かな　同
舟蟲の多き隧道通りけり　素山
南風や概ね濡れし防波堤　同
南風わたる税關庭の椰子林　同
魚苗捕り南風の濱に出盛りぬ　同
芭蕉葉の青さ映りて金魚玉　夕果
蚊火煙彼方にのみぞなびきける　同
ゆくりなく雲雀を聞きぬ夏野原　同
舟蟲や名所案内の掲示板（大里驛）　靜雲
若竹の藪穂〳〵や甘蔗の中　同
上げ汐や舟蟲橋に群れ上り　同
菩提樹の葉鳴りに覺めし晝寢かな　非文
停仔脚張りつらねたる日覆かな　同
舟蟲や濱がじまるの大幹に　同
舟蟲の居る纜を解きにけり　狂洋

南風や花サイカチの下に佇つ　同
睡蓮に逍遙の歩をとゞめけり　同
御柱に皆寄せてある梅雨の傘　玄外
夏座敷葉蘭を生けてありにけり　同
汗拭いて峰の高さを仰ぎけり　無幻
汗拭いて連れの登るを待ちゐたり　同
蛙鳴く土城ヶ原を通りけり　潮人
夏海や島がくれゆく警備船　同
彩幡を擔ぎ通れる夏野かな　蒲川
盆栽の病葉散るや鉢の中　同
病葉の一片落ちて水に浮く　一貫
次々に病葉出來ぬ鉢の梅　同
電柱の南へつゞく夏野かな　おはり
金魚賣る夜店をかこむ人輪かな　同
蚊遣火を焚きゐる苦力やトロの驛　石舟
曇晴の常なき夏の野道かな　一里
水牛の角突き合へる夏野かな　孕江
病葉や吊り忘れあるハンモック　同
龍眼のたわゝの枝や南吹く　同

◆**投句歡迎**　四季雜詠（十句以內）　臺北市錦町ゆうかり社內山本孕江宛「時報俳句と明記のこと」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

自五月二十一日
至六月二十四日

五月

▼二十一日
・同業組合臺北茶商公會定期總會開催
・臺灣青果同業組合評議員會開催
・淡水線列車增發
・臺灣日日新報社臺北に空中ページェントを催す
・屏東建築兩組合確執圓滿解決を見るに至る
・臺南に僞造銀貨續々として表はる
・安平城趾保存實地檢分行はる
・馬公水道鑿井成功す
▼二十二日
・某重大事に關する總督長官の進退伺却下さる
・農民組合大屯支部發會式を行ふ
▼二十三日
・臺灣青果同業組合總會開催
・臺灣日日新報社主催臺北州下軟球選手權大會開催、本島最初の夜間庭球を行ふ
▼二十四日
・教育課長會議召集、二十五日も續行
・臺北博物館創立二十週年記念催物を二十七日迄舉行
・後甲農事組合創立さる
・港灣規則施行協議會開催
・全島一週飛行完了
・建功神社祭神審査員正式任命さる
・嘉義驛擴張協議會開催
・珊瑚採取成績良好
・體協水泳部總督賞を授與す
▼二十五日
・船舶職員試驗合格者發表
・紛擾せる專門學校相撲について各校聲明す
・臺中州農事講習會開催
・臺灣海陸運輸業組合創立總會開かる
▼二十六日
・教育課長會議延期終了
▼二十七日
・海軍記念日
▼二十八日
・鶯歌附近に步砲聯合演習開催
▼二十九日
・步砲聯合演習第二日久邇宮殿下御檢閲あり
▼三十一日
・臺中青果同業組合代議員會開催

六月

▼一日
・臺灣正米市場取引講習を行ふ
・嘉義通俗博物館開館
・諸官衙半日勤務となる
▼二日
・專賣局表彰式舉行
▼三日
・基隆神社大祭
・第三回臺中州下兒童競技大會開催
▼四日
・全島蓬萊原種打合會開催
▼五日
・臺灣水產聯合會創立さる
・臺灣正米市場取引開始
・建功神社祭神審査委員會開催
▼六日
・新竹蓪草會社合併の機運に向ふ
▼七日
・全島實業大會決議案總督へ陳情す
・海員爭議交涉決裂にて傭船贊岐丸立往生す
・臺北市にチフス菌漸次跳梁するに至る
・臺北州下農業指導學校關係者打合會開催

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼八　日

・上山總督上京

▼九　日

・臺灣水彩畫展開催

▼十　日

・時の記念日

・北帝大水産練習船高雄入港

・高專卓球大會開催醫專三度優勝

・全島中等學校陸上競技大會開催北一師優勝

・各海水浴場行汽車割引開始

・臺中米庫利用販賣組合創立總會開催

・基隆重砲兵隊第三四回創立記念祭擧行

▼十一日

・臺北市內中等學校辨論大會高商に開催

・臺南州中等學校長會議開催

▼十二日

・此頃臺北市に自動車事故頻る

▼十三日

・臺北州農事研究會開催

▼十四日

・全島撞球大會開始

・臺中不敬事件內容發表解禁さる

・新竹騷擾事件公判開かる

▼十五日

・第二回無線從業員講習會開

・本島內地より本島觀　に對する割引範圍擴張實施

・海軍練習機佐世保より基隆着

▲十六日

・海軍機佐世保に向ふ

・川村新總督親任式擧行

▼十七日

・嘉南大圳烏山嶺の隧道工事貫通

▼十八日

・新舊總督事務引繼終了

・北大練習船基隆入港

▼二十日

・澎湖部隊檢閲の爲田中軍司令官發程

・通信事務研究會南部の分臺北市に開かる

▼二十一日

・港對打合會開催

▼二十二日

・屏東に方面委員講習會開催

▼二十四日

・臺北市內實業團野球大會に鐵團優勝す

・通信事務研究會北部の部臺南市に開催

人事消息

松方帝糖社長　五月二十三日歸京

本田中研庶務課長　六月四日歸任

鈴木日糖重役　五月二十九日上京

野村新高製糖重役　同　右

辰野稅務課長　六月一日內地へ

隈川博士　六月一日歸還

相原祐彌氏　六月八日歸國

長谷川臺北市助役　六月一日歸臺

値賀勸銀支店長　同　右

林熊光氏　同　右

小林保安課長　六月四日歸臺

伴野判官　同　右

渡邊判官　同　右

岩松檢察官長　四月六日著任

河村臺日社長　四月六日內地へ

上山總督　四月八日上京

生駒文書課長　四月八日上京

竹屋秘書官　同　右

永山新竹州知事　同　右

石川欽一郎氏　四月八日內地へ

野口學務課長　四月十三日內地へ

富田財務局長　四月十日歸臺

林原帝糖重役　四月十日歸臺

谷村技師　四月十一日歸臺

安平帝大教授　四月十一日著任

飯治帝大教授　同　右

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

增田秀吉氏　四月十三日上京
土井技師　四月十三日內地へ
山中電力理事　四月十三日上京
野口敏治氏　同　右
白井遞信庶務課長　四月十五日上京
若槻道隆氏　四月十五日內地へ
妻木栗造氏　同　右
今井周三郎氏　同　右
安保辨護士　六月十八日歸臺
後藤總務長官　六月十八日上京
堤參謀　六月十五日歸臺
原鹽糖重役　六月二十一日來臺
衣裝口糖農務課長　六月二十二日內地へ

任　命

府報　自第三百八十七號　至第四百十二號

○昭和三年五月二十二日
臺灣總督府法院檢察官　後藤和佐二
任臺灣總督府法院判官檢事　岩松　玄十
任臺灣總督府法院檢察官(以上內閣)

○昭和三年五月二十二日
臺灣總督府法院判官　相原　[illegible]
退職ヲ命ス

臺灣總督府法院判官　後藤和佐二
補高等法院長
臺灣總督府法院檢察官　岩松　玄十
補高等法院檢察官長
臺灣總督府稅關長　大竹　勇　(各通)
橫濱、神戶、長崎ノ各稅關管內及朝鮮へ出張ヲ命ス
臺灣總督府法院檢察官　上瀧　汎
上京ヲ命ス

○昭和三年五月二十三日
臺灣總督府事務官　增田　秀吉
警務局警務課兼務ヲ命ス

○昭和三年五月二十三日
臺灣總督府敎諭師兼臺灣總督府敎師
荻野　普雄
願ニ依リ本職竝兼職ヲ免ス

○昭和三年五月二十四日
臺灣總督府醫院醫長　倉岡　彥助
臺灣總督府事務官　生駒　高常
同　水越　幸一
臺灣總督府秘書官　一戶　二郎
臺灣神社宮司　山口　透
建功神社合祀者資格審査會員ヲ命ス
海軍大佐　中村　寬
陸軍步兵中佐　中山　錄
高木　友枝
河村　徹
三好德三郎
林　熊徵
坂本素魯哉
辜　顯榮
松岡　富雄
富地　近思
許　廷光
古賀三千人
藍　高川
建功神社合祀者資格審査會員ヲ囑託ス
臺灣總督府事務官　坂口　主稅
建功神社合祀者資格審査會幹事ヲ命ス

○昭和三年五月二十五日
臺灣總督府醫院醫官　帖佐　直喜
嘉義醫院勤務ヲ命ス

○昭和三年五月二十六日
臺灣總督府專賣局書記　野上　儀四
任臺灣總督府專賣局副參事(內閣)

○昭和三年五月二十八日
臺灣總督府事務官　辰野　龜男
東京、熊本ノ兩稅務監督局管內へ出張ヲ命ス
臺灣總督府技師　川口　庄松

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一時歸府ナ命ス
臺灣總督府事務官　尾佐竹　堅
市區計畫委員會委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官　角田　廣次
同　猪俣　一郎
（各通）
市區計畫委員ヲ免ス
○昭和三年五月二十八日
服部　邦彥
任臺灣總督府臺南高等商業學校教授
臺灣總督府專賣局副參事　野上　鶴四
依願免本官（以上內閣）
臺灣總督府臺北高等學校教授　飯沼　龍遠
任臺北帝國大學教授
○昭和三年五月三十日
松本　巍
臺北帝國大學附屬農林專門部教授
任臺北帝國大學教授兼臺北帝國大學附屬農林專門部教授
臺灣總督府視學官　若槻　道隆
兼任臺灣總督府臺北高等學校教授
臺灣總督府臺北高等學校教授　安平　政吉
任臺北帝國大學助教授
臺南州技手　羽牟　秀康
任臺灣總督府技師
臺灣總督府督視　飯塚兵太郎

依願免本官（以上內閣）
○昭和三年五月二十九日
臺灣總督府稅關事務官　青木　敬次
稅關長大竹勇不在中代理ヲ命ス
○昭和三年五月三十日
臺北帝國大學教授　飯沼　龍遠
文政學部勤務ヲ命ス
心理學講座分擔ヲ命ス
臺北帝國大學教授　松本　巍
理農學部勤務ヲ命ス
植物病理學講座擔任ヲ命ス
臺北帝國大學助教授　安平　政吉
文政學部勤務ヲ命ス
刑法學講座擔任ヲ命ス
臺灣總督府技師　羽牟　秀康
總督官房會計課勤務ヲ命ス
臺灣總督府師範學校長　根井　久吾
東京、京都、廣島、熊本、宮崎ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府地方督視　岩田　此一
門司市ヘ出張ヲ命ス
○昭和三年五月三十一日
臺灣總督府法院判官　石崎皆市郎
兼補高等法院覆審部判官
臺北帝國大學教授　工藤　酷舜

補理農學部附屬植物園長
臺北帝國大學助教授　野田　幸猪
補理農學部附屬農場長
○昭和三年五月三十一日
臺灣總督府技師　羽牟　秀康
依願免本官（內閣）
○昭和三年五月三十日
阿部　文夫
臺北帝國大學附屬農林專門部教授
臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
一年六箇月間米、英、獨、佛ノ四箇國ニ在留スヘシ
○昭和三年六月一日
臺北高等學校教授　谷本　清心
東京、兵庫、高知ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺北高等學校教授　藤田孫太郎
東京府下ヘ出張ヲ命ス
○昭和三年六月二日
臺灣總督府技師　荒木　安宅
暹羅、英領香港、佛領印度支那、馬來聯邦州、馬來非聯邦州、海峽植民地及蘭領東印度諸島ヘ出張ヲ命ス
○昭和三年六月二日
臺灣公立實業學校教諭　渡邊　太郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

任臺灣公立高等女學校教諭

○昭和三年五月二十一日

臺灣總督府事務官　猪俣　一郎

警務局保安課長小林光政不在中代理ヲ命ス

○昭和三年六月一日

臺灣總督府事務官　中田榮太郎

財務局長富田松彥不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府事務官　辰野　龜男

財務局長代理ヲ免ス

○昭和三年六月二日

臺灣公立高等女學校教諭　渡邊　太郎

補彰化高等女學校教諭

○昭和三年六月四日

臺灣總督府醫院醫官　大場辰之允

臺中醫院兼務ヲ免ス

○昭和三年六月四日

臺灣公立高等女學校教諭　渡邊　太郎

依願免本官（內閣）

○昭和三年六月一日

臺灣總督府視學官　土性善九郎

事務官坂口主稅缺勤中成德學院長代理ヲ命ス

○昭和三年六月六日

臺灣總督府法院判官　宇野　庄吉

（各通）　同　堀田　眞猿

同　有水常次郎

兼補高等法院上告部判官

臺灣總督府秘書官　竹屋　春光

上山總督上京ニ付隨行ヲ命ス

臺灣總督府事務官　野口　敏治

東京、神奈川、三重ノ各府縣下並朝鮮ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府地方警視　岩田　此一

門司市ヘ出張ノ序ヲ以テ大阪、兵庫、岐阜ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府師範學校長　大岩　榮吾

東京、福島、新潟、長野、石川、廣島ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年六月六日

桑田　六郎

任臺北帝國大學助教授

臺灣總督府醫院醫長　小倉　金作

依願免本官（以上內閣）

○昭和三年六月六日

臺北帝國大學助教授　桑田　六郎

文政學部勤務ヲ命ス

東洋史學講座分擔ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫長　小倉　金作

臺灣總督府醫院醫長　森澤　濟

新竹醫院長ヲ命ス

○昭和三年六月七日

臺灣總督府事務官兼臺灣總督府秘書官　生駒　高常

上京ヲ命ス

○昭和三年六月七日

臺灣總督府臺北高等學校教授　近藤　壽治

任臺北帝國大學事務官

臺北帝國大學事務官　近藤　壽治

兼任臺北帝國大學教授

（以上內閣）

○昭和三年六月七日

臺北帝國大學事務官　近藤　壽治

補學生監

臺北帝國大學教授　近藤　壽治

文政學部勤務ヲ命ス

哲學、哲學史講座分擔ヲ命ス

○昭和三年六月八日

臺灣總督府事務官　大澤　清高

總督官房秘書課長一戶二郎不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府事務官　和田　一次

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

事務官生駒高常不在中總督官房文書課長並
總督官房調査課長代理ヲ命ス
○昭和三年六月八日
岸本　信英
任臺灣公立中學校敎諭
(內閣)
○昭和三年六月八日
臺灣公立中學校敎諭　岸本　信英
補臺南第一中學校敎諭
○昭和三年六月九日
臺灣總督府視學官　土性善九郎
事務官坂口主税缺勤中社會課長代理ヲ命ス
臺灣總督府視學官　土性善九郎
事務官坂口主税缺勤中博物館長代理ヲ命ス
臺灣總督府交通局技師　梅田　三良
臺灣汽船職員懲戒委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官　增田　秀吉
歐米各地へ出張ヲ命ス
臺灣總督府事務官　增田　秀吉
東京、埼玉、山口ノ各府縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府事務官兼臺灣總督府臺北高等學校敎授　若槻　道隆
東京、京都、茨城、長野、三重ノ二府三縣
下へ出張ヲ命ス
○昭和三年六月十一日
(各通)
臺灣總督府事務官　野口　敏治
臺灣總督府視學官兼臺灣總督府臺北高等學校敎授　若槻　道隆
英米各地へ出張ヲ命ス
○昭和三年五月十四日
臺灣總督府在外研究員　山本　亮
歸朝ヲ命ス
○昭和三年六月十二日
臺灣總督府地方理事官　名和　仁一
東京、埼玉、山形、滋賀、佐賀、長崎ノ各
府縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府臺北高等學校敎授　谷本　淸心
臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
一年六箇月間獨、英、米ノ三箇國ニ在留ス
ヘシ
○昭和三年六月十二日
臺灣總督府交通局書記　勝村　豐藏
任臺灣總督府交通局參事
(內閣)
○昭和三年六月十三日
臺灣總督府視學官　山口　重知
文敎局學務課長野口敏治不在中代理ヲ命ス
○昭和三年五月十六日
臺灣總督府秘書官　一戶　二郎
東京ヨリ神奈川縣下へ出張ヲ命ス
○昭和三年六月三日
臺灣總督府秘書官　一戶　二郎
東京ヨリ神戶へ出張ヲ命ス
○昭和三年六月十一日
臺灣總督府地方警視　熊井　才吉
上京ヲ命ス
○昭和三年六月十三日
臺北帝國大學附屬農林專門部敎授　阿部　文夫
東京、京都、福岡、宮城、秋田ノ二府三縣
下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府師範學校敎諭　段證　外吉
東京、大阪、京都、福岡、廣島、奈良、三
重、愛知、神奈川、栃木ノ三府七縣下へ出
張ヲ命ス
○昭和三年六月十五日
後藤　一雄
任臺北帝國大學助敎授
臺灣總督府地方技師兼臺灣公立實業學校
長　鳥居　武男
免兼官(以上內閣)
○昭和三年六月十五日
臺北帝國大學助敎授　後藤　一雄
理農學部勤務ヲ命ス

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣公立實業學校長　戸崎二三男
兼補屏東農業補習學校長

○昭和三年六月十六日
臺灣總督府視學官　山口重知
同　森谷　一
同　土性善九郎
臺灣總督府編修官　浮田辰平
同　加藤春城
（各通）
臺北帝國大學農林專門部敎授　芹澤　立
臺灣公立實業學校長　小出權吉
臺灣公立實業學校敎諭　山本由松
臺灣公學校實科敎授要目取調委員ヲ命ス

○昭和三年六月八日
新竹州知事　永山止米郎
上京ヲ命ス

○昭和三年六月十四日
臺灣總督府交通局副參事　白井泉藏
東京、熊本ノ兩遞信局管内ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年六月十六日
臺灣總督府在外研究員　白鳥勝義
御用濟ニ付歸朝命令ヲ解除ス

○昭和三年六月十八日
臺灣總督府總務長官　後藤文夫
上京ヲ命ス
臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
臺灣總督府事務官　角田廣次
東京、石川ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

東京、群馬、新潟ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺北帝國大學附屬農林專門部敎授　金森貞吉
東京、奈良、愛知、長野、宮城、秋田、青森ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府師範學校敎諭　西山淸澄
東京、京都、大阪、神奈川、栃木、靜岡、三重、奈良、滋賀、廣島、山口、福岡ノ三府九縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年六月十六日
任臺灣總督　川村竹治

○昭和三年六月十八日
臺灣總督　上山滿之進
依願免本官（以上内閣）

○昭和三年六月十八日
臺灣土木技師　和田　眞
願ニ依リ本職ヲ免ス（内閣）

○昭和三年六月十九日
臺灣總督府州事務官　石井龍猪
東京、大阪、佐賀ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府州事務官　高橋秀人
東京、栃木、廣島、福岡ノ各府縣下並朝鮮ヘ出張ヲ命ス
臺北帝國大學敎授　安平政吉
東京、大阪、兵庫ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府臺北高等商業學校長　武田英一
北海道廳下並東京、大阪、兵庫、愛知、神奈川、福島、滋賀ノ二府五縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年六月十九日
平島敏夫

任臺灣總督府事務官
臺灣總督府祕書官　竹園春光
依願免本官（以上内閣）

○昭和三年六月十八日
臺灣總督府内務局長　豐田勝藏
總務長官後藤文夫不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府事務官　猪俣一郎
警務局衞務課長角田廣次不在中代理ヲ命ス

○昭和三年六月二十一日
臺灣總督府醫院醫長　近藤喜一
依願免本官（内閣）

○昭和三年六月十八日
臺灣總督府事務官　佐藤　矢
歸朝ノ途次上京ヲ命ス

○昭和三年六月二十日
臺灣總督府事務官　佐藤　矢
滯京ヲ命ス

○昭和三年六月二十三日
臺灣公立中學校敎諭　今井隆太郎
東京、大阪、京都、神奈川、栃木、三重、奈良、大分ノ三府五縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣公立高等女學校敎諭　新美省吾
東京、京都、大阪、愛知、兵庫ノ三府二縣下ヘ出張ヲ命ス
臺北帝國大學敎授　飯沼龍遠
朝鮮並東京、京都、福岡、宮城ノ二府二縣下ヘ出張ヲ命ス
臺北帝國大學附屬農林專門部敎授　杉本正篤
北海道廳下並東京、京都、岩手、千葉、神奈川ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調査課

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

北京と直隷省との改稱……一
張作霖氏の離京以後死に至る迄……二
閻軍の北京入城と閻氏……三
王鴻一が蔡院長に對する祀孔質疑……五
上海市長の旗民名稱廢除の訓話……八
排日貨に對する學者及商工業者の研究……九
廣東近情……一一
中國工賃制度……一一

比律賓

タヴイス氏の觀たる比律賓群島……一三
比律賓雜報……一四

佛領印度支那

一九二六年度の印度支那鑛業（一）……二六

暹羅

暹羅二四七〇年移民條例概要……三七
暹曆二四七一年產業組合條例概要……三九
其他の條例並に雜報……四一

英領馬來

馬來聯邦州鑛業統計……四三
國會に於けるサラワク國王殿下の演說……四四
サラワクに於ける新炭坑と支那人シンヂケートに就いて……四八

蘭領東印度

蘭領印度の護謨問題及農業……四九
蘭領東印度雜報……五一

其他

不安なる太平洋……著書解題……五四
米國民主黨の政綱……五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□北京と直隷省との改稱

張大元帥の滿洲引揚の爲め奉天軍は漸次關内に移動し、自然的に國民黨軍の北京入となりたる結果六月二十日の國民黨中央政治會議で直隷省を河北省・北京を北平と改稱すること、及び天津を特別市とすることを決議した。

北京を北平と改めたに就ては古い歴史上の地名を取りて新しい意義を含めたらしく思はれるのであるが、支那の西漢時代には此の邊一帶の地を中山國北平縣と稱へたのである。既に中山國といへば孫中山を記念するに好個の因緣あり、更に靑天白日旗で北方を平定したとの意をも顯彰し得べければ、國民黨の政治會議で之を決議したのは誠に無理はない。次に西漢を經て東漢及び晉代にては冀州中山國北平縣と稱し、北魏には定州北平郡北平縣と稱したのであるが、遂に唐朝に至り河北道定州北平縣と稱し、宋朝では河北西路中山府北平縣といひたる程なれば直隷省を河北省と改めたのもやがて此の河北道の名を採用したのであることは明了である。尤も北京を北平としたのには南京を中央政府とする心膽も含まれて居るのであるが、當分はイザ知らず結局は矢張り燕京を京師とする事になるであらうと思はれる。南京へ國都を移すことは支那國民の多數意思といふ譯でもなく將來はいかになるべきかは斷言し得られぬ。各國北京駐在の各公使館は今國民黨が稍統一の狀ありとて直ちに之を承認すべき譯のものでもないから、外交事件は當分南京駐在の領事にて代理さるべく相談纏れりと聞く。誠に然るべき事なりと思考さる。

□張作霖氏の離京以後死に至るまで

一旦芳澤公使の勸告を拒絶し對南軍事を積極的に進行せしめつゝあつたに拘はらず、四圍の狀勢抗し難く遂に北京引揚を決行するに至つた張作霖氏は其の面目は立たなかつたが、奉天としては誠に智慮ある道であつた。去る六月一日張氏は大元帥の資格を以て各國公使・陸軍武官を居仁堂に招待の席上「今回余の軍が京漢線を撤退せるは國民に戰禍の及ぶを憂へたからである。余は大元帥就任以來常に赤賊討伐の爲め全力を盡したるも遂に其の使命を果すを得ずして失敗に歸したのは遺憾に堪へない。余はこゝに愈々奉天軍を率ゐて東三省に歸ることを決心した」と聲明し、「いづれ貴官等とは奉天に於てお目にかゝるであらう」と最後の挨拶をした。右畢つて後同じく居仁堂に北京總商會・各界代表治安維持會關係者十數名を招き、「余は關內に入つて以來、赤化討伐に終始して來たが、事志と違ひ北京を去らざるを得ざるに至つた。各位を招いたのは各位がこの事情を諒解し、余の一の希望を容れられたいからである。卽ち余が北京を去つた後、各位が協力して治安維持に努力されたい事にある」と挨拶し、一同之を諒として辭去した。保安隊は此の日から交民巷周圍の警備に就いた。

張大元帥の下野通電　二日の夜、張氏は愈々北京を離るゝことゝなつたが、これに先ち全國に向け下の如き大元帥下野通電を發した。

「蓋には內亂止まざる爲、外交に影響する旨を全國に通電し、各方面の軍を撤退して停戰の意を表し、彼我速に爭を止め、支那の疑を釋き、未來の赤化を除かんとしたが內亂未だ止まず、近く京畿の地に血を流し、延いて災を中外に及ぼす恐あるに至つた。連年に亘る戰爭の爲め商業停止され資力衰へ人民流離し、餓莩道に橫り其の慘狀言ふに忍びざるものがある。若し續いて武力を用ひんか、徒らに人民を苦しむるに過ぎず。赤化討伐の主旨に反し停戰の本旨に叛くことゝなる。昨年來艱難を犯したのも一に國を救はんが爲である。救國の志未だ報ひられざるも、今徒らに武力を用ふるに忍びざるが故に、玆に所屬部隊を率ゐて北京を退却する。中央の政務一切は暫く國務院に處理せしめ、今後の政治問題は國民の裁決に聞かん。要するに國家の主權は人民に在り。天下は公器である。之を守るには唯德あるのみ。予は身を軍職に置くこと半生、具に世の變動を體驗したるが、其の都度人民の利益の爲め所有犧牲を捧ぐるを惜まなかつた。これ中華の國基を我より亡さず、共產の惡化を我より起さゞるを希ふたが爲であつて、これ卽ち敢て天下の蒼生に罪なきを告げて憚らぬ所以である」。

張氏北京出發の光景　二日午後十一時、大元帥府正門の新華門から西長安街・司法部街及び西交民巷に亘る大通りの兩側に三十間置きに武裝せる保安隊が配置され、十二時頃通路全體の交通を遮斷され、正陽門停車場正面及びプラットホームには三四百名の衛隊、及び百名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

近くの音樂隊が待ち受けて居る。張氏の常用自動車は三日午前零時五十分新華門を出發し、一時十分奏樂裡に正陽門停車場に到着し、直に國務總理潘復を首とし各閣員等は（内務外交二總長を除く）特別列車に乘り込み、張氏は錦の大元帥旗を背として専用車の中央に立ち、暫らくして列車は出發し、各人は嚴粛なる禮を行ひ、張大元帥は謙譲な態度で一々擧手の答禮を與へつゝ、列車は靜かに十五夜の月光下に消えた。これと前後して衛隊先鋒隊は三日午前零時三十分出發、さらに第二回の衛隊列車は同四十分に出發した。

張氏乘用車の爆破　張氏の乘用列車が皇姑屯驛を過ぎ、將に瀋陽驛に入らんとし、四日の午前五時三十分頃滿鐵と京奉線のクロス地點（奉天驛を去る一キロ地點）たる滿鐵線鐵橋下にさしかゝれる際爆破を行ふものあり。列車は一二輛爆破され、他は燒失するに至つた。折柄張氏は第八輛目に於て吳俊陞と會談中であつたが、大爆音と共に投げ出され重傷を負ひ、吳俊陞・于國幹・莫德惠等も負傷し、數名の死傷者があつた。張作霖氏は其の場から自動車で城内に入つた。

張作霖氏は助かるまい　張氏の負傷は一時輕傷と傳へられたが、後報によれば重態なりと判明した。同時に黑龍江督辦吳俊陞は同日審送に死亡した。（六月十五日―支那事情）

張氏の死は確實　十六日奉天省議會は緊急協議會を開き、外交問題の惹起を避くる爲め、張宗昌の來奉を拒絶する事・張作霖氏の死亡は時局安定後に發表する事等を決議したので、張氏の死亡は確實となつた。是より先五日に佛國人醫師ペデーボアル氏大帥府に入つて張氏の治療に執刀したといふが、其の後歸宅せずといへば爆破の翌五日には既に遺骸となつて居たのではないかと云はれる。（六月二十一日―奉天情報）

張氏の死亡公表　張作霖氏の死亡に關し、二十一日午後奉天省長公署から交渉署に對し、「張大元帥は二十一日子の刻（午前零時から一時までの間）に死亡せり。二十二日中外に通牒す」との諜報があつた。しかし張氏の死亡實際の日は四日であることは諸電に照し推斷し得らるゝものなれば、こは單なる形式的のものと知らる。（六月二十一日―奉天情報）

□閻軍の北京入城と閻氏

第三集團軍の編制　國民革命軍第三集團總司令は閻錫山氏なるが、其の所屬軍隊の數若干なるかは頗る世人の關知を望む所だから、玆に某方面の調査に係る最近の編制を左に記すべし。

第三集團軍總司令　閻錫山
第一軍團總指揮兼第一軍々長　商震
第二軍團總指揮兼第三軍々長　徐永昌

第三軍團總指揮　總司令　閻錫山　兼任
第二軍々長　楊愛源
第四軍々長　傅存懷
第五軍々長　傅作義
第六軍々長　孫　楚
第七軍々長　張蔭梧
第八軍々長　譚慶林
第九軍々長　（未詳）
第十軍々長　李維新
第十一軍々長　王茂公
第十二軍々長　豐玉璽
砲兵司令　趙聲西

國民政府の規定せる閻の權域　國民政府は閻氏の要求に應じ左の各條件を承認した。（一）北京天津衞戍總司令に閻を任じ北京天津を其の權限區域と定む。（二）該區域に在る國民革命軍は京津衞戍總司令の命令に服從す。（三）該區域内を通過するの國民革命軍は須く京津衞戍總司令の承認を得べし。右條件の結果馮軍の天津進出は阻止される事となつた。（六月八日－天津電）

閻氏の入京　六月十日閻錫山氏始めて北京に入城すべしとの事明となり、同日午前十時後山西省要人總指揮商震・參謀長朱綬光・第六軍々長孫楚・警備司令張蔭梧・憲兵司令楚熙春・副官長陳效予・孔繁蔚　李慶芳・蘇體仁・潘連茹等が彰儀門外に出迎へ、軍警方面では警察廳督察處々長鄧宇安・消防處々長楊開甲・保安隊々長楊汝棌・偵緝處々長侯德山・南郊署長宋德成・憲兵司令部李搏九・第一營々長李振武・第二營々長梅翟の面々、又各團體の代表としては京師總商會の孫學仕・冷家驥・姚秀岩・陳佩衡・高理亭・孫遠甫・張壽岩・李文林・朱雨亭・姚子寬・趙燕臣等あり、又全國商會聯合會代表としては卓宏謀・李曉蓬・林英晃等あり。其の他各會各機關の代表即ち財政の袁永廉・交通の闞作麟・内務の李升培・電話局長周宗澤等あり。然るに閻氏は急に豫定入城の路を變じ西便門から入京して鐵獅子胡同に赴いた。時に午後一時三十分であつた。

外交團對閻態度良好　閻總司令北京に入つてより各公使團均しく滿足を表し、六月十二日午前、英佛日三公使館漢文書記翟維新・韓德威・有野學の三人は衞戍總司令部に赴き閻氏を訪問したるに、潘連茹・蘇體仁・李慶芳迎へて、接待したり。三公使館書記は閻氏に相見の後各公使に代りて欽慕の意を致したるに、閻氏は目前組織着手の際とて布置未だ備はらざれば、深く周到ならざるを恐る。勿論本日中にも各公使を訪問し晤談を得る筈なりと答へたるが、聞くところによれば十三日午前東交民巷に赴き各公使に拜會すべしといふ。

外交處々長の先定　閻總司令は外交關係の重要なるを以て先づ李慶芳を派して外交處々長とし、李氏既に十二日を以て就職し、外交界人材錢泰・朱鶴翔・張煜全・刁敏謙等十餘人を擧げて同處員とし、迎賓

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

館を外賓接待の所と爲したるが、外交部の舊址にて相談の上、政務處・財政處・交際處の組織も既に成立したり。

北京政治分會　國民政府の發せんとする明令の概略は下の如くならん。(一)北京政治分會主席委員閻錫山・委員方本任・蔣作賓・李煜瀛・張繼・鹿鍾麟・溫壽泉・趙丕廉・劉元龍等十七人。(二)北京特別市長王鴻一。(三)直隷省政府主席商震。(四)天津特別市長。未定。(五)北京公安局長何成濬。(六)天津公安局長南桂馨。(六月十四日)

直隷省京兆區の改稱問題　十五日に開かれた南京國民政府通常會にて内政部から提出した直隷省京兆區の管轄區域併合改稱問題は、或は冀北省或は河朔省或は燕北燕南省或は京兆區を北平區と改むることを討論の結果、中央政治會議に渡して決定せしむることゝなれり。(六月十六日—南京電)

北京政治分會主席の變更　國民政府の部内意向は北京政治分會の主席として、未だ兵權を操らざる人物中より選出するに傾き、或は當に譚延闓・李烈鈞・李石曾の三名中より選出さるべしとせらる。(六月十八日—南京電)

二十五日に決定せる北京政治委員　二十五日の中央政治會議で下の諸項が決議された。(一)李石曾閻錫山・馮玉祥・張繼・白崇禧氏等十三名を北京臨時政治分會委員とす。李氏不在中は閻錫山氏を代理首席とす。(二)張森徐永昌氏等十名を河北省政治委員に任命して、張森氏を首席に任命す。(三)何其鞏成濬氏を北京特別市長に南桂馨氏を天津特別市長に任命す。(六月二十五日南京電)

□王鴻一が蔡院長に對する祀孔質疑

子了民先生院長賜鑒。前に汴京に在りし時貴院が祀孔廢止の通令を閱し、深く滋す疑を懷く。卽ち指示を函請し藉りて迷雲を釋かんと擬す。乃ち匆々晋に來るを以て、未だ曾を瀆るに遑あらざりき。近頃聞く貴院が全國教育會議を召開すと。竊にいへらく孔子に對する態度は思想前途に關し至りて重要たりと。愚見及ぶ所、先生の爲め一度陳べざる能はざるものあり。惟朝俊素と孔教の信徒に非ず、儒術を一尊に定めんと欲するは、更に歷代專制帝王が太牢を以て孔を祀るの舊典を保存せんと欲するに非ず。急に辯明せんと欲する者は乃ち孔子の學說が本黨の主義と大に相悖謬するや否や、忠君尊王の一點が孔子學術の精神なりや否や、孔子は我が國文化方面の爲め、最も關係あり、最も勤勞ある先知先覺たりや否や、今後國家が先知先覺に對し仍ほ祀典を存ずるや否やに過ぎざるのみ。

孔子は二千餘年以前の人物たり。我が黨の主義は乃ち我が總理が古今中外を參酌して定むる所にして現代の國情に適合するの主張なり。其の說を立つるは自ら盡くは同じき能はじ。然るに其の根本精神に就きて比較して言はんに、我が總理が四十餘年唱を致す所のも

のは革命に非ずや。然るに革命てふ名詞は孔子に創められ、固より我が總理推し本づく所のものなり。（總理遺著中國革命に見ゆ）總理復た自ら革命思想の基礎は堯舜禹湯文武周公孔子正統の思想を繼承して發揚光大にするものに係れり。（總理が廣東に在りしとき露國革命家に答ふるの語なり。）革命最終の目的は大同に非ずや則ち又孔子が希望せし所の天下爲公の大同世界を以て指歸と爲すものなり。三民主義は總理が所謂革命の標的を建つるものに非ずや。然るに總理が民族を講ずる、則ち孔子の格致誠正修齊治平の理論及び忠孝仁愛の諸の美德を發揚し、民權を講ずる、則ち孔孟を推して中國二千年前便ち民權を主張するの人物を推し、（民權主義第一講に見ゆ）民生を講ずる。則ち又孔子が仁を向い及び均しからざるを患ふの精神に根據し、而して凡ての事皆共にす可きの孔子大同世界を以て究竟と爲す。社會主義の分析及び民生主義第二講宣傳奮鬪と兵力奮鬪を見るに革命進行の方法に非ずや。然るに總理の宣傳を講ずるや、則ち孔子を以て模範と爲し、而して中國の文化を以て能く歐米の文化と竝び駕し齊しく驅らしめたるは、皆孔子宣傳の力なり。（黨員の宣傳奮鬪に重を置くを要し、兵力奮鬪に重を置くを要せざるを見よ）總理が軍人の精神教育を講ずる、則ち孔子の智仁勇三端を採取し、編して課程と爲し以て軍人の不惑不懼、殺身成仁の精神を養へり。（軍人精神教育に見ゆ）是れ則ち我が總理革命基本の思想にして、最終の目的なり。標立の主義・進行の方法、一として孔子に推し本づけざるは無し。然れば則ち孔子の學說と本黨の主義とは絕えて其の悖謬を言ふ能はざるなり。孔子の忠君尊王の一點に至りては春秋のとき羣雄割據せるに因りて民生を聊んぜざるが故に亟々として尊周を以て相號召して國家治權の統一を謀り、藉りて列國の爭戰を無形に弭むるに過ぎず。蓋し孔子は首として揖讓を重んず故に堯舜を祖述せり。次に革命を重んず、故に湯武順乎天而應乎人と謂へり。惟當時揖讓の得べからず、革命の復た不可能なる、亂世を撥めて小康に躋さんと欲するは諸侯の權を減削し、而して統治權を周室に奉還するを除くの外、殆んど別に他途なし。故に忠君尊王を主張して一時爭を息め民を救ふの方法と爲せり。日本の天皇を尊とび幕府を倒すと我が黨の軍閥を打ちて黨權を伸ぶるとは事同一例にして、其の目的固より一姓を尊び一人に忠ならしむるに在るに非ず。且つ孟子は孔學の嫡傳として大に民貴君輕を倡へ、獨夫殘賊の諸說は忠君尊王と完全に相反す。更に孔子學說の精神は彼に在りて此に在らざるを證すべし。

大凡時代に因りて倡ふる所の學說は皆一時代の背景あり。如し人を論じて其の時代を考へざれば、古今將に一の完人もなからんとす。總理は二千餘年前の孔子、孟子は便ち民權を主張せり。孔子が說ける「大道の行はるゝや天下を公と爲す」とは便ち是れ民權的大同世界を主張せるなり。又言必ず堯舜を稱するは卽ち是れ堯舜が天下を家にせざるに因りてなり。堯舜の政治名義上にはしかも是れ君權を用ふと雖も、實際は民權を行へるなり。故に孔子は總べて是れ彼等を宗

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

仰せりと謂へり。故に深く孔子を知れるものなり。歴代帝王の假借と利用とに至りては、乃ち歴代帝王の過なり。孔子學說の價値は一の事とし、孔子の學說と我が黨の主義とが悖謬せるか否かは一の事とし、歴代帝王が孔子を利用して士子を牢籠するは又一の事とす。如し其の**學說に眞の價値なく、或は我が黨の主義と悖謬せば、歴代帝王の假借**利用なしと雖も、亦嚴に闢辯して國人の迷惑するを防止せざる能はず。如し其の學說極めて眞なる價値あり、文化に於て極めて大なる關係あり、復た我が黨主義と一貫せる精神あらば、決してそれが曾て歴代帝王の利用する所と爲れるに因り、遂に噎に因りて食を廢し、其の精思奥義を汨沒するを致す能はざるなり。卽ち共產黨が曾て我が黨を利用して露國に聯絡し共產黨に聯絡し、其の鬼蜮の伎倆を施せるが如き、如し是れに因りて我が黨を誣ゐて赤化と爲さんも、我が黨は詎ぞ能く承認せんや。故に歴代帝王が太牢を以て孔を祀れる擧動は之を廢除して其の假借と利用との陰謀を明にすべしと雖も、しかも孔子學說の眞諦に於ては仍ほ須く詳に闡發を爲すべし。且つ國家祀典の問題も亦應に規定する所あるべし。東西の各國が前賢生死の日に對し往々に定めて紀念日と爲せるは忘れざるを示し兼ねて後人を勵ます所以なればなり。我が國此の後先知先覺の人に對して仍ほ祀典を存じ、必ず如何の人にして後始めて國家より紀念すべきや否や。孔子は我が國の文化方面に最も關係あり最も勳勞あるの人たりや否や。歴代太牢祀孔の典禮廢除以後、國家は仍ほ其の他孔子を紀念するの方法ありや否や。是れ均しく宜しく詳に規定を爲すべきものなり。我が公が北京大學に長たりしより十餘年來、學風日に新に月に異なり。我が公大にして包れざるなきの精神に本づき、擧國の名流碩彥を延攬し、各其の篤く信ずる所の學說に就き學子と共に同じく眞理の探討を作せり。**之に因りて李守常・陳仲甫等皆全國最高學府に在りて其の魔手共**產の主張を發布するを得たり。而して一般莘々たる學子は新を喜び奇を好むの心理に激せられ、又理想と事實との判斷に昧く、遂に一時理想の傾向に因りて進んで事實の運動を爲し、而して共產黨の發展乃ち日に飛騰を見る。比年以來、極めて優秀極めて潔白なる青年が邪說を誤信するに因り、身囹圄に繫がれ、及び非命に死するもの其の幾千人なるを知らざるたり。夫れ思想は因より自由を以て原則と爲し、學說眞理を研究するは更に學者の天職と爲す。惟國體と極端に抵觸し、國情と極端に衝突せるの學說にして、復辟・共產の類の如き、相當の制限を求むるや否や、青年輩に學ぶべきの趨向に對し相當の指導あるべきや否やは。是れ又先生と一商せんと願ふものなり。民國七八年來新潮勃興し、一般の時髦人物は皆西洋文化を以て中國文化に代らしめんと思ひ、遂に中國の文化と最も關係あるの孔子を以て懸命に打擊するの目標と爲せり。此の後凡そ自ら新人物と命ぜるものは皆孔子に反對するの態度を抱き少くとも亦一詞を贊せざるに至る。其の大膽に尊孔を倡言するものあるも、是れ自ら其の時代に合はざるの人物たるを表するに異るなし。客觀方面より之を觀るに殆んど頑固腐化

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

せる封建思想反革命の總代表たるを認むるなり。嗚呼是れ固より潮流の然らしむる所にして亦學者の未だ深察を加へざる所なり。我が總理一生の言論多く孔子を稱引し、孔子に對し從ひて微言なく、並に極力我が國固有の道德文化を發揚して歐米の特長は只科學あるを認めたり。(民權第六講に見ゆ)。我が中央執行委員全會第四次會議宣言には亦文化復興を以て急々と爲し、近者國民政府復た七端八目を提倡するの明命あり。是れ卽ち中國文化の必ず須く選擇保存すべきは既に確定の事實と爲れるなり。如し孔子を認めて中國の文化と最も關係あり、最も勳勞あるの先知先覺と爲さば、國家の之に對する亦應に相當の尊崇あるべきに似たり。此次貴院の通命は僅に歷代專制帝王の利用を以てして其の祀典を廢除せるに止り、しかも孔子學說の眞諦及び歷代帝王利用錯誤の點に於ては概ね未だ申明せず。深く世人の或は忠君尊天の一點卽ち孔子主要の學說なるを疑ひ、甚しきは或は孔子の學說が我が黨主義と眞に相悖謬せるを疑はんを慮る。豈に大に懼るべからずや。我が公は斗山の望重く舉國の崇仰せるところ、一たび見るの偏せる、彭澤胡んぞ言ふに勝ふべけんや。此の全國學界名流が首都に集會せるの際に當り、敬んで祈る、孔子に對する態度問題・國家祀典存廢問題・國家の祀るべきは何等の人物なるかの問題・太牢祀孔を除くの外仍ほ其の他孔子を紀念する方法ありや否やの問題をもちて詳に規定を爲し、以て羣疑を釋かんことを。翹企に任ふるなく專ら簡みて道祺を祇頌す、王朝俊鞠躬。(六月中旬)

□上海市長の旗民名稱廢除の訓話

五月三十日午前、上海市長何民魂は尙書巷棲息所に赴き旗民を召集して訓話を爲し、旗民生計處主任李柄雲及公安局東區第四分署の手で一一進行して居た。該棲息所には一千三百餘人の旗民が住んで居る内、當日營業上差支なきもの百餘人だけが出席した。之に對し左の五點について訓話があつた。

(一)旗民の名稱廢止　中華民族は漢・滿・蒙・回・藏の五族を合せて成立して居る。所謂國民革命は全民革命で、或る民族が或る民族を壓迫することでなく、又或る階級が或る階級を壓迫することでもない。民族といふ意義の根本的安住點は水平線上に置かれて、人々皆が充分に平等な幸福を享受せられるに在る。五族一家とは總理が我等に告げられた所で、旗民などゝいふ特殊な名稱の存在は目下絕對に之あるを許さない。畢竟辛亥の年に取極められた善後問題の結果として皆樣を今日の窮困飢餓に導いたのである。我々は一方既民といふ名稱を廢止すると共に他の一方に於て皆樣の爲め正當な出路を謀らねばならないのである。

(二)老人給養問題　皆樣の内で六十歲から七十歲までの年老者の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

爲め、社會と國家とは相當の方法を考へ、最近に市府に歸した利生・仁壽・利民・善後の工廠中で、善後工廠丈は更に整理を加へる必要があるので使用出來ないが、其の他の三工廠では皆樣を入れて輕便な手工を成さしめ、若しあまりに老いぼれて居るか或は廢疾者は完全に給養する筈である。右は年老者の男女に就いての事である。

(三)少壯男女には讀書勞役の機會を作る　各個の工廠に就いて言はゞ、女工は毎月十餘元・男工は毎月二十餘元を得る樣にし、少壯な男女は皆努力して勞役讀書に從ふべく、又活潑な小兒には相當の教育を施し、將來社會の爲め貢獻せしめ、成年の男女に對しては勞役の餘暇に、毎日少くとも一二時間の機會を與へて讀書さすべく、小兒は調査の上皆々をして國民の基礎的訓練を受けしめやう。

(四)勤惰の二字　閩商某は流浪して資金を損失し、年末僅に百數十文の制錢を殘したのみなので、或る日發憤を定め奮發して僅かな紙製玩具を作り出し、これに依つて數十千文の利を得た。次には之を資本として布を賣り、三十餘年間に大富家となり數十萬金を積むに至つた。しかし彼は子がないので財產の半分を其の女婿に與へ半分を社會に贈つて救濟事業を作さしめた事實がある。此の如き充實した發展も全く勤の一字から發足したので、成功の要は此の一字の上に在る。

(五)此の牢獄の樣な生活を離れねばならない　從前聞いた所によると皆樣は新しい家に住んで居られるとの事で、美しい樣な心地で來て見ると、これは又意外にも荒涼悲慘な狀況であつて實に牢獄と思はれるばかりではなく、外面の牆はともかくも內部は實際上如何なる社會よりも貧しく見える。皆樣のお小供衆は幼稚な時から此の境遇に看慣れて居るのでは、思想も學業も永遠に向上の見込が立たない。更に玆に數十年を經過したならば漸次に老死するに至るまで聞こゆるの人もなくて、人人も衰滅して行くであらう。故に私は皆樣が此の新らしい家を牢獄と見て、更に勇氣を鼓舞し此の牢獄を離れ去り更に新しい生命を尋ね求めんこととの準備あらんことを最も希望するのである。

此の外市府の用人も公開的　皆樣の內で相當の經歷あり、特異の才能あるものは履歷書を出して貰ひたい。充分に引立てるつもりである。又皆樣も各自の爲めに福利を謀り進步して頂き度い。かくして二三年後に私が再び尋ねて來た頃には今日の樣な窮狀のない社會に變じて居て貰いたいと述べ、更に李主任から縷々右の意思を說き聞かせ、政府の指導に信賴して努力發奮すべきことを諭して、九時頃散會した。(六月五日―申報)

□排日貨に對する學者及商工業者の研究

對日交涉起る時、支那人が必ず大聲疾呼して提唱するものは日貨排斥の運動である。吾人は數年前排日貨の聲最も盛な時に當り、其の徹

底的に實行することの不可能な事であつて、無理に之を實行すれば支日兩國に損害を及ぼすこと甚だ大である。かくて一時日本に損害を及ぼすべきも、又支那自身の受くる損失は又更に大であることを論じた。其の後之を實績上に就いて見るに、吾人が豫見した通り、日貨排斥運動に依つて日貨を抵制し得たのは僅々一時的に止り、沖も永遠に之を繼續して排斥することは不可能であつた。吾人が日貨排斥不可能の理由として論じた項目には、日貨は偶然に支那に輸入したものではない。乃ち支那國民の經濟及文化生活の必要に應じて出來たものである。需要者があるから日本の商工業者は之に應すべき生産方法交易方法を講求の結果、始めて品物を輸出するに至つた。これに依つて支那人は自己の經濟力及嗜好に適當する物品を購買し使用することが出來た。然るに今遽に輸入を停止するときは支那全國人の不利不便は免れないのであるといふのがあつた。實際上から觀ると吾人の豫見した事と一致するものがある樣である。日貨排斥運動の結果、日貨の輸入は一時杜絶はするものゝ、後日に至つては更に一層多量の輸入を受けるので、結局日本の全體から觀察すると、日本の對支商工業は何等の影響をも受けない譯である。

吾人は當初曾て日貨排斥運動に因つて日本も亦國人と共に同一不利を受けることゝ思つて居た。然るに數年間の實際に就いて調査したところ、日本必ずしも害を受けた譯ではない。日本に在つても當初は對支貿易の重要なことを感じたので恐怖の念を有して種々不安な議論をなしたり、又其の緩和の方法を講究したものがあつた。支那側では之を見て日貨排斥の効力甚だ大なりと思ひ、益々之を鼓吹したのである。然るに其の後日本の商工業者は數年の經驗に因り、たゞに其の恐怖するに及ばないのを認めるばかりではなく、又日支貿易の狀況に對し更に詳細は分析と研究とを遂げ、研究の結果を近二三年の日本各新聞雜誌等に發表し、學者及實際家は各得意の方面について詳細に理論と實際とを研究した。綜合した觀察を述べて見ると、支那が日貨を排斥するのは只に支那の商業を害し國民に與へるに不利を以てするばかりではなく、又自然の結果として支那の生産する原料品の對日輸出を減少するのである。此の點からして更に支那の農民及商民に不利を與へる事となるのである。更に進んで研究するに、若し日本が復讐的の念を抱き、日貨の支那に必要なものゝ輸出を停止して支那を苦しめたならば、支那は必ず大な苦痛を感ずることは明に知れて居る。加之に日本の商工業者は已に多年間に亘る日貨排斥運動で受けた經驗に基いて右の運動に應ずる商工組織を研究して居る。此等の理由あるに因つて今日の日本商工業者は已に日貨排斥運動を恐懼すること從前の甚しきが如くでない。卽ち最近支那に日貨排斥の傾向あらんとするに當り、日本の商工業者は之を怖れる色なく、亦緩和策を講求しないで、極めて冷靜に對岸の火災を觀る如く感じて居る。吾人は先年以來日本の對支貿易が不自然な膨脹をして居ることを考へて居る。日貨排斥の運動に依つて日本の受ける影響はかゝる不自然な膨

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

脹をしたものだけが整理されるのみで、自然的に必要な對支貿易事業は決して惡影響を受けては居ない。かゝる不自然的な膨脹は日本側から見れば早晩整理せねばならないものであつて、一日も早く之を整理せないで更に物の不自然的膨脹を助成する如き事があらば、日本の貿易は表面上だけ甚だ大な發展をしたやうであるが、後日に至り必ず收拾すべからざる打擊を受ける恐れがある。故に時々支那に發生する日貨排斥運動は日本商工の不自然的膨脹を抑制して之に整理機會を與へるの效用があるので、日本の對支商工業は日に益々堅實な地歩を占める結果となるのである。

以上は、日本側の研究した所と吾人の解釋とを合せて陳述したものであるが、支那側でも此等諸點に關し均しく深く研究を加へらるべきである。若し僅々貿易表の數字を觀たよけで、日本の對支貿易は若干の金額であるから之を停止したならば日本の利益は若干だけ減少するであらうといふ如き、單純な空疎な理論を根據として、日貨排斥を有利なりと主張するは不可である。吾人は支那人の日貨排斥を唱導するものに對して忠告せんと欲する點は、其利害上について更に詳密な研究を爲し、日本が果して此れに依つて困難を感ずるか否か、又困難を感ずるとしても全國々人の困難を顧みないで之を斷行する丈けの價値があるか否かの諸點をも研究する事であつてかゝる研究の際には、充分に日本側の一切の研究をも併せて參考するの必要があらうと思ふ。（六月二日・順天時報）

□廣東近情

濟南事件と影響　五月三日濟南事件突發し、廣東の新聞紙は盛に排日の宣傳を爲し、しかも五七・五九の記念日を控居る事とて總領事は萬一の場合を慮り、支那町在住邦人の沙面避難を注意され、六日晩大部分（六十五名）引上げたり。

支那新聞の逆宣傳　支那新聞の逆宣傳により對日感情漸次惡化し、對日經濟絕交委員會組織せられたるも、共產黨一味の暴動誘發を慮るゝ爲め、政府は集合遊行等を禁じ、警戒嚴重なるを以て、反日氣勢も揚らず割合に平靜なるは幸なり。（六月二十六日・廣東情報）

□中國の工賃制度

一

勞動問題は、已に今日は學者間の討論の中心點となれり。顧りみるに此問題の源を深く究研せんと欲すれば、其の實際の眞相を闡明するにあらざれば、頗る容易なるものにあらざるなり。工賃制度は、勞動

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

問題の最も重要なる一大部分を占め、而かも吾が中國に在りては、最も討論と研究の必要あり。

中國の工賃は大別すれば左の二種に分るべく、一は則ち實物の工賃にして、一は卽ち貨幣工賃なり。實物工賃は物品を支給する工賃を謂ひ、而して此種の物品は多く普通穀類及衣服住居上の日用常具に屬し、貨幣工賃は、卽ち貨幣を支給する工賃なり。顧みれば今日一言工賃と稱すれば、卽ち多くは貨幣を聯想すべく、此れ吾人は大都市に居住するにより已に慣れ、而して窮郷僻壤の貨幣經濟の未だ發達せざる處は、多くは普通の物品を用ひて支給するものなることを知らざるに因るなり。夫れ實物工賃より進みて貨幣工賃に至りなば、卽ち社會は經濟上一大進化を來せるなり。蓋し交通既に便利となり、勞工の慾望既に增加し、而して獨立心高まり、加ふるに家政と企業と分離せるを以て、實物工賃をして自然衰落せしめ、漸次貨幣を以て代るに至りしなり。然るに吾が中國の內地に在りては、農業勞動者の大部分及工業勞働者等の食費は、卽ち多くは雇主の負擔する所にして、是れ卽ち實物工賃支給の意なるべく、下女・一般徒弟・手工助手・娼妓・俳優等の如き、皆此遺風を存せり。然りと雖、實物工賃の利害は、又比較し得べく、其利益なるものを擧ぐれば、卽ち(一)能く主從の關係を保持し而して其間の情誼を溫和ならしめ(二)日用品の騰貴による勞働者の實收を減少せしむる弊を防止すべし。其害なるものを言はゞ、(一)雇主をして左右勞働者の生活狀態に就き、其種類・品質・數量を專斷せしむべく、(二)大いに勞工の獨立自主の精神を妨害し、其雇主に對して永久に從屬關係を脫せしめざるべく、(三)勞動者の貯蓄に便せず、而して其結果、勞工をして不識不知の間に浪費消耗の習慣に馴らしめ、(四)勞工の物品の品質・分量・價格を容易に顧みるを得ざるに乘じ、往々不良不正或は廉價の物品を強ふることあり。

二

今日の工賃は、大多數は皆貨幣を指し、而して貨幣の效力上に從ひて又二種に區別せらるべし。一は名義工賃にして、一は實質工賃なり。名義工賃は、勞働者の工賃を應に收得すべき貨幣實數を謂ひ、實質工賃は、其收得貨幣の實數に依る。此購入物品の割合實價を謂ふなり。卽ち前者は貨幣として現る工賃にして、後者は貨幣の購買力に依りて現る工賃なり。之れを換言すれば、名義工賃は、絕對的工賃にして、實質工賃は卽ち相對的工賃なり。

物價に變動無き時は、名義工賃と實質工賃とは皆變化少きも、若し物價に一度變動起りなば、名義工賃は原の如くなれども、實質工賃は卽ち大いに變化を起すべく、卽ち物價下落しなば、卽ち實質工賃は增加し、而して其利を受け、物價昂騰すれば、卽ち實質工賃は減少し、而して其害を受くるなり。今日吾が中國の貨幣制度は複雜にして、且つ紊亂せるを以て、市場の高下變化は極めて容易となり、而して勞働者の受くる實質工賃をして亦重大なる影響を蒙らしめり。故に勞働

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

運動は、他國に比較して最も甚だしく、勞働問題中に在りて、實然今に至るも已まざるものは、銅元問題に過ぐるものなし。

三

遂し吾が國(中國)に在りては、銅貨幣價値の墜落は、往々にして勞働者の生活を脅威する利器となれり。夫れ勞働者の日々受くる所の勞働報酬は、多く三十枚乃至四五十枚の銅貨幣なり。然るに最近各省の惡質輕量銅幣の鑄造は、其極點に達したるを以て、經濟學上の原則に依り、良質貨幣は、當然漸次市場より排擠出せられ、理窟上銅元百枚は銀洋(銀元)一元と相等しきも、今日は卽ち一元は、二百枚乃至三百枚以上と交換せられ、其混亂せる狀態は、勞銀に影響すること如何に大なるものあらん。試みに上海に於ける三年間の銀洋一元と銅元との交換比例を擧げん。

	一九一九年	一九二〇年	一九二一年
一月	一三三・三	一三六・二七	一五六・〇〇
二月	一三四・六七	一三五・〇五	一五八・四〇
三月	一三五・四三	一三七・一八	一六〇・二〇
四月	一三五・二四	一三七・五九	一六四・八〇
五月	一三五・三一	一三八・〇八	一七一・三〇
六月	一三五・八六	一三八・三一	一七二・四〇
七月	一三五・九五	一三九・二四	一七三・四〇
八月	一三六・一九	一三九・七五	一七六・二〇
九月	一三六・四三	一三九・六五	一七九・九〇
十月	一三六・五六	一三九・八七	一八一・三〇
十一月	一三六・五一	一四〇・四三	一七四・五〇
十二月	一三六・八一	一四一・三六	一七五・五〇

更らに一九二二年八月中に於ける上海・北京・天津及漢口市場の銀元銅貨の交換比例を擧ぐべし。

	上海	北京	天津	漢口	漢口(一千文)
八月一日	一七九・四	一九八	一九五・五	〇・六九九二五	〇・三三三
三日	一七九・一	一九六	一九五・〇	〇・六九九七五	〇・三三二五
五日	一七九・二	一九六	一九五・〇	〇・六九九七五	〇・三三四五
七日	一七九・四	一九七	一九五・〇	〇・七〇	〇・三三六〇
九日	一七九・五	一九七	一九五・〇	〇・七〇〇六二	〇・三三五〇
十一日	一七九・六	一九七	一九五・〇	〇・七〇〇七五	〇・三三五五
十三日	一八〇・〇	二〇〇	一九五・〇	〇・七〇〇三七	〇・三三五五
十五日	一七九・八	二一〇	一九五・〇	〇・七〇一二五	〇・三三五五
十七日	一七九・〇	一九五	一九五・〇	〇・七〇一六二五	〇・三三四五〇
十九日	一七九・二	一九八	一九七・〇	〇・七〇一六二五	〇・三三四六二五
廿一日	一七九・八	一九八	一九六・〇	〇・七〇四五	〇・三三四〇
廿三日	一八〇・〇	一九八	一九六・〇	〇・七〇三	〇・三三四〇
廿五日	一七九・九	一九八	一九八・〇	〇・七〇一七五	〇・三三七五
廿七日	一八〇・〇	一九八	一九七・〇	〇・七〇一七五	〇・三三七五
廿九日	一七九・八	二〇〇	一九七・〇	〇・七〇二七五	〇・三三八
三十日	一八〇・〇	二〇〇	一九九・〇	〇・七〇二二五	〇・三三〇五
卅一日	一八〇・〇	二〇〇	一九九・〇	〇・七〇二二五	〇・三三二五

上記二表を観れば、近年銅幣價値の愈低落せるを知るべし。上海の情態を以て論ずれば、銀一元と交換するには、須らく百八十枚の一仙銅貨を要すべく、北京は更らに甚だしく、彼等勞働者の收入は、既に銅貨を本位と爲すを以て、其受くる影響は言を待たずとも自から明かなるべく、是れ工賃増加の呼び聲の甚だ囂々たる所以なり。近年多くは串を改めて元制と爲せりと雖、然かも小洋（小銀貨）、大洋（銀元）、光洋・鷹洋等ありて、又極めて不一致なれば、其勞働者の受くる影響は、卽ち尙未だ已まざるなり。

四

工賃は支給の方法に依り、卽ち工賃計算の標準如何に依り、二種類に分るべく、一は時間支給工賃にして、一は個數支給工賃なり。時間支給工賃は勞働時間の長短に依りて支給するものを謂ひ、之れを詳細に言へば、單に勞働時間の長短を比例として支給するものにして、其間工作の如何は敢へて問はず、普通之れを日給工賃と謂ふ。個數支給工賃は、卽ち工作の程度に依りて支給するものなり。其利害得失の比較し得るものを記述すれば、略左に示すが如し。

一、時間支給工賃は、工賃額既に定まれるにより、計算上は頗る簡便なりと稱すべく、又工賃の計算に關する勞働運動を減少すべし。

二、時間支給工賃は、企業家より之れを視れば、容易に勞力上の生産費を豫算し得べく、又勞働者も容易に其收入を知り得べし。

三、時間支給工賃は、頗る伎倆と報酬とを一致せしめ難く、特に吾が中國の勞働者は多く怠惰性を有するを以て、若し監督者にして其方を得ざれば、卽ち一日の作業は無益の手數に等し。

四、勞働者は雇人なるを以て、多くは熱心ならず、而して貨率をして自然容易に低落せしむ。

此れ時間支給工賃の長所と短所なり。個數支給工賃の得失に至りては、卽ち左の如し。

一、個數支給工賃は、能く伎倆と報酬とを一致せしめ、能く勞働者を勤勉ならしめ、生産力を增大せしむ。

二、勤勉關係により、監督上の費用を省略すべし。

三、責任を以て工作の速成をなすべし。

四、工作の性質上、大いに協力すべきを以て、分工合作の精算は頗る得難し。

五、容易に過勞に陷り、浪費に傾き、勞働者の心身を害す。

六、只出品の多きを願ふを以て、往々にして粗製濫造の弊に流る。

五

以上二種の工賃支給方法は、吾が中國に在りては共に採用せされども、而も尙他に區別すべきものあり。卽ち農業及日傭ひ工に在りては、大抵時間支給制なれども、亦穀類の收穫時期中には、石數を以て計算するものなり。個數支給制は多く機械工業に適用せられ、其例は左の如し。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

甲、苦力及常雇苦力は時間支給制にして、會社傭用者と碼頭（棧橋）苦力とは即ち個數支給制なり。

乙、紡績工の各部は、多く個數支給制にして、整棉打棉等の勞働者は、即ち時間支給制なり。

丙、織布の大部分は亦個數支給制なれども、只天津一帶の工場に在りては、多く時間支給制を採用せり。

丁、製絲業は多く個數支給制にして、其工賃の多少は絲の品位粗細操絲法の巧拙等に依りて算出せられ、四川の製絲工場等の如き、即ち是れなり。但し上海閘北生絲廠は即ち時間支給制を採用せり。

戊、燐寸工場は大抵個數支給制なれども、只常用工の熟練工は時間支給制にして、包裝等の幼年工は即ち個數支給制なり。

己、製粉工場は、皆時間支給制なり。

庚、煙草工場は、兩制を竝用す。

辛、印刷工場は、多く時間支給制を用ふれども、但し書籍方面は、亦個數支給制を用ふるものあり。

壬、皮革工場は、原料の選別等に關し皆個數支給制を採用す。

癸、鐵工場は、時間支給制を用ふ。

子、窰業及煉瓦工場等の窰業は、時間支給制なりと雖、瓦及煉瓦製造工場は、即ち個數支給制なり。

丑、建築工業の組頭は個數支給制にして、各組に對しては時間支給制なり。

寅、電氣工業は時間支給制を以て主と爲す。

卯、炭坑工夫及採炭苦力は、概ね個數支給制にして、常用苦力は時間支給制なり。

又吾が中國に在りては、一種の團體請負制を實行し、個數支給工賃の缺點を補ふものあり、即ち一定の工賃を以て、一に勞働者頭の監督に任ぜしめ、而して雇主は一切を問はざるものなり。外國人の經營する紡績會社中にては、多く買辦制度を採用す、是れ即ち此種に屬するものなり。

六

吾が中國の工場は、上記の如き正式の工賃制度を實行するものを除くの外、尙一種の賞金制を採用せり。賞金制は、即ち一定の工賃以外、一定の條件を以て賞金を支給する方法なり。然れども所謂一定の條件は、果して何を指示するや、此れ即ち工賃の種類と支給賞金の目的とに依りて各異なれり。若し時間支給工賃制を採用すれば、即ち工作の困難により、容易に速成せざれども、而かも奬勵法を行ひ、工作の生産高を標準と爲し、一定期間内に在りて賞金を與ふるものにして、是れ其一種なり。又若し個數支給工賃制を採用すれば、即ち生産品の粗製濫造を防ぐ爲め、務めて其精良を計らしめ、特に賞金を支給するものあり、之れ又此一種なり。又勤勉なる勞働者、伎倆拔群の勞働者乃至は原料燃料を節約する勞働者、或は機械器具に意を注ぐ勞働者等

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に對しても、皆一種の賞金制を採用し、成績をして良好ならしめんと欲するものなり。吾が中國の手工組雇主は、常に一定の工賃以外、元旦・清明・端午・中秋等の氣節には、賞金を支給するを以て慣例と爲し、卽ち家庭中に在りても、主人は奴僕に對し亦然り。

吾が中國の賞金制は其種類甚だ多く、上海の南洋兄弟煙草公司の如きは、其賞金は直接勞働者に交附せず、總て同公司に於いて保管し、勞働者の老後・死後及其他不時の費用に供せり。又上海內外棉紗工場(內外棉絲工場)の如きは、一種の保險金に類似せる賞金を設定し、工部局の承認を經、卽ち每月工賃の階級に應じ、十元以上の收入者に對しては、工場より賞金を酌定し、代りて貯蓄を爲せり。然れども此二方法は、皆職工の了解する所とならざるにより、罷工運動を引起せしかば、內外棉紗工場は、既に貯蓄方法を廢除し、工作の生產高に對し、賞金を與へ、是れに反すれば卽ち罰金に處せり。

概括的に是れを言へば、中國の賞金制は、五種に分るべく、一は勤續賞金、二は皆勤賞金、三は月末賞金、四は年末賞金、五は成數賞金なり。玆に其普遍的例を擧ぐれば、左に示すが如し。

一、勤續賞金は、卽ち勤續作業一年以上に至れるものに對し、慰勞金を支給するものなり。

(一等工)

勤續年限	一年	洋銀	七元
同	二年		十四元
同	三年		二十一元
同	四年		二十八元
同	五年		三十五元
同	六年以上(每年)		四十二元

(二等工)

勤續年限	一年	洋銀	五元
同	二年		十元
同	三年		十五元
同	四年		二十元
同	五年		二十五元
同	六年以上(每年)		三十元

(三等工)

勤續年限	一年	洋銀	三元
同	二年		六元
同	三年		九元
同	四年		十二元
同	五年		十五元
同	六年以上(每年)		十八元

(備考) 一年中に缺勤あるものは、其日數にして十五日以上に亘りなば、卽ち半額を支給し、三十日以上なれば卽ち全部の支給を停止す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、皆勤賞金は、即ち毎月皆勤なるものに對し、二日分乃至四日分の賞金を加へて獎勵を示す。某紡績會社は、曾て八萬元の利子を以て此皆勤賞金に充當し、即ち全部皆勤者に對し四元、一二日缺勤せるものに二元、三四日缺勤せるものに一元五角、五六日缺勤せるものは一元とし、年末に支給せり。其結果の成績は左の如し。

民國十年末の調査(民國九年度は、未だ此項の獎勵金の支給を實行せざりし時なり)

民國九年度	皆勤	四四	
同	一日缺	二八	
同	二日缺	三五	
同	三日缺	四二	
同	四日缺	四〇	
同	五日缺	二六	
同	六日缺	三〇	
合計		二四五	

民國十年度	皆勤	六七	
同	一日缺	四九	
同	二日缺	五二	
同	三日缺	六二	
同	四日缺	四三	
同	五日缺	三六	
同	六日缺	六〇	
合計		三七一	

三、獎賞は本人の工賃の收得高に依り、毎月一次支給するものにして、例へば一ヶ月の收入十元以上の者にして、若し換號碼(日曜日以外の一種の勞工の休息日)以外の日に缺勤せざるものに一元五角を支給し、缺勤者に八角を給し、八元以上の收入者には一元一角を給し、缺勤者には六角を給し、六元以上の收入者には八角を、缺勤者には四角を、四元以上の收入者には五角を、缺勤者には二角五分を、四元以下の者には月末賞金無きが如し。

四、年末賞金は、即ち一年末に於ける勞働者に對する一種の獎勵にして、某紡績工場にては、曾て次の如き賞金支給法を採用せり。

一等　五元　忠實に全體に服務し、差異無きもの／勤懇にして又伎倆の拔羣なる班長／皆勤の助手

二等　四元　以上三者に次ぐ勞働者／油注職工等の優秀者

三等　三元　以上に次ぐ一切の勞働者

尙四等二元半、五等二元、六等一元半、七等五角乃至一元あり。又山東一帶の新式工場にては、一二元乃至四五元を與へ、或は二三日分乃至七日分の工賃を與へて賞金となすものあり。

五、上述せる生産高を獎勵する意味と同じく、又一種の賞金法あり。例へば紡績工場にては、精紡部は、即ち本工賃の一割五分を、其他の各部は、即ち一割を、毎月二回に分ちて支給し、又毎半月左の支給方法を用ふるものあるが如し。

毎半月増加

本工賃收得高	精紡部	其他
七元以上	一元	七角
同　六元以上	九角	六角
同　五元以上	七角五分	五角
同　四元以上	六角	四角
同　三元以上	四角五分	三角
同　二元以上	三角	二角

二元以下無し、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

以上擧げたる所は吾が中國の賃金制の大概なり。原來賃金の意義は、普通の工賃以外に在りて、特別の事情を基礎と爲せるものなれば、僅かに特別の人に限り支給せられ、而かも普通一般の工賃とは減少すべき性質を有すものなり。然るに吾が中國の工場にては習慣上殆んど賃金と工賃とを完全に同一視し、企業の利益の有無の如きは固より問はざるが如くなれども、但し規定の條件ありて、卽ち賃金を執行す。故に賃金は利益の分配なりと認むるは、皆大なる誤謬なり。

七

玆に上海の各種工賃と物價表とを附記すれば、左の如し。(卽ち最近三年間の物價指數と戰前とに就きて比較す)

甲、上海勞工の工賃比較表

勞工種類	常用工(賄附)	常用工(賄自辨)	臨時雇工(賄附)
石工	〇・二四	〇・七〇	―
鋸工	―	〇・六〇	―
苦力	〇・二〇	〇・四〇―〇・五〇	―
錻力職工	―	一・〇〇	―
鍛冶工	―	一・〇〇―一・五〇	―
排水夫	―	〇・七〇	―
美術石工	―	一・〇〇―一・五〇	―
畫工	―	三・〇〇	―
經師屋	―	一・二〇	―
大工	―	〇・八〇	―
仕立屋 洋服	(一月)三五・〇〇	(一月)四〇・〇〇	一・〇〇
仕立屋 中國服	(同)二〇・〇〇	(同)一六・〇〇	〇・七〇
門番	―	〇・五〇	〇・四〇
紡績工			
半精練工(男)	―	〇・二五―〇・五五	―
同(女)	―	〇・三〇―〇・五五	―
同(兒童)	―	〇・二五―〇・四〇	―
不精練工(男)	―	〇・三五―〇・四〇	―
同(女)	―	〇・三〇 〇・四〇	―
煙草工場			
不精練工(男)	―	〇・四五―〇・七五	―
同(女)	―	〇・三五―〇・七五	―
同(兒童)	―	〇・二五―〇・三〇	―
刺繍工場			
精練工(女)	―	〇・二〇―〇・五〇	―
不精練工(同)	―	工賃無し	―
製粉工場			
精練工	―	一・〇〇―二・〇〇 (一月)二五・〇〇―三〇・〇〇	―
不精練工	―	〇・六〇 (一月)一五・〇〇	―

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印刷工 監督	—	(一月)六〇・〇〇—一〇〇・〇〇	—
印刷工 職工	—	(一月平均)二〇・〇〇	—
印刷工 職工見習	—	(同)八・〇〇	—
機械工	—	(一月)二〇・〇〇—四〇・〇〇	—
自動車運轉手	—	(一月)三〇・〇〇—三五・〇〇	—
車夫	—	(一月)九・〇〇—一三・〇〇	—

(註) 概して大洋を以て計算す。

乙、物價比較表 (單位兩)

		一九二〇年四月	一九二一年四月	一九二二年四月	一九二三年四月
高常白米	一擔	六、二三〇	七、〇三三	八、五〇〇	八、四三四
漢口小麥	同	三、〇五〇	三、三三〇	三、三五〇	四、一〇〇
大麥	同	—	—	—	—
機械製麥粉	一袋	一、八七〇	一、八六二	二、一〇〇	二、〇七五
蕪湖白豌豆	一擔	三、一〇〇	二、八〇〇	三、五〇〇	三、二〇〇
漢口蠶豆	同	二、五五〇	一、三九〇	三、四五〇	二、一七〇
牛肉	一磅	〇、一三五	〇、一三四	〇、一三五	〇、一六六
羊肉	同	〇、一三三	〇、一四一	〇、一四三	〇、一七三
豚肉	同	〇、二〇三	〇、一九九	〇、二〇〇	〇、二三五
鷄卵	一打	〇、一四〇	〇、一六八	〇、一六四	〇、一九八
牛乳	一瓶	—	〇、一四五	〇、一四五	〇、一七五
砂糖	一擔	—	九、〇〇〇	七、七〇〇	一〇、〇〇〇
昆布	同	—	三、九〇〇	六、二〇〇	五、八〇〇
綠茶	同	—	三六、〇〇〇	—	—
生粗布	一疋	七、一三〇	六、〇〇〇	六、三〇〇	六、〇〇〇
生金巾	同	五、三一〇	四、九四〇	五、一〇〇	五、三九〇
棉絲(一、二手)	一俵	一八〇、〇〇〇	一四一、〇〇〇	一三九、〇〇〇	一三二、四〇〇
同(二、六手)	同	二〇六、五〇〇	一五四、〇〇〇	一四七、五〇〇	一四九、五〇〇
石油	一箱	三、九八五	四、六〇三	四、〇五〇	三、一七一
薪	五十束	〇、七三一	〇、七三五	〇、七二八	〇、九二一
開平一等炭	一噸	一一、七五〇	一一、五〇〇	一〇、五〇〇	一一、〇〇〇

丙、全國勞働者の工賃と上海の生活費との調査表

(1)、全國粗工毎月の工賃表 (單位元)

種類	男工 最高	男工 最低	男工 平均	女工 最高	女工 最低	女工 平均	童工 最高	童工 最低	童工 平均
紡績工場	三〇	六	一九	一〇	六	八	—	—	—
鐵工及機械工	二〇	一〇	一五	—	—	—	—	—	—
礦產	一八	九	一三、五	—	—	—	—	—	—
生絲工場	三〇	六	九	一〇	五	七、五	—	—	—
其他工業	一六	六	一二	五	三	四	—	—	—

(2)、全國精工每月の工賃表（單位元）

種類	男工 最高	男工 最低	男工 平均	女工 最高	女工 最低	女工 平均	童工 最高	童工 最低	童工 平均
紡績工場	三〇	三	三	一四	八	一六	—	—	—
識工及機械工	五〇	二〇	三五	—	—	—	—	—	—
礦產	四〇	一六	二八	—	—	—	—	—	—
生絲工場	三	六	一四	三	六	一四	—	—	—
其他工業	三〇	九	一九五	三〇	七五	一三七五	—	—	—

(3)、上海粗工每月の生活費（單位元）

類別	獨身者 銀數	獨身者 百分率	五人家庭 銀數	五人家庭 百分率
食料	五・四五	四六	一二・一〇	五三
被服	一・一九	一〇	二・二三	一〇
室代	〇・七八	五	二・七八	一二
薪炭費	〇・四七	四	一・九二	九
電車費	〇・七一	六	〇・八五	四
雜費	二・三五	一九	二・五六	一二
計	一〇・八五	一〇〇	二二・三四	一〇〇

(4)、上海精工每月の生活費（單位元）

類別	獨身者 銀數	獨身者 百分率	五人家庭 銀數	五人家庭 百分率
食料	七・三三	三〇	一五・〇六	四二
被服	二・三一	一三	三・九四	一一
室代	三・〇九	一六	五・四二	一四
薪炭費	〇・五七	三	二・五一	七
電車費等	二・一三	一一	二・一五	六
雜費	三・八五	二〇	七・一七	二〇
計	一九・一六	一〇〇	三六・二五	一〇〇

八

北方に於ける工賃の其代表的のものか擧ぐれば左の如し。

甲、北京天津機械工業の工賃表

鐵工	毎日	一・二〇—〇・五〇	鑄工	毎日	〇・七〇—〇・三三
銅罐	同	一・〇〇—〇・四〇	電工	同	一・〇〇—〇・八〇
銀器	同	〇・七〇—〇・四〇	洋鐵管	同	一・〇〇—〇・七〇
大工	同	一・〇〇—〇・五〇	機械製造	同	〇・八〇—〇・五〇

乙、建築土木工の工賃表

	天津（毎日）	山東（毎日）	營口（毎日）	奉天（毎日）
大工	〇・五〇ー	〇・七〇ー〇・四〇	一・二〇ー一・〇〇	二・〇〇ー一・七五
石工	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
機械鍛冶工	二・〇〇ー〇・八〇	一・五〇ー〇・五〇	ー	ー
鍛冶工	一・二〇ー一・〇〇	一・〇〇ー〇・八〇	〇・七〇ー〇・五〇	一・三〇ー一・〇〇
煉瓦工	〇・八〇ー〇・五〇	〇・七〇ー〇・三〇	〇・六五ー〇・五〇	ー
錻力工	一・〇〇ー〇・八〇	〇・九〇ー〇・六〇	一・〇〇ー〇・六〇	一・二〇ー〇・六〇
硝子工	〇・八〇ー〇・四〇	〇・六〇ー〇・四〇	一・二〇ー一・〇〇	一・六〇ー一・五〇
苦力	〇・二〇ー	ー	ー	ー

（註）上海の工賃及物價表は、上海國際文化研究會日本人宇高寧氏の調査を根據とせるものにして、其餘の各表は、悉く農商部民國十三年の統計に依りたるなり。

（東方雜誌民國十六年）

比律賓

□ダヴィス氏の觀た比律賓群島（一）

比律賓群島

総督レナード・ウッド將軍は、一九二七年の會計年度終了前旬日ならずして米合衆國に歸朝さるゝや、程なく不歸の客となられた。追想するに一九二一年の春総督の大任を帶びて本國を去られ、爾來六箇年に亘り比島開發のため將又比島民の福祉安寧を計る爲め不斷の努力をされた。吾々が最近に於ける比島進歩の經路を顧みる時、此の偉大なる行政者の燃ゆるが如き倦まざる熱と、崇高なる人格の偶像を永久に心裡に描かねばならない。大國民の漸進的な而も正確なる發達の因つて來る所を研究すると、其處には斯る大人物が存在せるといふ事實に想到せざるを得ない。

比島政府が本日の如く頗る滿足した有望なる狀態にあるのは未だ嘗てなく、比島國民が現在より以上幸福であり且將來に於けるより以上希望に輝ける時代は前例も無い。斯る境遇は過去六箇年間に米合

衆國が厳格なる政策を實施し、比島の治政を强固に維持遂行したる賜で、現在の比島はウッド將軍の紀念塔とするに最も相應しいものであらう。

進歩に影響したる主なる要素

米合衆國統治下に於ける比島の進歩を評價する場合、斯る進展に制限と掣肘を加へたる要素に關して論評するのが肝要である。

政治の發達＝米國議會は一九〇二年の憲法に比島議會の下院が選出議員により成立する旨を制定し、一九〇七年十月十六日その議會が始めて開會された。是れによつて比島國民は全然過去に經驗せざる進んだ範圍迄政治に關與する權能を與へられた。一九〇四年大統領ルーズベルト氏は、此の豫想的擴張に就いて述べて曰く。

「吾々は比島國民の政府に對する彼等自身の領分を既に與へて居る。彼等が此の常務に適當せるといふ實證を増すにつれ、その限定を擴めんとするのが吾々の目的である。（中略）吾々は今や議會を創設せんとして居るが、これ實に將來に採らんとする第一歩にして、此の初歩が實施され、その結果が發表されざるに先逹ち、次に如何なる政策を採らんとするかを宣言するのは愚も甚だしきものである。（中略）吾々は比島民の援助を以て比島に政府を樹立したのである。歩一歩と著實に前進し反對に米國民の應援のもとに比島國民自身の政府にすべく努力しつゝあるのである。」

比島國民を啓發し獨立可能に導かんとする努力は、或る程度迄比島の經濟的發展に障碍を及した。斯の如き事實は物事の進歩に於て當然あり得る事であり、又確に今でも例があるのである。即ち產出能力の發展を犧牲にして比島國民は政治的方面に意を注いで來た。教育組織の改善は一方に團結力を增し實際に生產業に從事せる多くの人々を離脱せしめたのである。

不定の政策狀態＝比島の政治樣式は比島の迅速なる進行を阻害する主因であると常に論議されて居る。若しも米合衆國が比島の統治を永久的に行ひ或は永年月期間獨立を與へぬ旨の決定的の所信を言明して居つたならば、文明開化の速度は現在以上速かであつたであらう。其處には何等の疑義を挿し挾む餘地を發見し得ない。然し乍ら他方面から見ると、若しも米合衆國が比島より手を脱くといふ斷定的の意志を表示したならば比島の進展を鈍らすのみならず、暫時の間急激なる逆轉を齎すであらうといふ論旨も眞理である。故に固定的政策の聲明が當群島を發展せしむるといふステートメントは、特に眞想を穿つて居るとは云ひ得ない。

土地法＝比島は主として農業國である。吾々は群島の大部分が未占有地にして未開墾地であるのを知る。占有地の開拓とその土地の擴張により發達開化を獲得し能ふのであつた。一九〇二年の憲法條項中に議會は田宅地が十六町歩以上ならざる事……一町歩は大約二・五英反……個人へ貸付或は賣却は十六町歩を越えざる事、一千二十四町歩以上は如何なる會社或は組合にも賣渡、貸與せざる事を制定した。

憲法の條項中に是等の制限を規定するのが至當であると主張する主旨に從ふと、比較的少數の人々の間に過多の地面を委ぬる結果、利己的に利用して國民に害毒を流すに至るその惡い現象を防止するためであると。然し茲に吾々が熱帶諸外國の開發狀況を調査するならば、一目瞭然是等の條項規定は比島の迅速なる進歩にとりて、甚大なる障碍物であると信ぜざるを得ない。此の法規の及ぼしたる惡影響の程度は容易に計り識り得べからざるものがあつたのである。比島委員は是等の制限は比島國民保護上毫もその必要を認めず、且つ又進歩の速度を痛く害して居るといふ理由を述べて居る。同委員は一九〇二年此の憲法々規が實施されて後一箇年目の年度報告書中に次の如く熱望したのである。

「公有地を個人或は會社に賣渡し貸與し得る限度を一千二十四町歩から二萬五千英反に擴張するか、その代りに期間を六十箇年面積を三萬英反限度とし競爭入札制度を以つていかなる個人或は會社にも貸與する權利を政府に賦與し得る樣に比島の法律を改訂する事

他の形式をとるか又その面積限度に關して多少の變化はあつたが、委員は一九一三年前迄毎年繼續して年度報告書中に此のレコメンデーションを記入するのを怠らなかつた。

委員のメンバーは毎年比島人が多數を占め、一九一三年の報告書には二名の米國人と現今比島政界の大立物として時めく三名の比島人より成る委員の署名を網羅した。

土地法は一九一六年の憲法に依り比島議會を通過し、大統領の認可次第有效となる事になつた。而してより寛大なる同法の出現を見る案見内役ノ勤むる樣にと希望した。然し比島議會により一九一九年終に漸やく實施された土地法は、一九〇二年憲法内に制定のものと比較して僅少の差違を有するのみなりし故、比島の物質的進歩の道程に容易に計り識り得べからざる障害を及ぼして來たのである。

一九〇二年の憲法に據ると比島の公有地はスペインの統治下より米合衆國の所有に移り、その支配權は次の條項により比島政府の掌中に歸した。

「公有地の貸與、賣渡し或は伐木ライセンスより比島政府が得たる總收入は比島國庫に納付され、法律の定むる處に從ひ中央政府の目的の經費に充てらるゝものとす」

此の土地面積六千六百餘萬英反は多年の間比島政府を支持するに當り物質的援助となるであらうとは一般の信條であつた。然し乍ら公有地の利用法に關して斯の如き法定の制限を加へられたるを以つて、是等の土地を管理するに當り反つて比島政府に絕えずその經費の負擔を與へて居つた。一九二六年に於ける比島内公有地管理經費支出總金額は同土地資源よりの總收入金額を超過する事五十萬比に達したのである。

前述の制限土地法は無使用公有地に利潤を生ましめざるのみか、中央及地方政府の必要缺くべからざる收入を奪ひ、加ふるに廣漠たる地

而は使役家畜類及收穫物を襲ひ、公衆の衛生を損ふ危害物の繁殖に委れられて居る。之に於てか再び他の方法にて此の法律を骨子とする保護の目的が都合よく達しられたであらうと思はざるを得ない。

移民＝比島内の經濟狀況を考察するに保守的態度を執る學徒は當群島は現在人口數の三四倍の包容は容易であると論ずるのが常である。此の意味はとりもなほさず合理的優秀なる開拓をすると現在人口數の三四倍の人手を要するであらうと解釋するのである。

一九〇二年四月二十九日の法令により、米國議會は支那人排斥法を米國合衆國統轄治下に在る比島に適用したれども比島國民保護といふ目的を完うせず自然の成行として反つて開發の進行を遮滯せしむるにとゞまつた。こゝに於て比島委員は同法の制限改訂を提出したれ共、その努力は水泡に歸し、一九一六年の憲法は米國大統領の裁可により比島議會に比島の移民法を作成する權能を與へたが何等得る處なく、結局吾々は本日急速なる啓發に缺くからべざる勞働者を當群島から放逐した破目に遭遇して了つた。

前述の如く比島内の進歩を遅行の傾向にしたる諸要素を詳述したから次は比島の發展に與りて力ある米國民の盡力を簡單に記するは至極當然の話である。

通商關係＝比島の製産物は特別恩惠の了解に基き米國市場に輸入の許可を得一九一三年以後は無關税にて行はれて居る。此の點は或る範圍迄互惠的であるものゝ比島側の方が有利であつた。

中央行政管理＝比島國民間に政治の發達を齎したる樞要なる要素は比島に自治政府を維持せしめたるによるのである。若しも米合衆國の諸省が比島統治に當り米本國内に於ける慣習と同樣に、それぞれ干渉したならば、政府の自治を比島國民に可能ならしむるといふ初期の意圖を達成し難かつたであらう。比島政府は自己の税關、税務署、郵便局其の他土木、農務、森林、土地局等により遂行されて居る總ての文官事務は全然比島政府の掌中にあるが、檢疫、沿岸及地理的測量は國際的性質を帶ぶるを以つて例外である。

此の政策は吾々が比島占領の當初に於て主張解明し政治に關し實際的の經驗を比島國民に授ける結果となつた。（續く）

□比律賓雜報

比島麻栽培の恐威

本年五月のダバオ日本人會々報へ次の如き記事が掲載されてあつた。之は同地在住邦人八千の死活を左右する問題とも考へられ、又大きく云つて、移民の進路を變更する事項とも考へられるので全文を轉載する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「昨年スマトラ島よりの一千七百五十俵(三千五百ピクル)のマニラ麻をニューヨークで取引せられた事は、既に皆様の御承知の事と存じます。又スマトラ島に於けるマニラ麻の成育狀態等に關しましては、古川社長の南洋視察記拔萃及び昨年十一月號會報紙上に於けるスマトラ島のマニラ麻産出に依るフイリッピン・マニラ麻産業の影響と題する記事に依り、充分御承知の事と思ひますが最近スマトラ島の煙草栽培業者がマニラ麻の栽培を企てゝゐると云ふ事を聞き、茲に此の稿を草する事に致しました。先づ順序としてスマトラ島の煙草栽培狀態を申せば、スマトラ島に於て煙草の栽培を大面積に行はれたのは、今より約六十年前即ち西暦一千八百六十七年頃よりの事でありまして、スマトラ島開發の先陣と云つても差支はないと思ひます。是等の煙草栽培業者が十六萬方哩餘を有するスマトラ島の最も肥沃なる地を租借して居ります。當時和蘭政府としてもスマトラ島開發の爲め、煙草栽培業者に有利なる契約を與へて居るとの事であり、又實にスマトラ島東海岸州の開發は是等の栽培業者に依ると云つても否定する事は出來ますまい。彼等は現今メダン市を中心として三十三萬ヘクタールの大租借地を有し其の勢力も亦偉大なるものにて、當地方の官憲と雖も煙草會社に對しては辟易として居る位であります。現にスマトラ島(蘭領東印度一般)へ入國するものは、入國稅として蘭貨一百ギルダーを支拂ふべきにも拘らず、煙草會社に使用する支那人苦力の爲めには特に其の入國稅を免して居ります。スマトラの煙草は其の品質の優秀なるを以て其の名を世界に博めたる程ありまして、其の栽培も頗る叮嚀なものであり耕地も七年輪作であります。即ち一箇年間煙草の栽培に耕地を使用して殘り六箇年間の休耕を利用してマニラ麻の栽培を計畫して居るのであります。此の地方の土地肥沃なる事は前述の通りでありますが、雨量はダバオ地方と殆んど同一であり、其の降雨日數も年中平均して居りマニラ麻の栽培には申分なき處と信じます。此のメダン地方の雨量及び降雨日數の一八七九年より一九二二年に至る平均を示せば次の通りであります。

摘要	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月
雨量	一四二	九四	一〇五	一一四	一六五	一三一	一三六
降雨日數	一二・五	六・五	八・〇	九・六	一一・三	九・一	九・五

摘要	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
雨量	一八六	二三〇	二七七	二五一	二三五	二〇七〇
降雨日數	一三・五	一四・八	一七・五	一七・一	一五・五	一四五・一

右表の如く年降雨量二千七十九ミリメートル降雨日數百四十五日一となりダバオの年降雨量二千三百四十ミリメートル七と大差のない事になり雨量から考へても、マニラ麻の成育には充分であります。故に同地方に於て煙草栽培業者が六箇年間の休耕を利用してマニラ麻の栽培をなす事になれば、煙草栽培租借面積三十三萬ヘクタールの七分の六即ち二十八萬二千八百五十八ヘクタールにマニラ麻の栽培をなす事となり、年産一ヘクタールより二十ピクルと致しましても五百六十

五萬七千百六十六ピクル二百八十二萬八千五百八十俵の産出となり、昨年度の比島全體の産出量百二十二萬九千百十九俵に比べて二倍餘となり、ミンダナオ島産出の十九萬七千四百六十九俵と比べて實に十四倍近くになります。假りに半分の面積十六萬五千ヘクターにマニラ麻を栽培するとしても、百六十五萬俵の年産となり、比島全體の産出よりも尚四十二萬八十一俵の産出増加となります。而して彼の地の勞働賃銀は頗る安く土着人の日給にて蘭貨五十仙足らず、支那苦力にても日給蘭貨一ギルダー（蘭貨一ギルダー比貨約八十仙）見當に過ぎない。且つ煙草栽培業者に依りマニラ麻の栽培となされる事になれば全く副業で土地税等の生産費に加算するの必要なく、生産方法にしても頗る大仕掛けに多量生産する事となるから、随つて生産費も當地の其れと比べものにならぬ程安く、優良なるマニラ麻を安く市場に供給する事と思はれる。今日迄よくメキシコ・サイザンヘルプの産出多過に依り、マニラ麻の相場にも多大の影響を與へて居りましたが今後はスマトラ島のマニラ麻産出に依り、比島獨占の産物と心得られてゐたマニラ麻の市況が却つてスマトラ島の産出麻に依り市場を左右せらるゝ事と覺悟なし、當地に於けるマニラ麻栽培業に關係する者は、其大小を問はず、此の大問題の對抗策を大いに研究すると同時に吾々在留邦人は益々一致團結して比島官憲の覺醒を促すべきであると思ふ。元來無學無能の私と雖、スマトラ島の煙草栽培業者がマニラ麻の栽培を計畫してゐるを聞き將來を豫測して拙文を貴重なる紙上に掲げたる次第、幸に多少なりとも諸賢に裨益する所あらば筆者光榮とする次第であります」。

官業監督會議無效問題

（五・一六及五・二〇　馬尼剌ブレテイン）

前行の同紙には昨年ウツド總督の逝去以來一時靜溫を保つて居つた、官業監督會議問題が掲載されてある。

昨年六月の本誌本欄には概括的に本題の顛末を掲載したのであつたが、突如十六日の馬尼剌ブレタン紙に米國大審院が不法設立なりとの意見に傾いたと詳細を論じてゐる。又二十日の同紙には判決の全文が掲載されてある。

然るに之に代るべき新團體は當然な事であつて、此の點につき十六日の同紙にも記載されてあつた。詳細は來月の本誌にゆづる。

最近のキーエス案

（五・一六馬尼剌ブレテイン）

現在米國議會提案中のキーエス案に對し總督スティムソン氏が贊意を表して居る事が比島廢兵協會の首領たるアギナルド氏を通じて完全に裏書されるに至つた。

アギナルド氏は同法案が比島に好都合であるとの意見を有する一人であつて、現在地方政治行政をして腐敗を免かれしむる所以であるとして居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

アギナルド氏は昨日バギオより馬尼剌に歸來したが、バギオ市に於ける總督と會見中に於て此の點を強調し、必ずや來議會を通過するものと信じて居る。

カラウ氏歸比談

（五・一七　馬尼剌ブレティン）

比律賓大學々生を引つれて歐米及日各大學との討論に出張して居つたカラウ氏は次の如く語つたのであつた。

「現在極東の政情より見るも比律賓の獨立は危險なるものにあらず。（其他不安なる太平洋參照）卽ち時勢の流れは比島の獨立をして不安なからしめたのである。

然し之が十年前なれば多少の危險を見たる事想像に難からざるも現在の支那を見よ。列國環視の中にあつてよく其の混沌たる獨立を保持し得るはたゞに時代の流れによるものである」と

グバラ氏比島の砂糖悲況を救はん

（五・一九　馬尼剌ブレティン）

駐米獨立請願委員グバラ氏は來るべき週に於てティムバーレイク砂糖輸出制限案に對し討論すべきとの事である。

上下議員、各州知事の選擧戰

來るべき三年間に亘り國勢を審議し、及調理すべき上、下議員又良千石たる各州知事及州政を審議する州參事會員の選擧は六月五日を期し比島全體に於て施行されたのであつた。

其結果は本年改選分の上院議員は全部國民合同黨に歸し、結局民主黨は以前の議席の過半以下となつた。然し下院議員は二、三名の減少を見たのみで現在議席數は二十一である。

又知事は民主黨五名を數ふるのみであり、他は國民合同黨或は獨立黨により、占められて居るのみである。

大體に於て國民合同黨は前年來の根深い保土を維持し得たわけであつて、特に上院に於て大勝を得た譯となる。

今參考のため上下議員數の定員を舉ぐれば次の如くである。

上院　二十四名（一選擧區より　二名宛）

下院　十九四名

佛領印度支那

□一九二六年の印度支那鑛業（二）

第一章　概　　説

第一節　試掘權許可數

次表は、最近五箇年間に於て許可された印度支那國別試掘權許可數を擧げその增加數を示したものである。

國別	現在に於て試掘が實際に行はれてゐた試掘權許可數 一九二三年一月一日	一九二四年一月一日	一九二五年一月一日	一九二六年一月一日	一九二七年一月一日	一九二六年度に於ける試掘許可件數
東京	七一三	九八〇	一,〇五六	一,四七八	一,八九〇	八三五
安南	一九〇	二六一	二四四	二九二	五五九	三二六
老撾	三八	三三	三二	七七	八九五	八一七
東埔寨	三	九	九	三五	七二	六六
交趾支那	四	七	六	八	一〇	六
計	九四八	一,二九〇	一,三四七	一,八九〇	三,四二四	二,〇五〇

卽ち東京及老撾に於ける著しい增加は頗る注目に値する。而して前年の試掘權許可免狀數を見るに一九二四年には四七四件、一九二五年には九〇三件、一九二六年には實に二、〇五〇件に上つてゐる。又玆に注意すべきことは、一九二六年に於ける試掘許可の非常に大多數のものは、老撾に於けるカモン（Cammon）州下の錫鑛試掘に目的なつけられてゐることである。卽ち同年度に於ける老撾の試掘許可總數八二〇に對する五七〇件といふものが、錫鑛試掘を目的として申請されたのである。

第二節　採掘權

一九二六年に於ける鑛物の採掘許可件數は新しく一一件が加へられた。卽ち一九二七年一月一日に於ける採掘權許可件數は總計三二二件に達してゐるが、その內譯は次の通りである。

鑛種別 鑛脈の含有する主要鑛物による（註）	一九二六年に設定せられたる許可件數	一九二七年一月一日現在の採掘許可累計（註一）	面積 ヘクタール
石炭	三	九一	一三四,六七四
亞鉛及鉛鑛	一	九三	五四,〇〇五
鉛及銀鑛	—	一四	八,九七九
錫及タングステン鑛	二	三四	一〇,三七三

錫鑛	—	一四	六,五二五
金鑛	—	一六	一七,七〇七
銘鑛	—	二	七,四五〇
鐵鑛及チタン鐵鑛	—	二	六,四八〇
クローム鑛	五	八	五,七四六
アンチモニー鑛	—	四	一,七八八
水銀	—	四	二,八六八
燐酸鑛	—	九	四,〇一五
黑鉛鑛	—	一	一〇〇
合計	二	三三	二六〇,六八〇

註一　一九二二年一月廿六日に發布せられた規定により、採掘許可者は採掘地の包藏するあらゆる種類の鑛物を認めらる。

註二　此中採掘許可失格を宣告されたるもの及中止せるものにして尙取消されてゐないもの九二件を含むでゐる。

因に採掘許可申請件數は、一九二四年の二四件、一九二五の一六件に對し、一九二六年は四四件を數へた。

第三節　印度支那鑛業の發展狀況

次に、更に各年に溯り印度支那鑛業の發達狀況を見んが爲、各年の試掘許可件數、採掘許可件數鑛區面積等を比較し、讀者の參考に資する。

一、各年に於ける試掘貸行累計比較表

一九〇六年	二七二	一九一七年	一,二二四
一九〇七年	四六九	一九一八年	一,四六七
一九〇八年	六六四	一九一九年	七〇六
一九〇九年	八五九	一九二〇年	六七三
一九一〇年	一,三五一	一九二一年	七八二
一九一一年	二,三七〇	一九二二年	九四八
一九一二年	三,〇八二	一九二三年	一,二九〇
一九一三年	三,一〇九	一九二四年	一,三四七
一九一四年	三,〇〇五	一九二五年	一,八九〇
一九一五年	一,三〇六	一九二六年	三,四三四
一九一六年	一,一〇三		

二、各年に於ける試掘權許可數比較表

一九一二年	七二一	一九二〇年	二二〇
一九一三年	一,二五五	一九二一年	四〇一
一九一四年	一三三	一九二二年	三三四
一九一五年	二九	一九二三年	四九〇
一九一六年	九五三	一九二四年	五七四
一九一七年	三四三	一九二五年	九〇三
一九一八年	二七〇	一九二六年	二,〇五〇
一九一九年	一九一		

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、各年に於ける採掘權許可累計表

一九〇六年	一六	一九一七年	二二四
一九〇七年	二二	一九一八年	二二七
一九〇八年	三三	一九一九年	二三二
一九〇九年	四〇	一九二〇年	二三四
一九一〇年	六五	一九二一年	二三六
一九一一年	八〇	一九二二年	二五一
一九一二年	九一	一九二三年	二六六
一九一三年	一三九	一九二四年	一八七
一九一四年	一六一	一九二五年	三二一
一九一五年	一九七	一九二六年	三三三
一九一六年	二〇四		

四、各年に於ける鑛區面積比較表

一九一二年	九九、三五一	一九二〇年	二〇〇、七六九
一九一三年	一三一、〇五三	一九二一年	二〇六、九八五
一九一四年	一五〇、四七五	一九二二年	二一六、六五〇
一九一五年	一八三、三四九	一九二三年	二三八、五九一
一九一六年	一八七、六〇一	一九二四年	二三八、八〇三
一九一七年	一九五、三六八	一九二五年	二五二、六五〇
一九一八年	一九七、六〇九	一九二六年	二六〇、六八〇
一九一九年	一九八、九七七		

次に印度支那の各年鑛產總額を表示して、その發達の跡を示す。

年次	單位千ピアストル貨	單位千金貨法	單位千紙幣法
一九〇六年	一、四五〇	三、九四三	｜
一九〇七年	一、八〇五	五、〇一八	｜
一九〇八年	一、八七〇	四、六〇〇	｜
一九〇九年	二、九七七	七、一一五	｜
一九一〇年	四、〇六九	九、四〇〇	｜
一九一一年	四、四三〇	一〇、一〇〇	｜
一九一二年	三、八五五	九、六〇〇	｜
一九一三年	三、九八八	一〇、〇一〇	一〇、〇一〇
一九一四年	四、八三三	一〇、六四八	一一、四三〇
一九一五年	六、五〇〇	一三、〇〇三	一五、九八〇
一九一六年	八、五七〇	二三、七八七	二五、五〇〇
一九一七年	六、八三三	三三、五〇四	二四、五三〇
一九一八年	五、四八五	三二、四四〇	三三、三七一
一九一九年	四、五八七	三〇、六六五	二九、七〇〇
一九二〇年	四、四七九	一八、八三三	四、四七九
一九二一年	七、三一七	一九、四二四	四九、七二三
一九二二年	八、一九二	三三、二〇八	五三、〇二九
一九二三年	九、五七一	二五、五〇五	八一、一〇七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二四年	一一、三八〇	三〇、七七三	一二四、四三六
一九二五年	一三、七一七	三九、九三〇	一六四、一二六
一九二六年	一四、八八五	四三、〇一五	二五三、三三九

前表を見る爲めに、更に一ピアストルの法に對する各年の平均價格を金貨法及紙幣法にて擧げ、參考に資する。

年次	金貨法	紙幣法
一九〇六年	二・七三	二・七三
一九〇七年	二・七八	二・七八
一九〇八年	二・四六	二・四六
一九〇九年	二・八九	二・八九
一九一〇年	二・三二	二・三二
一九一一年	二・三八	二・三八
一九一二年	二・四九	二・四九
一九一三年	二・五一	二・五一
一九一四年	二・三三	二・三九
一九一五年	二・〇一	二・四六
一九一六年	二・六八	二・九五
一九一七年	三・二五	三・六〇
一九一八年	三・三一	四・三五
一九一九年	四・五六	六・五六
一九二〇年	四・一七	一一・七五
一九二一年	二・六三	六・八七
一九二二年	二・八三	六・七〇
一九二三年	二・六九	八・四六
一九二四年	二・七二	一〇・〇八
一九二五年	二・九五	一一・九五
一九二六年	二・八三	一七・〇三

第二章　燃料礦物

第一節　市況

一、總説

一九二六年に於ける印度支那の石炭産額は、前年に比し七三、〇〇〇噸の減少である。が、この現象は決して東京産炭將來の繁榮に一抹の暗影を投げたものではない。何故なれば、之に反して一九二六年に於ける石炭の賣却高は増加を示してゐるからである。即ち一九二五年の輸出高は六六八、〇〇〇噸であつたものが、一九二六年には八五七、〇〇〇噸、其間二八、四%の増加を示してゐる。

石炭産額減少の因は、昨年度（一九二五年）に於ける石炭の採掘高が需要を超過し一八〇、〇〇〇噸なストツクに置いた爲めである。

而して一九二六年にはこのストックより八六、一〇〇噸を引き出して本年度に於ける需要不足を充したのである。

一方又石炭の經濟的狀況は、一九二六年末より非常な好況を呈し始めた。次表は印度支那に於ける燃料礦物の概況を表示したものである。(單位千噸)

摘要		一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
産高總計		七〇〇	九三二	九八九	一,〇五七	一,一三六	一,三六三	一,二九〇
輸出高	石炭	五七六·五	六四〇·一	六二二	六七五·一	六九〇·二	六六八·一	八五七·八
	煉炭に混入し輸出されたる石炭	二·八	〇·三	三·四	九·八	九·一	二五·六	二四·五
	計	五七九·三	六四〇·四	六二五·四	六八四·九	七〇九·三	六九三·七	八八二·三
十二月三十一日ストック		一七八·八	一九九	一〇〇·八	六三·六	一〇六·三	二八六·一	一九九·九
印度支那地方燃料礦物消費總高		二四七·六	三五〇·四	三七一·八	四〇九·三	四八四	四八九·五	四九三·九
輸入總高		三·四	三·九	九·三	二三	四·四	三五·三	四八·六
煉炭に混入され再輸出されたる外國産炭		〇·七	〇·一	〇·九	二·四	四·八	六·四	六·一
輸入石炭の地方消費高		二·七	三·八	八·三	一九·六	三九·三	三九·四	四二·五
印度支那地方消費高總計		二五〇·三	三五四·二	三八〇·一	四二八·九	五二三·二	五一八·九	五三六·四

二、價額の變動狀況

無煙炭

一九二六年に於ける鴻基の無煙炭價は殆んど動揺がない。が一九二七年の當初に於て塊炭及中塊炭價は一ピアストル騰り、即ち夫々一一ピアストル及一二ピアストルを唱へてゐることは稍注目に價する。

左表は各年に於ける炭價表である。(單位ピアストル)

品種	一九一三年 一九一四年	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
塊炭、鴻基港(甲板渡し)	六·八〇	一〇·〇〇	一〇·〇〇	一〇·〇〇	一一·〇〇	一一·〇〇
中塊炭(一八—三〇粍)同	七·二〇	一〇·〇〇	一〇·〇〇	一一·〇〇	一〇·〇〇	一〇·〇〇
粉炭同	四·〇〇	五·八〇	五·八〇	五·八〇	五·八〇	五·八〇
混合炭同	五·二〇	八·〇〇	八·〇〇	八·〇〇	八·〇〇	—(註二)
ブュルレット同	一〇·〇〇	一八·〇〇	一六·〇〇	一六·〇〇	一六·〇〇	一六·〇〇
コークス同	二四·〇〇	四二·〇〇	四二·〇〇	四二·〇〇	四二·〇〇	三〇·〇〇
普通船舶用煉炭同(註一)	一三·〇〇	二四·〇〇	一七·〇〇	一四·〇〇	一六·〇〇(註三)	一六·〇〇
軍艦用煉炭同(註一)	一四·〇〇	二七·〇〇	一九·〇〇	一六·〇〇		

註一　一九二五年以前に於て、煉炭は法貨に依り賣られてゐた。故に各年の平均相場によりピアストル貨に換算した。

註二　一九二六年に於ては混合炭の販賣を見なかつた。

註三　一九二五年及一九二六年に於て煉炭は普通船舶用、軍艦用を問はず同一品質のものを製造したが故に、單價も噸當り一六、〇〇ピアストル均一となつたのである。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ドン・チユウ低地に於ける二主要炭鑛ドンチユウ炭礦、東京無煙炭礦の二社產の塊炭價は、一九二六年の下半期より一〇乃至一一ピアストルを保持してゐる、が、これは平均價格であるから中には之よりずつと高價で賣られゐるものがあることは勿論である。次表はドンチユウ低地產炭價の平均である。

塊　炭	船積港甲板渡價格	噸當り	一〇―一三ピアストル
中塊炭	同	同	七―一〇　同
粉　炭	同	同	三―四・五〇　同

瀝靑炭及半瀝靑炭　本種の價格は常に固定してゐる。

		一九二五年	一九二六年
ファンメ混合炭	ダップカウ驛渡し	一四・〇〇ピアストル	一四・〇〇ピアストル
フノカン低地產同	ニン・ビン驛同	一二・七五	一二・七五

煉　炭

煉炭の價格も一九二六年は動搖がなかつた。煉炭製造に必要なる主要原料は、印度支那地方產の炭（有煙炭）の外に日本產樹脂及日本產有煙炭（粉炭）があるが、次表は是等原料價格を印度支那貨ピアストルに換算したるものである。

	日本產樹脂（註一）	歐洲產樹脂（註二）	日本產城島塊炭（註三）	日本產三池粉炭（註三）
一九二三年	二八・六五ピアストル	六七・四五ピアストル	一七・二〇ピアストル	一四・〇〇ピアストル
一九二四年	二六・八三	三〇・九四	一六・七七	一三・六五
一九二五年	二九・四九	三〇・一〇	一五・四二	一三・一五
一九二六年	二五・九一	四六・三三	一八・〇八	一四・五三

註一　印度支那に於て調査

註二　l'Echo des mines et de la métallurgie 揭載の巴里相場に據る。

註三　上海商業會議所報告に據る上海相場

右表に據れば一九二六年に於ける日本產石炭の價格はその樹脂の廉價となりたるに反し稍高くなつてゐる。

三、產　額

イ、石　炭

一九二六年に於ける印度支那の石炭產額は一、二九〇、二五九噸に上つてゐる。而してその中の殆んど全部は東京から產出されてゐる。卽ち一、二八六、三〇〇噸に當る。殘りの大部卽ち三、九〇〇噸は安南のノン・ソン（Nong-Son）低地產のものである。

本年度の生產割合は次の通りである。

無　煙　炭	五・〇四％の減少	
瀝靑炭及半瀝靑炭	二五・三〇％	同
褐　　炭	二・五％	同
石 炭 總 高	五・六〇％	同

而して更に主要炭礦會社別にその生產狀況を表示すれば次表の如くなる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會社名	一九二五年に比し	一九二一—一九二五年間平均に比し
Sté Française des Charbonnages du Tonkin 東京炭礦株式會社（鴻基炭礦）	減 六%	増 五%
Sté des Charbonnages du Dong-Trieu ドン・チュウ炭礦株式會社	同 二%	同 八八%
Sté des Anthracites du Tonkin 東京無煙炭礦株式會社	増 二九%	同 一〇〇%
Sté du Domaine de Kébao ケバオ區炭礦株式會社	減 三九%	減 一八%
Sté J. Pernier et Cie 株式會社パニール商會	同 二%	増 五六%
Sté des Charbonnages d'Along et Dong-Dang アロン及ドン・ダン炭礦株式會社	増 三三%	同 七四%
Sté Indochinoise de Charbonnages et Mines Métalliques 印度支那炭礦及鑛業株式會社	減 一一%	減二・六七%
Sté des Charbonnages de Ninh-Binh ニン・ビン炭礦株式會社	同 三四%	同 四四%

右表に見るが如く、東京無煙炭礦、アロン及ドン・ダン炭礦の二社のみは斷然と前年度額を凌駕してゐる。又ドン・チュウ炭礦及パニール商會の産額は前年の夫と略匹敵してゐる。

次表は各年印度支那燃料礦物生産額表である。

年次	千金貨法	千ピアストル
一九〇六年	三、一九四	一、一七四
一九〇七年	三、二五四	一、一六三
一九〇八年	三、七九九	一、五四四
一九〇九年	四、〇八八	一、七一〇
一九一〇年	五、三〇九	二、二九八
一九一一年	四、六五四	二、〇四一
一九一二年	五、一九七	二、〇八七
一九一三年	六、〇〇四	二、三九二
一九一四年	六、八七〇	三、一五一
一九一五年	六、四三九	三、二四四
一九一六年	八、四四四	三、一七七
一九一七年	一〇、六一六	三、三二五
一九一八年	一三、四六八	三、四七一
一九一九年	一六、四七五	三、五三六
一九二〇年	一六、四四九	三、九〇三
一九二一年	一七、四五九	六、五七一
一九二二年	一七、八四六	六、八九五
一九二三年	二〇、一一〇	七、五七一
一九二四年	二三、五四一	八、七〇五
一九二五年	二八、五八九	九、八二三
一九二六年	二六、七五五	九、四七九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

更に各年印度支那燃料礦物生産高を表示すれば、（單位千噸）

年次	總生産高	東京炭礦會社生産高	他の炭礦會社生産高合計	輸出高
一九〇六年	三二五	二八三	—	三五
一九〇七年	三三一	二六六	—	四五
一九〇八年	三四七	二九二	—	五五
一九〇九年	四〇四	二九二	—	一二三
一九一〇年	四八八	三七九	二七六	一一九
一九一一年	四二七	三三八	四三七	一〇九
一九一二年	四三〇	三〇〇	二七九	一三〇
一九一三年	五〇三	三七一	三三三	一三三
一九一四年	六三〇	四九八	三四五	一三三
一九一五年	六四四	五四〇	四五一	一〇四
一九一六年	六八六	五七六	四四九	一〇九
一九一七年	六五四	五四四	三七〇	一二〇
一九一八年	六二六	五一〇	二九七	一三六
一九一九年	六六五	五三〇	四〇〇	一四五
一九二〇年	七二〇	五七三	五五〇	一五〇
一九二一年	九二一	七三〇	六四〇	二〇一
一九二二年	九八九	七六〇	六三三	二一九
一九二三年	一〇五七	七九八	六七五	二五九
一九二四年	一三一六	八五九	六九〇	三七七
一九二五年	一三六四	九一〇	六八八	四五二
一九二六年	一二九〇	八五八	八五五	四三五

最近五箇年對比印度支那産石炭分類一覽表

イ、生産高（噸）

炭礦別	品種別	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
東京炭礦會社産炭	塊炭	二三一、〇一九	二二五、一二〇	二五七、二三〇	二六九、八〇七	二五九、一六九
	中小塊炭	五七、五四五	六三、六六一	三三、五五四	五八、七〇四	七一、七六四
	粉炭	四七一、六三六	五〇九、二一九	五六八、二一六	五八一、四八九	五二四、〇六七
	計	七六〇、〇〇〇	七九八、〇〇〇	八五九、〇〇〇	九一〇、〇〇〇	八五五、〇〇〇
印度支那各炭礦會社總生産高	塊炭	二六六、四七一	三〇〇、〇三一	三五三、九一七	三九二、二九四	三八〇、七六一
	中小塊炭	七六、〇六四	八六、三六三	七四、二七六	九八、二二四	一二六、七七〇
	粉炭	五九〇、三四八	六〇八、八九七	七二一、八四五	七九六、三二一	七三一、四五八
	混合炭	七六、九二四	六一、六三〇	七四、七八八	八六、一四一	六一、二七〇
	計	九八九、八〇七	一、〇五六、九二一	一、二二五、八八〇	一、三六二、九七〇	一、二九〇、二五九
品種別より見たる生産歩合	塊炭	二六・九%	二八・四%	二八・六%	二八・七%	二九・五%
	中小塊炭	七・六%	八・二%	六・一%	七・二%	九・〇%
	粉炭	五九・六%	五七・八%	五九・二%	五七・八%	五六・七%
	混合炭	七・八%	五・八%	六・一%	六・三%	四・八%
	計	一〇〇%	一〇〇%	一〇〇%	一〇〇%	一〇〇%

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ロ、印度支那地方消費高（噸）

炭礦別	品種別	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
東京炭礦會社産炭の地方消費高	塊炭	二一八、三五六	二二八、三三六	一六〇、三五〇	一八六、七一三	一七二、六六三
	中塊小炭	五三、三七八	五四、一八三	三〇、一一三	五二、七一五	七五、一四二
	粉炭	五八、六八四	七九、三五〇	九二、二五一	九六、八七八	六三、〇五〇
	計	三三〇、四一八	三六一、八六九	二八二、七一四	三三六、三〇六	三一〇、八五五
印度支那各炭礦會社總産炭中地方消費高	塊炭	一六三、二九四	一八七、九五四	二一八、四四六	二四七、八七〇	二三九、九四〇
	中塊小炭	七〇、七四九	七一、四四九	五八、四四三	七〇、七八一	九八、〇六〇
	粉炭	一〇八、五〇八	一四八、八六五	一六七、七二九	九四、六六一	一六四、二八一
	混合炭	六七、九四八	四三、六〇一	五七、一〇八	五七、一〇八	三〇、五六八
	計	四一〇、四九七	四五一、九一九	五〇一、七二六	五七一、一三〇	五三二、八四九
品種別より見たる地方消費步合	塊炭	三九・八％	四一・六％	四三・五％	四三・四％	四四・〇％
	中塊小炭	一七・二％	一五・八％	一一・六％	一二・四％	一八・七％
	粉炭	二六・四％	三三・〇％	三三・五％	三四・一％	三一・四％
	混合炭	一六・六％	九・六％	一一・四％	一〇・一％	五・九％
	計	100％	100％	100％	100％	100％

ハ、輸出高（噸）

炭礦別	品種別	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
東京炭礦會社産炭の輸出高	塊炭	一〇四、六五九	八九、八四〇	八〇、一六五	六七、七〇四	九四、四九五
	中塊小炭	四、三四三	八、一六二	三、五九二	三、〇〇七	二、六三〇
	粉炭	三九六、九六六	四一五、九九八	三九〇、九一五	三〇二、三三四	四三三、三〇四
	計	五〇五、九六八	五一四、〇〇〇	四七四、六七二	三七三、〇四五	五三〇、四二九
印度支那各炭礦會社産炭中輸出總高	塊炭	一一三、〇五三	一〇五、五三〇	一一一、一六一	一三三、四二六	一四二、五四三
	中塊小炭	四、四四三	八、一六二	五、〇八一	八、五四二	一六、六二四
	粉炭	四一八、九七六	四三三、四七九	四六三、〇四三	三七九、二一七	五四三、八三三
	混合炭	―	―	二〇〇	一四、九〇〇	七、一九三
	計	五三六、四七二	五四七、一七一	五七九、四八五	五三六、〇八五	七一〇、一九三
品種別より見たる輸出步合	塊炭	二一・一％	一九・三％	一九・二％	二三・四％	二〇・一％
	中塊小炭	〇・八％	一・五％	〇・九％	一・六％	二・三％
	粉炭	七八・一％	七九・二％	七九・九％	七二・一％	七六・六％
	混合炭	―	―	―	二・九％	一・〇％
	計	100％	100％	100％	100％	100％

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ロ、煉炭及コークス

煉炭。 下表に示すが如く煉炭の産額は急速なる進歩を見せてゐる。ブリフオウ氏所有の海防工場の製品は一九二四年以來市場に現はれてゐる。又アロン及ドン・マン炭礦會社のブユッレット工場は一九二七年當初設立された。

一九二二年に於ける煉炭産額総高は鴻基工場のみにて三〇、九四一噸であつたが、一九二六年のそれは九七、四五六噸を示し實に急速なる進歩を示してゐる。

	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
生産高 鴻基工場	四六、四六六噸	七五、三二一噸	七九、九三三噸	八〇、七七六噸
生産高 海防同	―	一、〇〇〇	九、八九八	一六、六八〇
計	四六、四六六	七六、三二一	八九、八三〇	九七、四五六
地方消費高	四九、一〇六	五三、一五九	五六、四三三	五五、四七〇
輸出高	一三、二六二	二三、九二九	三三、〇六五	三〇、六五六
十二月三十一日ストック高	九、五二五	九、六三八	一〇、九六〇	二三、三九〇

暹羅

「暹暦二四七〇年移民條例」概要

第二條 本例は暹暦二四七〇年七月十一日より施行する。

第四條 移民官は、暹羅に渡來する全外國人を取調べる権利を附與され、其取調べの爲めには何れの運送機關にも立入ることを得る。

コークス

	一九二四年	一九二五年	一九二六年
生産高	―噸	一、一五三噸	二、五六五噸
鴻基コークスの印度支那に於ける賣上高	一、一一三	一、〇八一	四六六
ストック高	一、九〇二	一、八五四	三、八五三
外國産コークス輸入高	六七六	五六三	一、〇六三

一九二六年の輸入高一、〇六三噸の輸入對手國及輸入額は佛蘭西の五六一噸。白耳義の五〇〇噸、香港の二噸である。

但し暹羅政府或は外國政府に專用されるものは之を除く。

第五條 外國より暹羅に乘客を搭載し來る水上運送機關の持主又は長は、(一)移民官の許可を得る迄は乘客の上陸を制止し (二)乘客

船員名簿を移民官に提出し（三）取調べには相當の便宜を與へるものとする。

第六條　次の如き外國人は暹羅入國を禁止する（一）暹羅政府の承認する政府の發給する旅券又は國籍證明書を所持せざるもの（二）大臣（内務大臣）が本條の爲め官報にて特定し公布したる疾患（一、癩病　二、トラホーム　三、結核病　四、花柳病—二四七〇年七月二十七日附内務大臣告示）ある者（三）種痘し居らざる者及び法律に規定する種痘を拒絶する者（四）自立の收入又は他人の補助を有せざる者及び働きて自活し得ざらしむる肉體上又は精神上の缺陷又は疾患を有することを檢疫官に依つて確められたる者（五）品性劣惡なる者或は騷擾を起し、公衆又は暹羅王國の安寧を害する恐れある者。

本條（一）に要求する旅券又は國籍證明書を所持せざるものは、移民官より身元證明書を得たる上暹羅に入國することを得る。其身元證明書には大臣の要求する報告を含み、其發行には相當手數料（四バーツ—省令第十二條）を課することを得る。

本條（一）の規定は下記の者に適用しない。暹羅に駐在する大公使領事又は其館員、各其家族、外國政府の公務を帶ぶる者として王國政府に正當に通達され居る者、暹羅の港に寄港する外國船舶の乘組員。

大臣は、下記(a)(b)に對する本條（一）の適用を撤回する權利を附與される。(a)唯單に暹羅領土を經て暹羅以外の領土に通過する暹羅截道の直行旅客(b)隣國在住者が國境を超えてなす純然たる一時的移動。

第七條　大臣に、商務遞信大臣の同意を以て、暹羅に入國する一外國人の所持すべき金額を定むる命令を作成する權利を附與する。但し當該命令は父母と同伴せる十五歳以下の小兒に適用しない。斯して作成したる命令は何れも官報に發表し、又同一權能により同一手續を以て之を變更し廢止することを得る。

右命令の發表後三箇月を經過したる後は、所定額を所持せざる者は入國を禁止する。

第八條　大臣に、商務遞信大臣の同意を以て、年々暹羅に入國する外國人（國籍部類の如何を問はず）の數を定むる命令を作成する權能を附與する。斯して作成したる命令は、其實施年度の始より少くとも三箇月以前に官報にて發表する。該命令は同一權能に依つて廢止することを得。其旨を官報にて發表する。

右命令の實施後は所定數を超ゆる外國人の入國を禁止する。

第九條　第七條及び第八條の諸規定又は命令は、下記諸項に適用しない。一、大公使又は領事の事務又は官用を帶びて入國する外國人　二、一時又は通過の目的にて暹羅に入國するものにて、永住又は實踐的性質の勞働、賣買又は産業をなすの目的に非ざることを移民官の確信したる外國人旅行者。

第十條　本例の條規に拘はらず、大臣は、授與を至當と思考する事情あるに於ては、入國の特別許可を與ふることを得る。

第十一條　暹羅に入國する水上運送機關の臨檢に際し、移民官が

其中の他國人にして本例條規にて排除されたる外國人の部類に屬すと考ふる時は、之を搭載し來つた同一船舶にて之を送還すべく命令することを得る。若し之を實行し難き時は、斯る外國人は之を留置し、出來得る丈速かに他便にて送還する。

上記外國人にて取調を要する時は、其取調中は船中其他便宜なる場所に之を留置する。

斯る外國人の送還及び留置の費用は、之を搭載し來つた運送機關の長、持主又は傭主の負擔とする。

一時に又は一運送機關にて到來せる外國人甚だ多數にて、取調又は身元證明書を得る爲めの留置に甚しき遲延又は費用を要する時は、移民官は一時的入國許可證を發行することを得る。但し右許可證に明記せる時刻及び場所にて移民官の許に出頭し、本調又は身元證明書を受くる條件付にて、大臣の要求する(保證人を以て保證とする時は少くとも一年間暹羅に在住し、十分なる名望及び信用ある者たるを要する—省令第十條)ある場合とする。

第十二條　若し本例施行後入國したる外國人にて、本例にて排除されたる外國人の部類に屬する合理的嫌疑ある時は、移民官は之を留置して取調ぶることを得、若し右事實判明すれば之を追放することを得る。

第十三條　第五條の規定に從はざる水上運送機關の持主又は長は四百バート以下の罰金に處する。

第十四條　本例諸條規を避潛する爲めに身又は身元を隱蔽し、又は移民官の命令に違背して入國したる外國人は、一千バート以下の罰金に處する。

第十五條　本例に違背して故意に外國人を暹羅に連れ來りたる者、又は外國人の本例避潛を幇助したる者は、六箇月未滿の禁錮又は二百バート以下の罰金、又は其双方に處する。

第十六條　移民官より入國禁止の命令を受けたる外國人は、四八時間以内に右命令に對して上訴することを得る。

第十八條　內務大臣に本例を擔任監督せしめ、之が施行の爲め省令を發する權利を賦與する。

□「二四七一年産業組合條例」概要

、

共通に必要を有する小資産の農民其他には、儉約、相互扶助及び自助の助長の爲め産業組合の増設を奬勵し援助すべきは望しい次第で、之は國の經濟的開發及び精神的進步に貢献する道の一つである。

既設組合は實驗として、二四五九年組合法改正法の下に設立されたるものであるが、同法は右促進運動の擴張に不適當となりたる爲め廢止された。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全組合員の一般經濟的利益の爲め共同して業務を處理するの目的の爲めに設立されたる、次掲種類の組合は登記することを得る。

(a) 利益分配の禁止されゐる組合

(b) 組合との個々の取引額に比例して組合員間に利益分配が許されれる組合

(c) (a)及び(b)の組合又は斯る組合の活動の利便を目的として設立されたる組合

(d) (b)及び(c)の組合にして、年々六%を超えざる配當金の分配を合定款にて許せるものも亦登記することを得る。然し常に大臣組の認可を要する。

大臣は登記し得る産業組合の型種を時々特定する權能を附與される。大臣は組合を組成し得る個人の種類及び組合を設立し得る場所をも特定することを得る。

大臣は産業組合登記官一名を任命する。

組合が個人よりなる時は、少くとも二〇歳以上の者一〇人より組織するを要し、又其目的が組合員に貸與すべき資金の創設にある場合には、斯る組合員は同一の區又は區の集團又は其他登記官の認定する小地域に居住する者たるを要する。

登記出願は規定したる書式にてなし、願書には常に其組合の責任が有限無限孰れなるかを明記するを要する。産業組合が組合員となれる組合は、唯有限責任なる場合のみ登記することを得る。

願書には豫定々款の謄本を添附し、又登記官の要求する報告を提供するを要する。

右定款が本條例及び其省令に違背せざること、及び其他の點に於て本條例に規定せる産業組合として登記するに適合せることを十分確信したる時は、登記官は右組合を登記する。右組合が唯今述べたると同樣なる條件の下に登記されるに非らざれば、右定款の改正は無效とする。

組合毎に管理委員一名の選擧を要する。右委員は其組合の總事務を管理する。會計は少くとも一年一回檢査する。

産業組合は登記と同時に法人とする。

組合は非組合員に貸付をなすことを得ない。然し登記官の許可を得て他の組合に貸付をなすことを得る。

省令及び組合定款に依りて許可されたる限界内に於てのみ非組合員より貸付及び預金を受くることを得る。

組合は官立貯蓄銀行其他省令にて許可されたる方法に其資金を投資することを得る。

株式ならざる無限責任の組合にては利益分配をしない。

株式無限責任の組合にては、非組合員より借金ある間は利益分配をしない。

有限責任組合に於ては、年利益は一、準備の爲め二、配當金の支拂三同年中組合となしたる取引に比例して組合 に行ふ分配に充用する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其次十箇條は組合解散の規定。
「産業組合」なる語は營業の名稱又は稱號、又は其一部として使用することを得ない。本條に違背する者は一千銖以下の罰金に處する。
然し現存のものは一年間の猶豫がある。

商務通信大臣は、本條例の施行を擔任し、本法施行細則を發し、登記及び本例の全目的實行に課する料金を決定する權能を附與される。

(五月二十二日 盤谷タイムズ)

□其他の條例竝に雜報

新樞密院法概要

一九二七年九月二日新樞密院法が發布されたが、同法は一八七四年の樞密院條例を廢止し、暹羅行政上に重要なる第一歩を印すに充分である。

本法に依れば樞密顧問(各顧問は直接陛下に報告或は意見を奏上することを許されてゐる)の數は制限されてゐないが、陛下は其中四〇名を任命して樞密院委員會を組織し、勅令に依り其審議に下付せられたる國事に就て陛下の諮詢に應へ之を輔佐せしめられる。

樞密顧問は其治世の終り及び其後六箇月間迄は任に留る。然し委員の任期は三箇年に制限されてゐる。但し任期滿了後は陛下御任意に再任せられることが出來る。

本機關は、其他五人の老巧政治家より成る最高顧問會議と共に、本聖代の初めに創設されたもので、有用なる諮詢機關となるべく豫期されてゐる。(レコード、二七號)

暹羅に於ける婦女子賣買に關する條例概要

暹羅に於ける婦女子賣買に對抗する爲め編纂されたる法律が、本週官報に發表された。

第四條 何人にても、背徳的目的に雇傭する爲め暹羅に婦女子を連れ來り又は他人をして連れ來らしめるは違犯である。同樣なる目的の爲めに暹羅より婦女子を連れ去り又は他人をして連れ去らしむること、及び上記目的の爲め暹羅に連れ來られたる事を知りて婦女子を受渡することにも、亦本條を適用する。本條により有罪なるを發見されたる者は、七年以下の禁錮又は一千銖以下の罰金、又は罰金及び禁錮双方に處する。

第五條 本條例施行の爲め、當局は、あらゆる運送機關(暹羅及び其他外國政府に公用されるものを除く)に依つて暹羅に渡來し又は暹羅より立去る婦女子を取調ぶる權利を附與せられる。

第六條 嫌疑ある場合は、當局は、取調未決中其婦女子を監禁する

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ことを得る。然し第一審裁判所の職權に非れば三〇日以上留置することを得ない。又該裁判所は更に、同時に三〇日の留置を許可することを得る。

第七條　取調べの結果、本例第四條に違犯あることが判明すれば、之を最初の出發地點（外國或は暹羅孰れにても）に送還するを要する。右婦女子にして歸途の賃銀を支拂ふ資産なく、又同費用を辨濟し得る夫又は親族又は保護者を有せざる時は、政府に於て其出身地に最も近き國境又は船舶陸揚地迄之を送還する手段を供給する。此際當局は其出發迄之を留置することを得る。

第八條　本例第六條及び第七條に依り當局の發したる命令にして個人の利益に影響ある時は、後者に四〇時間以內に本命令に對して抗辯する權能を附與する。其請願は文書を以てし且當局に提出するを要する。

第九條　內務大臣に本例の施行を擔任し、所要の省令を發行する權能を附與する。

省　令

一、移民當局は、右條例による婦女子の監督を委託されてゐる。

二、移民官を有せざる地方にては郡長が本法施行を代理する同樣なる權限を與へられてゐる。

三、右條例第六條により裁判所の命令を要すれば、裁判所なき地方の郡長は、裁判所を有する次郡々長に其代理を請求することを得る。（五月十五日 盤谷タイムズ）

中部七州一九二七―二八年度籾收穫概況

主要輸出七州の本期籾植付面積は一〇、八四二、九五〇畝（四、三三七、一八〇英反）にて、前期より八三、一六四英反の增加となり、例年の植付增加より減少を示してゐる。一九二二―二三年に於ては植付面積は三、六三一、五二〇英反にて、爾來各年齊一なる增加を辿り、五年間に約一九・五パセント增加を示した。然し本期植付面積中一九パセントの大面積は全然收穫を見なかつた。因に、過去六年間に於ける最凶作は一九二五―二六年の一六パセントに過ぎず、之に亞いでは一九二三―二四年の一五パセントである。故に收穫面積は前期の四、〇七一、〇五二英反、一九二四―二五年の三、七四四、八〇〇英反に比して八、七八三、二〇〇畝（三、五一三、二八〇英反）に低下し、產額も前期に於ける三、〇四二、七〇四噸及び一九二四―二五年に於ける二、八四五、〇〇〇噸に對し本期は二、六二二、三九〇噸を示した。斯して本期は過去六年間の中第三位の成績である畝當り平均收量は、前期の五・〇二擔、一九二四―二五年に於ける五・一五擔に比し、本期は五・〇一擔、過去六箇年間の最低は一九二五―二六年の四・三三擔であつた。

植付面積を詳報するに、アユテイア、ナコーン・チヤイスリー及びラーチブリーの三州に於ては前期より一四一、四一〇畝の減少であるが、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他四州に於ては三七一、八二一莱の増加を示した。又收穫面積に於て前年より増加を示したのは、唯クヮンテーブ及びピサヌローク兩州（三四九、五〇〇莱）のみにて、其他五州に於ては一、三九四、四三〇莱の減少を見た。全七州に對するアユテイア州の收穫面積及び産量步合は、前年の夫に三六、六%及び三六、九%に對し、本期は夫々三三、一%及び三一・二%であつた。

各七州の平均莱當り收量は前期の如く五・一一擔であるが、ラーチブリー州にては五・〇七、クヮンテーブ州にては五・三、ナコン・チャイスリー州にては五・六、ピサヌローク州にては六・三擔に増進し、アユテイア、ナコン・サワン及びプラチンブリー兩州にては夫々四・七、四・四、四・三擔に低下してゐる。

一日二十四時通算制の採用

一日二十四時通算制は、從來陸海軍、鐵道局及び郵便電信局のみに採用されて來たが、爾今暹羅全官廳にて使用することゝなつた。

（五月二十一日　盤谷タイムズ）

英領馬來

□馬來聯邦州鑛業統計

馬來半島の鑛業とは取りもなほさず錫鑛業の事であると言へる。馬來鑛業の中心は馬來聯邦州であつて英領馬來産錫の大部分を産出し、世界錫總産額の約半分を占めてゐる。今過去五箇年間の馬來聯邦州鑛業に關する諸統計を擧ぐれば次の通りである。

産額

年次	世界錫産額	聯邦州錫産額	同世界産額に對する百分%	金産額	タングステン鑛	石炭
一九二三年	一五五、八〇〇噸	三七、六四九噸	二九・九	九、五五〇	三七	三一七、八九二
一九二四年	一五三、九〇八	四四、〇四三	二八・〇	一四、九八〇	九七	三七二、七九五
一九二五年	一四六、〇〇〇	四五、九二六	三一・〇	一四、一八五	一五八	四〇八、〇八四
一九二六年	一四二、三五〇	四五、九四七	三二・五	一四、四七五	八九	四六四、二八四
一九二七年	一五二、〇〇〇	五三、一七九	三四・三	一二、七五八	二〇	四六三、〇〇一

使用勞力及馬力

年次	採錫に使用せし機械の馬力	勞力分布：水力採鑛 砂畔洗滌法	勞力分布：水力採鑛 濁浚	勞力分布：浚泥式	勞力分布：狸掘	勞力分布：地下
一九二三年	七三、三〇〇	四五、四〇一		五、六〇六	三四、〇二四	一二、六三二
一九二四年	七九、〇〇七	三九、二九九	一三、〇六八	六、五八四	四〇、四九一	八、〇四一
一九二五年	一〇三、三〇六	四九、五七五	一三、八一八	七、四九七	二九、三七九	六、九八八
一九二六年	一二八、八四六	五四、五九二	一一、六五九	九、〇五七	二八、五五六	六、四二九
一九二七年	一三八、六〇二	六四、五六七	一三、四七六	一一、一三〇	二八、四一七	六、三〇八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働力人種別

年次	勞力合計	歐洲人	支那人	印度人	馬來人	其他
一九二三年	九六,六六二	二〇三	八九,〇六〇	五,三六四	一,六七一	三六四
一九二四年	一〇六,四七九	三四四	九五,四二五	八,三七一	二,〇八八	二五一
一九二五年	一〇七,三五七	四一五	九四,九七五	九,六五八	二,〇九五	二一四
一九二六年	一一〇,三九三	四七一	九五,五三八	一一,五六三	二,三八〇	四四一
一九二七年	一二二,八八八	五一九	一〇八,三七三	一〇,四六四	三,一〇八	四二四

其他

年次	鑛區面積	錫價 最高	錫價 最低	錫價 平均	錫價 變動	鑛業總收入
一九二三年	一九四,六〇四英畝	一二一·〇〇弗	八八·五〇弗	一〇一·七五弗	三二·五〇弗	八,三三五,〇〇〇弗
一九二四年	一七九,九九〇	一四八·〇〇	一〇〇·七五	一二四·一九	四七·二五	一三,一三六,〇〇〇
一九二五年	一六六,四〇六	一四五·五〇	一一六·〇〇	一三一·七七½	二九·五〇	一四,五八〇,〇〇〇
一九二六年	二〇八,一一三	一五七·五〇	一三一·七五	一四四·五九	二五·七五	一六,五五九,六九三
一九二七年	二八九,八九〇	一五九·〇〇	一二七·三七	一四四·九三	三一·六三	一八,一九三,四二一

（馬來聯邦州官報鑛業報告摘錄）

□國會に於けるサラワク國王殿下の演説

予は第二十二回定期國會に臨席して議員諸氏と相見ゆることを得るは甚だ欣幸とする所であります。

開會に當り、茲に物故せられたる議員にして本領を愛し生涯の大部分を公事に盡瘁されたるジエー・シー・モールトウン、竝にハツ・モハマツド・アリ（前ダトウ・トモンゴン）兩氏に對し、其功績を慕ひ深く感謝せねばならぬと存じます。

さて前回に於て、當領輸出貿易の發達の爲めに諸氏の注意を促して置きました處、幸にして過去三年間貿易は顯著なる發展を得ました。即ち一九二三年に於ける輸出價額は三千五百萬弗でしたが、一九二六年には五千三百萬弗餘を示し、同期間歲入の方にも多大の増收が行はれました。即ち一九二三年三百五十萬弗より一九二六年には六百二十五萬弗、同時に歲出の方も一九二三年三百二十五萬弗から四百二十五萬弗に増大致しました。斯くの如く貿易歲入の増加は頗る甚大で、將來に於ける當領の繁榮を豫測するに困難はないと存じます。然るに玆に一つ注意せねばならぬ事があります。一九二六年の歲入をよく見ますと阿片專賣による政府の收入は凡そ百五十萬弗餘に過ぎません。是れ政府が阿片喫用を強制的に取締るに因るもので、次第に領内全帶に亘つて消費量を漸減し、且つ本品の愛用を根本的に抑制し、斯かる習慣になづまざる樣極力避けしむる政策であります。而して阿片專賣による歲入減に對しては他の方面に於て缺之を補はれ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ばならないのは當然の措置と考へます。從て關稅の問題を精査し、不必要の商貨にして實際贅澤品と目すべき或種の輸入品、例へば葡萄酒、火酒類、煙草等に對して時機を見計ひたる上課稅し、又斯かる決議には法律上の效力を發生せしむることが所詮肝要となつて來るのであります。

次に一九二六年商務委員會の發起で組織された護謨輸出改良委員會に就いて一言したいと存じます。本委員會は小護謨園所有者に對して、生產護謨の品質を改良し、斯くて同品の市價を高めたる點尠からぬ貢献をしたのであります。前記商務委員會の協力に依つて、本領產護謨の品質は諸外國よりの產物に比肩する樣に成つて來ました。茲に於てか、予は本領內に居住する凡有る人々が護謨事業の現況を充分察知せられんことを切望します。本日出席の諸氏が此考へを支持され領內遍く普及さるれば必ずや一般人民に對して警告となる事は疑を容れざる所であります。併し乍ら、假へ品質が如何に優良と雖も、世界を通じて製造者側の絕對的必要以上に生產を超過する間到底現在の不況を脫出することは不可能であります。護謨は本領內に於ける主要產物でありまして、前述の如き場合領民は盡く辛酸を嘗めねばならぬ事は火を睹るよりも明かであります。此點に留意し、此種栽培に對する勸告助言を弘く傳達せしむる事は甚だ喫緊と考へます。

又外國米の輸入統計を見て、一九二二年十三萬擔より一躍一九二六年には三十五萬擔に增殖せる事實には一寸吃驚させられます、けれども將來は減少して行くものと思ひます。萬一食料不足の際は他の食料品例へばサゴ、タピオーカ、玉蜀黍及び馬鈴薯を以て補充することが出來ます。地方在留の各個人に對し、之等の食料を按配好く栽培を爲し自衛の策に出る樣獎勵したいと存じます。全領民が此點に協力すれば、早急に飢餓を憂ふる必要はありません。特にサゴ生產地域に於ては農民等が護謨の栽培に誘引せられて由緖ある產業を棄てゝ顧みざること無き樣、此の政策を徹底したいと存じます。此意味に於て、米以外に生命を繫ぎ得る食料あり、又諸外國に於て他の食料によりて居ると云ふ實例等を擧げて、人民に是れを宣傳普及せしめむとする案が計畫せられて居ります。

交通の方面で、最も顯著なる發達は無線電信に關聯する事業であります。現在既に十九の小無線局を有し、近々更に二局(目下建築中)の新設を見ることは、共に誇るに足ることゝ信じます。是等多數の無線電信局は全領に亘りて一の電信網を形成して居ります。此種の通信機關が業に行政上に一大效果の存することは言ふ迄も無く、又商業界に於て最も好く其利益を認められて居ります。

土地、森林及び農務に關する政策に就いて、最も重要なる問題は各階級者に滿足にして確然たる土地所有制度を研究して關係官署が是等の間に起る事件を協調處理し行くことが第一必要であります。各局は相互に又一般產業に對しても愼重に考慮を拂はねばなりません。最近森林部の擴張は土地局の事務膨脹に由るもので必然の結果であ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ります。茲に過去七年間の經驗に徵して或種の制限を控除することが肝要であります。土地、森林及び農業用地に關聯せる政策を樹立するには、先づ土地を森林地及び農業用地に區別し、能ふる限り栽培用地の特許を不毛の地域に局限し、種族別と爲し、特殊の用途に對しては土地を留保することが必要であります。是等の土地の間を連絡する唯一の交通機關は、當領の主要路を爲せる河川であつて、從て既に開發され居る部分は沿岸地方及び河川に接近する地方である事は諸君のよく御存じの所であります。既述通り、土地の拂下げを行ふ爲めには不毛の地を開拓し、是等の地點を連結する爲め馬道建設費を必ず計上しなければなりません。

又土地政策上、愼重に考慮を要する問題があります。私は最も適當したる人々が土地の所有權を得られることを希望します。正當なる移殖民を歡迎すると共に、常に小企業者にも是等の利權を與へねばなりません。當政府が資本の流入を歡迎せざる事は非難すべき事の樣に聞及んで居ります。是れは大規模に土地を拂下げんとするを避け、從來小企業家に常に優先權を與ふる政策を引續き採用せる政府の失策の樣に思はれます。而して其結果、土民は甚だ窮乏に陷ると云ふ狀態を招來して居ります。

更に土地政策に影響を及ぼす事由は、通例本領は大小の河川によつて小さく區切られ居る關係上、弘く人口が分布して居るとは認められて居りません。之等の二要素は、土人の權利並に他の土地所有者の有する權利を侵害せずに、正當なる借地權者に占めらるゝ交通の便ある、大面積の土地を發見することを到底不可能ならしめて居ります。然るに、之れと同時に多年の經驗によりて眞面目なる移民より成る小企業者間に於ける土地の區劃制が何等紛爭を起さず、其れが爲め特殊の法律を必要とせざる平和な住心地よき社會を建設し、且又勞働者にも利益を與へ、理想鄕を作つて居る事は明白であります。斯くて、通常資本家に讓渡されたる場合の如く長期間開發遲々たること無く、所有權が許可せられると間もなく開拓されると云ふ具合であります。『之れ自由なる投資家を歡迎し、終始事情の許す範圍内に於て要求の達成に努力する』と言ふ政府在來の政策たる事を注目して頂きたいものと存じます。此實證は既に全領を通じて繁盛し居る各種現存企業に於て發見せらるゝ事と思ひます。

予は又、移民の進出する國々の政府に對して一の保證を與へ、而も移民に對しても其享受する利益を擁護する爲めに必要なる勞働局の新設を悅んで申上げたいと存じます。之等の保證は最近採用した新法律の中に現れて居ります。猶進んで、海外より入來る勞働者によつて齎される傳染病より在留民を保護する試驗制度が必要であります。

次に、衞生の方面に於ては、幸にもアメリカのロツクフエラー財團の援助を得て、確然たる保健政策を設ける爲めに保健局に附屬すべき官吏を備ふことが出來ました。此保健局官吏が推言する方策は、及ぶ限り實現せしめる積りであります。最近當領には天然痘の發生で

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國民の生命を脅かし多數の死者を出しました。峻嚴なる規則の制定に依つて該病は忽ち終熄しましたが、今後同樣なる事態發生の場合保健局當事者が一般各人の幸福に必要なる手段を實行するに際して充分協力せられん事を願上ぐる次第であります。先般傳染病發生の際十四萬弗を要したることをば附言致して置きます。又該病撲滅の爲めに用ひたる方策が各自の利益であることに著眼して頂きたい、且つ政府が之れを實行する爲めには個人々々の援助に俟たねばならぬことを承知して居て頂きたいと存じます。

上述の處は、特殊な問題に屬する行政方面の事項に就いて述べ來つたものであります。扨て次に中央行政組織に對して申上げたいと存じます。現今は凡有る事業の範圍が擴張するに伴ひ、各個人間に密接なる關係を維持し、監督を行ひ、過去に於て好成績を納め得たる各局の事務を總攬することは、非常に困難と成りました。畢竟相互に意見を開陳し、予の希望を實現して各局の事務を協調、監督且つ取締りを爲すべき機關の設置が必要と存ぜられます。此行政機關は目下秘書の方に案が成立して居ります。其れは民政長官を首長として、予自身職掌して居りました責任を附與し、各局課、公共團體、竝に予の間を連絡する官吏として政務を取扱はせ、一切の活動團體と密接なる交渉を維持して行はれる樣な組織です。若し此の如き中央集權制による制度を採用するに非ざれば、行政の機能を促進する事は出來ません。斯かる制度の改良せらるゝ目的は、領内に行はれ居る萬般の些細事を充分整理し、努々予の權威を維持せしむる爲めであります。

是等の進步發達と相竝んで訴訟の方面は頗る複雜を極めて參りました。他の諸國との密接なる交渉に非常なる便法が開かれ、又我が法律を他國の法律に調和する主義を採らねばならぬ事を發見しました。先づ最初現行法律を改訂又は整一する端緒として、其多くは或る部分に於て整理竝に敷衍が行はれました。第二次行程として、十二月（一九二七年）に到着すべき司法官を任命しました。是れは司法制度改革の途上、告訴の受理取扱ひを爲す上に便利なる規定を設くる問題を解決する爲めであります。此結果として、中央監獄の建物は、必然民事囚と刑事囚との二に明かに區別せねばなりません。又少年犯の處置に關しても特別なる法律が設けられ樣として居ります。

次に教育の問題に就いて申上げます。從來教育上の問題は、其國の狀況に最も適當する教育の方法を考究する事でありまして、漸次本領の現狀に鑑みて教育上の施設を致さねばならぬ事は少しも疑ありません。前會議以來、學校補助金として十五萬弗を支辨し、而も既存私設學校以外に中央官立學校を設置する計畫に對しては目下考慮中であります。

以上現在本領の當面せる經濟政治諸問題に就いて申述べましたが、玆に一言申置きたき事は、予は愼重に本領の土民權を理解し、是等の權利は嚴然として附屬すべきものと主張せられた故フジヤ殿下の政策を嚴守せねばなりません。又各區内在留民に對して、現行政治は

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

諸君の利害關係に關し、諸君の利益に基づくものなる事を徹底させて頂きたい。此主義を諸君が試みられる時、一切の事件竝に協力すべき問題に對して何等疑げのないことを確信して居ります。

終りに臨んで、予の不在中諸君が好く輔弼の任に當られた事をトアン・ムダ殿下より承りました。予は又過去に於て國會議員に依つて爲された貴重なる幇助に對して一言御禮を申上げねばなりません。之等の會議が齎らす利益の一は各議員諸君が平等に意見を交換せられ、斯くして各自意見を開陳し、又特別なる問題を協力して處理を行ふと云ふ點にあります。而して、現在一致せる政治組織が成績を擧げ本領の繁榮を齎す爲め、各人がよく接近し、充分親和的に意見を交換する爲めであります。若し此の好意と常に愼重物事を計畫することが不可能なれば、今後起り來る各種各樣の問題を無事解決に導くことは頗る困難と思はれるのであります。

末記　本稿は一九二七年十一月一日サラワク・ガゼット誌の附錄として載錄せられたるものなれば、同國政府の諸政策を知るに便なりと思惟し、譯述したるものである。因に此の定期國會は三年目に一回開催される。

□サラワクに於ける新炭坑と支那人シンヂケートに就いて

最近ボルネオ島に存する無限の鑛物資源開發利用に關するシンヂケートが組織せられ、サラワク、カレンダン山脈中に在る鑛脈の探鑛竝に採掘を開始せることとは、頗る著目すべき事柄である。

新嘉坡、コーラムポ、カムパー、及クーチンの各地に在住する富有なる廣東人によつて成立せる（就中其の一人は全馬來を通じての百萬長者と呼ばるゝ）斯のシンヂケートは五十平方哩内外に亘る試掘權を有し、而も同區域は良質の瀝靑炭一千萬噸を埋藏すと推定されて居る。

若し幸に現在の計畫が適中すれば、該企業は最も大規模なる事業の一と成り、且此事業に關係する事業家は甚だ堅實なるが故に事業の成功は充分期待せらるゝ。シランテク炭層はバタン・ルパー河に沿ふ最も近き河港クアラ・リンガ迄二十二哩（最短距離）ありて、小舟にすれば此河の支流まで三日間を要する。從つて、炭坑よりクアラ・リンガに至る鐵道を建設し、港には直接東洋市場に積出し得る埠頭を築設する必要がある。

而して同炭坑が全能力を發揮したる時の採炭量は一箇月五萬噸に上り、産炭の品質は容易に決定せらるるであらう。實際其の品質は最良ダーアム炭と同一にして、四パセント强の灰分を含有するのみにて船用竝に工業用石炭として優良である。殊に産炭は悉く表面に限られ、最上部分に於ける炭層は會社が繼續數年間採掘するに足り、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其厚さ四呎に達する。十二呎地下に至れば三呎六吋に及ぶ第二層、更に十二呎下れば厚み二呎半に亘る第三層が存在する。本炭は最大距離四哩餘に及ぶと證明せられて居るが、此の租借地の探査は未だ完全では無い。

而して本計畫實行の先驅として、鑛務技師長イー・ダブリュー・オスウォルド氏が約二萬弗の道路建設並に地下開發用機械を、尚ほ向後三箇月間に報告良好なれば、改めて新機械を送り直に採炭作業を開始せしむる事と成るであらう。次に北米合衆國、コーネル大學に於て科學的教育を受け、後年江西省萍鄉炭坑副總支配人を務めたるエス・エス・タン氏は今回オスウォルド氏を援助することゝ成つた。近々タン氏は支那人勞働者二百名を募集する筈である。前記オ氏は一九一〇年ホワイトヘベン炭坑爆發の際生殘者四名中の一人で、河南省北京石炭シンヂケートに關係して五箇年間支那に在留し、又在印度緬甸石炭會社には十二年間勤務してゐた。

シラタツクステク層の存在は古く白人のサラワク在留以來熟知せらるゝ所で、ロー氏（後のサー・ヒュー・ロー）は既に一八六八年之れに關する報告をラジヤに獻上した、けれども交通の不備なる結果今日まで著手せられずにゐた。現シンヂケートの意向は明年度新嘉坡に於て六百萬弗餘の資本金を有する會社を設立せんとする模樣である。（六月一日　ストレート・タイムス所載）

蘭領東印度

□蘭領印度の護謨問題及農業

一、蘭領印度に於ける歐人護謨栽培

栽培會社が護謨園を開いたのは今から約二十年前であつたが、現在に於ては植付面積は四〇〇、〇〇〇ヘクタールで植付樹數は約八〇、〇〇〇、〇〇〇本である。内約三〇〇、〇〇〇ヘクタールの面積樹數六〇、〇〇〇、〇〇〇本は生産中で、一九二七年度に於ては基瓦當り二聽の護謨を一三〇、〇〇〇、〇〇〇基瓦を生産した。生産費は基瓦當り約〇・五〇盾である。僅々二十年間の内に是れまで發展した裏には約六〇〇、〇〇〇、〇〇〇盾の資本を消費して居るのである。

又三〇〇、〇〇〇人の土人及歐人が護謨園の開發、植付及作業に從事して居る。勞働條件は良好で且つ農園は農學的に良く管理され、多くは現代式に組織並に設備されて居る。而して本種栽培業は印度及和蘭に採つては社會的に大なる價値を有するものである。

二、土人の護謨栽培

次は土人護謨栽培業である。土人中には大栽培業者と小栽培業者

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とがあるが、重に小栽培業者である。土人が護謨栽培に興味を有するに至つてより僅か約十箇年にしかならないが、實に異常の進展を遂げて居る。植付面積に關しては何等確たる報告統計はないが、其の產額より推算する時は、尠なくも五〇、〇〇〇、〇〇〇本の樹が今採液されて居ると見るべきである。一九二七年に於ける市場護謨の產額は僅に九三、〇〇〇、〇〇〇斤に到した。生產費は斤當り約〇・五〇盾で賣價は約一、五〇盾である。栽培は大なる資本支出を爲すことなく、一般に自己勞働及暇時に土人家族に依つて爲されるのである。栽培方法は原始的ではあるが短期間中に利益を擧げると云ふ見地よりしては相應はしいものである。

三、作業上の相異

歐人栽培會社及土人栽培業者間に於ける作業上の相異は、前者は植付を出來得る限り丁寧になし、樹齡を長く保たんが爲地味を保護するが、後者は資本支出を尠なくして出來得る限り迅速に生產せしむるを唯一の目的として働くのである。卽ち本兩者間には農業ー掠奪農業の相異があるのである。

故に土人農業者の護謨生產行爲はー護謨栽培者しくは熱帶農業に關して云ふものに非ずー見上げたものと云はればならぬ。土人は自から大收入の源を開くことを知つて居り、見積に依れば約二〇〇、〇〇〇人の土人は、十年の短日月の間に三〇〇、〇〇〇ヘクタールの面積を占むるに至つた本栽培業に於て豐な生計を營なんで居るのである。

四、財政及農業上より見たる護謨栽培

財政上の見地よりする時は、土人護謨生產は印度にとつては歐人栽培會社よりも一層大なる價値を有するものである。何となれば、總ての利益は印度そのものゝ利益となるのであるからである。農業上の見地よりしては、土人護謨栽培業には可なりの危險が潜在して居る。數年ならずして是くも發達を遂げたる粗放農法は、大面積の森林を無暗矢鱈に伐採し、且つ肥土の流失を防止せないことゝに依つて現在數十萬ヘクタールに亘る開拓地帶の地味及生產力を大に損ふものである。スマトラ島が如何に住民が稀薄で且つ大森林を以つて掩はれて居る大島であるとは云へ、本地方の大部分は山脈が連亘して居る故に栽培價値なく、而して是れが土人の利益となつて居り、好位置にある善良なる土地の取扱を良く指導し、以て掠奪農業に依つて無價値の痩土となさしめるべきでない。此感は、數年ならずして土人農業者が油椰子、珈琲及茶或は規那の栽培に著手若しくは大企業に擴張するであらうと豫期されて居る故に、益々痛切となつて來て居る。斯る農業は、全く健全なる農業政策に依られねばならないもので、栽培は理論的要求に基いて爲されねばならず、且つ土地の迅速なる衰頽を來すべき方法に依るべきではない。而して、若し政府に於て土人を指導することなく自

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

由に之れを爲さしめる時は、比較的短期間の業務及富を享樂した後終局に於て土人は總て貧困に陥り、事實上土地資本の消費となるであらう。故に掠奪農業防止の策を講ずることは、土人農業自身を保護する上に於て絶對必要なのである。

豫備地卽ち所謂荒地・官有地は、より一層保護し拂下を嚴にし、以て土人農業の發達に資すると共に現在の如き土地の濫費及破壞を制御する樣取計はればならない。

(Soerabajasche handelsblad april 12,'28)

□蘭領東印度雜報

蘭領東印度の鐵鑛埋藏量十五億噸

最近世界の注目の的となつて居る東印度產出鐵原鑛に關して、和蘭アルフト高等工業學校長カロン氏の調査したる結果に依れば、印度鐵原鑛の埋藏量は十五億噸であり、就中ボルネオ島及セレベス島は其の大部分を埋藏して居り、今後世界の目は兩島に注がれるであらう。此の二點に於て將來の亞細亞に於ける工業は、前記兩島に根據を置くものと見ることが出來ると云つて居る。

又フアン・バエルデン氏の語る所に據れば、印度特にセレベス島及ボルネオ島に於ける原鑛は品質良好で圓筒溶鑛爐を使用し原鐵と小粒の石炭とを使用して抽出する方法が最適當であらうと述べて居る。

最近研究所に於てボルネオ原鑛及マヤリ原鑛に就いて試驗が行はれたが、其内スンガイ・ドウヲ產出の原鑛が最も良く四十八%の鐵を含んで居り、尚其の方法の研究次第で六十四%の鐵を得ることが容易であるとの事である。

之等良質の鐵鑛が多量に產出する同島に於て、石炭は安値であるが故に、將來製鐵業は非常に有望であると同氏は述べて居る。尚カロン氏の調査に依れば、セレベス島には多量のニツケル原鑛が埋藏されて居るが、其含有量は二乃至三%であつて、是れでは工業的價値は淡く、現在では少なくも四・五%の含有量がなくては利益がないと述べて居る。(昭和三年六月五日　爪哇日報)

一九二七年の爪哇規那栽培成績

一九二六年及二七年度に於ける私人の規那皮輸出數量は次表の如くである(一、〇〇〇瓩噸)。

仕向地	一九二六年度		一九二七年度	
	工場用皮	藥劑用皮	工場用皮	藥劑用皮
和蘭	四、三六四	五三	四、六五二	六五
英國	七四二	—	四八二	—
佛國	四	九	—	—
英領印度	一三四	—	一三九	—
日本	六四〇	—	四四一	—
其他	—	—	一五	—
合計	五、八七四	六二	五、七二九	六五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

外領よりの(主としてスマトラ西海岸、ベンクーレン及パレムバンの諸州)輸出は次の如くであつた。

一九二七年　一、二〇六噸　一九二六年　九一五噸

前記の數字より判斷する時は、契約に依つて買取らるべき數量以上に生産した規那契約に加入して居る幾多の生産者は、收穫し得べき樹皮の一部を貯藏費及保險料金節約の爲未收穫の儘放置せるもの丶如く見受けられた。

一九二六年七月二十二日バタビヤで開催された會議に於て任命され、同年六月に規那ビユーローに依つて發表された新規那協約の基礎に關する提案の研究並に其れに關する説明・意見を提出すべく命せられた委員會は、一九二七年の初めに其の任務を完了するに至つた。

該意見は、一九二七年三月三十日　蘭領印度規那栽培業利益增進組合の幹部主催の下にバタビヤで開催された蘭領印度規那栽培關係者の會合の席に於て討議され、多少是れを變更した後可決された。

尚、本會議に於て、新規那契約に關し印度に在る生産者の利益の爲に可決された意見に基いて猶和蘭に於て續行さる丶討議に參加し且つ彼等の利益を擁護する爲の二人の全權委員が任命された。

其後、和蘭に於て和蘭にある蘭領印度規那栽培關係者及印度に在る生産者代表との間に討議されたところに據れば、第一に總ての規那生産者を包含する組合を組織し、本組合に總ての手持並に今後生産さる丶樹皮を納入することゝなすことが希望された。又組合は規尼涅製造業者との交渉及新規那契約の締結の任に當ることゝなつて居る。

該組合は一九二七年八月一日規那皮生産者組合(Vereeniging van kinabast produsenten)の名稱の下にアムステルダムに設立され、歐洲に在る蘭領印度の規那栽培關係者の大部分は直に本組合に加入した。

其後蘭領印度に在る生産者側より定款及會計規則に對し若干の異議があつたが、本故障の間も無く撤廢され、印度に在る生産者の大部分は該組合に加入するに至つた。尚本組合及規尼涅製造業者間の新規那契約に關する交渉は一九二七年末まで終了するに至らず、故に一九二八年の協約滿了月まで現行規那協約は猶效力を存續して居る譯である。(Korte berichten voor landbouw, Nijverheid en handel Juni'28, No. 22)

其他時報

○爪哇銀行ポンチアナ支店の開設—去る五月七日を以つて爪哇銀行はポンチアナ(ボルネオ西海岸州)に新支店(舊支店は手狹の爲)を開いた。支店長にはラリヴ(Larive)氏任命され、建物はResidentsweg に在る。(Het Nieuws van den dag mei 16, 28)

○蘭印政府及蘭領印度航空會社間に航空契約締結さる—今回蘭印政府及蘭領印度航空會社間に蘭領印度に於ける定期航空路維持に關する契約が締結された。本契約の内容は左の如くである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會社は娛樂、旅行者輸送及宣傳飛行、空中よりの測量及撮影、昆蟲驅除等總ての航空事業に關する行爲を爲す權限を有し、會社の事業は本年九月一日より開始さるゝ見込みである。

又會社は次の航空路を規則的に維持する義務がある。

(イ) 每日バタビヤーバンドン、バタビヤースマランースラバヤ間の往復飛行を陸上機を以つて爲し、不慮の故障生ぜざる限り一九二八年九月三日より是れを開始すること。

(ロ) 一週一回バタビヤーシンガポールーブラワン間の往復飛行を爲し、ブラワンに於ては入港、出港の郵船と連絡を採り、水上機を以つて飛行し、不慮の障害生ぜざる限り一九二九年の一週より是れを開始すること。

事業に使用さるゝ總ての飛行機は無線電信若しくは電話受信器及信號器を設備し、信頼し得べき擔任者を置くことゝされて居る。

政府は、會社にそれが爲に必要とする飛行場及飛行港を提供使用せしめ、人員貨物及郵便物輸送に關してはそれ〳〵規定が設けられ、郵便物は優先權を與へられて居る。

郵便物輸送に對する賠償は最大限粁當り半仙(〇・〇〇五盾)で、每歷年に於ける賠償は其の都度郵便・電信・電話局長と會社とが相談して決定することになつて居る。

其他會社は、官業部長官に於て民間飛行事業の利益上必要と認めたる場合、座席に餘裕ある時は官吏を無料にて其の維持航路を經由して輸送する義務を負はされて居る。

政府は、會社に一九二八年には三〇〇、〇〇〇盾、一九二九年及其の翌年より契約滿期まで各年一、〇〇〇、〇〇〇盾を補助することゝなつた。

本契約は一九二八年九月一日より始まり、一九三三年十二月三十一日を以つて終るものである。(Het Nieuws van den dag Mei 23. '28)

〇一九二七年度蘭印入國者數　一九二七年度に於ける蘭印に入國せる者の總數を其の前年に於ける數字と比較する時は八〇〇〇人の增加を示し、又入國者中蘭印に居住するを拒絕されたる者は二八三名で、內支那人一七九名、東洋外國人を四名である。

昨年中蘭印に新に居住せる者は、和蘭人及其他の歐洲人六、六〇〇名、日本人約一、一〇〇名、支那人四八、〇〇〇名、亞剌比亞人及其他の東洋外國人四、〇〇〇名である。

增加は殊に支那人に於て著しく、女子供をも加算して六、〇〇〇人の增加を示し、其他の東洋外國人は七五〇名、和蘭人は約一、〇〇〇名增加して居る。尙其他の歐洲人及日本人の數は以前の二箇年と餘り異はない。(Het Nieuws van den dag, April 16, '28)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他

□不安なる太平洋……著書解題（馬尼刺ブレティン紙に據る）

「若し比島から米國が主權を撤廢するときは、本方面に於ける一及極東亞細亞に於ける一各國勢力の均衡は覆され、引いては世界の平和に危機を齎すものである」とニコラス・ルーズベルト（Nicholas Roosevelt）は其近著「不安なる太平洋（Restless Pacific）」に於て述べて居る。

註＝本書は米國（Charles Scribner's Son）の出版に掛る。

「英國及和蘭は日本による比律賓群島の占領に深甚なる恐怖を感じ居るものであつて、若し日本が比律賓群島を領有する事ありとせんか、聽ては蘭領東印度及及んでは濠洲迄も日本の勢下に屈しめられざるを得なくなると信ずる」。

比島獨立の問題は熱帶各地によくある問題の一つとしてルーズベルト氏によつて考へられて居るらしく、ルーズベルト氏は自身として極東事情の精密なる研究家であり、其の政治方面に於ては廣汎なる執筆がある。其の極東研究の新部門に就て彼は研究の結果得たる智識觀察及個人的接觸を利用した。

リンコルンの下に國務卿であつたウィリアム・H・シーワードが太平洋は將來政治問題の中心地となり米國は太平洋に於ける三大國の一となるであらうと豫言したが、此の豫言は見事云ひ當てられたのであるとルーズベルト氏は云つて居る。

其他の二大國と云ふのは英國及日本で、四大國とする時には和蘭領東印度に生命的な利害關係を有して居る和蘭が加はる。露西亞も又支那も太平洋といふJig saw puzzleでは重要な要素となつて居るのであつて、凡ど總べての歐洲諸國が此のパイに食指を動かして居るのである。

ルーズベルト氏の説く所によれば日本は將來太平洋の女王たるべく決定されて居る。日本人自身の眼では彼等は選民であつて、日本は太平洋諸島の王、支那の統治者、亞細亞の覇王たらんとして居るのである。

米國と日本との戰爭は將來殆ど惹起しないと云れるが、之は一九二三年關東大震災の創痍未だ癒へず一財政膨脹によるヤリクリにあると他に其の不戰原因たるものは多くあるが一と云はれる。又日本は比較的現今戰爭の骨組とも云はれる鐵及油の產出が少ない。一九二三年の大震災は二個年に亘り日本海軍の需要を充し得る油貯藏タンクを破壞したのでありルーズベルト氏は「不可抗力」なる題下に於て、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

地震の再來は日本の活動を[illegible]し、ひいては其の活力を減じ、極東亞細亞に於ける歷史に變化を與へるものであると云つて居る。

極東に於ける英國に就てルーズベルト氏は目に見える一つの目的の「管理人」なる名稱を獻上し、現在其の有する物を出來るだけ保持するといふのである。東洋に於て英國が眞に關係を有して居るのは印度だけで、總べての國の中露西亞だけが、英國を最も危險ならしめる地位を有する。

新嘉坡に於ける英海軍根據地及馬尼剌に於ける防備工事は重大なる二大要點となつて居るのであるから、英國及和蘭―英海軍といふ強き腕に懷かれ、其自身の海軍を有せざる―共に亞米利加が馬尼剌より手を引くや否や慘害を必ずや到來せしむる破壞力のいきりたちを感ずに到るであらう。

ルーズベルト氏は英國の支那貿易が年々衰退に向ひ、亞米利加及日本の勃興が英國の無念を想起したと主張して居る。又氏は極東に於ける英國の特權が斫け、又東洋に於ける其面目の失墜は、さながら或る級の教師が尊敬を失ひ、其の級の秩序を維持するに困難を感ずるのと全く同樣であると諷刺して居る。

若し英國に印度を捨てるか又極東に於ける商業又は貿易を捨てるかと云ふ問題が起きた時には必ずや英國は印度に其勢力を集中するであらふ。

北邊よりの露西亞の壓迫

ソヴイエツト露西亞は歐洲にも利害を有する亞細亞に於ける强國とルーズベルト氏は云つて居る。地圖を案ずると其の進路は南方であつて、其の進路は二つあり、再び以前の露西亞に立歸るとき此の進路の二つに大なる努力を獻げるであらふと氏は豫言して居る。

又一九二六年及二七年の支那排外思想は露西亞の影響又大なるものがあつて、所謂有識階級學生達を使用して本思想の普及に努め、又レーニーズムの傳播を企てたのである。

支那に於ける英國への一擊

英國は特に露西亞の仇敵と見做され又支印人の間に一番評判の惡い所から此の槍玉の第一番に擧げられた。――略

翻つて亞細亞に於ける米國の勢力を見ると實に微々たるものであつて、支那貿易の如きも年々増加しつゝあるけれども、比較的僅に過ぎず又教化事業も細心の考慮の下に行はれて居る。又比律賓に於ける亞米利加人の事業も未だ完成の域に達せず、ルーズベルト氏は其の二十五年間の資源開發事業及比島重要産業の保護は失敗に近きものであると云つて居る。比人に獨立を許與すると云ふ我々の約束は完全に實施された事は今日の比島を見れば直ちに了解し得る事である。

比島官吏の四%が亞米利加人に過ぎない、比島の教育は偉大なる進歩をしたけれども、互れかと云へば稍々好學的で實務にといふ事を忘却されてあつた傾があつた。又病氣即ち衞生方面の米國の努力も見逃す譯に行くまい。結局ルーズベルト氏は太平洋に於ける亞米利加の特權は比律賓に於ける其行動によつて上下させられるのであると結んでおる。

（五月三日）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□米國民主黨の政綱

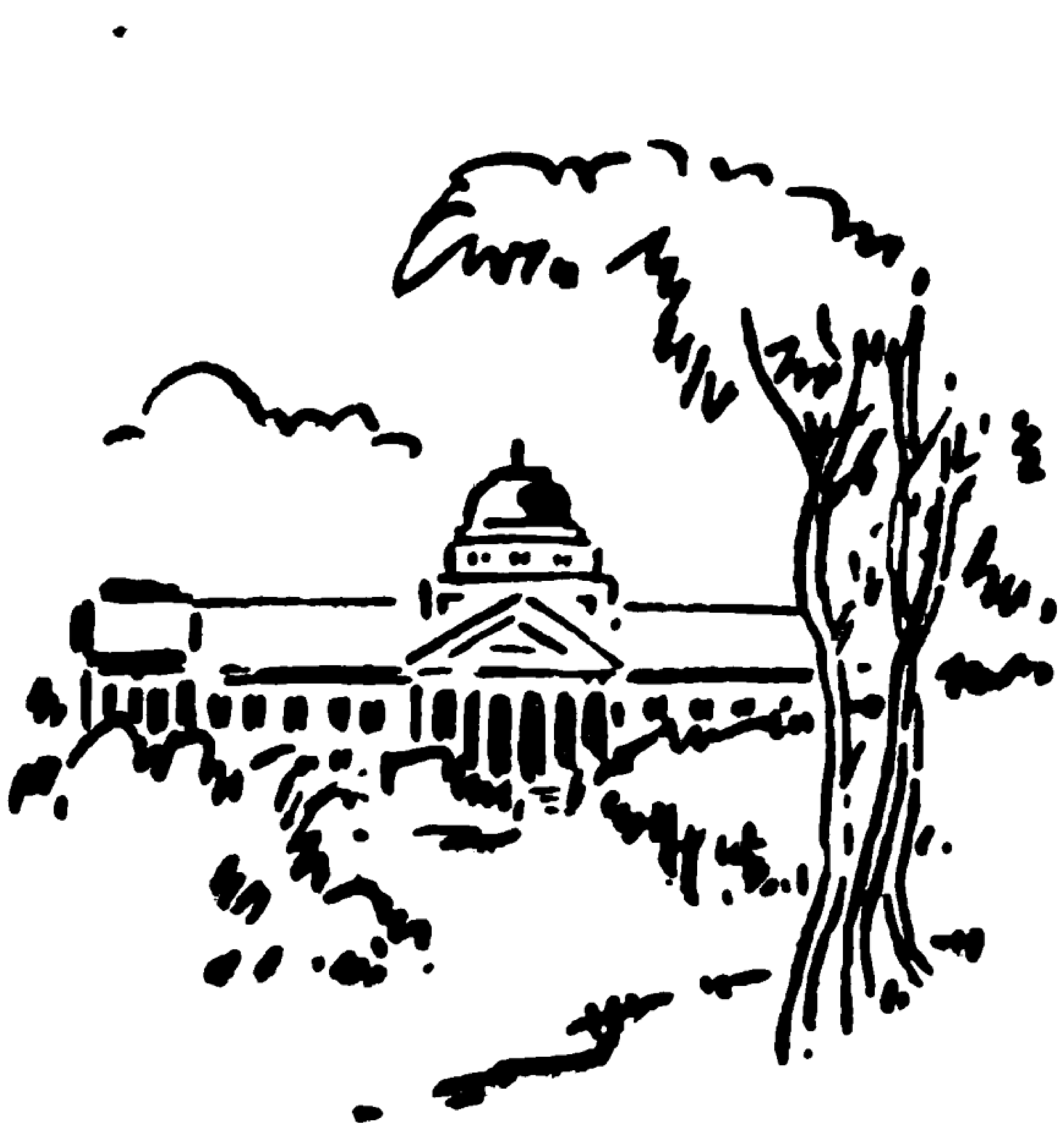
スミス氏を大統領候補に押立てた民主黨の政綱が二十八日發表された。何等かの參考になるものと思ひ大朝七月一日の夕刊から轉載する。

内政問題

一、禁酒法の忠實なる實施を期す。
一、農業發展に資すべき門戸開放的法規の制定。
一、共和黨の腐敗に對する忌憚なき攻擊。
一、共同販賣組合補助のための農業資金制定。
一、農家をして農産物を主接市場に賣出さすため農場局創設。
一、農家の受取に代金と消費者の支拂額の開きの短縮。
一、過剩生産の賣却費用を市場に賣出しの各農産物全部に配分負擔せしむる事。
一、フイリツピンに對し卽時獨立を許可する。
一、移民法の入國許可割當數を嚴守する。
一、官有商船隊の運用經營は政府に於て引續き行ふも全部之を民間に拂下げて政府經營の航路を踏襲せしむ。

對外問題

一、戰爭の廢棄。
一、アメリカの自由を束縛すべき諸外國との同盟條約締結反對。
一、諸外國に於けるアメリカ人の生命權利の保護。
一、軍備の縮少
一、メキシコ・ニカラグアその他のラテン・アメリカ諸國をはじめ諸外國の國會議員選擧或は其の他の內政に干涉せず。



De bevordering der rijst cultuur (H. N. v. d. D. June. 4)

Over koffie (S. Hb. June 5)

Nederland en de Britsche Suikerpolitiek (S. Hb. June 6)

Indrukken van Zuid en Midden Celebes (S. Hb. June 6. 7, 8)

De strijd der wetenschap tegen de vijanden onzer Cultures in Indië (S. Hb. June 7)

其　　他

Western Australia Developing Rapidly (Com. R. No. 21, May 21 P. 455)

Coal in North Borneo (H. D. P. June 9)

◆歐　羅　巴◆

佛蘭西及和蘭

Le Commerce de la France avec ses colonies (A. C. Apr. 10, P. 1)

Pour le budget de 1929 (le T. May. 16, P. 1)

Le Coton dans nos Colonies (D. C. May 17 P. 1)

Nederlandsche handelspolitiek (S. Hb. June 8)

◆阿　弗　利　加◆

General

South African Imports of Cotton Manufactures Decline in Value (Com. R. No. 18, Apr. 30, P. 295)

De oliepalm industrie in Britsch West Afrika (L. N. e. H. No. 22, 23, 24, 25. June 1, 8, 15)

佛領阿弗利加

L'état sanitaire de la Côte d'Ivoire (A. C. Apr. 10 P. 1)

Les Gisements Mineraux de la Cote d'Ivoire (A. C. Apr. 14, P. 1)

La production du palmier à huile (D. C. Apr. 14, P. 1)

Les produits d l'élevage (D. C. Apr. 18, P. 1)

Le Coton en Algérie (A. C. Apr. 23, P. 1)

Le developpement de l'Industrie Minière D. C. Apr. 23, P. 1)

L'éducation des indigènes Algériens (D. C. Apr. 25, P. 1)

Les pierres précieuses (D. C. May 2' P. 1)

L'Industrie Colonnière (A. C. May 10, P.1)

Le sisal en Afrique Occidentale Francaise (A. C. May 14, P. 1)

◆南　米　大　陸◆

南　　米

World Production of Balata: The Amazon Valley the Chief Source of Supply (Com. R. No. 21, May 21, P. 475)

英　領　印　度

Labor Disturbances Unsettle British India Business (Com. R. No. 22 May 28, P. 519)

蘭　領　東　印　度

Village Life in Java (L. O. Vol. IX No. 3, Mar. P. 135)

The Purchasing Power of Java's Native Population (Com. R. No. 18, Apr. 30, P. 265)

Statistiek van de Verbreiding en Productie der rietsoorten in oogst 1927 (S. i. N. I. No. 9)

Imports of Cotton Manufactures into Java and Madura Increase (Com. R. No. 19, May 7 P. 347)

Indrukken uit Bali (S. Hb. May 8, 9, 10, 11)

Nederland en Stevensonschema (S. Hb. May 10)

Om de poenale Sanctie (H. N. v. d. D. May 11)

Rede uitgesproken door den Gouverneur Generaal bij de opening van den Volksraad op 15 Mei 1928 (J. C. May 15)

Het gezaghebbersvraagstukken (S. Hb. May 19)

Irrigatieplannen Zuid Celebes (S. Hb. May 19)

Uit de begrooting 1929 (S. Hb. May 19)

De ontwerpbegrooting voor 1929 (S. Hb. May 19)

Zydeteelt op Sumatra (S. Hb. May 22)

Amerika en kina (H. N. v. d. D. May 23)

De luchtvaart overeenkomst (H. N. v. d. D. May 23)

Communisten in den oriënt (H. N. v. d. D. May 23)

Het Luchtverkeer in en naar Indië (S. Hb. May 24)

Kolloid chemische onderzoeking der laatste jaren op het gebied der Suikerfabricage (S. Hb. May 25)

De Inlandsche legerwerving (H. N. v. d. D, May 25)

Rondom Samarinda (S. Hb. May 25)

De posttarieven (S. Hb. May 25)

De prijs van comsumptie Suiker (S. Hb. May 26)

De bestuurhervorming (S. Hb. May 26)

De Javaan in Deli vroeger en Nu (H. N. v. d. D. May 29)

De Japansche concurrentie (S. Hb. May 31)

De financiering van de Suikerindustrie op Java (L. N. e. H. No. 22 June 1)

De kina Situatie op Java in 1927 (L. N. e. H. No. 22, June 1)

Domeinverklaring (S. Hb. June 1)

Cannibals of the Sonth Seas: Recent Tribal Massacres in Papua (S. E. P. June 2)

Eene grond kwestie (H. N. v. d. D. June 2)

De Meening van Rt. Hon. Ormsby Gore over Java (H. N. v. d. D. June 2)

De Indische inkomstbelasting een Vergelijking met Nederland (H. N. v. d. D. June 2)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Van thee-platage in Fransche-Indochina (H. N. v. d. D. May 23)

La situation sanitaire de l'Indochine (F. I. May 24. P. 1)

Le régime. douanier de l'Indochine et le Japon (le C. H. May 26, P. 1)

Le nouveau régime des Concessions (E. E. I. No. 571, May 27. P. 1)

Causeries sur l'histoire d'Annam (E. E. I. No. 571, May 27, P. 2)

Chronique des Mines (E. E. I. No. 571, May 27, P. 14)

Les lignes Commerciales aériennes entre la France et l'Indochine (le C. S. May 29, P. 1)

暹　　　　羅

Review of the Foreign Trade of Siam in B. E. 2469 (1926-27) (R. No. 26, Oct. '27)

Report on the Budget of the Kingdom of Siam for the Year B. E. 2470 (1927-28) (R. No. 26, Oct. '27)

Report on the Rice Crop of Siam for the Year B. E. 2469 (1926-27) (R. No. 26, Oct. '27)

Current Events in Siam (R. No. 26, 27, 28 Oct., Jan., Apr.)

Fifth Report on the Co-operative Movement in Siam for B. E. 2469 (1926-27) (R. No. 27, Jan)

The Economic Aspect of Livestock Disease in Siam (R. No. 27, Jan)

Annual Return of Timber Exported (From Bangkok for B. E. 2469 (R. No. 28, Apr.)

Botanical Section—Report on a Tour in the Province of Prachuap and up the Menam Pasak (R. No. 28, Apr.)

Livestock Diseases in Siam. Rinderpest—The Policy of Eradication (R. No. 28, Apr.)

The Currency Act B. E. 2471 (R. No. 28, Apr.)

Last Season's Crop in the Seven Main Exporting Circles (B. T. May 16)

A serions Problem (B. T. May 22 & 26)

Co-operative Movement in Siam (B. T. May 22)

Paper-making in Bangkok (B. T. June 9)

Nation Mourns Death of Prince Bhanurangri—Siam's "Grand Old Man Passes at 69 after Long Lang and Distinguished Career (B. D. M. June 14)

英　領　馬　來

Cheap Electric Power for Perak (H. D. P. May 1)

British Malaya Rubber: May Statistics (S. F. P. June 4)

The British Malaya Market for Boots and Shoes (Com. R. No. 21, May 21 P. 487)

F. M. S. Tin Prospects (S. F. P. May 22)

Rubber Restriction Statistics: 6 the Restriction Year (S. F. P. May 28)

Rubber Statistics: British Areas Increase (S. F. P. June 4)

Malayan Pineapple Industry: Agency Exhibit (S. F. P. June 12)

Malayan Trade Figures: May Statistics (S. F. P. June 14)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Powers are Ignored by P. I. Auditor(P. H. June 10)

Text of Control Board Decision(M. B. June 12)

Gabaldon Must Remain Out, Say Osmena (M. B. June 12)

No Ambition to Senate Head, Say Osmena (M. B. June 12)

Victory Means Renewed Faith In Party-Osmena (P. H. June 12)

Gabaldon can't now Withdraw his Resignation (P. H. June 12)

Quezon Will be Senate Head in Next Session (P. H. June 12)

Fight on Farm Relief Plank(M. B. June 15)

Filipino Leader Assured no Reactionary Plank Will be Adopted by Republicans in Kansas City (P. H. June 14)

Aguinaldo Definitely Repudiated-M. Quezon P. H. June 14)

Legislature Loses Board of Control Case(M. B. May 15)

No P. I. Plank in Platform (M. B. June 15)

Mendoza to Form Party once Ousted by Sumulong (M. H. May 15)

Survey Planes Back from North Luzon (M. B. May 16)

Control Board Help Illegal by U. S. Court; New Body is Planned (M. B. May 16)

Gen. Aguinaldo O. K's Kicss Bill (M. B. May 16)

Governor Plans no Changes as result of Court Verdict (P. H. May 16)

Names of Candidates for Both Houses of Legislature Released (P. H. May 16)

No Danger to P. I. If Feedom is Granted now, Kalaw Declares (M. B. May 17)

Stimson has no Definit Policy on Gov't Firm (P. H. May 17)

Council is Still Under Study by G. G. (P. H. May 18)

佛領印度支那

Indochine(A. F. No. 259, Apr. P. 157)

La politique Indigène au pays d' Aunam (I. No. 7, Apr. 5-20. P. 97)

La politique de la France en Indochine (I. No. 7 Apr. 5-20, P. 103)

La protection des foréts Indochinoises (le C. S. May 2, P. 1)

La Collabaration Franco-Annamite (I. No. 8, May 5, P. 113)

La production rizière et son Amélioration en Indochine (le C. H. May. 5, P. 1)

Les transports fluvieux au Laos(E. E. I. No. 568, May 6, P. 4)

Les fonctionnaires Indochinois et la Connaissance des langues Indigènes (F. I. May 6, P. 1)

Le role de la France et de l' Indochine dans le Pacifique (A. C. May. 10, P. 1)

L' Aviation en Inddochine (F. I. May. 13, P. 1)

La Main d' Oeuvre en Indochine (le T. May. 13, P. 1)

Le thé de l' Indochine (F. I. May 19 P. 1)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

General Chiang Kai-Shek's Political Gesture! By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLV, No. 3, June 16)

Two Noteworthy Migratory Movements (C. W. R. Vol. XLV, No. 3, June 16)

Who's Who in China. General Li Taung-jen (鄰德字仁宗李) Mr. Tsuyee Pei (貝淞孫) (C. W. R. Vol. XLV, No. 3, June 16)

The New Educational Program (C. W. R. Vol. XLV, No. 3, June 16)

Russia Versus Japan in Manchuria. By J. A. J. (C. W. R. Vol. XLV, No. 3, June 16)

How Europe is Lining up on the Chinese Question! (C. W. R. Vol. XLV, No. 3, June 16)

Yen Hsi-shan in Control at Peking (C. W. R. Vol. XLV, No. 3, June 16)

Criticisms of the Sanitary Booard: More Active Methods needed? (H. D. P. May 16)

Cost of Living in Hong Kong (H. D. P. June 7)

比 律 賓

Guevara will Aid P. I. Sugar (M. B. May 19)

G. G. Leaves on Southern Isles Visit Tonight (M. B. May 19)

America to Finance New Bill Scheme (P. H. May 20)

How Case of Filipino Leaders was Presented in U. S. Supreme Court (P. H. May 20)

Sumulong out on Coalition (M. B. May 21)

G. G. Want Health Expert (M. B. May 22)

Delay Action on P. I. Bill (M. B. May 23)

Suspension of Execution Held Illegal By Solicitor-General (P. H. May 24)

Complete Text of Compensation Law Which come Effective, June 10 (M. B. May 26)

P. I. Finance O. K., Gilmore Tells Congress (M. B. May 26)

Asks G. G. For Appointive Seat in the Lower House (P. H. May 27)

Guevara Hits Unfair Bills in Congress (P. H. May 29)

P. I. Judges' Bill Passed by Congress (P. H. May 30)

Foresee big Victory for Nacionalistas (M. B. June 4)

The Osmena Platform (M. B. June 5)

P. I. Voters Will Render Verdict At Ballot Box Today (M. B. June 5)

Public Service is Keynote of Platform of Manila Candidates (M. B. June 5)

Nacionalistas are Winning; Democratas losing Control of Council in City of Manila (M. B. June 6)

Democratas Rally as Late Provincial Reports Filter in (M. B. June 7)

Democratas Still Factor in Politics (M. B. June 8)

G. G. Planning Changes in his Cabinet soon (M. B. June 8)

Guevara Confers with President Coolidge On Problems in Philippines (P. H. June 10)

Election Law Defects and Flaws pointed out by Del Rosario to G. G. (P. H. June 10)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Japan's Policy and Chinese Reaction (N. C. D. N. May 31)

The Outlook of Christianity in Chian. By Symposium (C. R. No. 6, June)

Canton Exports of Raw Silk and Silk Waste in 1927 (C. E. J. Vol. II, No. 6, June)

The Cotton Mills of Shanghai (F. E. R. Vol. XXIV, No. 5, May. P. 225)

Oil Mills in China (C. E. J. Vol. 11, No. 6, June)

The Expot of Soya Beans from Manchuria and its Financing. By A. V. Marakueff (To be continued) (C. E. J. Vol. 11, No. 6. June)

Paper Manufacturers in Shanghai (C. E. J. Vol. 11, No. 6, June)

Land Tenure Systems in China. By D. K. Lien (C. E. J. Vol. 11, No. 6, June)

Peking matshed Builders (C. E. B. Vol. XII, No. 22, Jnne 2)

Foreign Missionary Resident of Tsinan Describes Sino-Japanese Clash (C. W. R. Vol. XLV, No. No. 1, June 2)

Present and Past Anti-Japanese Boycotts. By B. Y-Lee (C. W. R. Vol. XLV, No. 1, June 2)

American Attitude Toward Japan's Activities (C. W. R, Vol. XLV, No. 1, June 2)

British Attitude Toward Japan's Action (C. W. R. Vol. XLV, No. 1, Jnne 2)

The Far Eastern Review and the Tsinan Affair (C. W. R. Vol. XLV, No. 1, June 2)

China's Appaeal to the World (C. W. R. Vol. XLV, No. 1, June 2)

Wo's Who in China. Gen. Hsung Ping (熊斌) Mr. Yuan Tung-li (袁同禮) (C. W. R. Vol. XLV, No. 1, June 2)

What is Manchuria? (C. W. R. XLV, no. 1 June 2)

Nationalist Conflict with Imperialism. By Chen Kung-po (C. W. R. Vol. XLV, No. 1, June 2)

Christian Educational Conference in Shanghai (C. W. R. Vol. XLV, No. 2, June 9)

After Peking-What? By L. I. Tsok (C. W. R. Vol. XLV, No. 2, Jnne 9)

The Tsinan Incident-A Survey of the Facts! (C. W. R. Vol. XLV, No. 2, June 9)

Britsh Attitude Regarding the Tsinan Incident. By Kennien Chang (C. W. R. Vol. XLV, No. 2, June 9)

Will Tsinan Become a Second Nickolaievsk? (C. W. R. Vol. XLV, No. 2, June 9)

Why Japan Has Fixed its Eyes on Manchuria. By J. A. J. (C. W. R. Vol. XLV, No. 2, June 9)

Who's Who in China. Yang Cheng-hsun (楊承訓) Nr. Binnan P. Louis (雷沛鴻字賓南) (C. W. R. Vol. XLV. No. 2, June 9)

Silk thread making in Foochow (C. E. B. Vol. XII, No. 24, June 16)

Commercial Classification of Sugar in China (C. E. B. Vol. XII, No. 24, June 16)

T. V. Soong's Financial Program. By P. T. Chen (C. W. R. Vol. XLV, No. 3, June 16)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad (May 5-June 8, '28)

S. i. N. I. Suikerindustrie in Ned-Indië (No. 9, '28)

* * *

世 界

General

Het einde van de rubberrestrictie (L. N. e. H. No. 23, June 8)

亞 細 亞

General

Trade in the Pan-Pacific Area (F. F. R. Vol. XXIV, No. 5, May. P. 213)

New Soviet Railway Tapping Central Asia (F. F. R. Vol. XXIV, No. 5, May. P. 216)

日 本

Japanese Trade in Textiles (Com. R. No. 21, P. 478)

支 那 及 香 港

Manchuria: the Crux of Chino-Japanese Relations (F. F. R. Vol. XXIV, No. 5, May. P. 205)

Commercial Aviation in China (F. E. R. Vol. XXIV, No. 5, May. P. 221)

The Japanese Version of the Tsinan Incidents (C. W. R. Vol. XLIV, No. 12, May 19)

Japan's Intervention a Blessing in Disguise. By C. Y. W. Meng (C. W. R. Vol. XLIV, No. 12, May 19)

Chinese-British Cooperation in the Straits. By Tung-Foo Hsu (C. W. R. Vol. XLIV, No. 12, May 19)

What Happenened at Tsinan on the Chinese side! By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLIV, No. 12, May 19)

Will China Become Imperialistic? By Chu Wen-Tsao (C. W. R. Vol. XLIV, No. 12, May 19)

Japanese Interference Delays Northern Fight. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLIV, No. 13, May 26)

Have the Japanese Violated the Washington Treaty? (C. W. R. Vol. XLIV, No. 13, May 26)

An Eye-witness's Story of the Tsinan Situation. By H. S. Liang (C. W. R. Vol. XLIV, No. 13, May 26)

Chekiang's New Provincial Government Organized on Progressive Lines. By J. C. Oliver (C. W. R. Vol. XLIV, No. 13, May 26)

Some Mistakes of the Nationalist Revolution. By Chen Kung-po (C. W. R. XLIV, No. 13, May 26)

Who's Who in China. Mr. I Pei-chi (易培基) Mr. Zing Zung-ching (秦潤卿字祖澤) (C. W. R. Vol. XLIV, No. 13, May 26)

Summary of Strikes in Shanghai during the month of Apr., '28 (C. E. B. Vol. XII, No. 21, May 26)

Economic Situation in China (N. C. D. N. May 31)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那南洋其他海外
重要記事索引

臺灣總督官房調査課

◉ 新聞雜誌略號一覽表 ◉

A. C. Les Annales Coloniales (Apr. 8-May 16, '28)

A. F. L'Asie Francaise (Apr., '28)

B. D. M. Bangkok Daily Mail (June 14, '28)

B. T. Bangkok Times (May 16-June 9, '28)

C. E. B. Chinese Economic Bulletin (Vol. XII, No. 21, May 26-No. 24, June 16, '28)

C. E. J. Chinese Economic Journal (Vol. 11, No. 6, June, '28)

C. R. Chinese Recorder (Vol. LIX, No. 6, June, '28)

Com. R. Commerce Reports (No. 18, Apr. 30-No. 22, May 28, '28)

C. W. R. China Weekly Review (Vol. XLIV, No. 12, May 19-Vol. XLV, No. 3, June 16, '28)

D. C. La Dépêch Coloniale (Apr. 11-May 23, '28)

E. E. I. L'éveil économique de l'Indochine (May 6-27, '28)

F. F. R. Far Fastern Review (Vol. XXIV, No. 5, May, '28)

F. Le Figaro (May 1-31, '28)

F. I. France-Indochine (May 1-31, '28)

H. D. P. Hongkong Daily Press (May 1-June 9, '28)

H. N. v. d. D. Het Nieuws van den Dag (May 3-Jun 4, '28)

I. L'Indochine (Apr. 2-May 5, '28)

I. O. Inter Ocean (Vol. IX, No. 3, Mar., '28)

J. C. Javasche Courant (May 15, '28)

le C. H. Le Currier d'Haiphong (May 1-31, '28)

le C. S. Le Courrier Saigonnais (May 1-31, '28)

L. N. e. H. Landbouw, Nijverheid en Hande' (No. 22, June 1-No. 24, June 15, '28)

le T. Le Temps (May 1-31, '28)

M. B. Manila Bulletin (May 15-June 15, '28)

N. C. D. N. North China Daily News (May 29-June 27, '28)

P. H. Philippine Herald (May 15-June 15, '28)

R. The Record (No. 26, Oct, '27-No. 28, Apr., '28)

S. F. P. Singapore Free Press (May 10-June 4, '28)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN